

フランス語初級文法

小栗栖等 (名古屋大学)

2022 年 9 月

はじめに

序文

2022年9月の追記

春学期に印刷本が欲しいとの学生の声があったので、急遽出版をおこなった。そのため、組版に行き届かない部分が多々あることをお詫びする。

2020年4月の追記

本書はコロナウィルスの蔓延を防ぐために取られた遠隔授業の措置に対応するため、主に名古屋大学の学生を念頭に、急遽改訂したものである。とはいえ、誰もが自由に利用できる教材として、万人に提供される。本書の著作権を著者が行使することは一切ない。なお、今回の改訂に際しては、同僚の奥田智樹先生と鳥山定嗣先生から校正の協力を得た。また、同僚のクリストフ・ガラベ先生には音声ファイル(著作権により名古屋大学の学生のみ利用可能)の作成に協力いただいた。

本書は、初めてフランス語を学習しようとする学生向けに書かれたテキストである。おおむね、一つの課を90分-120分の授業+予習復習で消化できるよう内容を調節してある。フランス語に限らず、言語を修得するには、非常に時間がかかる。本書では、各課ごとに大量の練習問題を付し、学習内容が効果的に復習できるようにした。練習問題は、基本的に容易に解答を確認できるようになっているので、授業時間中に解説は一切行わない(もちろん、質問は歓迎する)。

練習問題は、新出単語の暗記練習、新出例文の確認問題など、盛りだくさんである。最初のうちは、苦しいかも知れない。しかし、慣れるにしたがって、見たことのある単語が増え、やがて、楽になる。苦しいのは最初だけだと思ってがんばってほしい。

練習問題をする際には、絶対に機械的に行ってはいけない。常に、発音や意味を考えながら、練習問題に取り組んでほしい。特に、「二度書け、三度書け」といった問題では、声を出して発音しながら、練習すること。

また、問題が何を狙いとしているかをしっかり意識する必要がある。本書の問題は、その課で学んだことのうち、重要な部分を、強調するように作られている。場合によっては、はっきりと狙いがわかるように、問題に解説や例がつけてある。本書には、わけのわからない「ひっかけ問題」はない。大事なのは、問題を解く力をつけるのではなく、問題を解く作業を通して、必要事項を頭にたたきこむことだからである。(2004年4月)

第二版について

2004 年度に使用した第一版に徹底的に手を入れた。まず、多数の誤字・脱字を修正した^a。第二に、凝った表組などを行い、見た目を美しくして、第一版よりは、親しみやすい体裁にした。第三に、第一版では、時間的な制約により、実現できなかった索引と語彙集を付した。

特に第三の点については、筆者の信条に関わる点なので、説明を加えておこう。

語学力は、基本的には、習得に費やした時間に比例する。通学電車の中で、あるいは、誰かを待つ間、ほんの少しの隙間時間にでも、勉強することはできる。ただ、辞書まで持ち歩くとなると、大変な負担だろう。これが本書に語彙集をつけた理由である。フランス語の授業のない時にでも、常に本書を持ち歩いてほしい。

最初に触れた文法書は、少なくとも数年は、テキスト読解の際の案内役となるべきである。テキストの中で出くわした文法事項を確認しようと思った場合、最初に開くのは、初級文法書である。実は、初級文法書の習得は一年では終了せず、こうした「再確認」の数年間を要するものなのである。索引はそうした再確認の際に、役立つに違いない。

^a これに関しては、同僚の千田まや氏からの指摘に負うところも大きい。氏のご協力に感謝する。

2007/2008/2009 年年度版について

毎年、前年度版の誤字・脱字、不適切な箇所の修正を行っている。指摘や要望を伝えてくれた学生諸君に感謝する。そのほかに、

- 2008 年度版は「フランス語の音声」を追加。
- 2009 年度版は「補足：不定法」と多数の写真を追加。

—本書は下記の手助けがなければ存在し得なかった—

本書の組版には、L^AT_EX2e (日本語版) を利用した。原稿作成の際には T_EXShop を、それに先立つデータ処理には PERL を活用した。また、発音記号の出力には、フリーフォントの TIPA が役立った。mendex がなければ、本書の索引作成には重労働を強いられただろう。

L^AT_EX2e の機能拡張に用いたパッケージについては、一つ一つ名前をあげることもできないが、babel にはぜひとも言及しておきたい。このパッケージがなければ、フランス語と日本語の混在には、絶望的な手作業を強いられたに違いない。

これらの優れたフリーウェア・フリーフォントの開発および日本語化に携われた全ての人々に感謝する。

序章

◆ 本章の目標 ◆

- 外国語を学ぶにあたって注意すべきことを知る
- フランス語風にアルファベを発音できるようになる
- フランス語の綴り字と発音の原則を用例を含めて覚える

外国語を学ぶにあたって注意すべきこと。

- 教科書に目を通したり、練習問題を解いたりするのに、まとまった勉強時間を確保するのも大事ですが、隙間時間を利用することも重要です。変化表は単語は小さな紙に書いて持ち歩き、1日のうちに何度も確認するようにすると、暗記が進みます。
- 忘れてもがっかりしないでください。人間は忘れる動物です。何かを記憶に留めるには、忘れては覚えを繰り返すしかありません。新しいことを学ぶ前に、前回の内容を思い出してください。それで忘れていたら、もう一度覚えなおしてください。
- 練習問題は必ず利用してください。教科書を見ただけで覚えられる人は、それほど多くありません。もちろん、市販の他の問題集を用いても構いません。

音声ファイルについて

- 音声ファイルは名古屋大学の Christophe Garrabet 先生により作成されました。
- 音声ファイルは名古屋大学の学生のみが使用できます。第三者に譲渡することはできないので注意してください。
- フランス語初級文法-音声 (Sounds) は担当教員より指定のあったサイトからダウンロードできます。中の `soundtable.html` をブラウザで開ければ、音声へのリンクを利用して、クリックで音声再生を行うことができます。

アルファベ (alphabet) 覚えよう 音声：0-1

A, a	[a]	ア	N, n	[ɛn]	エヌ
B, b	[be]	ベ	O, o	[o]	オ
C, c	[se]	セ	P, p	[pe]	ペ
D, d	[de]	デ	Q, q	[ky]	キュ
E, e	[ə]	ウ	R, r	[ɛr]	エーる
F, f	[ɛf]	エフ	S, s	[ɛs]	エス
G, g	[ʒe]	ジェ	T, t	[te]	テ
H, h	[aʃ]	アシュ	U, u	[y]	ユ
I, i	[i]	イ	V, v	[ve]	ヴェ
J, j	[ʒi]	ジ	W, w	[dubløve]	ドゥブルヴェ
K, k	[ka]	カ	X, x	[iks]	イクス
L, l	[ɛl]	エル	Y, y	[igrɛk]	イグレク
M, m	[ɛm]	エム	Z, z	[zɛd]	ゼッドウ

使用する文字の数は英語と同じである。ただし、印刷の習慣により、oe や OE が並んだ場合には、œ, Œ のように、合字にする場合が多い（合字にしなくても構わない）。

記号付きの文字 音声：0-2

é	<i>e accent aigu</i>	[ə aksūtɛgy]	ウ	アクソンテギユ
à	<i>a accent grave (è, ù)</i>	[a aksū grɑ:v]	ア	アクソングラーフ
ü	<i>u tréma (ä, î, ë, ö)</i>	[y trema]	ユ	トゥレマ
â	<i>a accent circonflexe (î, ê, û, ô)</i>	[a aksū sircōfleks]	ア	アクソン スィるコンフレークス
ç	<i>c cédille</i>	[se sedij]	セ	セディーユ

フランス語では記号付きの文字が多発するが、これらの記号も文字の一部なので、勝手に省略してはいけない。日本語で「おばあさん」の「ば」についての濁点を省略してはならないのと同じである。ただし、大文字では記号を省略することが多い。なお、アクサン記号は基本的に発音に影響しない。例外は

- ç : 必ず [s] で読み、[k] にならない：Ça va? ^{サ ヴァ} 元気ですか
- é : 必ず [e] で読む：^{カフェ}café 喫茶店
- è : 必ず [ɛ] で読む：^{パティスィエーる}pâtissière 女性の菓子職人

フランス語の発音の原則を覚えよう

フランス語は、綴り字と発音の関係が極めて規則的である。したがって、初級文法の最初の数時間を発音の規則の解説だけにあてる場合も多い。しかし、本書では、綴り字と発音の関係は詳しくは解説しない。多数の例文や単語の発音を少しずつ覚えれば、規則は自然と身に付くし、また、ある程度、見知った単語や表現の蓄積があれば、規則の解説を読んでも、比較的簡単に頭に入るからである。最初は以下の規則だけしっかりと覚えること。 **音声：0-3**

◆ 実際に口を動かして、何度も発音して単語を覚えましょう！

1. 原則はローマ字読み。英語のように一つの綴りに複数の発音が対応することはまれである。
例：^{ディコ}dico 辞書, ^{イスイ}ici ここに, ^{マル}mal 痛み, ^{カフェ}café 喫茶店, ^{ジャポン}Japon 日本, ^{ビユー}pur 純粋な, (u は [y] ユを表す, [u] ウは ou で表す) ^{ボンジュール}Bonjour こんにちは, ^{サヴァ}Ça va? 元気ですか。
2. 単語末の子音文字は発音しない*。
例：^{パリ}Paris パリ, ^{アルファベ}alphabet アルファベット, ^{ルイ}Louis ルイ (男性の名前), ^{パティスィエ}pâtissier 男性菓子職人, ^{ショコラ}chocolat チョコレート。*例外：二音節以下の単語では、careful に含まれる子音文字 c, r, f, l は語末でも発音する場合が多い。→ 1。
3. アクサンが付いていない単語末の-e は発音しない。
例：^{フランス}France フランス, ^{マリ}Marie マリ (女性の名前), ^{ローズ}rose バラ, ^{マダム}madame マダム アクサンが付いていれば、エと読む ^{カフェ}café 喫茶店。
4. h は発音しない。
例：^{オテル}hôtel ホテル, ^{エロ}héros 英雄, ^アharmonie ハーモニー。
5. 単語のアクセントは発音する最後の母音にある。
例：^{ショコラ}chocolat チョコレート, ^{オテル}hôtel ホテル, ^{パリ}Paris パリ, ^{マダム}madame マダム, ^{ボンジュール}Bonjour こんにちは, ^{パティスィエ}pâtissier 男性菓子職人, ^{パティスィエ}pâtissière 女性の菓子職人 (単語の最後の-e は発音しないことに注意)。

◆ 本章末尾にカナ表記を除いた練習テキストがあります

フランス語の音声 — カタカナ表記と国際表音文字

◆ 丸暗記をする必要はありませんが、時間をかけて何度も読みましょう。

本書のカタカナ発音表記には、他の参考書や辞書とは異なった点がある。下記に表記の規則を記すとともに、国際表音文字によるフランス語の音声の解説を行う。なお、カタカナ発音には欠点が多い。カタカナは教師の発音を思い出すための手段に過ぎないことを肝に命じること。2-3年生以降は、発音記号を覚えることをお勧めする。

アクセント

本書ではアクセントを長音記号で示した。たとえば、オテールでは、テの上にアクセントがある。ジョリのように、長音記号がない場合には、最後の文字にアクセントを置き、リを強く発音しなければならない。ガるソンのように最後の文字がンの場合には、ソンを強く発音する。アクセントの位置は規則的なので、発音記号表記の際にはアクセントは示さないのが普通である。

母音 音声：0-4

1. [a] : 日本語表記「ア」とほぼ同じ。^{ガるソン}garçon 少年 [garsɔ̃]
2. [ɑ] : 日本語表記「ア」よりも舌が奥にある。[a] との違いはフランス人も意識していない。^{アージュ}âge 年齢 [ɑʒ]
3. [e] : 日本語表記「エ」よりも舌が前方にあり、口が左右に強く引っ張られる。^{エグリーズ}église 教会 [egliz]
4. [ɛ] : 日本語表記「エ」とほぼ同じ。^{ベル}belle 美しい [bɛl]
5. [o] : 日本語表記「オ」よりも舌が後方にあり、口が丸くすぼまる。^オeau 水 [o]
6. [ɔ] : 日本語表記「オ」とほぼ同じ。^{オム}homme 男 [ɔm]
7. [i] : 日本語表記「イ」よりも舌が前方にあり、口が左右に強く引っ張られる。^{リーヴ}livre 本 [livr]
8. [u] : 日本語表記「ウ」よりも舌が後方にあり、口が丸くすぼまる。^{クラージュ}courage 勇気 [kuraʒ]
9. [œ] : 口が丸く大きめに広げた「ウ」。舌は若干前へ。日本語表記「ウ」。^{ブール}beurre バター [boer]
10. [ø] : 口を丸くした、日本語の「ウ」。舌は若干前へ。日本語表記「ウ」。^{ウール}heureux 幸せな [øʁø]
11. [ə] : 日本語表記の「ウ」を弱く発音したもの。脱落することも多い。^{ムニユ}menu 定食 [m(ə)ny]
12. [y] : 日本語表記の「ユ」よりもめりはりのある強い音である。[i] から [u] に急速に変化させる。^{ユズイース}usine 工場 [yzin]

半母音／半子音 音声：0-5

1. [j] : [i] から次の母音へ急速に変化させる。日本語表記は小さな「ヤ」行。^{ピアノ}piano ピアノ [pjano]
2. [ɥ] : [y] から次の母音へ急速に変化させる。日本語表記「ユ」。^{ユイル}huile 油 [ɥil]
3. [w] : [u] から次の母音へ急速に変化させる。日本語表記「ウ」。^{ウイ}oui はい [wi]

鼻母音 音声：0-6

「アン」「オン」などと日本語表記されるが、実際には、母音を発音する際に、鼻からも若干の空気を出すことで、口腔だけでなく鼻腔にも共鳴させた母音である。原理的には、[ã] と [a] の違いは、[n] と [d] や、[m] と [b] の違いと同じである。ただし、鼻母音は口母音の時よりも口が狭まり狭音化する傾向がある。

1. [ã] : [a] を鼻に抜いた音。狭音化し、日本語の「オン」に近くなる（市販の参考書や辞書は「アン」などと表記している）。^{ジョーンズ} chance 幸運 [ʃãs]
2. [õ] : [o] を鼻に抜いた音。狭音化し、「オン」と日本語表記するが、「ウン」に近い。^{コンフィテュール} confiture ジャム [kõfityr]
3. [ɛ̃] : [ɛ] を鼻に抜いた音。狭音化し、日本語の「アン」に近くなる（市販の参考書や辞書は「エン」などと表記している）。^{パン} pain パン [pɛ̃]
4. [œ̃] : 本来、[œ] を鼻に抜いた音だが、現在では [ɛ̃] との違いをフランス人も意識していない。「アン」と日本語表記する。^{アン} un 一つの [œ̃]
5. [jɛ̃] : 半母音の [j] がついた [ɛ̃]。日本語の「ヤン」に近い。^{ビヤン} bien 良く [bjɛ̃]
6. [wɛ̃] : 半母音の [w] がついた [ɛ̃]。日本語の「ウワン」に近い。^{プワン} point 点 [pwɛ̃]

子音 音声：0-7

濁る音（有声子音）と濁らない音（無声子音）がある。各項目の最初の [] 内の、() 内は () 外の有声子音に対応する無声子音である（[m, n, ɲ, l, r] は対応する無声子音がない）。両者は舌の位置や口の形は、ほとんど変わらず、声帯が震えるかどうかだけが異なる。喉を触って振動を感じる音が有声子音である。

1. [d (t)] : 「ダ、デ、ド」「タ、テ、ト」の舌の位置を常に保ち続けること。[di],[du], [ti],[tu] は「ヂ」「ヅ」「チ」「ツ」よりも、舌が前方に来る（舌先が上前歯の付け根あたりに触れる）ので、「ディ」、「ドウ」、「ティ」、「トゥ」と日本語表記される。^{ディフィシル} difficile 難しい [difisil], ^{プチ} petit 小さな [p(ə)ti]
2. [g (k)] : [ga], [ca] で、日本語の「ガ」、「カ」の音とほぼ同じ。^{カフエ} garçon [garsõ], café 喫茶店 [kafe]
3. [z (s)] : [zi], [si] は日本語の「ジ」、「シ」よりも、舌が前方にある。「ズイ」、「スイ」、と表記される。同様に、[zu], [su] は日本語の「ジュ」、「シュ」よりも、舌が前方にあり、「ズユ」、「スユ」と表記される。なお、[zi], [zu] は日本語の「ジ」、「ジュ」のように舌が上顎に触れないようにすることも重要である。^{キュイジーヌ} cuisine 料理 [kɥizɛn], ^{ファシル} facile 簡単な [fasil], ^{ズエツ} zut ちえっ [n̥sɥœ̃] 不満を表す], ^{スー} sur ~の上に

4. [b (p)] : [ba], [pa] は日本語表記の「バ」「パ」よりも、しっかりと上下の唇をつけて、勢い良く離す。bon 良^{ボン}い [bō], pain パン^{パン} [pɛ̃]
5. [ʒ (ʃ)] : 日本語表記の「ジュ」、「シュ」よりも更に舌を前方に出し、上の歯と舌先の間に隙間を作り、そこから空気を強く出す。courage 勇気^{クラージュ} [kuraʒ], chance 幸運^{ショーン} [ʃɑ̃s]
6. [v (f)] : [fa] は、上の歯の下に下唇を巻き込んで、「ファ」と発音する。[va] は、「ヴァ」と表記される。revue 雑誌^{ルヴュ} [r(ə)vɥ], café 喫茶店^{カフェ} [kafɛ], Ça va? 元気ですか^{サヴァ} [sava]
7. [m] : [ma] は、日本語表記の「マ」よりも、しっかりと上下の唇をつけて、勢い良く離す。malade 病気の^{マラード}, [malad]
8. [n] : [na] は、日本語表記の「ナ」とほぼ同じ。nouveau 新しい^{ヌヴェオ} [nuvo]
9. [ɲ] : [ɲa] は、日本語表記の「ニャ」よりも舌が広い範囲で上あごに密着する（舌の前半分全体を密着させる感じで）。Espagnol スペイン人^{エスパニョール} [espagnol]
10. [l] : [l] は [na] と同じ位置に、より強く舌先を押し付ける。本書では「ラリルレロ」で表記する。livre 本^{リーヴル} [livr]
11. [r] : 喉びこに呼吸をあてる音。本書では「らりるれろ」で表記する。revue 雑誌^{ルヴュ} [r(ə)vɥ]

0.0.1 声を出して練習してみよう！

◆ 単語を全部覚えてしまうくらいに練習してください！

音声：0-8

1. 原則はローマ字読み。英語のように一つの綴りに複数の発音が対応することはまれである。
例：dico 辞書, ici ここに, mal 痛み, café 喫茶店, Japon 日本, pur 純粋な, (u は [y] ユを表す、[u] ウは ou で表す) Bonjour こんにちは, Ça va? 元気ですか。
2. 単語末の子音文字は発音しない。
例：Paris パリ, alphabet アルファベ, Louis ルイ (男性の名前), pâtissier 男性菓子職人, chocolat チョコレート。―― 例外：二音節以下の単語では、careful に含まれる子音文字 c, r, f, l は語末でも発音する場合が多い。sac バッグ, mer 海, chef コック, sel 塩
3. アクサンが付いていない単語末の-e は発音しない。
例：France フランス, Marie マリ (女性の名前), roseバラ, madame マダム アクサンが付いていれば、エと読む café 喫茶店。
4. h は発音しない。
例：hôtel ホテル, héros 英雄, harmonie ハーモニー。
5. 単語のアクセントは発音する最後の母音にある。
例：chocolat チョコレート, hôtel ホテル, Paris パリ, madame マダム, Bonjour こんにちは, pâtissier 男性菓子職人, pâtissière 女性の菓子職人 (単語の最後の-e は発音しないことに注意)。

Contents

			11
		3.6	第 03 章練習問題 47
第 1 章	名詞と冠詞		15
1.1	名詞 (nom) の性 (genre) と数 (nombre)		15
1.2	冠詞 (article)		17
1.3	Qu'est-ce que c'est ? . .		21
1.4	補足事項		22
1.5	覚えるべき新出単語 . . .		23
1.6	第 01 章練習問題		24
第 2 章	形容詞		27
2.1	形容詞 (adjectif) の性数 変化 (déclinaison)		27
2.2	形容詞の位置		30
2.3	属詞 (attribut) としての 形容詞		32
2.4	新出単語表		33
2.5	第 02 章練習問題		34
第 3 章	動詞 ÊTRE、前置詞と冠詞		41
3.1	人称代名詞 (pronom personnel) 主格形		41
3.2	ÊTRE の直説法現在 (in- dicatif présent)		42
3.3	前置詞 (préposition) と 定冠詞の縮約 (contrac- tion)		42
3.4	ÊTRE の用法		43
3.5	新出単語表		47
		第 4 章	AVOIR、疑問文と否定文 51
		4.1	AVOIR の直説法現在 . . . 51
		4.2	AVOIR の用法 51
		4.3	疑問文 (phrase inter- rogative) 53
		4.4	否定文 (phrase négative) 55
		4.5	疑問文への返答と複合倒 置疑問文 57
		4.6	新出単語 58
		4.7	第 04 章練習問題 59
		4.8	基数詞 (0-50) 息抜きの コーナーです 66
		第 5 章	第一群規則動詞 67
		5.1	第一群規則動詞の変化 (conjugaison) 67
		5.2	子音で始まる第一群規則 動詞 68
		5.3	第一群規則動詞活用表 (基本動詞 1) 69
		5.4	例文集 73
		5.5	新出単語 75
		5.6	第 05 章練習問題 76
		5.7	基数詞 (51-100) 息抜き のコーナーです 80
		第 6 章	第一群規則動詞と疑問 文・否定文 81
		6.1	第一群規則動詞 (基本動 詞 2) 81
		6.2	第一群規則動詞の否定文 と疑問文 83
		6.3	新出単語 85
		6.4	第 06 章練習問題 85

第 7 章	指示形容詞・第二群規則動詞と rendre 型動詞	89	第 10 章	叙法動詞・複合過去	125
7.1	指示形容詞 (adjectif démonstratif)	89	10.1	叙法動詞	125
7.2	第二群規則動詞の直説法現在	90	10.2	叙法動詞の例文	126
7.3	RENDRE 型動詞の直説法現在	91	10.3	過去分詞の作り方	127
7.4	例文	92	10.4	過去分詞の用法と性数変化	128
7.5	新出単語	93	10.5	複合過去の助動詞	130
7.6	第 07 章練習問題	94	10.6	助動詞に AVOIR を用いた複合過去	131
第 8 章	ALLER, VENIR・否定文と疑問文	97	10.7	助動詞に ÊTRE を用いた複合過去	131
8.1	ALLER, VENIR の直説法現在	97	10.8	新出単語	132
8.2	ALLER と VENIR の基本的用法	97	10.9	第 10 章練習問題	133
8.3	ALLER と VENIR の特殊な用法	99	第 11 章	FAIRE, PRENDRE, METTRE・複合過去	139
8.4	ALLER, VENIR の否定文と疑問文	100	11.1	FAIRE, PRENDRE, METTRE	139
8.5	新出単語	102	11.2	新出動詞の例文	140
8.6	第 08 章練習問題	103	11.3	複合過去の語順	141
第 9 章	VENIR 型動詞・人称代名詞	109	11.4	人称代名詞目的格形と過去分詞の性数一致	142
9.1	VENIR 型動詞	109	11.5	複合過去の用法	142
9.2	VENIR 型動詞の用例	110	11.6	新出単語	144
9.3	格の概念	110	11.7	付録：網羅的例文	144
9.4	人称代名詞の格変化	112	11.8	第 11 章練習問題	148
9.5	人称代名詞の位置	113	第 12 章	代名動詞、特殊な-er 動詞	153
9.6	目的格形の語順	114	12.1	代名動詞 (verbe pronominal)	153
9.7	新出単語	116	12.2	代名動詞の用法	155
9.8	付録：網羅的例文	116	12.3	代名動詞の否定文と倒置疑問文	158
9.9	第 09 章練習問題	119	12.4	代名動詞の複合過去	158
9.10	基数詞 (101 以上)	124	12.5	特殊な第一群規則動詞	159
			12.6	特殊な第一群規則動詞参考例文	163

12.7	付録：代名動詞の網羅的 例文	164	16.4	直説法半過去の用法 . . .	217
12.8	新出単語	168	16.5	直説法大過去の用法 . . .	219
12.9	第 12 章練習問題	168	16.6	現在分詞	220
第 13 章	不規則動詞・所有形容詞・ 非人称動詞	175	16.7	新出単語	222
13.1	OUVRIR, PARTIR 型の 動詞	175	16.8	第 16 章練習問題	222
13.2	所有形容詞	177	第 17 章	最上級・比較級・受動態・ 不定代名詞 ON	225
13.3	非人称表現	181	17.1	BOIRE・ÉCRIRE	225
13.4	新出単語	183	17.2	比較級 (comparatif) . .	226
13.5	第 13 章練習問題	183	17.3	最上級	228
第 14 章	関係詞 (1)	189	17.4	特殊な最上級と比較級 .	229
14.1	関係詞の基本―― (1) . .	189	17.5	受動態と ON	230
14.2	関係詞の基本―― (2) . .	191	17.6	新出単語	231
14.3	補足：複合過去における 先行詞と過去分詞の性数 一致	196	17.7	第 17 章練習問題	231
14.4	新出単語	196	第 18 章	直説法単純未来と前未 来・否定表現	235
14.5	補足：関係詞を含む文を 読もう	196	18.1	RIRE・RECEVOIR・ VOIR の直説法現在 . . .	235
14.6	第 14 章練習問題	198	18.2	単純未来の活用	236
第 15 章	指示代名詞・関係詞 (2)	203	18.3	否定表現	244
15.1	指示代名詞	203	18.4	新出単語	245
15.2	関係副詞 où と先行詞を 含む関係詞	204	18.5	第 18 章練習問題	245
15.3	新出単語	207	第 19 章	疑問詞 (1)・命令法	249
15.4	第 15 章練習問題	207	19.1	CONNAÎTRE・ PARAÎTRE・PLAIRE の直説法現在	249
第 16 章	直説法半過去・大過去・ 現在分詞	213	19.2	命令法	250
16.1	CONDUIRE・LIRE . .	213	19.3	疑問代名詞・名詞を従え る疑問詞	252
16.2	直説法半過去の作り方 .	214	19.4	新出単語	257
16.3	直説法大過去の作り方 .	216	19.5	第 19 章練習問題	257
			第 20 章	疑問詞 (2)・中性代名詞	261
			20.1	疑問詞	261

20.2	中性代名詞	264	23.7	新出単語	317
20.3	新出単語	267	23.8	第 23 章練習問題	317
20.4	第 20 章練習問題	268			
第 21 章	条件法・話法	273	索引		321
21.1	DIRE の直説法現在	273	第 24 章	単語帳	325
21.2	条件法の活用	274	24.1	A	325
21.3	条件法の用法	280	24.2	B	326
21.4	話法	282	24.3	C	326
21.5	新出単語	285	24.4	D	327
21.6	第 21 章練習問題	286	24.5	E	328
第 22 章	時制の一致・間接疑問文・不定法	289	24.6	F	328
22.1	時制の一致	289	24.7	G	329
22.2	間接疑問文	293	24.8	H	329
22.3	参考：不定法	295	24.9	I	329
22.4	第 22 章練習問題	297	24.10	J	330
第 23 章	接続法・単純過去・前過去	303	24.11	L	330
23.1	CROIRE の直説法現在	303	24.12	M	330
23.2	接続法現在と過去の変化	303	24.13	N	331
23.3	接続法の用法	308	24.14	O	331
23.4	接続法の時制の一致	310	24.15	P	331
23.5	補足：接続法半過去と大過去	312	24.16	Q	332
23.6	補足：直説法単純過去・前過去	313	24.17	R	333
			24.18	S	333
			24.19	T	334
			24.20	U	334
			24.21	V	334
			24.22	Y	335

第1章

名詞と冠詞

◆ 本章の目標 ◆

- 名詞の男性・女性、単数・複数、加算・不加算の概念を理解する
- 冠詞の変化表を覚える
- 名詞に適切な冠詞をつけられるようになる
- エリジョン、リエゾン、アンシェーナマンをある程度理解する
- 簡単なフランス語の文章を発音してみる

名詞は、様々な生物、非生物、概念などにつけられた名前である。冠詞はそうした名詞の前に付き、名詞がもつ意味合いや名詞の機能を限定する働きをもつ。

1.1 名詞 (nom) の性 (genre) と数 (nombre)

名詞は二つの基準により分類される。性と数である。性には男性と女性の区別があり、数には可算と不可算の区別、さらに可算の下位に単数と複数の区別がある。

したがって、名詞は性と数により六種類に分類される。

		男性	女性
可算	単数		
	複数		
不可算			

1.1.1 男性名詞 (nom masculin) と女性名詞 (nom féminin)

音声：1-1

◆ 実際に単語を何度も発音しましょう。

男性名詞			女性名詞		
がるソン garçon 少年	リーヴル livre 本	クレヨン crayon 鉛筆	フィユ fille 少女	ルヴェ revue 雑誌	ターブル table テーブル

- フランス語の名詞には男性と女性の区別がある。
- 名詞の性は習慣によって決まっているので、いちいち覚えるほかには、区別のしようがない。→ -e で終わっている名詞は比較的女性が多いので、男性名詞の場合は意識して、覚えると良い

1.1.2 可算 (comptable) と不可算 (non-comptable)

音声：1-2 ♣ 実際に単語を何度も発音しましょう。

不可算名詞	男性名詞	<small>パン</small> pain	<small>ブール</small> beurre	<small>クラージュ</small> courage
	女性名詞	<small>パン ヴィオーンドゥ</small> viande	<small>バター コンフィテユール</small> confiture	<small>勇気 シヨーンヌ</small> chance
可算名詞	男性名詞	<small>ガールソン</small> garçon	<small>リーヴル</small> livre	<small>クレヨン</small> crayon
	女性名詞	<small>少年 フィユ</small> fille	<small>本 ルヴュ</small> revue	<small>鉛筆 ターブル</small> table
		<small>肉</small>	<small>ジャム</small>	<small>幸運</small>
		<small>少女</small>	<small>雑誌</small>	<small>テーブル</small>

不可算名詞は、次の二つの特徴の、少なくとも一方で、おおむね判断できる。

- 一個、二個と数えられない。
- 半分にしても性質が変わらない。

1.1.3 単数 (nombre singulier) と複数 (nombre pluriel)

音声：1-3 ♣ 単複で発音が変わらないことに注意！

単数形	garçon	livre	crayon	fille	revue	table
複数形	garçons	livres	crayons	filles	revues	tables
	<small>ガールソン</small>	<small>リーヴル</small>	<small>クレヨン</small>	<small>フィユ</small>	<small>ルヴュ</small>	<small>ターブル</small>

- 複数形は単数形に-s をつけて作る。
- 単数形と複数形の発音はまったく同じ。

1.2 冠詞 (article)

1.2.1 非限定の冠詞 (article indéfini)

音声：1-4 ♣ 書いて覚える前に、変化表を見ずに言えるようになりましょう。

		男性	女性	不定冠詞
可算	単数	アン un	ユヌ une	
	複数	デ des		
不可算		デュ du (de l')	ドゥ ラ de la (de l')	部分冠詞

NB: de l'については、次のセクションでのべる。

不定冠詞 (article indéfini)

音声：1-5 ♣ 実際に単語を何度も発音しましょう。

■ 不定冠詞男性単数形 : 男性単数名詞につく

アン ガルソン アン リーヴル アン クレヨン
un garçon un livre un crayon

■ 不定冠詞女性単数形 : 女性単数名詞につく

ユヌ フィーユ ユヌ るヴ ユヌ ターブル
une fille une revue une table

■ 不定冠詞複数形 : 男性複数名詞と女性複数名詞につく

デ ガルソン デ リーヴル デ クレヨン
des garçons des livres des crayons
デ フィーユ デ るヴ デ ターブル
des filles des revues des tables

部分冠詞 (article partitif)

音声：1-6 ♣ 実際に単語を何度も発音しましょう。

■ 部分冠詞男性形 : 不可算の男性名詞につく

デュ パン デュ ブール デュ クラージュ
du pain du beurre du courage

■ 部分冠詞女性形 : 不可算の女性名詞につく

ドゥ ラ ヴィオンドゥ ドゥ ラ コンフィテュール ドゥ ラ ショーンヌ
de la viande de la confiture de la chance

1.2.2 限定の冠詞 (article défini)

音声：1-7 ♣ 書いて覚える前に、変化表を見ずに言えるようになりましょう。

		男性	女性		
可算	単数	^ル le (l')	^ラ la (l')	定冠詞	
	複数	^レ les			
不可算		^ル le (l')	^ラ la (l')		

NB: (l')については、次のセクションで述べる。20頁

可算名詞につく定冠詞

音声：1-8 ♣ 実際に単語を何度も発音しましょう。

■ 定冠詞男性単数形 : 男性単数名詞につく

^ル ガルソン ^ル リーヴル ^ル クレヨン
le garçon *le livre* *le crayon*

■ 定冠詞女性単数形 : 女性単数名詞につく

^ラ フィーユ ^ラ るヴェ ^ラ ターブル
la fille *la revue* *la table*

■ 定冠詞複数形 : 男性複数名詞と女性複数名詞につく

^レ ガルソン ^レ リーヴル ^レ クレヨン
les garçons *les livres* *les crayons*
^レ フィーユ ^レ るヴェ ^レ ターブル
les filles *les revues* *les tables*

不可算名詞につく定冠詞

音声：1-9 ♣ 実際に単語を何度も発音しましょう。

■ 不可算名詞につく単数形 : 不可算名詞に対しては、男性単数形と女性単数形を流用する。これは非限定の冠詞以外の名詞に関わる語（品質形容詞、指示形容詞、所有形容詞）全てに当てはまる。

^ル パン ^ル ブー ^ル クラージュ
le pain *le beurre* *le courage*
^ラ ヴィオーンドゥ ^ラ コンフィテュール ^ラ ショーンス
la viande *la confiture* *la chance*

1.2.3 限定 (détermination) と非限定 (indétermination)

ある名詞に非限定の冠詞がつくのは、その名詞が指すものが、話し手と聞き手の双方にとって、

- 特定の個体ではない
- まだ、話題になっていない

という二つの条件がそろった場合である。つまり、

$un\ livre \Leftarrow \text{かつ}$
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{話し手もしくは聞き手にとって、どの本の} \\ \text{ことなのかがわからない。} \\ \text{その本が、まだ話題になったことがない。} \end{array} \right.$

$le\ livre \Leftarrow \text{または}$
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{話し手にも聞き手にも、どの本のことが} \\ \text{が、わかっている。} \\ \text{その本が、すでに話題になった。} \end{array} \right.$

以上の基準により、非限定の冠詞が、限定の冠詞に置き換わる。この二つの冠詞の系列は、下記の通り、それぞれの変化形が対応関係を持つ。それぞれの変化表を独立して覚えるだけでなく、両者の対応関係を十分に意識すること。

un garçon ⇒ le garçon	des garçons ⇒ les garçons
un livre ⇒ le livre	des livres ⇒ les livres
une revue ⇒ la revue	des revues ⇒ les revues
une fille ⇒ la fille	des filles ⇒ les filles
du courage ⇒ le courage	
du beurre ⇒ le beurre	
de la chance ⇒ la chance	
de la confiture ⇒ la confiture	

NB: 不可算名詞には複数がありえないことに注意

1.2.4 母音 (voyelle) で始まる名詞と冠詞

◆ 一度に覚えてしまう必要はありません。

アンシェーナマン (enchâînement) ^{オンシェーナモン} *ただし、文法用語としては「アンシェーナマン」が定着している

une の後の名詞が母音で始まる場合、une [yn] と後に続く名詞を一続きに発音する

音声：1-10

^{ユネグリーズ}
une église [y^hnegliz]
教会

^{ユネトゥワール}
une étoile [y^hnetwal]
星

*はアンシェヌマンを表す記号で、通常は書くことはありません。

練習

^{イール} une île 島
^{アミ} une amie 女友達
^{ユズイース} une usine 工場
^{エコール} une école 学校

リエゾン (liaison) 1

un の後の名詞が母音で始まる場合、un [œ̃] を [œ̃n] と発音し、後の名詞と一続きに発音する。

音声：1-11

^{アンノーム}
un homme [œ̃n^hɔm]
男の人

^{アンノテール}
un hôtel [œ̃n^hɔtɛl]
ホテル

*はリエゾンを表す記号で、通常は書くことはありません。

練習

^{アミ} un ami 男友達
^{イタリヤン} un Italien イタリア人
^{エスパニョール} un Espagnol スペイン人
^{ウーフ} un œuf 卵

リエゾン (liaison) 2

des, les の後の名詞が母音で始まる場合、普段は発音しない des, les の語末の-s を [z] と発音し、後の名詞と一続きに発音する。

音声：1-12

^{デゾーム}
des hommes [dez^hɔm]
男の人

^{デゼグリーズ}
des églises [dez^hegliz]
教会

*はリエゾンを表す記号で、通常は書くことはありません。

練習

^{オテール} des hôtels ホテル
^{アミ} des amis 男友達
^{イタリヤン} les Italiens イタリア人
^{エスパニョール} les Espagnols スペイン人

^{イール} des îles 島
^{アミ} des amies 女友達
^{エコール} les écoles 学校
^{エトゥワール} les étoiles 星

エリジョン (élision) ^{エリズイオン} 1 文法用語としてはエリジョンが定着してる。

du, de la の後の名詞が母音で始まる場合、de l' と綴り、[dɔl] として、後の名詞と一続きに発音する。

音声：1-13

^{ドゥ ラルジョン} de l'argent [dɔlarʒɑ̃] (× du argent)
^{ドゥ ロ} de l'eau [dɔlo] (× de la eau)

^{ドゥ レー} de l'air [dɔlɛr]
^{ドゥ リエイール} de l'huile [dɔlɥil]

練習

de l'ail ^{アージュ} de l'honneur ^{オヌー} de l'aide ^{エードゥ} de l'horreur ^{オルー}
 (男) ニンニク (男) 名誉 (女) 助け (女) 恐怖

エリジョン (élision) 2

le, la の後の名詞が母音で始まる場合、l' と綴り、[l] として、後の名詞と一続きに発音する。

音声：1-14

l'homme [lɔ̃m] (× le homme) ^{ローム} l'église [leɡliz] (× la église) ^{レグリーズ}

練習

l'hôtel ^{オテル} l'argent ^{アールジョン} l'air ^{エー} l'église ^{エグリーズ} l'huile ^{ユイール} l'eau ^オ
 ホテル お金 空気 教会 油 水

1.3 Qu'est-ce que c'est ?

◆ せっかくだすから、フランス語の文章を言えるようになりましょう。文章の前に、番号を言います。無視しても構いませんが、興味のある人は、フランス語の数字は 66 頁を参照してください。

音声：1-15

- ① ^{ケス ク セ} **Qu'est-ce que c'est ?**
 これは何ですか。
- ② ^{セタン リーヴ} **C'est un livre.**
 これは一冊の本です。
- ③ ^{セ テュヌ るヴ} **C'est une revue.**
 これは一冊の雑誌です。
- ④ ^{セ デュ パン} **C'est du pain.**
 これはパンです。
- ⑤ ^{ス ソン デ クレヨン} **Ce sont des crayons.**
 これは何本かの鉛筆です。
- ⑥ ^{セル リーヴ ドゥ ピエー} **C'est le livre de Pierre.**
 これはピエールの本です。
- ⑦ ^{セ ラールジョン ドゥ ピエー} **C'est l'argent de Pierre.**
 これはピエールのお金です。
- ⑧ ^{ス ソン レ リーヴ ドゥ ピエー} **Ce sont les livres de Pierre.**
 これはピエールの本 (複数) です。

イリヤ アン リーヴル スユル ラ ターブル

⑨ **Il y a un livre sur la table.**

テーブルの上に本が一冊ある。

イリヤ デ リブス スユル ラ ターブル

⑩ **Il y a des livres sur la table.**

テーブルの上に本が何冊かある。

c'est の後には単数名詞や不可算名詞が来る。ce sont の後には複数名詞が来る。一方、Qu'est-ce que c'est ? や il y a には単数形と複数形の区別はない。

c'est は後に来る、un, une とリエゾンして、c'est ^{セ タ ン} un, c'est ^{セ テ ユ ス} une と発音するのが普通である。

de は所有を表す前置詞で、英語の of に近い。sur は場所を表す前置詞で、英語の on に近い。

1.4 補足事項

◆ 以下は、今すぐに覚える必要はありません。将来の学習のための記述です。

1.4.1 特殊な複数形

多くの名詞は単数形に-s をつけることで、複数形を作ることができるが、この規則に従わない名詞も少なくない。以下のような例外的な扱いをうける名詞は、少しずつ覚えていくしかない。

単数形が-s, -x, -z で終わる場合

複数形は単数形と同じ形になる。

アン フィス un fils	⇒	デ フィス des fils	ユヌ クルワ une croix	⇒	デ クルワ des croix	アン ネ un nez	⇒	デ ネ des nez
息子			十字架			鼻		

単数形が-au, -eau, -eu で終わる場合

複数形には-x を付ける。

アン クト un couteau	⇒	デ クト des couteaux
ナイフ		

単数形が-al で終わる場合

複数形では-al を-aux に変える。

アナニマル un animal	⇒	デザニモ des animaux
動物		

その他

アン トラヴァーユ デ トラヴォー
un travail ⇒ des travaux

仕事

アヌフ デズ
un œuf [œnœf] ⇒ des œufs [dezø]

卵

アン ブーフ デ ブ
un bœuf [œ bœf] ⇒ des bœufs [de bø]

牛

アン シュ デ シュ
un chou ⇒ des choux

キャベツ

アヌーユ デズユ
un œil ⇒ des yeux

目

1.4.2 可算名詞と不可算名詞

多くの名詞は、可算名詞の用法と不可算名詞の用法の両方をもつ。どちらの用法で用いられているのかを知る、重要な手がかりとなるのは、冠詞である。

アン ブーフ デュ ブ
un bœuf ⇒ du bœuf

牛

ル ブーフ レ ブ
le bœuf ⇒ les bœufs

牛肉

アン ヴェーユ デュ ヴェーユ
un verre ⇒ du verre

グラス

ル ヴェーユ レ ヴェーユ
le verre ⇒ les verres

グラス

グラス

レ ヴェーユ

グラス

とはいえ、le bœuf や le verre には、「特定の一頭の牛」、「特定の一つのグラス」の意味もあるので、ある名詞が可算名詞と不可算名詞のいずれの用法で用いられているのかを、冠詞だけで決定するのは不可能である。文脈や他の語の用法なども考慮して、決定しなければならない場合も少なくない。

1.5 覚えるべき新出単語

音声：1-16

ガールソン
① garçon
[男性] 少年

オム
④ homme
[男性] 男の人

ルヴュ
⑦ revue
[女性] 雑誌

エグリーズ
⑩ église
[女性] 教会

クラージュ
⑬ courage
[男性] 勇気

リーヴル
② livre
[男性] 本

オテール
⑤ hôtel
[男性] ホテル

ターブル
⑧ table
[女性] テーブル

パン
⑪ pain
[男性] パン

ヴィオーンド
⑭ viande
[女性] 肉

クレヨン
③ crayon
[男性] 鉛筆

フィユ
⑥ fille
[女性] 少女

エトワール
⑨ étoile
[女性] 星

ブーユ
⑫ beurre
[男性] バター

コンフィテューユ
⑮ confiture
[女性] ジャム

⑬ chance
[女性] 幸運

⑭ eau
[女性] 水

⑮ argent
[男性] お金

⑯ huile
[女性] 油

⑰ air
[男性] 空気、風

1.6 第01章練習問題

1.6.1 次の単語に限定の冠詞（単数形）をつけて、三回書け。意味と発音を思い出しながら書くこと。解答は 18 頁と 21 頁

定冠詞単数形：le, la

① garçon
[男性] 少年

② fille
[女性] 少女

③ pain
[男性] パン

④ viande
[女性] 肉

⑤ livre
[男性] 本

⑥ revue
[女性] 雑誌

⑦ beurre
[男性] バター

⑧ confiture
[女性] ジャム

⑨ crayon
[男性] 鉛筆

⑩ table
[女性] テーブル

⑪ courage
[男性] 勇気

⑫ chance
[女性] 幸運

エリズィオンした定冠詞：l'

⑬ homme
[男性] 男の人

⑭ étoile
[女性] 星

⑮ argent
[男性] お金

⑯ huile
[女性] 油

⑰ hôtel
[男性] ホテル

⑱ église
[女性] 教会

⑲ air
[男性] 空気、風

⑳ eau
[女性] 水

1.6.2 次の単語に非限定の冠詞（単数形）をつけて、三回書け。発音を思い出しながら書くこと。解答は 17 頁と 20 頁

不定冠詞単数形：un, une

① [男性] 少年
④ [男性] 男の人
⑦ [女性] 雑誌
⑩ [女性] 教会

② [男性] 本
⑤ [男性] ホテル
⑧ [女性] テーブル

③ [男性] 鉛筆
⑥ [女性] 少女
⑨ [女性] 星

部分冠詞：du, de la

⑪ [男性] パン

⑫ [男性] バター

⑬ [男性] 勇気

⑭ [女性] 肉

⑮ [女性] ジャム

⑯ [女性] 幸運

エリズィオンした部分冠詞：de l'

⑰ [男性] お金

⑱ [男性] 空気、風

⑲ [女性] 水

⑳ [女性] 油

1.6.3 次の単語に不定冠詞と定冠詞の複数形をつけ、発音を思い出しながら、三回ずつ書け。解答は 18 頁、17 頁、20 頁

定冠詞複数形：les

① garçons ② livres ③ crayons

④ filles ⑤ revues ⑥ tables

不定冠詞複数形：des

① garçons ② livres ③ crayons

④ filles ⑤ revues ⑥ tables

定冠詞複数形：les：リエゾンに注意！

① hommes ② hôtels ③ étoiles

④ églises

不定冠詞複数形：des：リエゾンに注意！

① hommes ② hôtels ③ étoiles

④ églises

1.6.4 次の文章の空欄を補え。

① ?

これは何ですか。

② un livre.

これは一冊の本です。

③ une revue.

これは一冊の雑誌です。

④ du pain.

これはパンです。

⑤ des crayons.

これは何本かの鉛筆です。

- ⑥ le livre de Pierre.
これはピエールの本です。
- ⑦ l'argent de Pierre.
これはピエールのお金です。
- ⑧ les livres de Pierre.
これはピエールの本（複数）です。
- ⑨ un livre sur la table.
テーブルの上に本が一冊ある。
- ⑩ des livres sur la table.
テーブルの上に本が何冊かある。

1.6.5 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Qu'est-ce que c'est ?
- ② C'est un livre.
- ③ C'est une revue.
- ④ C'est du pain.
- ⑤ Ce sont des crayons.
- ⑥ C'est le livre de Pierre.
- ⑦ C'est l'argent de Pierre.
- ⑧ Ce sont les livres de Pierre.
- ⑨ Il y a un livre sur la table.
- ⑩ Il y a des livres sur la table.

1.6.6 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① これは何ですか。
- ② これは一冊の本です。
- ③ これは一冊の雑誌です。
- ④ これはパンです。
- ⑤ これは何本かの鉛筆です。
- ⑥ これはピエールの本です。
- ⑦ これはピエールのお金です。
- ⑧ これはピエールの本（複数）です。
- ⑨ テーブルの上に本が一冊ある。
- ⑩ テーブルの上に本が何冊かある。

第2章

形容詞

◆ 本章の目標 ◆

- 形容詞の性数変化表を覚える（規則的なものから、例外へと段階を踏んで！）
- 形容詞と名詞の性数一致を理解する
- 形容詞と名詞の位置関係を理解する（前につく形容詞を覚える）

形容詞とは名詞に修飾を加える働きを持つ語である。名詞で表されるものの性質や状態などを示すのが、形容詞の働きである。通常、形容詞は名詞以外のものを修飾できない。したがって、形容詞と名詞は非常に深い関係がある。

2.1 形容詞 (adjectif) の性数変化 (déclinaison)

形容詞は、修飾を加える相手となる名詞の、性と数に応じて形を変える。こうした変化を性数変化と言い、名詞に応じて変化を行うことを性数一致と呼ぶ。**なお、形容詞の不可算形は常に単数形と同じ形なので、以下の変化表では、不可算形を省略する。**

2.1.1 形容詞の規則変化

◆ 男性単数、男性複数、女性単数、女性複数の順に何度も発音しましょう

◆ 変化表を発音で覚えてから、綴りを覚えるようにしましょう

音声：2-1

FORT (強い)			IMPORTANT (重要な)		
	男性	女性		男性	女性
単数	fort	forte	単数	important	importante
複数	forts	fortes	複数	importants	importantes
	フォー	フォー		アンボルトン	アンボルトン

INTÉRESSANT (面白い)			CONTENT (満足な)		
	男性	女性		男性	女性
単数	intéressant	intéressante	単数	content	contente
複数	intéressants	intéressantes	複数	contents	contentes
	アンテれソン	アンテれゾートゥ		コントン	コントートゥ

GRAND (大きな)			PETIT (小さな)		
	男性	女性		男性	女性
単数	grand	grande	単数	petit	petite
複数	grands	grandes	複数	petits	petites
	グラン	グランドゥ		プティ	プティートゥ

■形容詞規則変化の特徴

- **複数の-sは発音に影響を与えない** (単数形と複数形は、常に発音が同じ)。
- **男性形と女性形は通常発音が異なる** (男性形で通常発音されない語末の子音字が女性形では発音される)。

二つ目の点については、例外も少なくない。男性単数形が、母音字で終わる形容詞や、発音される子音字で終わる場合には、男性形も女性形も、発音が同じになる。

音声：2-2

JOLI (きれいな)			CLAIR (明るい)		
	男性	女性		男性	女性
単数	joli	jolie	単数	clair	claire
複数	jolis	jolies	複数	clairs	claires
	ジョリ	ジョリ		クレール	クレール

2.1.2 形容詞の不規則変化

形容詞には不規則変化するものも少なくない。日常よく使う形容詞ほど不規則変化をするので、少しずつでも、覚えていく必要がある。なお、**どんな不規則変化をする形容詞でも、女性複数形は、常に、女性単数形に-sをつけて作る。**

男性単数形が-eで終わっている形容詞

男性単数形が-eで終わっている場合、**男性形と女性形は同じ形になる。**

音声：2-3

DIFFICILE (難しい)			FACILE (簡単な)		
	男性	女性		男性	女性
単数	difficile	<i>difficile</i>	単数	facile	<i>facile</i>
複数	difficiles	<i>difficiles</i>	複数	faciles	<i>faciles</i>
	ディフィスィール	ディフィスィール		ファスィール	ファスィール

RICHE (金持ちの)			PAUVRE (貧乏な)		
	男性	女性		男性	女性
単数	riche	<i>riche</i>	単数	pauvre	<i>pauvre</i>
複数	riches	<i>riches</i>	複数	pauvres	<i>pauvres</i>
	リーシュ	リーシュ		ポーヴル	ポーヴル

MALADE (病気の)		
	男性	女性
単数	malade	<i>malade</i>
複数	malades	<i>malades</i>
	マラードゥ	マラードゥ

男性単数形が-s, -x で終わっている形容詞

男性単数形が-s や-x (語末では-s と等価) で終わっている場合、**男性単数形と男性複数形は同じ形になる。**

MAUVAIS (悪い)		
	男性	女性
単数	mauvais	mauvaise
複数	<i>mauvais</i>	mauvaises
	モヴェ	モヴェーズ

音声：2-4

男性単数形が-en, -on で終わっている場合

男性単数形が-en, -on で終わっている場合、**女性形では、n が nn になる。**

BON (良い)			ANCIEN (古い)		
	男性	女性		男性	女性
単数	bon	<i>bonne</i>	単数	ancien	<i>ancienne</i>
複数	bons	<i>bonnes</i>	複数	anciens	<i>anciennes</i>
	ボン	ボヌ		オンスィヤン	オンスィエヌ

音声：2-5

2.2 形容詞の位置

形容詞が名詞に直接修飾を加える場合、形容詞を置く位置には二通りある。名詞の前と名詞の後である。ある形容詞が、名詞の前に来るか、後に来るかは、実は、それほど簡単には決められない。名詞の前後に自由につく形容詞、位置により意味の変わる形容詞もある。当面は、名詞の前につくのが原則とされる形容詞以外は、名詞の後につくと考えるとよい。名詞の前につくのが普通の形容詞は、ごく少数派で、十数個しかない。とはいえ、これらの形容詞は、日常良く使われるので、不規則変化するものも含めて、暗記する必要がある。

2.2.1 通常、名詞の後につく形容詞 音声：2-6

セ タン リーヴル アンテれソ
① C'est un livre **intéressant**.

これはおもしろい本だ。

セ テュヌ るヴュ アンテれソート
② C'est une revue **intéressante**.

これはおもしろい雑誌だ。

ス ソン デ リーヴル アンテれソ
③ Ce sont des livres **intéressants**.

これらはおもしろい本だ。

ス ソン デ るヴュ アンテれソート
④ Ce sont des revues **intéressantes**.

これらはおもしろい雑誌だ。

* c'est_un, c'est_une とリエゾンすることに注意

音声：2-7 規則変化するもの

フォー
① **fort**
強い

アンボるトーン
② **important**
重要な

アンテれソ
③ **intéressant**
おもしろい

コントーン
④ **content**
満足な

音声：2-8 不規則変化するもの

ディフイスィール
① **difficile**
難しい

ファスィール
② **facile**
優しい

リーシュ
③ **riche**
金持ちの

ポーヴル
④ **pauvre**
貧乏な

マラード
⑤ **malade**
病気の

ウ
⑥ **heureux**
幸福な

* c'est_un, c'est_une とリエゾンすることに注意

NB: difficile, facile, riche, pauvre, malade は男性単数形が-e で終わっている形容詞である（前節参照）。

HEUREUX (幸せな)		
	男性	女性
音声：2-9	単数	heureux / heureuse
	複数	heureux / heureuses
		うる / うるーズ

2.2.2 通常、名詞の前につく形容詞

音声：2-10 ◆こちらが少数派なので、「前につく」ことを意識して覚えます

- セ タン グラントテル
⑤ C'est un **grand** hôtel.
これは大きなホテルだ。
- セ テュヌ グラウンデグリーズ
⑥ C'est une **grande** église.
これは大きな教会だ。
- ス ソン ドゥ グロンゾテル
⑦ Ce sont de **grands** hôtels.
これらは大きなホテルだ。
- ス ソン ドゥ グラウンドゥゼグリーズ
⑧ Ce sont de **grandes** églises.
これらは大きな教会だ。

NB: 形容詞の前では不定冠詞の des は、通常、de になる。この de は、母音で始まる語の前では d' になる。間違っても減点の対象にはなりません。非限定の冠詞の変化表をしっかりと覚えていれば十分です。

音声：2-11 規則変化するもの

- ① ^{グラーン} grand
大きな
- ② ^{プチ} petit
小さな
- ③ ^{ジョリ} joli
きれいな

音声：2-12 不規則変化するもの

- ① ^{ボン} bon
良い
- ② ^{モヴェ} mauvais
悪い
- ③ ^{グロ} gros
太い
- ④ ^ボ beau
美しい
- ⑤ ^{ヌヴォ} nouveau
新しい
- ⑥ ^{ヴィウ} vieux
古い、年老いた

NB: mauvais は男性単数形が-s で終わっている形容詞であり、bon は男性単数形が-en, -on で終わる形容詞である（前節参照）。

音声：2-13

音声：2-14

GROS (太い)			NOUVEAU (NOUVEL) (新しい)		
	男性	女性		男性	女性
単数	gros	grosse	単数	nouveau (nouvel)	nouvelle
複数	gros	grosses	複数	nouveaux	nouvelles
	グロ	グロス		ヌヴェ	ヌヴェール

BEAU (BEL) (美しい)			VIEUX (VIEIL) (古い)		
	男性	女性		男性	女性
単数	beau (bel)	belle	単数	vieux (vieil)	vieille
複数	beaux	belles	複数	vieux	vieilles
	ボ	ベル		ヴィウ	ヴィエール

■男性単数第二形 母音で始まる男性名詞の前では、nouveau, beau, vieux は nouvel, bel, vieil という特殊な形をとる。これは、男性単数第一形の語末母音と、後に続く名詞の母音が相並ぶこと(母音衝突)を避けるためである。

音声：2-15

アン ベロテル アン ヴィエヨム アン スヴェロン
 un bel hôtel un vieil homme un nouvel an
 美しいホテル 老人 新年

◆本書では形容詞の変化表は難易度の順に記載されています。まずは、簡単なものからしっかり覚えてください。

2.3 属詞 (attribut) としての形容詞

◆今のところ、おおよその理解で構いません

形容詞には、名詞に直接接して、その名詞を修飾する制限用法のほかに、「主語 - 動詞 - 属詞」という構文の中で、属詞となり、主語の名詞を修飾する非制限用法がある。非制限用法で形容詞を用いる場合にも、修飾を加える相手、すなわち、主語となる名詞に形容詞を性数一致させなければならない。音声：2-16

- ロテル エ グラン
 ⑨ L'hôtel est grand.
 そのホテルは大きい。
- レグリーズ エ グランド
 ⑩ L'église est grande.
 その教会は大きい。
- レズテル ソン グラン
 ⑪ Les hôtels sont grands.
 それらのホテルは大きい。

レゼグリーズ ソン グラード

⑫ Les églises sont **grandes**.

それらの教会は大きい。

est と sont は、第一章で、c'est, ce sont という表現の中に現れていた。これは、英語の be 動詞にあたるもの (être) で、est は三人称単数形、sont は三人称複数形である。上記の例文では、主語が単数か複数かで、使い分けられている。詳細は次章で確認するので、目下は、性数一致が非制限用法でも必要だという事実を確認するだけでも良い。

2.3.1 補足例文 音声：2-17

ピエール エ コントン ドゥ ロテル

⑬ Pierre est **content** de l'hôtel.

ピエールはホテルに満足している。

マリ エ コントントゥ ドゥ ロテル

⑭ Marie est **contente** de l'hôtel.

マリーはホテルに満足している。

マリ エ ピエール ソン コントン ドゥ ロテル

⑮ Marie et Pierre sont **contents** de l'hôtel.

マリーとピエールはホテルに満足している。

マリ エ ジャーヌ ソン コントントゥ ドゥ ロテル

⑯ Marie et Jeanne sont **contentes** de l'hôtel.

マリーとジャーヌはホテルに満足している。

ピエール エ ボ

⑰ Pierre est **beau**.

ピエールはハンサムだ。

マリ エ ベル

⑱ Marie est **belle**.

マリーは美人だ。

ピエール エトゥー

⑲ Pierre est **heureux**.

ピエールは幸せだ。

マリ エ エトゥー

⑳ Marie est **heureuse**.

マリーは幸せだ。

NB: ⑬ - ⑯ être content de : 「～に満足している」
⑲, ⑳ Pierre est heureux. などリエゾンがすることが多い。

2.4 新出単語表

音声：2-18

フォー

① fort

[形容詞] 強い

アンボるトーン

② important

[形容詞] 重要な

アンテれソーン

③ intéressant

[形容詞] おもしろい

④ content
[形容詞] 満足な

⑦ riche
[形容詞] 金持ちの

⑩ heureux
[形容詞] 幸福な

⑬ joli
[形容詞] きれいな

⑯ gros
[形容詞] 太い

⑲ vieux
[形容詞] 古い、年老いた

⑤ difficile
[形容詞] 難しい

⑧ pauvre
[形容詞] 貧乏な

⑪ grand
[形容詞] 大きな

⑭ bon
[形容詞] 良い

⑰ beau
[形容詞] 美しい

⑥ facile
[形容詞] 易しい

⑨ malade
[形容詞] 病気の

⑫ petit
[形容詞] 小さな

⑮ mauvais
[形容詞] 悪い

⑱ nouveau
[形容詞] 新しい

2.5 第02章練習問題

2.5.1 例に従い、名詞に形容詞をつけよ。

◆ 前につく形容詞と後ろにつく形容詞がありました

[例] grand: un hôtel, une église, des hôtels, des églises
un grand hôtel, une grande église, de grands hôtels, de grands églises

NB: 不定冠詞の des は、形容詞の前では、通常、de (d') になる。

① petit: un garçon, une fille, des garçons, des filles

② joli: un livre, une revue, des livres, des revues

[例] intéressant: un livre, une revue, des livres, des revues
un livre intéressant, une revue intéressante,
des livres intéressants, des revues intéressantes

③ fort: un homme, une femme, des hommes, des femmes

④ important: un homme, une femme, des hommes, des femmes

⑤ intéressant: un hôtel, une église, des hôtels, des églises

2.5.2 次の規則変化形容詞の活用を二回ずつ書け

- | | | |
|-------|-------|---------|
| ① 大きな | ② 小さな | ③ きれいな |
| ④ 強い | ⑤ 重要な | ⑥ おもしろい |
| ⑦ 満足な | | |

2.5.3 次の表現を、意味と発音を思い浮かべながら、二回ずつ書け

- ① un grand hôtel (大きなホテル)
- ② une petite église (小さな教会)
- ③ de jolis livres (きれいな本)
- ④ un homme fort (強い男)
- ⑤ des revues importantes (重要な雑誌)
- ⑥ des livres intéressants (おもしろい本)

2.5.4 例に従い、形容詞に名詞をつけよ。

[例] facile: un livre, une revue, des livres, des revues
un livre facile, une revue facile, des livres faciles, des revues faciles

[ポイント] : 男性単数形が-eで終わる形容詞は、女性形と男性形が同じ形になる。

- ① riche: un homme, une femme, des hommes, des femmes
- ② pauvre: un garçon, une fille, des garçons, des filles
- ③ malade: un homme, une femme, des hommes, des femmes
- ④ difficile: un livre, une revue, des livres, des revues

2.5.5 例にならって、名詞に形容詞をつけよ。

[例] joli: un garçon, une fille, des garçons, des filles
un joli garçon, une jolie fille, de jolis garçons, de jolies filles

[ポイント] : 男性単数形が-sで終わる場合、男性複数形には新たに-sをつけない。また、-on, -osで男性単数形が終わっている場合には、女性形は-onne, -osseとなる。

NB: 不定冠詞の des は、形容詞の前では、通常、de (d') になる。

- ① gros: un homme, une femme, des hommes, des femmes
- ② bon: un hôtel, une table, des hôtels, des tables

- ③ mauvais: un garçon, une fille, des garçons, des filles

2.5.6 次の形容詞の活用を二回ずつ書け。

【ポイント】：男性単数形が、-e, -s, -on, -os で終わるものには注意。

- | | | |
|--------|-------|-------|
| ① 金持ちの | ② 貧乏な | ③ 病気の |
| ④ 難しい | ⑤ 易しい | ⑥ 太った |
| ⑦ 良い | ⑧ 悪い | |

2.5.7 次の表現を、意味を思い浮かべながら、二回ずつ書き写せ。

- ① les livres faciles (簡単な本)
 ② les filles riches (金持ちな少女)
 ③ le garçon pauvre (貧しい少年)
 ④ la femme malade (病気の女性)
 ⑤ les livres difficiles (難しい本)
 ⑥ les grosses filles (太った少女)
 ⑦ les bons hôtels (良いホテル)
 ⑧ la mauvaise fille (悪い少女)

2.5.8 次の形容詞の変化表を三回ずつ書き写せ

HEUREUX (幸せな)			NOUVEAU (NOUVEL) (新しい)		
	男性	女性		男性	女性
単数	heureux	heureuse	単数	nouveau (nouvel)	nouvelle
複数	heureux	heureuses	複数	nouveaux	nouvelles

BEAU (BEL) (美しい)			VIEUX (VIEIL) (古い)		
	男性	女性		男性	女性
単数	beau (bel)	belle	単数	vieux (vieil)	vieille
複数	beaux	belles	複数	vieux	vieilles

2.5.9 次の表現を、意味を考えながら、三回書け。

- ① un homme heureux (幸福な男性)
 ② une femme heureuse (幸福な女性)
 ③ des hommes heureux (幸福な男性たち)

- ④ des femmes heureuses (幸福な女性たち)
- ⑤ un vieil homme (老人)
- ⑥ un vieux livre (古い本)
- ⑦ une vieille église (古い教会)
- ⑧ de vieux hôtels (古いホテル)
- ⑨ de vieilles femmes (老女)
- ⑩ le beau garçon (美しい少年)
- ⑪ le bel hôtel (美しいホテル)
- ⑫ la belle table (美しいテーブル)
- ⑬ les beaux hommes (美男)
- ⑭ les belles étoiles (美しい星)
- ⑮ le nouveau crayon (新しい鉛筆)
- ⑯ le nouvel hôtel (新しいホテル)
- ⑰ la nouvelle table (新しいテーブル)
- ⑱ les nouveaux crayons (新しい鉛筆)
- ⑲ les nouvelles tables (新しいテーブル)

2.5.10 次の形容詞の仏語訳を三回ずつ書け

- ① 幸福な
- ② 美しい
- ③ 新しい
- ④ 古い

2.5.11 次の文章の空欄を補え。

- ① C'est un livre .
これはおもしろい本だ。
- ② C'est une revue .
これはおもしろい雑誌だ。
- ③ Ce sont des livres .
これらはおもしろい本だ。
- ④ Ce sont des revues .
これらはおもしろい雑誌だ。
- ⑤ C'est un hôtel.
これは大きなホテルだ。
- ⑥ C'est une église.
これは大きな教会だ。
- ⑦ Ce sont de hôtels.
これらは大きなホテルだ。

- ⑧ Ce sont de églises.
これらは大きな教会だ。
- ⑨ L'hôtel est .
そのホテルは大きい。
- ⑩ L'église est .
その教会は大きい。
- ⑪ Les hôtels sont .
それらのホテルは大きい。
- ⑫ Les églises sont .
それらの教会は大きい。
- ⑬ Pierre est de l'hôtel.
ピエールはホテルに満足している。
- ⑭ Marie est de l'hôtel.
マリーはホテルに満足している。
- ⑮ Marie et Pierre sont de l'hôtel.
マリーとピエールはホテルに満足している。
- ⑯ Marie et Jeanne sont de l'hôtel.
マリーとジャンヌはホテルに満足している。
- ⑰ Pierre est .
ピエールはハンサムだ。
- ⑱ Marie est .
マリは美人だ。
- ⑲ Pierre est .
ピエールは幸せだ。
- ⑳ Marie est .
マリは幸せだ。

2.5.12 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① C'est un livre intéressant.
- ② C'est une revue intéressante.
- ③ Ce sont des livres intéressants.
- ④ Ce sont des revues intéressantes.
- ⑤ C'est un grand hôtel.
- ⑥ C'est une grande église.
- ⑦ Ce sont de grands hôtels.
- ⑧ Ce sont de grandes églises.
- ⑨ L'hôtel est grand.
- ⑩ L'église est grande.
- ⑪ Les hôtels sont grands.
- ⑫ Les églises sont grandes.
- ⑬ Pierre est content de l'hôtel.
- ⑭ Marie est contente de l'hôtel.
- ⑮ Marie et Pierre sont contents de l'hôtel.
- ⑯ Marie et Jeanne sont contentes de l'hôtel.

- ⑰ Pierre est beau.
- ⑱ Marie est belle.
- ⑲ Pierre est heureux.
- ⑳ Marie est heureuse.

2.5.13 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① これはおもしろい本だ。
- ② これはおもしろい雑紙だ。
- ③ これらはおもしろい本だ。
- ④ これらはおもしろい雑紙だ。
- ⑤ これは大きなホテルだ。
- ⑥ これは大きな教会だ。
- ⑦ これらは大きなホテルだ。
- ⑧ これらは大きな教会だ。
- ⑨ そのホテルは大きい。
- ⑩ その教会は大きい。
- ⑪ それらのホテルは大きい。
- ⑫ それらの教会は大きい。
- ⑬ ピエールはホテルに満足している。
- ⑭ マリーはホテルに満足している。
- ⑮ マリーとピエールはホテルに満足している。
- ⑯ マリーとジャーヌはホテルに満足している。
- ⑰ ピエールはハンサムだ。
- ⑱ マリは美人だ。
- ⑲ ピエールは幸せだ。
- ⑳ マリは幸せだ。

◆ いわゆる試験範囲に入らない、息抜きのコーナーです。

日用表現 —挨拶—

音声：2-19

ボンジュール ムスユ

Bonjour, Monsieur.

こんにちは (男性に対し)。

ボンソワール マダム

Bonsoir, Madame.

こんばんは (既婚女性に対し)。

コモンタレ ヴ

Comment allez-vous ?

お元気ですか。

コモン サ ヴァ

Comment ça va ?

元気かい。

ジュ ヴェ トゥレ ビヤン メルスイ エ ヴ

Je vais très bien, merci. Et vous ?

元気です。ありがとうございます。あなたの方はどうですか。

ジュ ヴェ ビヤン メルスイ

Je vais bien merci.

私もとても元気です。ありがとうございます。

サヴァ — サヴァ

Ça va ? — Ça va.

やあ。 — やあ。

オ る ヴワール

Au revoir.

さようなら。

ボヌ ニュイ

Bonne nuit.

お休みなさい。

ボヌ ジュルネ

Bonne journée.

良い一日を。

ボヌ スワレ

Bonne soirée.

良い夕べを。

ムスユ (メスユ)

Monsieur (Messieurs)

男性に対する呼びかけ。

マダーム (メダーム)

Madame (Mesdames)

既婚女性に対する呼びかけ。

マドゥムワゼール (メドゥムワゼール)

Mademoiselle (Mesdemoiselles)

未婚女性に対する呼びかけ。

日用表現 —感謝と謝罪—

音声：2-20

メルスイ ビヤン

Merci bien.

とても、ありがとうございます。

メルスイ ボク

Merci beaucoup.

大変ありがとうございます。

ジュ ヴゾン プリ

Je vous en prie.

どういたしまして。

パardon

Pardon.

ごめんなさい。すいません。

エクスキュゼ ムワ

Excusez-moi.

ごめんなさい。すいません。

ジュ ヴゾン プリ

Je vous en prie.

どういたしまして。

ス ネ リヤン

Ce n'est rien.

何でもありません。

サヌ フェ リヤン

Ça ne fait rien.

何でもありません。

日用表現 —その他—

音声：2-21

ウ アビテ ヴ

Où habitez-vous ?

どこに住んでいますか。

コモン ヴザブレ ヴ

Comment vous appelez-vous ?

お名前はなんと申しますか。

ケラージュ アヴェヴ

Quel âge avez-vous ?

何歳ですか。

- ジャビートゥ ア ナゴヤ

- J'habite à Nagoya.

名古屋市に住んでいます。

- ジュ マベール

- Je m'appelle ****.

私の名は****です。

- ジェ ディズヌイトン

- J'ai dix-huit ans.

18才です。

第3章

動詞 ÊTRE、前置詞と冠詞

◆ 本章の目標 ◆

- 最重要動詞、être の変化を完全に覚えます（一週間の間何度も練習してください）。
- 前置詞と定冠詞の合体を覚えます。
- être の二つの用法を理解します

動詞は動作や状態を表現し、「何がどうするのか」の「どうする」に相当する。一方、「何が」は動作を行う人やものに相当し、主語と呼ばれる。主語は人やものなので、名詞で表現されるが、それ以外に、代名詞でも表現される。代名詞は、特定の人やものを指し示す働きを持つが、実際に「どの人、どのもの」を指しているのかは、広い意味での文脈で決まる。

前置詞は名詞（冠詞や形容詞を伴うことも多い）の前に付き、その名詞が指す人やものと、動詞、他の名詞、形容詞などとの関係を示す働きをもつ。日本語の助詞に近い意味をもつことが多い。

3.1 人称代名詞 (pronom personnel) 主格形

音声：3-1

一人称単数	je (j')*	ジュ	私は	話し手
二人称単数	tu	テュ	君は	聞き手
三人称単数男性	il	イル	彼は、それは	話し手・聞き手以外の男性名詞
三人称単数女性	elle	エル	彼女は、それは	話し手・聞き手以外の女性名詞
一人称複数	nous	ヌ	私たちは	話し手を含むグループ
二人称複数	vous	ヴ	君たちは・あなたは	聞き手を含むグループ
三人称複数男性	ils	イル	彼らは・それらは	話し手・聞き手以外の男性名詞のグループ
三人称複数女性	elles	エル	彼女たちは・それらは	話し手・聞き手以外の女性名詞のグループ

* je は母音で始まる語の前では、j' になる（エリズィヨン ⇒ 20 頁）

◆ 動詞の変化を覚える際に、必ず主語代名詞をつけるので、この変化表をそのまま覚える必要はありません。

- 三人称単数形と三人称複数形は人も物も指し、人や物の性と数により、il, elle, ils, elles を使い分ける。
- 三人称複数男性形 ils は、男性名詞と女性名詞の混合グループも指す。
- 聞き手が一人であっても、その相手が親しくないか、目上の場合には、vous を使う。tu は親しい、あるいは目下の一人の相手に対してのみ用いる。

3.2 ÊTRE の直説法現在 (indicatif présent)

直説法現在とは、現在の状態や、進行中の動作、習慣的、反復的動作、一般的事実などの事柄を「事実として」伝える際に、用いられる法・時称である。

動詞は、主語が何人称かに応じて変化する。これを**人称変化**という。動詞は法・時称ごとに、固有の人称変化をもつ。

◆ 動詞の変化を覚える際に、必ず主語代名詞をつけて覚えます。

◆ 変化表を完全に言えるようになってから、綴りを覚えましょう。

音声：3-2

直説法現在	
エートる	
ÊTRE (いる)	
ジュ スエイ je suis	ヌ ソーム nous sommes
チュ エ tu es	ヴ ゼートゥ vous êtes
イレ il est	イル ソン ils sont
エレ elle est	エル ソン elles sont

- il est, elle est はアンシェーヌマンにより、一つなかりに発音される。
- vous êtes ではリエゾンにより、vous の語末の-s が [z] で発音される。

3.3 前置詞 (préposition) と定冠詞の縮約 (contraction)

前置詞 à は場所や時の一点を表し、de は出発点や所属を示す。à は「～に」、de (d') は「～から、～の」と訳されることが多い。

ア バリ	ドゥ バリ
à Paris	de Paris
パリに	パリの、パリから

à と de は非常に頻繁に用いられるため、定冠詞と合体して、特殊な形を作ることがある。これを前置詞と定冠詞の**縮約**と言う。

NB: 都市の名前には冠詞をつけないのが普通である。そのため、上の例では、冠詞がついていない。

◆ 一見大変そうですが、合体するのは四つだけです

à le	⇒	au	de le	⇒	du
à la	⇒	à la (不変)	de la	⇒	de la (不変)
à l'	⇒	à l' (不変)	de l'	⇒	de l' (不変)
à les	⇒	aux	de les	⇒	des

当然ながら、au が a + le のことだといった具合に、矢印と逆方向に変換もできないと使い物にはならないので、注意すること。

du, de la, de l' は部分冠詞と、des は不定冠詞の複数形と、同じ形だが、意味は全く異なるので注意すること。

音声：3-3

オ カフェ au café (à + le café) 喫茶店に	ア ラ メゾン à la maison 家に	ア ロテール à l'hôtel ホテルに
オ トワレット aux toilettes (à + les toilettes) トイレに	オセグリーズ aux églises (à + les églises) 教会に	
デュ カフェ du café (de + le café) 喫茶店から、喫茶店の	ドゥ ラ メゾン de la maison 家から、家の	ドゥ ロテール de l'hôtel ホテルから、ホテルの
デ トワレット des toilettes (de + les toilettes) トイレから、トイレの	デゼグリーズ des églises (de + les églises) 教会から、教会の	

* はリエゾンの記号で、通常は書きません。

母音で始まる語の前では、des, aux の-s, -x はリエゾン (⇒ 20 頁) により、[z] と発音される。

3.4 ÊTRE の用法

3.4.1 主語 – être – 場所を表す補語 (complément de lieu)

être には「(人が) いる」、「(ものが) ある」という意味がある。この意味で用いられる際には、多くの場合、場所を表す補語 (前置詞句や副詞) が同時に現れる。先に述べた、前置詞と定冠詞の合体がからむことも多いので注意すること。また、三人称の est, sont の-t が、前置詞の à とリエゾンする場合が多いことにも注意すること。

音声：3-4

- ジュ スエイ オ カフェ
① Je suis **au** café.
私は喫茶店にいる。
- デュ エ オ レストラン
② Tu es **au** restaurant.
君はレストランにいる。
- イレト トワレートゥ
③ Il est **aux** toilettes.
彼はトイレにいる。
- エレト ション
④ Elle est **aux** champs.
彼女は野原にいる。
- ヌ ソム ア ラ メゾン
⑤ Nous sommes **à la** maison.
私たちは家にいる。
- ヴゼトゥ ア ラ ガー
⑥ Vous êtes **à la** gare.
君たちは駅にいる。
- イル ソンタ ラ ポー
⑦ Ils sont **à la** porte.
彼らはドアのところにいる。
- エル ソン タ ラ フネート
⑧ Elles sont **à la** fenêtre.
彼女たちは窓のところにいる。
- ル リヴル エ スユル ラ ターブル
⑨ Le livre est **sur** la table.
本はテーブルの上にある。
- レ ヴュ ソン スユル ラ ターブル
⑩ Les revues sont **sur** la table.
雑誌はテーブルの上にある。
- ピエール エ マリ ソンタ レグリーズ
⑪ Pierre et Marie sont **à l'**église.
ピエールとマリは教会にいる。
- ピエール エタ ロテル
⑫ Pierre est **à l'**hôtel.
ピエールはホテルにいる。

3.4.2 主語 – être – 属詞 (名詞・形容詞)

前章で一度扱ったが、être は形容詞を伴って、主語の状態や性質などを表す。この場合にも、属詞となった形容詞は主語を修飾しているので、両者の間に性数一致が起こる。

属詞形容詞

Je suis	petit. 男性単数
	petite. 女性単数
Tu es	petit. 男性単数
	petite. 女性単数
Il est	petit. 男性単数
Elle est	petite. 女性単数
Nous sommes	petits. 男性複数
	petites. 女性複数
Vous êtes	petit. 男性単数 (あなたは)
	petite. 女性単数 (あなたは)
	petits. 男性複数 (君たちは)
	petites. 女性複数 (君たちは)
Ils sont	petits. 男性複数
Elles sont	petites. 女性複数

人称代名詞、一人称、二人称の主格形「私は、君は...」には、男性形と女性形の区別はないが、それらの主格形が差す人物の性に合わせて（「私」「君」が男性か女性かにあわせて）、属詞形容詞が性数一致する。なお、vous は「あなた」の意味もあるので、属詞形容詞が単数形になることもある。もちろん、下記の通り、主語が人称代名詞以外の場合には、主語となる名詞に属詞形容詞が性数一致する。

音声：3-5

マリ エトゥールーズ

⑬ Marie est **heureuse**.

マリは幸せだ。

ピエール エ コンタン ドゥ ロテル

⑭ Pierre est **content de l'hôtel**.

ピエールはホテルに満足している。

属詞名詞

être の属詞として名詞を用いる場合もある。属詞名詞が**職業・身分・国籍**を表す場合には、その名詞には冠詞は付けない。なお、そうした名詞の多くには、男性と女性の区別がある（下記参照）。

音声：3-6

ジュ スエイ メドゥッサン

⑮ Je suis **médecin**.

私は医者だ。

- ①⑥ テュ エ プロフェスー
Tu es professeur.
 君は先生だ。
- ①⑦ イレテデュディオ
Il est étudiant.
 彼は男子学生だ。
- ①⑧ エレテデュディオントゥ
Elle est étudiante.
 彼女は女子学生だ。
- ①⑨ ヌ ソム ジャポネーズ
Nous sommes Japonaises.
 私たちは日本人（女）だ。
- ②⑩ ヴゼトゥ ジャポネ
Vous êtes Japonais.
 君たちは日本人（男）だ。
- ②⑪ イル ソン フランセ
Ils sont Français.
 彼らはフランス人だ。
- ②⑫ エル ソン フランセーズ
Elles sont Françaises.
 彼女たちはフランス人だ。

名詞の男性形 (forme masculine) と女性形 (forme féminine)

職業、身分、国籍などを表す名詞には、形容詞と同様に、男性形から女性形を作れるものがある。

音声：3-7

ÉTUDIANT (学生)			FRANÇAIS (フランス人)		
	男性	女性		男性	女性
単数	étudiant	étudiante	単数	Français	Française
複数	étudiants	étudiantes	複数	<i>Français</i>	Françaises
	<small>エテデュディオ</small>	<small>エテデュディオントゥ</small>		<small>フランセ</small>	<small>フランセーズ</small>

JAPONAIS (日本人)		
	男性	女性
単数	Japonais	Japonaise
複数	Japonais	Japonaises
	<small>ジャポネ</small>	<small>ジャポネーズ</small>

NB: Japonais, Français は、japonais, français と小文字でつづると、「日本の、フランスの」という形容詞になる。

3.5 新出単語表

音声：3-8

メゾン
① maison
[名詞・女性] 家

カフェ
④ café
[名詞・男性] コーヒー

ガール
⑦ gare
[名詞・女性] 駅

メドゥサン
⑩ médecin
[名詞・男性] 医者

エチューディオントゥ
⑬ étudiante
[名詞・女性] 女子学生

ジャポネ
⑯ Japonais
[名詞・男性] 日本人

レストラン
② restaurant
[名詞・男性] レストラン

トワレートゥ
⑤ toilettes
[名詞・女性複数] トイレ

ポールトゥ
⑧ porte
[名詞・女性] ドア

プロフェスール
⑪ professeur
[名詞・男性] 先生

フランセ
⑭ Français
[名詞・男性] フランス人

ジャポネーズ
⑰ Japonaise
[名詞・女性] 日本人

カフェ
③ café
[名詞・男性] 喫茶店

ション
⑥ champs
[名詞・男性複数] 野原

フェネートル
⑨ fenêtre
[名詞・女性] 窓

エチューディオ
⑫ étudiant
[名詞・男性] 男子学生

フランセーズ
⑮ Française
[名詞・女性] フランス人

3.6 第03章練習問題

3.6.1 次の活用表を発音しながら三回書け。

3.6.2 次の単語を、意味と発音を思い浮かべながら、三回ずつ書け。

① maison
④ café
⑦ gare
⑩ médecin
⑬ étudiante
⑯ Japonais

② restaurant
⑤ toilettes
⑧ porte
⑪ professeur
⑭ Français
⑰ Japonaise

③ café
⑥ champs
⑨ fenêtre
⑫ étudiant
⑮ Française

3.6.3 次の単語を、定冠詞をつけて、発音しながら、三回書け。

① [名詞・女性] 家
④ [名詞・男性] コーヒー
⑦ [名詞・女性] 駅

② [名詞・男性] レストラン
⑤ [名詞・女性複数] トイレ
⑧ [名詞・女性] ドア

③ [名詞・男性] 喫茶店
⑥ [名詞・男性複数] 野原

3.6.4 次の単語を、不定冠詞をつけて、発音しながら、三回書け。

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ⑧ [名詞・女性] ドア | ⑨ [名詞・女性] 窓 | ⑩ [名詞・男性] 医者 |
| ⑪ [名詞・男性] 先生 | ⑫ [名詞・男性] 男子学生 | ⑬ [名詞・女性] 女子学生 |
| ⑭ [名詞・男性] フランス人 | ⑮ [名詞・女性] フランス人 | ⑯ [名詞・男性] 日本人 |

3.6.5 次の表を発音しながら三回書け。

à le ⇒ au	de le ⇒ du
à la ⇒ à la (不変)	de la ⇒ de la (不変)
à l' ⇒ à l' (不変)	de l' ⇒ de l' (不変)
à les ⇒ aux	de les ⇒ des

3.6.6 次の文章の空欄を補え。

- ① Je suis café.
私は喫茶店にいる。
- ② Tu es restaurant.
君はレストランにいる。
- ③ Il est toilettes.
彼はトイレにいる。
- ④ Elle est champs.
彼女は野原にいる。
- ⑤ Nous sommes maison.
私たちは家にいる。
- ⑥ Vous êtes gare.
君たちは駅にいる。
- ⑦ Ils sont porte.
彼らはドアのところにいる。
- ⑧ Elles sont fenêtre.
彼女たちは窓のところにいる。
- ⑨ Le livre est la table.
本はテーブルの上にある。
- ⑩ Les revues sont la table.
雑誌はテーブルの上にある。
- ⑪ Pierre et Marie sont église.
ピエールとマリは教会にいる。
- ⑫ Pierre est hôtel.
ピエールはホテルにいる。
- ⑬ Marie est .
マリは幸せだ。
- ⑭ Pierre est de l'hôtel.
ピエールはホテルに満足している。

- ⑮ Je suis .
私は医者だ。
- ⑯ Tu es .
君は先生だ。
- ⑰ Il est .
彼は男子学生だ。
- ⑱ Elle est .
彼女は女子学生だ。
- ⑲ Nous sommes .
私たちは日本人（女）だ。
- ⑳ Vous êtes .
君たちは日本人（男）だ。
- ㉑ Ils sont .
彼らはフランス人だ。
- ㉒ Elles sont .
彼女たちはフランス人だ。

3.6.7 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Je suis au café.
- ② Tu es au restaurant.
- ③ Il est aux toilettes.
- ④ Elle est aux champs.
- ⑤ Nous sommes à la maison.
- ⑥ Vous êtes à la gare.
- ⑦ Ils sont à la porte.
- ⑧ Elles sont à la fenêtre.
- ⑨ Le livre est sur la table.
- ⑩ Les revues sont sur la table.
- ⑪ Pierre et Marie sont à l'église.
- ⑫ Pierre est à l'hôtel.
- ⑬ Marie est heureuse.
- ⑭ Pierre est content de l'hôtel.
- ⑮ Je suis médecin.
- ⑯ Tu es professeur.
- ⑰ Il est étudiant.
- ⑱ Elle est étudiante.
- ⑲ Nous sommes Japonaises.
- ⑳ Vous êtes Japonais.
- ㉑ Ils sont Français.
- ㉒ Elles sont Françaises.

3.6.8 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私は喫茶店にいる。
- ② 君はレストランにいる。

- ③ 彼はトイレにいる。
- ④ 彼女は野原にいる。
- ⑤ 私たちは家にいる。
- ⑥ 君たちは駅にいる。
- ⑦ 彼らはドアのところにいる。
- ⑧ 彼女たちは窓のところにいる。
- ⑨ 本はテーブルの上にある。
- ⑩ 雑紙はテーブルの上にある。
- ⑪ ピエールとマリは教会にいる。
- ⑫ ピエールはホテルにいる。
- ⑬ マリは幸せだ。
- ⑭ ピエールはホテルに満足している。
- ⑮ 私は医者だ。
- ⑯ 君は先生だ。
- ⑰ 彼は男子学生だ。
- ⑱ 彼女は女子学生だ。
- ⑲ 私たちは日本人（女）だ。
- ⑳ 君たちは日本人（男）だ。
- ㉑ 彼らはフランス人だ。
- ㉒ 彼女たちはフランス人だ。

第 4 章

AVOIR、疑問文と否定文

◆ 本章の目標 ◆

- 重要動詞 AVOIR の変化表を覚える（一週間かけてじっくりと！）
- AVOIR の用法を理解する
- 疑問文と否定文の作り方を覚える

4.1 AVOIR の直説法現在

◆ 変化表を口で言えるようになってから、綴りを覚えましょう

音声：4-1

直説法現在	
アヴワール AVOIR (持っている)	
ジェ j'ai	ヌザヴォン nous avons
チュ ア tu as	ヴザヴェ vous avez
イラ il a	イルゾン ils ont
エラ elle a	エルゾン elles ont

- ai は母音で始まっているため、je がエリジョンして、j' となる (⇒ 20 頁)。
- il a, elle a はアンシェーヌマンでつながる (⇒ 19 頁)。
- nous, vous, ils, elles の-s はリエゾンにより、[z] と発音される (⇒ 20 頁)。

4.2 AVOIR の用法

Avoir は英語の have にあたる動詞である。「～を持っている」を意味するが、その意味範囲は所有の概念を超える場合も少なくない（友達や兄弟が直接目的格補語となる場合もある）。基本的に avoir は下記の構文をとる。

avoir + 直接目的格補語 (冠詞相当語句 + 名詞)

冠詞相当語句には既出の限定の冠詞、非限定の冠詞（不定冠詞、部分冠詞）以外に、数や量を表す表現（下記の beaucoup de (d') たくさんの, assez de (d') 十分な, plusieurs いくつもの, quelques いくつかのなど）がある。ただし、avoir を用いた慣用表現には、冠詞相当語句が不要なものも少なくない（下記の avoir mal 痛い, avoir chaud 暑い, avoir froid 寒い）。

◆ 構文を理解した上で、何度も発音しましょう

音声：4-2

- ジェ マラ ラ テートゥ
- ① **J'ai mal à la tête.**
私は頭が痛い。
- テュ ア マロ ジョーンプ
- ② **Tu as mal aux jambes.**
君は脚が痛い。
- イラ マロ ド
- ③ **Il a mal au dos.**
彼は背中が痛い。
- エラ マロ ビエ
- ④ **Elle a mal aux pieds.**
彼女は足が痛い。
- ヌザヴォン ボク ダミ
- ⑤ **Nous avons beaucoup d'amis.**
私たちには沢山の友達がいる。
- ヴザヴェ ケルクザミ
- ⑥ **Vous avez quelques amies.**
君たちには何人かの女友達がいる。
- イルゾン ブルズユル リーヴ
- ⑦ **Ils ont plusieurs livres.**
彼らは何冊も本を持っている。
- エルゾン アセ ダルジョン
- ⑧ **Elles ont assez d'argent.**
彼女たちは十分な金を持っている。
- ピエーる ア トレ ショ
- ⑨ **Pierre a très chaud.**
ピエールはとても暑い。
- マリ ア トレ フルワ
- ⑩ **Marie a très froid.**
マリーはとても寒い。

◆ avoir mal の mal が後ろの前置詞 à（合体形を含む）とアンシェーヌマンすることに注意。

◆ 母音で始まる語の前では、quelques, plusieurs の語末の-s はリエゾンにより [z] と発音されます (20 頁)。

◆ 「～が痛い」の「～が」に場所を表す前置詞 à を用いています。à が冠詞と合体することも思い出しましょう (→ 42 頁)。

◆ 「beaucoup d', assez d' は母音で始まる語の前で de がエリジョンをしています (20 頁)。

4.3 疑問文 (phrase interrogative)

4.3.1 疑問文のヴァリエーション

疑問文には三通りの作り方がある。

音声：4-3

- ① ヴザヴェ ドゥ ラるジョン
Vous avez de l'argent? : イントネーションによる疑問文
- ② エスク ヴザヴェ ドゥ ラるジョン
Est-ce que vous avez de l'argent? : Est-ce que (qu') による疑問文
- ③ アヴェ ヴ ドゥ ラるジョン
Avez-vous de l'argent? : 倒置による疑問文

【参考】 ヴザヴェ ドゥ ラるジョン
Vous avez de l'argent. : 平叙文

①は主に会話で、③は主に文章で使われる。②は会話でも文章でも用いられる。①と②は極めて簡単に修得できるので、本書では、③を詳しく説明する。

4.3.2 倒置疑問文の基本

倒置疑問文は、基本的に、平叙文の**主語代名詞と動詞を入れ替え、間にハイフンを置く**ことで、作られる(平叙文=疑問文でない文のこと)。なお、三人称複数形の語末の-tは必ず後に続く人称代名詞 ils, elles とリエゾンする(下記、⑬, ⑭)。

◆ すでに出てきた例文の書き換えです。声を出して何度も読んでください。

音声：4-4

- ⑪ エージュ マラ ラ テートゥ
Ai-je mal à la tête?
私は頭が痛いのだろうか。
- ⑫ ア テュ マロ ジョーンブ
As-tu mal aux jambes?
君は脚が痛いのか。
- ⑬ アヴォンヌヌ ボク ダミ
Avons-nous beaucoup d'amis?
私たちには沢山の友達があるだろうか。
- ⑭ アヴェ ヴ ケルクザミ
Avez-vous quelques amies?
君たちには何人かの女友達があるか。
- ⑮ オンティル プリュズユル リーヴル
Ont-ils plusieurs livres?
彼らは何冊も本を持っているだろうか。
- ⑯ オンテル アセ ダるジョン
Ont-elles assez d'argent?
彼女は十分な金を持っているだろうか。

4.3.3 倒置疑問文の例外

音声：4-5

- ア テイル マロ ド
⑬ **A-t-il** mal au dos ?
彼は背中が痛いのだろうか。

- ア テル マロ ビエ
⑭ **A-t-elle** mal aux pieds ?
彼女は足が痛いのだろうか。

動詞が三人称単数形の場合、例外的扱いを行わねばならないことがある。すなわち、**動詞の活用形が母音字で終わっている場合には、倒置した動詞と主語の間に-tを置かねばならない**。これは、人称代名詞 il, elle の語頭母音と変化形末尾の母音が相並ぶこと（母音衝突）を避けるためである。avoir の三人称単数形、a は母音字で終わっているので、上記のように、-tが必要になる。

一方、être の三人称単数形は、est と、母音字では終わっていない。したがって、être の疑問文は、全て、「倒置疑問文の基本」にそって、作ることができる。しかし、三人称単数の est-il, est-elle でリエゾンが起り、普段発音しない-tを発音することには注意しなければならない。これは、a-t-il, a-t-elle で-tを補うと同様で、リエゾンがなければ、母音衝突が生じてしまうからである。なお、三人称複数形の語末の-tを必ずリエゾンで発音するのも、母音衝突を避けるためである。

◆ 特別な変化をする形容詞を用いました。口頭で平叙文に直してみましよう。

音声：4-6

- スエイジュ ウル
⑮ **Suis-je** heureux ?
私は幸せだろうか。
- エ テュ ウルーズ
⑯ **Es-tu** heureuse ?
君（女）は幸せか。
- エティル ボ
⑰ **Est-il** beau ?
彼はハンサムか。
- エテル ベル
⑱ **Est-elle** belle ?
彼女は美人か。
- ソム ス ヴュ
⑲ **Sommes-nous** vieux ?
私たちは年老いているだろうか。
- エツトゥ ヴ ヴィエーユ
⑳ **Êtes-vous** vieilles ?
君たち（女）は年老いているだろうか。
- ソントイル ヌヴォー
㉑ **Sont-ils** nouveaux ?
それら（男性名詞）は新しいだろうか。

ソントル ヌヴェール

②6 **Sont-elles nouvelles ?**

それら（女性名詞）は新しいだろうか。

NB: 三人称単数の il, elle、三人称複数 of ils, elles は、人だけではなく、物も指すことに注意。

4.4 否定文 (phrase négative)

否定文は肯定文の**述語動詞**を **ne と pas** で挟むことで作る。ただし、母音で始まる語の前では、ne がエリジョンして、n' になることに注意しなければならない（肯定文=否定文でない文のこと）。

◆ 疑問文の例文を否定文に書き換えました。口頭で肯定文に直してみましょう。

音声：4-7

ジュヌ スエイ バズル

②7 **Je ne suis pas heureux.**

私は幸福ではない。

テュネ バズルーズ

②8 **Tu n'es pas heureuse.**

君（女）は幸福ではない。

イルネ バボ

②9 **Il n'est pas beau.**

彼はハンサムではない。

エルネ バベル

③0 **Elle n'est pas belle.**

彼女は美人ではない。

ヌヌ ソム バ ヴィウ

③1 **Nous ne sommes pas vieux.**

私たちは年老いていない。

ヴネットゥ バ ヴィエーユ

③2 **Vous n'êtes pas vieilles.**

君たち（女）は年老いていない。

イルヌ ソン バ ヌヴォー

③3 **Ils ne sont pas nouveaux.**

それら（男性名詞）は新しくない。

エルヌ ソン バ ヌヴェール

③4 **Elles ne sont pas nouvelles.**

それら（女性名詞）は新しくない。

ジュネ バ マラ ラ テートゥ

③5 **Je n'ai pas mal à la tête.**

私は頭が痛くない。

テュナ バ マロ ジョーンブ

③6 **Tu n'as pas mal aux jambes.**

君は脚が痛くない。

イルナ バ マロ ド

③7 **Il n'a pas mal au dos.**

彼は背中が痛くない。

- エル ナ バ マロ ビエ
 ③8 Elle **n'a pas** mal aux pieds.
 彼女は足が痛くない。
- ヌ ナヴォン バ ボク ダミ
 ③9 Nous **n'avons pas** beaucoup d'amis.
 私たちには、多くの友達はいない。
- ヴ ナヴェ バ ケルクザミ
 ④0 Vous **n'avez pas** quelques amies.
 君たちには、何人かの友達がいるわけではない。
- イル ノン バ プリュズユル リーヴル
 ④1 Ils **n'ont pas** plusieurs livres.
 彼らには、何冊も本を持っているわけではない。
- エル ノン バ アセ ダルジョン
 ④2 Elles **n'ont pas** assez d'argent.
 彼女たちには、十分な金があるわけではない。

4.4.1 否定の冠詞 de (d')

動詞の直接目的格補語についた、非限定の冠詞 un, une, des, du, de la, de l' は、否定文中では、de になる。ただし、母音で始まる語の前では、de は d' とエリズィヨンするので、注意すること。

音声：4-8

- ジェ ユス メゾン
 J'ai une maison. ⇒ ④3 Je n'ai pas **de** maison.
 私には家がある。 私には家がない。
- テュ ア デ リーヴル
 Tu as des livres. ⇒ ④4 Tu n'as pas **de** livres.
 君は本を持っている。 君は本を持っていない。
- イラ デュ クラージュ
 Il a du courage. ⇒ ④5 Il n'a pas **de** courage.
 彼は勇気がある。 彼は勇気がない。
- エラ ドゥ ラルジョン
 Elle a de l'argent. ⇒ ④6 Elle n'a pas **d'**argent.
 彼女には金がある。 彼女には金がない。

次の点に注意すること。

- 限定の冠詞（定冠詞）は変化しない：
 Je n'ai pas le crayon. 「その鉛筆を持っていない」
- 属詞の冠詞は変化しない：
 Ce n'est pas un crayon. 「それは鉛筆ではない」

4.4.2 c'est, ce sont, il y a の否定文と疑問文

音声：4-9

- ④7 エ ス ユヌ ターブル Est-ce une table ? ⇒ ④8 ノン ス ネ バ ユヌ ターブル — Non, ce n'est pas une table.
それはテーブルかい。 いや、それはテーブルではない。
- ④9 ソン ス デ クレヨン Sont-ce des crayons ? ⇒ ⑤0 ノン ス ス ソン バ デ クレヨン — Non, ce ne sont pas des crayons.
それらは鉛筆かい。 いや、それらは鉛筆ではない。
- ⑤1 ヤ テイル ユヌ ターブル Y a-t-il une table ? ⇒ ⑤2 ノン イル ニ ヤ バ ドゥ ターブル — Non, il n'y a pas de tables.
テーブルがあるか。 いや、テーブルはない。

NB: il y a 構文の否定でも、否定冠詞の de (d') を使う。

4.5 疑問文への返答と複合倒置疑問文

4.5.1 疑問文への返答

音声：4-10

- ⑤3 アヴェヴ デザミーノン ジュ ネ バ ダミ Avez-vous des amies ? — Non, je n'ai pas d'amies.
あなたには友達がありますか。 — いいえ、友達はいません。
- ⑤4 アヴェヴ デザミーウイ ジュ デザミ Avez-vous des amies ? — Oui, j'ai des amies.
あなたには友達がありますか。 — はい、友達はいます。
- ⑤5 ナヴェヴ バ ダミーノン ジュ ネ バ ダミ N'avez-vous pas d'amies ? — Non, je n'ai pas d'amies.
あなたには友達がいらないのですか。 — はい、いません。
- ⑤6 ナヴェヴ バ ダミースイ ジュ デザミ N'avez-vous pas d'amies ? — Si, j'ai des amies.
あなたには友達がいらないのですか。 — いいえ、います。

oui は「はい」、non は「いいえ」という具合に、フランス語と日本語を対応させるのは、正しくない。実際、否定疑問文への返答では、non は「はい」と訳さざるを得ない。non は「～ではない」という否定の返答に先立つ副詞であり、oui, si は「～である」という肯定の返答に先立つ副詞である。

なお、否定疑問文でも否定の冠詞 de (d') が用いられる。

4.5.2 補足：複合倒置疑問文

◆ いわゆる試験範囲には入りません。余裕のある人は目を通してください。

主語が代名詞以外の名詞（固有名詞や普通名詞）の場合には、単純に、主語と動詞を入れ替えて倒置することができない。その場合には、一旦、主語を人称代名詞の主格形で受け直し、その人称代名詞と動詞を倒置する。もとの主語名詞は、倒置した動詞と人称代名詞の直前に置く。

マリ ア プリュズユル リーヴル

Marie a plusieurs livres.

マリーは何冊もの本をもっている。

マリ ア テル プリュズユル リーヴル

Marie a-t-elle plusieurs livres ?

マリーは何冊もの本をもっているのか。

マリ エ ビエル オン アセ ダルジョン

Marie et Pierre ont assez d'argent.

マリーとピエールは十分な金を持っている。

マリ エ ビエル オンティル アセ ダルジョン

Marie et Pierre ont-ils assez d'argent ?

マリーとピエールは十分な金を持っているのか。

4.6 新出単語

音声：4-11

テートゥ

① tête

[名詞・女性] 頭

ピエ

④ pied

[名詞・男性] 足

マル

⑦ mal

[名詞・男性] 痛み

ブルズユー

⑩ plusieurs

[形容詞] いくつもの

フルワ

⑬ froid

[形容詞] 寒い

スイ

⑯ si

[副詞] 否定疑問への肯定返答

ジョーンブ

② jambe

[名詞・女性] 脚

アミ

⑤ ami

[名詞・男性] 男友達

ボク ドゥ

⑧ beaucoup de (d')

[熟語] 多くの

アセ ドゥ

⑪ assez de (d')

[熟語] 十分な

ウイ

⑭ oui

[副詞] 肯定の返答

ド

③ dos

[名詞・男性] 背中

アミ

⑥ amie

[名詞・女性] 女友達

ケルク

⑨ quelques

[形容詞] いくつかの

ショ

⑫ chaud

[形容詞] 暑い

ノン

⑮ non

[副詞] 否定の返答

4.7 第04章練習問題

4.7.1 次の活用表を三回書け

直説法現在	
AVOIR (持っている)	
j'ai	nous avons
tu as	vous avez
il a	ils ont
elle a	elles ont

4.7.2 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- | | | |
|-------------|--------------------|------------|
| ① tête | ② jambe | ③ dos |
| ④ pied | ⑤ ami | ⑥ amie |
| ⑦ mal | ⑧ beaucoup de (d') | ⑨ quelques |
| ⑩ plusieurs | ⑪ assez de (d') | ⑫ chaud |
| ⑬ froid | ⑭ oui | ⑮ non |
| ⑯ si | | |

4.7.3 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- | | | |
|-------------------|---------------|---------------|
| ① [名詞・女性] 頭 | ② [名詞・女性] 脚 | ③ [名詞・男性] 背中 |
| ④ [名詞・男性] 足 | ⑤ [名詞・男性] 男友達 | ⑥ [名詞・女性] 女友達 |
| ⑦ [名詞・男性] 痛み | ⑧ [熟語] 多くの | ⑨ [形容詞] いくつかの |
| ⑩ [形容詞] いくつもの | ⑪ [熟語] 十分な | ⑫ [形容詞] 暑い |
| ⑬ [形容詞] 寒い | ⑭ [副詞] 肯定の返答 | ⑮ [副詞] 否定の返答 |
| ⑯ [副詞] 否定疑問への肯定返答 | | |

4.7.4 次の活用表を発音しながら、三回ずつ書け

je n'ai pas	nous n'avons pas	ai-je	avons-nous
tu n'as pas	vous n'avez pas	as-tu	avez-vous
il n'a pas	ils n'ont pas	a-t-il	ont-ils
elle n'a pas	elles n'ont pas	a-t-elle	ont-elles

je ne suis pas	nous ne sommes pas	suis-je	sommes-nous
tu n'es pas	vous n'êtes pas	es-tu	êtes-vous
il n'est pas	ils ne sont pas	est-il	sont-ils
elle n'est pas	elles ne sont pas	est-elle	sont-elles

4.7.5 次の文章の空欄を補え。

- ① J' mal à la tête.
私は頭が痛い。
- ② Tu mal aux jambes.
君は脚が痛い。
- ③ Il mal au dos.
彼は背中が痛い。
- ④ Elle mal aux pieds.
彼女は足が痛い。
- ⑤ Nous beaucoup d'amis.
私たちには沢山の友達がいる。
- ⑥ Vous quelques amies.
君たちには何人かの女友達がいる。
- ⑦ Ils plusieurs livres.
彼らは何冊も本を持っている。
- ⑧ Elles assez d'argent.
彼女たちは十分な金を持っている。
- ⑨ Pierre très chaud.
ピエールはとても暑い。
- ⑩ Marie très froid.
マリーはとても寒い。
- ⑪ mal à la tête ?
私は頭が痛いのだろうか。
- ⑫ mal aux jambes ?
君は脚が痛いのか。
- ⑬ mal au dos ?
彼は背中が痛いのだろうか。
- ⑭ mal aux pieds ?
彼女は足が痛いのだろうか。
- ⑮ beaucoup d'amis ?
私たちには沢山の友達があるだろうか。
- ⑯ quelques amies ?
君たちには何人かの女友達があるか。
- ⑰ plusieurs livres ?
彼らは何冊も本を持っているだろうか。
- ⑱ assez d'argent ?
彼女は十分な金を持っているだろうか。
- ⑲ heureux ?
私は幸せだろうか。
- ⑳ heureuse ?
君（女）は幸せか。
- ㉑ beau ?
彼はハンサムか。

- ②② belle ?
彼女は美人か。
- ②③ vieux ?
私たちは年老いているだろうか。
- ②④ vieilles ?
君たち（女）は年老いているだろうか。
- ②⑤ nouveaux ?
それら（男性名詞）は新しいだろうか。
- ②⑥ nouvelles ?
それら（女性名詞）は新しいだろうか。
- ②⑦ Je heureux.
私は幸福ではない。
- ②⑧ Tu heureuse.
君（女）は幸福ではない。
- ②⑨ Il beau.
彼はハンサムではない。
- ③⑩ Elle belle.
彼女は美人ではない。
- ③⑪ Nous vieux.
私たちは年老いていない。
- ③⑫ Vous vieilles.
君たち（女）は年老いていない。
- ③⑬ Ils nouveaux.
それら（男性名詞）は新しくない。
- ③⑭ Elles nouvelles.
それら（女性名詞）は新しくない。
- ③⑮ Je mal à la tête.
私は頭が痛くない。
- ③⑯ Tu mal aux jambes.
君は脚が痛くない。
- ③⑰ Il mal au dos.
彼は背中が痛くない。
- ③⑱ Elle mal aux pieds.
彼女は足が痛くない。
- ③⑲ Nous beaucoup d'amis.
私たちには、多くの友達はいない。
- ④⑰ Vous quelques amies.
君たちには、何人かの友達がいるわけではない。
- ④⑱ Ils plusieurs livres.
彼らには、何冊も本を持っているわけではない。
- ④⑲ Elles assez d'argent.
彼女たちには、十分な金があるわけではない。
- ④⑳ Je n'ai pas maison.
私には家がない。

- ④④ Tu n'as pas livres.
君は本を持っていない。
- ④⑤ Il n'a pas courage.
彼は勇気がない。
- ④⑥ Elle n'a pas argent.
彼女には金がない。
- ④⑦ une table ?
それはテーブルかい。
- ④⑧ — Non, une table.
いや、それはテーブルではない。
- ④⑨ des crayons ?
それらは鉛筆かい。
- ④⑩ — Non, des crayons.
いや、それらは鉛筆ではない。
- ④⑪ une table ?
テーブルがあるか。
- ④⑫ — Non, de tables.
いや、テーブルはない。
- ④⑬ Avez-vous des amies ? — , je n'ai pas d'amies.
あなたには友達がありますか。— いいえ、友達はいません。
- ④⑭ Avez-vous des amies ? — , j'ai des amies.
あなたには友達がありますか。— はい、友達はいます。
- ④⑮ N'avez-vous pas d'amies ? — , je n'ai pas d'amies.
あなたには友達がないのですか。— はい、いません。
- ④⑯ N'avez-vous pas d'amies ? — , j'ai des amies.
あなたには友達がないのですか。— いいえ、います。

4.7.6 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① J'ai mal à la tête.
- ② Tu as mal aux jambes.
- ③ Il a mal au dos.
- ④ Elle a mal aux pieds.
- ⑤ Nous avons beaucoup d'amis.
- ⑥ Vous avez quelques amies.
- ⑦ Ils ont plusieurs livres.
- ⑧ Elles ont assez d'argent.
- ⑨ Pierre a très chaud.
- ⑩ Marie a très froid.
- ⑪ Ai-je mal à la tête ?
- ⑫ As-tu mal aux jambes ?
- ⑬ A-t-il mal au dos ?
- ⑭ A-t-elle mal aux pieds ?
- ⑮ Avons-nous beaucoup d'amis ?
- ⑯ Avez-vous quelques amies ?

- ⑰ Ont-ils plusieurs livres ?
- ⑱ Ont-elles assez d'argent ?
- ⑲ Suis-je heureux ?
- ⑳ Es-tu heureuse ?
- ㉑ Est-il beau ?
- ㉒ Est-elle belle ?
- ㉓ Sommes-nous vieux ?
- ㉔ Êtes-vous vieilles ?
- ㉕ Sont-ils nouveaux ?
- ㉖ Sont-elles nouvelles ?
- ㉗ Je ne suis pas heureux.
- ㉘ Tu n'es pas heureuse.
- ㉙ Il n'est pas beau.
- ㉚ Elle n'est pas belle.
- ㉛ Nous ne sommes pas vieux.
- ㉜ Vous n'êtes pas vieilles.
- ㉝ Ils ne sont pas nouveaux.
- ㉞ Elles ne sont pas nouvelles.
- ㉟ Je n'ai pas mal à la tête.
- ㊱ Tu n'as pas mal aux jambes.
- ㊲ Il n'a pas mal au dos.
- ㊳ Elle n'a pas mal aux pieds.
- ㊴ Nous n'avons pas beaucoup d'amis.
- ㊵ Vous n'avez pas quelques amies.
- ㊶ Ils n'ont pas plusieurs livres.
- ㊷ Elles n'ont pas assez d'argent.
- ㊸ Je n'ai pas de maison.
- ㊹ Tu n'as pas de livres.
- ㊺ Il n'a pas de courage.
- ㊻ Elle n'a pas d'argent.
- ㊼ Est-ce une table ?
- ㊽ — Non, ce n'est pas une table.
- ㊾ Sont-ce des crayons ?
- ㊿ — Non, ce ne sont pas des crayons.
- ① Y a-t-il une table ?
- ② — Non, il n'y a pas de tables.
- ③ Avez-vous des amies ? — Non, je n'ai pas d'amies.
- ④ Avez-vous des amies ? — Oui, j'ai des amies.
- ⑤ N'avez-vous pas d'amies ? — Non, je n'ai pas d'amies.
- ⑥ N'avez-vous pas d'amies ? — Si, j'ai des amies.

4.7.7 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私は頭が痛い。

- ② 君は脚が痛い。
- ③ 彼は背中が痛い。
- ④ 彼女は足が痛い。
- ⑤ 私たちには沢山の友達がいる。
- ⑥ 君たちには何人かの女友達がいる。
- ⑦ 彼らは何冊も本を持っている。
- ⑧ 彼女たちは十分な金を持っている。
- ⑨ ピエールはとても暑い。
- ⑩ マリーはとても寒い。
- ⑪ 私は頭が痛いのだろうか。
- ⑫ 君は脚が痛いのか。
- ⑬ 彼は背中が痛いのだろうか。
- ⑭ 彼女は足が痛いのだろうか。
- ⑮ 私たちには沢山の友達があるだろうか。
- ⑯ 君たちには何人かの女友達があるか。
- ⑰ 彼らは何冊も本を持っているだろうか。
- ⑱ 彼女は十分な金を持っているだろうか。
- ⑲ 私は幸せだろうか。
- ⑳ 君（女）は幸せか。
- ㉑ 彼はハンサムか。
- ㉒ 彼女は美人か。
- ㉓ 私たちは年老いているだろうか。
- ㉔ 君たち（女）は年老いているだろうか。
- ㉕ それら（男性名詞）は新しいだろうか。
- ㉖ それら（女性名詞）は新しいだろうか。
- ㉗ 私は幸福ではない。
- ㉘ 君（女）は幸福ではない。
- ㉙ 彼はハンサムではない。
- ㉚ 彼女は美人ではない。
- ㉛ 私たちは年老いていない。
- ㉜ 君たち（女）は年老いていない。
- ㉝ それら（男性名詞）は新しくない。
- ㉞ それら（女性名詞）は新しくない。
- ㉟ 私は頭が痛くない。
- ㊱ 君は脚が痛くない。
- ㊲ 彼は背中が痛くない。
- ㊳ 彼女は足が痛くない。
- ㊴ 私たちには、多くの友達はいない。
- ㊵ 君たちには、何人かの友達がいるわけではない。
- ㊶ 彼らには、何冊も本を持っているわけではない。
- ㊷ 彼女たちには、十分な金があるわけではない。
- ㊸ 私には家がない。
- ㊹ 君は本を持っていない。
- ㊺ 彼は勇気がない。

- ④6 彼女には金がない。
- ④7 それはテーブルかい。
- ④8 いや、それはテーブルではない。
- ④9 それらは鉛筆かい。
- ⑤0 いや、それらは鉛筆ではない。
- ⑤1 テーブルがあるか。
- ⑤2 いや、テーブルはない。
- ⑤3 あなたには友達がありますか。— いいえ、友達はいません。
- ⑤4 あなたには友達がありますか。— はい、友達はいます。
- ⑤5 あなたには友達がいらないのですか。— はい、いません。
- ⑤6 あなたには友達がいらないのですか。— いいえ、います。

4.8 基数詞 (0-50) 息抜きのコーナーです

音声：4-12

0	zéro	ゼロ
1	un	アン
2	deux	ドゥー
3	trois	トゥーロワ
4	quatre	カートる
5	cinq	サーンク
6	six	スイース、スイ
7	sept	セット
8	huit	ユイート
9	neuf	ヌーフ
10	dix	ディース、ディ
11	onze	オーンズ
12	douze	ドゥーズ
13	treize	トレーズ
14	quatorze	カトーるズ
15	quinze	カンズ
16	seize	セーズ
17	dix-sept	ディセートゥ
18	dix-huit	ディズユイートウ
19	dix-neuf	ディズヌーフ
20	vingt	ヴァン
21	vingt et un	ヴァンテアン
22	vingt-deux	ヴァントゥ ドゥ
23	vingt-trois	ヴァントゥ トゥーロワ
24	vingt-quatre	ヴァントゥ カートる
25	vingt-cinq	ヴァントゥ サーンク
26	vingt-six	ヴァントゥ スイース
27	vingt-sept	ヴァントゥ セートゥ
28	vingt-huit	ヴァントゥ ユイート
29	vingt-neuf	ヴァントゥ ヌーフ
30	trente	トゥーロントゥ
31	trente et un	トゥーロントアン
32	trente-deux	トゥーロントゥ ドゥー
33	trente-trois	トゥーロントゥ トゥーロワ
34	trente-quatre	トゥーロントゥ カートる
35	trente-cinq	トゥーロントゥ サーンク
36	trente-six	トゥーロントゥ スイース
37	trente-sept	トゥーロントゥ セット
38	trente-huit	トゥーロントゥ ユイート
39	trente-neuf	トゥーロントゥ ヌーフ
40	quarante	カローントゥ
41	quarante et un	カローンテアン
42	quarante-deux	カローントゥ ドゥー
43	quarante-trois	カローントゥ トゥーロワ
44	quarante-quatre	カローントゥ カートる
45	quarante-cinq	カローントゥ サーンク
46	quarante-six	カローントゥ スイース
47	quarante-sept	カローントゥ セット
48	quarante-huit	カローントゥ ユイート
49	quarante-neuf	カローントゥ ヌーフ
50	cinquante	サンコーントゥ

第 5 章

第一群規則動詞

◆ 本章の目標 ◆

- 第一群規則動詞の変化を覚えます。
- 第一群規則動詞に属する 24 の動詞を覚えます。
- 上記動詞の基本的な用法を学びます。

5.1 第一群規則動詞の変化 (conjugaison)

動詞のおよそ九割は原形（不定法）が-er で終わっている。それらの動詞のほぼ全てが第一群規則動詞であり、同一の規則変化をする。規則変化は次の特徴をもつ。

- 動詞の変化しない部分（語幹）と変化する部分（語尾）の区別が明瞭
- 語尾変化が同じ仲間に属する全ての動詞に共通

5.1.1 第一群規則動詞の語幹 (radical)

第一群規則動詞の語幹は原形（不定法）から、語尾-er を取り除くことによって作られる。こうして作られた語幹は、動詞変化の際にも、一貫して同じ形を保ち続けるのが原則である（例外は秋学期に学ぶ）。

aimer → aim-; *chanter* → chant-; *donner* → donn-

5.1.2 第一群規則動詞の語尾 (terminaison) 変化

第一群規則動詞に属する動詞は、例外なく、下記の語尾変化をする。

	単数	複数
一人称	-e	-ons
二人称	-es	-ez
三人称	-e	-ent

	単数	複数
一人称	je chante	nous chantons
二人称	tu chantes	vous chantez
三人称	il chante	ils chantent

*語尾の部分を□で囲みましょう。

5.2 子音で始まる第一群規則動詞

5.2.1 変化表

直説法現在
CHANTER 歌う

ジュ ショーントゥ je chante	ヌ ショントン nous chantons
テュ ショーントゥ tu chantes	ヴ ションテ vous chantez
イル ショーントゥ il chante	イル ショーントゥ ils chantent
エル ショーントゥ elle chante	エル ショーントゥ elles chantent

5.2.2 三つの変化形

- 単数人称の全ての活用形と、三人称複数形は発音が全く同じであり、アクセントは語幹にある。
- 一人称複数形は語尾-ons にアクセントがある。
- 二人称複数形は語尾-ez に、原形（不定法）は-er に、それぞれアクセントがあり、この二つの形態は発音が同じである。

したがって、**第一群規則動詞の活用は原形を含めても、発音上は三種類しかない。**

ショーントゥ [ʃɑ̃t]	ショントン [ʃɑ̃tɔ̃]	ションテ [ʃɑ̃te]
(je) chante	(nous) chantons	chanter
(tu) chantes		(vous) chantez
(il) chante		
(elle) chante		
(ils) chantent		
(elles) chantent		

◆ 原形（不定法）を発音した後、三つの変化形を発音しましょう。比較的簡単な*のついた動詞から初めて、全部の動詞を練習してください。意味も意識するようにしてください。

①	chercher	シェるシェ	探す	シェーるシュ、シェるション、シェるシェ
②	chanter	ションテ	歌う	ショントゥ、ショントン、ションテ
*③	couper	クベ	切る	クープ、クボン、クベ
*④	donner	ドネ	与える	ドーナ、ドノン、ドネ
⑤	fermer	フェるメ	閉める	フェーるム、フェるモン、フェるメ
⑥	marcher	マるシェ	歩く	マーるシュ、マるション、マるシェ
⑦	parler	パるレ	話す	パーるル、パるロン、パるレ
⑧	penser	ボンセ	考える	ポーンス、ボンソン、ボンセ
⑨	trouver	トゥるヴェ	見つける	トゥーるヴ、トゥるヴォン、トゥるヴェ
*⑩	gagner	ガニエ	稼ぐ	ガーニュ、ガニョン、ガニエ
⑪	jouer	ジュエ	遊ぶ	ジュ、ジュオン、ジュエ
⑫	montrer	モントゥれ	見せる	モートゥる、モントゥるン、モントゥれ
*⑬	passer	パセ	過ごす、渡す	パース、パソン、パセ
⑭	pleurer	ブルれ	泣く	ブルーる、ブルロン、ブルれ
⑮	porter	ポーるテ	運ぶ、身につける	ポーるトゥ、ポーるトン、ポーるテ
*⑯	poser	ポゼ	置く	ポーズ、ポゾン、ポゼ
*⑰	pousser	プセ	押す	プース、プソン、プセ
*⑱	quitter	キテ	離れる	キートゥ、キトン、キテ
⑲	rentrer	ロントゥれ	帰る	ロートゥる、ロントゥるン、ロントゥれ
⑳	rester	れステ	留まる	れーストゥ、れスTon、れステ
㉑	demander	ドゥモンデ	尋ねる、求める	ドゥモードゥ、ドゥモンドン、ドゥモンデ
㉒	regarder	るガーデ	見る	るガードゥ、るガードン、るガーデ
㉓	rencontrer	ろんコントゥれ	出会う	ろんコートゥる、ろんコントゥるン、ろんコントゥれ
㉔	travailler	トゥらヴァイエ	働く	トゥらヴァーユ、トゥらハヴァヨン、トゥらヴァイエ

5.3 第一群規則動詞活用表（基本動詞 1）

◆ 変化表を何度も読みましょう。前の節の不定法だけを見て、変化表全体を言えるようになるのが目標です。

音声：5-1

直説法現在	
シェるシェ	
CHERCHER (探す)	
ジュ シェるシェ je cherche	ヌ シェるシオン nous cherchons
テュ シェるシェ tu cherches	ヴ シェるシェ vous cherchez
イル シェるシェ il cherche	イル シェるシェ ils cherchent
エル シェるシェ elle cherche	エル シェるシェ elles cherchent

音声：5-2

直説法現在	
シオンテ	
CHANTER (歌う)	
ジュ ショーントウ je chante	ヌ ショントン nous chantons
テュ ショーントウ tu chantes	ヴ ションテ vous chantez
イル ショーントウ il chante	イル ショーントウ ils chantent
エル ショーントウ elle chante	エル ショーントウ elles chantent

音声：5-3

直説法現在	
クベ	
COUPER (切る)	
ジュ クーブ je coupe	ヌ クボン nous coupons
テュ クーブ tu coupes	ヴ クベ vous coupez
イル クーブ il coupe	イル クーブ ils coupent
エル クーブ elle coupe	エル クーブ elle coupent

音声：5-4

直説法現在	
ドネ	
DONNER (与える)	
ジュ ドーヌ je donne	ヌ ドノン nous donnons
テュ ドーヌ tu donnes	ヴ ドネ vous donnez
イル ドーヌ il donne	イル ドーヌ ils donnent
エル ドーヌ elle donne	エル ドーヌ elles donnent

音声：5-5

直説法現在	
フェーラム	
FERMER (閉める)	
ジュ フェーラム je ferme	ヌ フェ尔蒙 nous fermons
テュ フェーラム tu fermes	ヴ フェーラム vous fermez
イル フェーラム il ferme	イル フェーラム ils ferment
エル フェーラム elle ferme	エル フェーラム elles ferment

音声：5-6

直説法現在	
マーシェ	
MARCHER (歩く)	
ジュ マーシェ je marche	ヌ マーシオン nous marchons
テュ マーシェ tu marches	ヴ マーシェ vous marchez
イル マーシェ il marche	イル マーシェ ils marchent
エル マーシェ elle marche	エル マーシェ elles marchent

音声：5-7

直説法現在	
パルレ	
PARLER (話す)	
ジュ パーラル je parle	ヌ パーロン nous parlons
テュ パーラル tu parles	ヴ パルレ vous parlez
イル パーラル il parle	イル パーラル ils parlent
エル パーラル elle parle	エル パーラル elles parlent

音声：5-8

直説法現在	
ボンセ	
PENSER (考える・思う)	
ジュ ボーンス je pense	ヌ ボンゾン nous pensons
テュ ボーンス tu penses	ヴ ボンセ vous pensez
イル ボーンス il pense	イル ボーンス ils pensent
エル ボーンス elle pense	エル ボーンス elles pensent

音声：5-9

直説法現在	
トウヴエ	
TROUVER (見つける)	
ジュ トウヴ	ヌ トウヴオン
je trouve	nous trouvons
テュ トウヴ	ヴ トウヴエ
tu trouves	vous trouvez
イル トウヴ	イル トウヴ
il trouve	ils trouvent
エル トウヴ	エル トウヴ
elle trouve	elles trouvent

音声：5-10

直説法現在	
ガニエ	
GAGNER (稼ぐ)	
ジュ ガーニュ	ヌ ガニオン
je gagne	nous gagnons
テュ ガーニュ	ヴ ガニエ
tu gagnes	vous gagnez
イル ガーニュ	イル ガーニュ
il gagne	ils gagnent
エル ガーニュ	エル ガーニュ
elle gagne	elles gagnent

音声：5-11

直説法現在	
ジュエ	
JOUER (遊ぶ)	
ジュ ジュ	ヌ ジュオン
je joue	nous jouons
テュ ジュ	ヴ ジュエ
tu joues	vous jouez
イル ジュ	イル ジュ
il joue	ils jouent
エル ジュ	エル ジュ
elle joue	elles jouent

音声：5-12

直説法現在	
モントゥレ	
MONTRER (見せる)	
ジュ モントゥ	ヌ モントゥ
je montre	nous montrons
テュ モントゥ	ヴ モントゥレ
tu montres	vous montrez
イル モントゥ	イル モントゥ
il montre	ils montrent
エル モントゥ	エル モントゥ
elle montre	elles montrent

音声：5-13

直説法現在	
パセ	
PASSER (過ごす、渡す)	
ジュ パース	ヌ パゾン
je passe	nous passons
テュ パース	ヴ パセ
tu passes	vous passez
イル パース	イル パース
il passe	ils passent
エル パース	エル パース
elle passe	elles passent

音声：5-14

直説法現在	
ブルレ	
PLEURER (泣く)	
ジュ ブルー	ヌ ブル
je pleure	nous pleurons
テュ ブルー	ヴ ブルレ
tu pleures	vous pleurez
イル ブルー	イル ブルー
il pleure	ils pleurent
エル ブルー	エル ブルー
elle pleure	elles pleurent

音声：5-15

直説法現在	
ポルテ	
PORTER (運ぶ、身につける)	
ジュ ポー	ヌ ポン
je porte	nous portons
テュ ポー	ヴ ポルテ
tu portes	vous portez
イル ポー	イル ポー
il porte	ils portent
エル ポー	エル ポー
elle porte	elles portent

音声：5-16

直説法現在	
ポゼ	
POSER (置く)	
ジュ ポーズ	ヌ ポゾン
je pose	nous posons
テュ ポーズ	ヴ ポゼ
tu poses	vous posez
イル ポーズ	イル ポーズ
il pose	ils posent
エル ポーズ	エル ポーズ
elle pose	elles posent

音声：5-17

直説法現在	
プセ	
POUSSER (押す)	
ジュ プース	ヌ ブゾン
je pousse	nous poussons
テュ プース	ヴ プセ
tu pousses	vous poussez
イル プース	イル プース
il pousse	ils poussent
エル プース	エル プース
elle pousse	elles poussent

音声：5-18

直説法現在	
キテ	
QUITTER (離れる)	
ジュ キートゥ	ヌ キトン
je quitte	nous quittons
テュ キートゥ	ヴ キテ
tu quittes	vous quittez
イル キートゥ	イル キートゥ
il quitte	ils quittent
エル キートゥ	エル キートゥ
elle quitte	elles quittent

音声：5-19

直説法現在	
ロントゥレ	
RENTRE (帰る)	
ジュ ゾーントゥル	ヌ ロントゥラン
je rentre	nous rentrons
テュ ゾーントゥル	ヴ ロントゥレ
tu rentres	vous rentrez
イル ゾーントゥル	イル ゾーントゥル
il rentre	ils rentrent
エル ゾーントゥル	エル ゾーントゥル
elle rentre	elles rentrent

音声：5-20

直説法現在	
レスト	
RESTER (留まる)	
ジュ レーストゥ	ヌ レストン
je reste	nous restons
テュ レーストゥ	ヴ レスト
tu restes	vous restez
イル レーストゥ	イル レーストゥ
il reste	ils restent
エル レーストゥ	エル レーストゥ
elle reste	elles restent

音声：5-21

直説法現在	
ドゥモンド	
DEMANDER (尋ねる、求める)	
ジュ ドゥモンドゥ	ヌ ドゥモンドン
je demande	nous demandons
テュ ドゥモンドゥ	ヴ ドゥモンデ
tu demandes	vous demandez
イル ドゥモンドゥ	イル ドゥモンドゥ
il demande	ils demandent
エル ドゥモンドゥ	エル ドゥモンドゥ
elle demande	elles demandent

音声：5-22

直説法現在	
ルガルド	
REGARDER (見る)	
ジュ ルガーンドゥ	ヌ ルガルドン
je regarde	nous regardons
テュ ルガーンドゥ	ヴ ルガルド
tu regardes	vous regardez
イル ルガーンドゥ	イル ルガーンドゥ
il regarde	ils regardent
エル ルガーンドゥ	エル ルガーンドゥ
elle regarde	elles regardent

音声：5-23

直説法現在	
ロンコントゥレ	
RENCONTRER (会う)	
ジュ ロンコントゥル	ヌ ロンコントゥラン
je rencontre	nous rencontrons
テュ ロンコントゥル	ヴ ロンコントゥレ
tu rencontres	vous rencontrez
イル ロンコントゥル	イル ロンコントゥル
il rencontre	ils rencontrent
エル ロンコントゥル	エル ロンコントゥル
elle rencontre	elles rencontrent

音声：5-24

直説法現在	
トラヴァイエ	
TRAVAILLER (働く)	
ジュ トラヴァーユ	ヌ トラヴァヨン
je travaille	nous travaillons
テュ トラヴァーユ	ヴ トラヴァイエ
tu travailles	vous travaillez
イル トラヴァーユ	イル トラヴァーユ
il travaille	ils travaillent
エル トラヴァーユ	エル トラヴァーユ
elle travaille	elles travaillent

5.4 例文集

音声：5-25

- ジュ ショントゥ トレ ビヤン
① **Je chante très bien.**
私はうまく歌う。
- デュ シェルシュ レグリーズ
② **Tu cherches l'église.**
君は教会を探している。
- イル クプ ル パン
③ **Il coupe le pain.**
彼はパンを切る。
- エル ドヌ アン クレヨン ア マリ
④ **Elle donne un crayon à Marie.**
彼女はマリーに鉛筆をあげる。
- ヌ フェルモン ラ ポーロット
⑤ **Nous fermons la porte.**
私たちはドアを閉める。
- ヴ マルシェ ボク
⑥ **Vous marchez beaucoup.**
君たちはたくさん歩く。
- イル パルル フロンセ
⑦ **Ils parlent français.**
彼らはフランス語を話す。
- エル ボンス ア ビエー
⑧ **Elles pensent à Pierre.**
彼女たちはピエールのことを考える。
- デュ トゥルヴ アン カフェ
⑨ **Tu trouves un café.**
君は喫茶店を見つける。
- エル ガニュ ディズー
⑩ **Elle gagne 10 (dix) euros.**
彼女は 10 ユーロ稼ぐ。
- ヌ ジュオン オ テニス
⑪ **Nous jouons au tennis.**
私たちはテニスをする。
- ヴ モントゥレ レグリーズ ア ビエー
⑫ **Vous montrez l'église à Pierre.**
君たちはピエールに教会を見せる。
- エル バス ル クレヨン ア マリ
⑬ **Elles passent le crayon à Marie.**
彼女たちは鉛筆をマリーに渡す。
- ジュ プルー
⑭ **Je pleure.**
私は泣く。
- デュ ポルトゥ レ リュネート
⑮ **Tu portes les lunettes.**
君は眼鏡をかけている。

イル ポズ ル リヴル スユル ラ ターブル
 ⑩ **Il pose le livre sur la table.**
 彼は本をテーブルの上に置く。

エル プス ラ ポーラトゥ
 ⑪ **Elle pousse la porte.**
 彼女はドアを押す。

ヌ キトン パリ
 ⑫ **Nous quittons Paris.**
 私たちはパリを離れる。

エル ゾントル ドゥ レグリーズ
 ⑬ **Elles rentrent de l'église.**
 彼女たちは教会から帰宅する。

ジュ レストゥ ア ラ メゾン
 ⑭ **Je reste à la maison.**
 私は家に留まる。

イル ドゥモンド ドゥ ラルジョン
 ⑮ **Il demande de l'argent.**
 彼は金を要求する。

ヴ るガルド マリ
 ⑯ **Vous regardez Marie.**
 あなたはマリを見つめている。

イル ゾンコントル ピエール
 ⑰ **Ils rencontrent Pierre.**
 彼らはピエールに出会った。

ジュ トゥラヴァユ ボク
 ⑱ **Je travaille beaucoup.**
 私はたくさん働く。

NB: 「フランス語」、「日本語」は、通常、le français, le japonais と定冠詞をつけるが、parler の後では、この定冠詞が省略されることが多い。

chanter は「歌を歌う」、marcher は「歩く」、pleurer は「泣く」、travailler 「働く」という意味で、それ自体で自足します。後に続く beaucoup 「大いに、たくさん」は必須ではありません。rentrer 「帰宅する」、rester 「留まる」も同様です。どこから帰宅するのか、どこかに留まるのかは必ずしも示す必要はありません。このような動詞を自動詞と言います。自動詞は最低限「主語 + 動詞」だけで文を作ることができます。

一方、chercher は「を探す」、couper は「を切る」、fermer は「を閉じる」、trouver は「を見つける」、gagner は「を稼ぐ」、porter は「を身につける」、poser は「を置く」、pousser は「を押す」、quitter は「を離れる」、regarder は「を見る」、rencontrer は「に会う」という意味で、その動作の対象を明示する必要がある他動詞です。つまり、「主語 + 動詞 + 直接目的格補語」という構文が必要となります。donner 「を与える」、montrer 「を見せる」、passer 「を渡す」、demander 「を求める」も同様ですが、これらは、さらに「誰に」を明示することも可能です。つまり、「主語 + 動詞 + 直接目的格補語 + 間接目的格補語」の構文をとることもできます（「主語 + 動詞 + 直接目的格補語」も可）。

また、penser à 「～について考える」や jouer à 「～をプレイする」のように、前置詞句を要求す

る動詞もあります。

どのような構文をとるのかは、動詞によって決まっています。たとえば、「～を... する」という意味の動詞が多くの場合、直接目的格補語を要求するのに対して、「～に... する」は、たいてい、間接目的格補語を要求します。けれども、これはあくまで目安に過ぎず、確実なことを知るには、辞書を引く他ありません。実を言えば、フランス語を身につけるには、動詞がどのような構文をとるかを個別に覚えていく必要があるのです。

5.5 新出単語

音声：5-26

① chanter

[動詞] 歌う

④ demander

[動詞] 尋ねる、求める

⑦ gagner

[動詞] 稼ぐ

⑩ montrer

[動詞] 見せる

⑬ penser

[動詞] 考える

⑯ poser

[動詞] 置く

⑲ regarder

[動詞] 見る

⑳ rester

[動詞] 留まる

㉓ euro

[名詞・男性] ユーロ

㉘ lunettes

[名詞・女性] 眼鏡

㉙ très bien

[副詞] とてもよく

② chercher

[動詞] 探す

⑤ donner

[動詞] 与える

⑧ jouer

[動詞] 遊ぶ

⑪ parler

[動詞] 話す

⑭ pleurer

[動詞] 泣く

⑰ pousser

[動詞] 押す

㉑ rencontrer

[動詞] 出会う

㉔ travailler

[動詞] 働く

㉖ français

[名詞・男性] フランス語

㉚ tennis

[名詞・男性] テニス

③ couper

[動詞] 切る

⑥ fermer

[動詞] 閉める

⑨ marcher

[動詞] 歩く

⑫ passer

[動詞] 渡す、過ごす

⑮ porter

[動詞] 運ぶ、身につける

⑱ quitter

[動詞] 離れる

㉒ rentrer

[動詞] 帰る

㉕ trouver

[動詞] 見つける

㉗ japonais

[名詞・男性] 日本語

㉛ beaucoup

[副詞] 大いに

5.6 第05章練習問題

5.6.1 次の動詞の意味を思い浮かべながら、活用せよ。

- | | | |
|------------|--------------|-----------|
| ① chanter | ② chercher | ③ couper |
| ④ demander | ⑤ donner | ⑥ fermer |
| ⑦ gagner | ⑧ jouer | ⑨ marcher |
| ⑩ montrer | ⑪ parler | ⑫ passer |
| ⑬ penser | ⑭ pleurer | ⑮ porter |
| ⑯ poser | ⑰ pousser | ⑱ quitter |
| ⑲ regarder | ⑳ rencontrer | ㉑ rentrer |
| ㉒ rester | ㉓ travailler | ㉔ trouver |

5.6.2 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| ① chanter | ② chercher | ③ couper |
| ④ demander | ⑤ donner | ⑥ fermer |
| ⑦ gagner | ⑧ jouer | ⑨ marcher |
| ⑩ montrer | ⑪ parler | ⑫ passer |
| ⑬ penser | ⑭ pleurer | ⑮ porter |
| ⑯ poser | ⑰ pousser | ⑱ quitter |
| ⑲ regarder | ⑳ rencontrer | ㉑ rentrer |
| ㉒ rester | ㉓ travailler | ㉔ trouver |
| ㉕ euro | ㉖ français | ㉗ japonais |
| ㉘ lunettes | ㉙ tennis | ㉚ beaucoup |
| ㉛ très bien | | |

5.6.3 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| ① [動詞] 歌う | ② [動詞] 探す | ③ [動詞] 切る |
| ④ [動詞] 尋ねる、求める | ⑤ [動詞] 与える | ⑥ [動詞] 閉める |
| ⑦ [動詞] 稼ぐ | ⑧ [動詞] 遊ぶ | ⑨ [動詞] 歩く |
| ⑩ [動詞] 見せる | ⑪ [動詞] 話す | ⑫ [動詞] 渡す、過ごす |
| ⑬ [動詞] 考える | ⑭ [動詞] 泣く | ⑮ [動詞] 運ぶ、身につける |
| ⑯ [動詞] 置く | ⑰ [動詞] 押す | ⑱ [動詞] 離れる |
| ⑲ [動詞] 見る | ⑳ [動詞] 出会う | ㉑ [動詞] 帰る |
| ㉒ [動詞] 留まる | ㉓ [動詞] 働く | ㉔ [動詞] 見つける |
| ㉕ [名詞・男性] ユーロ | ㉖ [名詞・男性] フランス語 | ㉗ [名詞・男性] 日本語 |
| ㉘ [名詞・女性] 眼鏡 | ㉙ [名詞・男性] テニス | ㉚ [副詞] 大いに |
| ㉛ [副詞] とてもよく | | |

5.6.4 次の動詞の活用表を、原形を含めて、書け。

- | | | |
|----------------|------------|-----------------|
| ① [動詞] 歌う | ② [動詞] 探す | ③ [動詞] 切る |
| ④ [動詞] 尋ねる、求める | ⑤ [動詞] 与える | ⑥ [動詞] 閉める |
| ⑦ [動詞] 稼ぐ | ⑧ [動詞] 遊ぶ | ⑨ [動詞] 歩く |
| ⑩ [動詞] 見せる | ⑪ [動詞] 話す | ⑫ [動詞] 渡す、過ごす |
| ⑬ [動詞] 考える | ⑭ [動詞] 泣く | ⑮ [動詞] 運ぶ、身につける |
| ⑯ [動詞] 置く | ⑰ [動詞] 押す | ⑱ [動詞] 離れる |
| ⑲ [動詞] 見る | ⑳ [動詞] 出会う | ㉑ [動詞] 帰る |
| ㉒ [動詞] 留まる | ㉓ [動詞] 働く | ㉔ [動詞] 見つける |

5.6.5 次の文章の空欄を補え。

- ① Je très bien.
私はうまく歌う。
- ② Tu l'église.
君は教会を探している。
- ③ Il le pain.
彼はパンを切る。
- ④ Elle un crayon à Marie.
彼女はマリーに鉛筆をあげる。
- ⑤ Nous la porte.
私たちはドアを閉める。
- ⑥ Vous beaucoup.
君たちはたくさん歩く。
- ⑦ Ils français.
彼らはフランス語を話す。
- ⑧ Elles à Pierre.
彼女たちはピエールのことを考える。
- ⑨ Tu un café.
君は喫茶店を見つかる。
- ⑩ Elle 10 (dix) euros.
彼女は 10 ユーロ稼ぐ。
- ⑪ Nous au tennis.
私たちはテニスをする。
- ⑫ Vous l'église à Pierre.
君たちはピエールに教会を見せる。
- ⑬ Elles le crayon à Marie.
彼女たちは鉛筆をマリーに渡す。
- ⑭ Je .
私は泣く。

- ⑮ Tu les lunettes.
君は眼鏡をかけている。
- ⑯ Il le livre sur la table.
彼は本をテーブルの上に置く。
- ⑰ Elle la porte.
彼女はドアを押す。
- ⑱ Nous Paris.
私たちはパリを離れる。
- ⑲ Elles de l'église.
彼女たちは教会から帰宅する。
- ⑳ Je à la maison.
私は家に留まる。
- ㉑ Il de l'argent.
彼は金を要求する。
- ㉒ Vous Marie.
あなたはマリを見つめている。
- ㉓ Ils Pierre.
彼らはピエールに出会った。
- ㉔ Je beaucoup.
私はたくさん働く。

5.6.6 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Je chante très bien.
- ② Tu cherches l'église.
- ③ Il coupe le pain.
- ④ Elle donne un crayon à Marie.
- ⑤ Nous fermons la porte.
- ⑥ Vous marchez beaucoup.
- ⑦ Ils parlent français.
- ⑧ Elles pensent à Pierre.
- ⑨ Tu trouves un café.
- ⑩ Elle gagne 10 (dix) euros.
- ⑪ Nous jouons au tennis.
- ⑫ Vous montrez l'église à Pierre.
- ⑬ Elles passent le crayon à Marie.
- ⑭ Je pleure.
- ⑮ Tu portes les lunettes.
- ⑯ Il pose le livre sur la table.
- ⑰ Elle pousse la porte.
- ⑱ Nous quittons Paris.
- ⑲ Elles rentrent de l'église.
- ⑳ Je reste à la maison.
- ㉑ Il demande de l'argent.
- ㉒ Vous regardez Marie.

- ㉓ Ils rencontrent Pierre.
- ㉔ Je travaille beaucoup.

5.6.7 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私はうまく歌う。
- ② 君は教会を探している。
- ③ 彼はパンを切る。
- ④ 彼女はマリーに鉛筆をあげる。
- ⑤ 私たちはドアを閉める。
- ⑥ 君たちはたくさん歩く。
- ⑦ 彼らはフランス語を話す。
- ⑧ 彼女たちはピエールのことを考える。
- ⑨ 君は喫茶店を見つける。
- ⑩ 彼女は 10 ユーロ稼ぐ。
- ⑪ 私たちはテニスをする。
- ⑫ 君たちはピエールに教会を見せる。
- ⑬ 彼女たちは鉛筆をマリーに渡す。
- ⑭ 私は泣く。
- ⑮ 君は眼鏡をかけている。
- ⑯ 彼は本をテーブルの上に置く。
- ⑰ 彼女はドアを押す。
- ⑱ 私たちはパリを離れる。
- ⑲ 彼女たちは教会から帰宅する。
- ⑳ 私は家に留まる。
- ㉑ 彼は金を要求する。
- ㉒ あなたはマリーを見つめている。
- ㉓ 彼らはピエールに出会った。
- ㉔ 私はたくさん働く。

5.7 基数詞 (51-100) 息抜きのコーナーです

音声：5-27

51	cinquante et un	サンコーンテアン
52	cinquante-deux	サンコーントゥ ドゥー
53	cinquante-trois	サンコーントゥ トゥろワ
54	cinquante-quatre	サンコーントゥ カートる
55	cinquante-cinq	サンコーントゥ サーク
56	cinquante-six	サンコーントゥ スィース
57	cinquante-sept	サンコーントゥ セット
58	cinquante-huit	サンコーントゥ ユイト
59	cinquante-neuf	サンコーントゥ ヌーフ
60	soixante	スワゾントゥ
61	soixante et un	スワゾンテアン
62	soixante-deux	スワゾントゥ ドゥー
63	soixante-trois	スワゾントゥ トゥろワ
64	soixante-quatre	スワゾントゥ カートる
65	soixante-cinq	スワゾントゥ サーク
66	soixante-six	スワゾントゥ スィース
67	soixante-sept	スワゾントゥ セット
68	soixante-huit	スワゾントゥ ユイト
69	soixante-neuf	スワゾントゥ ヌーフ
70	soixante-dix	スワゾントゥ ディース
71	soixante et onze	スワゾンテ オーンズ
72	soixante-douze	スワゾントゥ ドゥーズ
73	soixante-treize	スワゾントゥ トれーズ
74	soixante-quatorze	スワゾントゥ カトるズ
75	soixante-quinze	スワゾントゥ カンズ
76	soixante-seize	スワゾントゥ セーズ
77	soixante-dix-sept	スワゾントゥ ディセートゥ
78	soixante-dix-huit	スワゾントゥ ディズユイトウ
79	soixante-dix-neuf	スワゾントゥ ディズヌーフ
80	quatre-vingts	カトるヴァン
81	quatre-vingt-un	カトるヴァンアン
82	quatre-vingt-deux	カトるヴァン ドゥー
83	quatre-vingt-trois	カトるヴァン トゥろワ
84	quatre-vingt-quatre	カトるヴァン カートる
85	quatre-vingt-cinq	カトるヴァン サーク
86	quatre-vingt-six	カトるヴァン スィース
87	quatre-vingt-sept	カトるヴァン セット
88	quatre-vingt-huit	カトるヴァン ユイト
89	quatre-vingt-neuf	カトるヴァン ヌーフ
90	quatre-vingt-dix	カトるヴァン ディース
91	quatre-vingt-onze	カトるヴァン オーンズ
92	quatre-vingt-douze	カトるヴァン ドゥーズ
93	quatre-vingt-treize	カトるヴァン トれーズ
94	quatre-vingt-quatorze	カトるヴァン カトるズ
95	quatre-vingt-quinze	カトるヴァン カンズ
96	quatre-vingt-seize	カトるヴァン セーズ
97	quatre-vingt-dix-sept	カトるヴァン ディセートゥ
98	quatre-vingt-dix-huit	カトるヴァン ディズユイトウ
99	quatre-vingt-dix-neuf	カトるヴァン ディズヌーフ
100	cent	ソン

第6章

第一群規則動詞と疑問文・否定文

◆ 本章の目標 ◆

- 母音で始まる第一群規則動詞変化の特徴を知る。
- 母音で始まる第一群規則動詞7つを覚える。
- 第一群規則動詞の否定文と疑問文の作り方を理解する

6.1 第一群規則動詞（基本動詞 2）

前課の-er 動詞にあわせ、次の動詞は、全て基本動詞である。必ず覚えること。

6.1.1 母音で始まる第一群規則動詞

音声：6-1

直説法現在	
エメ	
AIMER（愛する）	
ジェーム j'aime	ヌゼモン nous aimons
チュエーム tu aimes	ウゼメ vous aimez
イレーム il aime	イルゼーム ils aiment
エレーム elle aime	エルゼーム elles aiment

- je がエリズィオンして、j'になる。
- il aime, elle aime がアンシェーマンにより、一続きに発音される。
- nous aimons, vous aimez, ils aiment, elles aiment で、nous, vous, ils, elles の語末の-s が、リエゾンにより、[z] の音で発音される。

◆ 前章と同様、三つの形をまず練習しましょう。不定法を見たら、三つの形が言えるようになってください。

- ① **aimer** エメ 愛する エーム、エモン、エメ
 ② **aider** エデ 助ける エードゥ、エドン、エデ
 ③ **arriver** アリヴェ 到着する アリーヴ、アリヴォン、アリヴェ
 ④ **écouter** エクテ 聞く エクトゥ、エクトン、エクテ
 ⑤ **entrer** オントレ 入る オントゥる、オントゥろん、オントゥれ
 ⑥ **habiter** アビテ 住む アビートゥ、アビトン、アビテ
 ⑦ **oublier** ウブリエ 忘れる ウブリ、ウブリオン、ウブリエ

◆ 変化表を声を出して何度も読んでください。前節の表で、不定法をみたら、変化表全体を言えるようになるのが目標です。

音声：6-2

直説法現在	
エデ AIDER (助ける)	
ジェードゥ j'aide	ヌゼドン nous aidons
テュ エードゥ tu aides	ヴゼデ vous aidez
イレードゥ il aide	イルゼードゥ ils aident
エレードゥ elle aide	エルゼードゥ elles aident

音声：6-3

直説法現在	
アリヴェ ARRIVER (到着する)	
ジャリーヴ j'arrive	ヌザリヴォン nous arrivons
テュ アリーヴ tu arrives	ヴザリヴェ vous arrivez
イラリーヴ il arrive	イルザリーヴ ils arrivent
エラリーヴ elle arrive	エルザリーヴ elles arrivent

音声：6-4

直説法現在	
エクテ ÉCOUTER (聞く)	
ジュクートゥ j'écoute	ヌゼクトン nous écoutons
テュ エクトゥ tu écoutes	ヴゼクテ vous écoutez
イレクトゥ il écoute	イルゼクトゥ ils écoutent
エレクトゥ elle écoute	エルゼクトゥ elles écoutent

音声：6-5

直説法現在	
オントゥれ ENTRER (入る)	
ジョントゥる j'entre	ヌソントゥろん nous entrons
テュ オントゥる tu entres	ヴソントゥれ vous entrez
イロントゥる il entre	イルゾントゥる ils entrent
エロントゥる elle entre	エルゾントゥる elles entrent

音声：6-6

直説法現在	
アビテ HABITER (住む)	
ジャビートゥ j'habite	ヌザビトン nous habitons
テュ アビートゥ tu habites	ヴザビテ vous habitez
イラビートゥ il habite	イルザビートゥ ils habitent
エラビートゥ elle habite	エルザビートゥ elles habitent

音声：6-7

直説法現在	
ウブリエ OUBLIER (忘れる)	
ジュブリ j'oublie	ヌズブリオン nous oublions
テュ ウーブリ tu oublies	ヴズブリエ vous oubliez
イルーブリ il oublie	イルズーブリ ils oublient
エルーブリ elle oublie	エルズーブリ elles oublient

6.1.2 例文集

音声：6-8

- イレム ラ ミュズイーク
① Il **aime** la musique.
彼は音楽が好きだ。
- エレドゥ ポル
② Elle **aide** Paul.
彼女はポールを助ける。
- スザリヴォン ア パリ
③ Nous **arrivons** à Paris.
私たちはパリに到着する。
- ヴゼクテ ビヤン ジャヌ
④ Vous **écoutez** bien Jeanne.
あなたはジャンヌの言うことをよく聞く。
- テュ オントゥル ドン ラ メゾン
⑤ Tu **entres** dans la maison.
君は家に入る。
- イルザビトゥ ア パリ
⑥ Ils **habitent** à Paris.
彼らはパリに住んでいる。
- イルズブリ ラ るヴェ
⑦ Ils **oublient** la revue.
彼らは雑誌を忘れる。

aimer, aider, écouter, oublier はいずれも、直接目的格補語を要求します。habiter や arriver は「どこに」を表す前置詞句を伴うこともありますが、それは必須ではありません (habiter は直接目的格補語を要求する用法もあります)。aimer は「～を好む」という意味ですが、例文のように直接目的格補語が、不可算名詞の場合は、定冠詞付きの単数名詞 (実は不可算形) を従え、可算名詞の場合には、定冠詞付き複数名詞を従えます (J'aime les livres. 「本が好きだ」)。

6.2 第一群規則動詞の否定文と疑問文

◆ avoir, être の否定文・疑問文と全く同じ規則に従います。したがって、以下は復習です。

6.2.1 否定文

avoir や être の時と同様、ne と pas で動詞を挟む。ne は母音の前では n' となるので、注意すること。

音声：6-9

ne pas demander 否定	
ジュ ヌ ドゥモンドゥ バ je ne demande pas	ヌ ヌ ドモンドン バ nous ne demandons pas
テュ ヌ ドゥモンドゥ バ tu ne demandes pas	ヴ ヌ ドモンデ バ vous ne demandez pas
イル ヌ ドゥモンドゥ バ il ne demande pas	イル ヌ ドゥモンドゥ バ ils ne demandent pas
エル ヌ ドゥモンドゥ バ elle ne demande pas	エル ヌ ドゥモンドゥ バ elles ne demandent pas

ne pas entrer 否定	
ジュ ノントゥル バ je n'entre pas	ヌ ノントゥロン バ nous n'entrons pas
テュ ノントゥル バ tu n'entres pas	ヴ ノントゥレ バ vous n'entrez pas
イル ノントゥル バ il n'entre pas	イル ノントゥル バ ils n'entrent pas
エル ノントゥル バ elle n'entre pas	エル ノントゥル バ elles n'entrent pas

6.2.2 倒置疑問文

第一群規則動詞の三人称単数形は、全て、-e で終わるので、**倒置した動詞と主格代名詞の間に、必ず-tが入る。**

音声：6-10

demander 倒置疑問		entrer 倒置疑問	
ドゥモンデージュ Demandé-je	ドゥモンドン ヌ Demandons-nous	オントゥレ-ジュ Entré-je	オントゥロン ヌ Entrons-nous
ドゥモンドゥ テュ Demandes-tu	ドゥモンデ ヴ Demandez-vous	オントゥル テュ Entres-tu	オントゥレ ヴ Entrez-vous
ドゥモンドゥティール Demande-t-il	ドゥモンドゥティール Demandent-ils	オントゥルティール Entre-t-il	オントゥルティール Entrent-ils
ドゥモンドゥテル Demande-t-elle	ドゥモンドゥテル Demandent-elles	オントゥルテル Entre-t-elle	オントゥルテル Entrent-elles

NB: 一人称単数形は、entré, demandé という特殊な形を用いるが、減多に用いられないので、あまり神経質になる必要はない。

6.2.3 補足：否定疑問文

◆ いわゆる試験範囲には含まれません。余裕のある人は目を通してみましょう。

倒置した動詞と主語の全体を ne (n') と pas で挟むと、「～ではないのか。」という否定疑問文になる。

demander 否定倒置疑問	
ヌ ドゥモンデージュ バ Ne demandé-je pas	ヌ ドゥモンドン ヌ バ Ne demandons-nous pas
ヌ ドゥモンドゥ テュ バ Ne demandes-tu pas	ヌ ドゥモンデ ヴ バ Ne demandez-vous pas
ヌ ドゥモンドゥティール バ Ne demande-t-il pas	ヌ ドゥモンドゥティール バ Ne demandent-ils pas
ヌ ドゥモンドゥテル バ Ne demande-t-elle pas	ヌ ドゥモンドゥテル バ Ne demandent-elles pas

entrer 否定倒置疑問	
ノントゥレジュ バ N'entré-je pas	ノントゥロン ス バ N'entrons-nous pas
ノントゥル テュ バ N'entres-tu pas	ノントゥレ ヴ バ N'entrez-vous pas
ノントゥル テイル バ N'entre-t-il pas	ノントゥル テイル バ N'entrent-ils pas
ノントゥル テル バ N'entre-t-elle pas	ノントゥル テル バ N'entrent-elles pas

6.3 新出単語

音声：6-11

アシユテ
① acheter
[動詞] 買う

アリヴェ
④ arriver
[動詞] 到着する

エクテ
⑦ écouter
[動詞] 聞く

モンジェ
⑩ manger
[動詞] 食べる

エデ
② aider
[動詞] 助ける

ションジエ
⑤ changer
[動詞] 変える

オントレ
⑧ entrer
[動詞] 入る

ウブリエ
⑪ oublier
[動詞] 忘れる

エメ
③ aimer
[動詞] 愛する

コモンセ
⑥ commencer
[動詞] 始める

アビテ
⑨ habiter
[動詞] 住む

ミュージーク
⑫ musique
[名詞・女性] 音楽

6.4 第06章練習問題

6.4.1 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

① acheter
④ arriver
⑦ écouter
⑩ manger

② aider
⑤ changer
⑧ entrer
⑪ oublier

③ aimer
⑥ commencer
⑨ habiter
⑫ musique

6.4.2 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

① [動詞] 買う
④ [動詞] 到着する
⑦ [動詞] 聞く
⑩ [動詞] 食べる

② [動詞] 助ける
⑤ [動詞] 変える
⑧ [動詞] 入る
⑪ [動詞] 忘れる

③ [動詞] 愛する
⑥ [動詞] 始める
⑨ [動詞] 住む
⑫ [名詞・女性] 音楽

6.4.3 次の動詞を活用せよ。

① acheter
④ arriver

② aider
⑤ changer

③ aimer
⑥ commencer

- ⑦ écouter
⑩ manger

- ⑧ entrer
⑪ oublier

- ⑨ habiter

6.4.4 次の動詞を否定形で活用せよ。

[例] passer: je ne passe pas, tu ne passes pas, il ne passe pas, elle ne passe pas, nous ne passons pas, vous ne passez pas, ils ne passent pas, elles ne passent pas.

- ① gagner ② demander ③ jouer ④ montrer

6.4.5 次の動詞を否定形で活用せよ。ただし、活用形が母音で始まることに注意すること。

[例] écouter, je n'écoute pas, tu n'écoutes pas, il n'écoute pas, elle n'écoute pas, nous n'écoutons pas, vous n'écoutez pas, ils n'écoutent pas, elles n'écoutent pas.

- ① entrer ② aimer ③ aider ④ arriver

6.4.6 次の動詞を倒置形で活用せよ。

[例] penser: pensé-je, penses-tu, pense-t-il, pense-t-elle, pensons-nous, pensez-vous, pensent-ils, pensent-elles.

- ① pleurer ② porter ③ poser
④ pousser ⑤ quitter ⑥ regarder
⑦ rencontrer ⑧ rentrer ⑨ rester

6.4.7 次の文章の空欄を補え。

- ① Il la musique.
彼は音楽が好きだ。
- ② Elle Paul.
彼女はポールを助ける。
- ③ Nous à Paris.
私たちはパリに到着する。
- ④ Vous bien Jeanne.
あなたはジャンヌの言うことをよく聞く。
- ⑤ Tu dans la maison.
君は家に入る。
- ⑥ Ils à Paris.
彼らはパリに住んでいる。
- ⑦ Ils la revue.
彼らは雑誌を忘れる。

6.4.8 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Il aime la musique.
- ② Elle aide Paul.
- ③ Nous arrivons à Paris.
- ④ Vous écoutez bien Jeanne.
- ⑤ Tu entres dans la maison.
- ⑥ Ils habitent à Paris.
- ⑦ Ils oublient la revue.

6.4.9 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 彼は音楽が好きだ。
- ② 彼女はポールを助ける。
- ③ 私たちはパリに到着する。
- ④ あなたはジャンヌの言うことをよく聞く。
- ⑤ 君は家に入る。
- ⑥ 彼らはパリに住んでいる。
- ⑦ 彼らは雑紙を忘れる。

第 7 章

指示形容詞・第二群規則動詞と rendre 型動詞

◆ 本章の目標 ◆

- 指示形用の変化表と基本用法を覚える。
- 第二群規則動詞変化とそれに属する三つの動詞を覚える。
- rendre 型動詞の変化とそれに属する動詞を覚える。

7.1 指示形容詞 (adjectif démonstratif)

指示形容詞は、冠詞相当語句であり、指示形容詞と冠詞が同時に名詞につくことはない。「あの、この、その」を意味し、定冠詞と同様限定された名詞につくが、定冠詞と違い、眼前のものを指し示すニュアンスを強く持つ。

7.1.1 指示形容詞の性数変化

音声：7-1

		男性	女性
可算	単数	ce (cet) ^ス	cette ^{セトゥ}
	複数	ces ^セ	
不可算		ce (cet) ^ス	cette ^{セトゥ}

何度も発音し、変化表を口で言えるようになってから、綴りを覚えましょう。

用例の名詞は全て既出単語です。発音や意味を思い出してみましょう。

音声：7-2

単数	ce garçon	ce livre	ce crayon
	cette fille	cette revue	cette table
複数	ces garçons	ces livres	ces crayons
	ces filles	ces revues	ces tables
不可算	ce pain	ce beurre	ce courage
	cette viande	cette confiture	cette chance

母音で始まる単数名詞、不可算名詞

母音で始まる男性単数（不可算）名詞の前では、男性単数第二形の *cet* を使う。*cet* の *-t* はリエゾンにより [t] と発音される。一方、母音で始まる女性単数（不可算）名詞の前では、通常通り、*cette* を使うが、アンシェーヌマンが起こるので注意すること。

音声：7-3

セトーム cet homme	セトテール cet hôtel	セタルジョン cet argent	セテール cet air
セトトゥワール cette étoile	セテグリーズ cette église	セト cette eau	セテユイール cette huile

母音で始まる複数名詞

音声：7-4

セゾーム ces hommes	セゾテール ces hôtels	セゼトゥワール ces étoiles	セゼグリーズ ces églises
--------------------	---------------------	------------------------	-----------------------

母音で始まる複数名詞の前では、リエゾンにより、*ces* の *-s* が [z] と発音される。

7.1.2 指示形容詞の用法

定冠詞が「話し手と聞き手にとって既知のもの」や「すでに話題になったもの」に付くのに対し、指示形容詞は定冠詞が付き得る名詞に、さらに「目下の、今日の前にある」といったニュアンスがある場合に用いられる。

音声：7-5

ス マタン ce matin 今朝（に）	セタブレミディ cet après-midi 今日の午後（に）	ス スワーる ce soir 今晚（に）	セトゥ ニュイ cette nuit 今夜（に）
セトゥ スメース cette semaine 今週（に）	ス モワ ce mois 今月（に）	セタネ cette année 今年（に）	オジュるデュイ (aujourd'hui) 今日

7.2 第二群規則動詞の直説法現在

原形（不定法）が *-ir* で終わる動詞の一部（全てではない）は、第二群規則動詞として規則変化する。

語幹：原形（不定法）から、語尾 *-ir* を取り除いたもの

choisir → chois-, finir → fin-, réussir → réuss-

	単数	複数
一人称	-is	-issons
二人称	-is	-issez
三人称	-it	-issent

単数人称形の全てと三人称複数形では-iに、一人称複数形では-ons、二人称複数形では-ez にアクセントがある。

音声：7-6

直説法現在	
シュワズイー-る	
CHOISIR (選ぶ)	
ジュ シュワズイ je chois	ヌ シュワズイツン nous choisissons
テュ シュワズイ tu chois	ヴ シュワズイセ vous choisissez
イル シュワズイ il choisit	イル シュワズイース ils choisissent
エル シュワズイ elle choisit	エル シュワズイース elles choisissent

音声：7-7

直説法現在	
フィニー-る	
FINIR (終わる)	
ジュ フィニ je finis	ヌ フィニツン nous finissons
テュ フィニ tu finis	ヴ フィニセ vous finissez
イル フィニ il finit	イル フィニース ils finissent
エル フィニ elle finit	エル フィニース elles finissent

音声：7-8

直説法現在	
レユスイー-る	
RÉUSSIR (成功する)	
ジュ レユスイ je réussis	ヌ レユスイツン nous réussissons
テュ レユスイ tu réussis	ヴ レユスイセ vous réussissez
イル レユスイ il réussit	イル レユスイース ils réussissent
エル レユスイ elle réussit	エル レユスイース elles réussissent

7.3 RENDRE 型動詞の直説法現在

語幹：原形から語尾-re を取り除いたもの。

rendre → rend-, attendre → attend-, descendre → descend-
--

語尾

	単数	複数
一人称	-s	-ons
二人称	-s	-ez
三人称	なし	-ent

単数人称形は全て同じ発音になる。-ons, -ez にはアクセントがあるが、-ent にはアクセントがない。つまり、単数人称形と三人称複数形は、語幹にアクセントがある。

音声：7-9

直説法現在	
ろーンドゥる	
RENDRE (返す)	
ジュ ゾン je rends	ヌ ゾンドン nous rendons
テュ ゾン tu rends	ヴ ゾンデ vous rendez
イル ゾン il rend	イル ゾーンドゥ ils rendent
エル ゾン elle rend	エル ゾーンドゥ elles rendent

音声：7-10

直説法現在	
アトンドる	
ATTENDRE (待つ)	
ジャトン j'attends	ヌザトンドン nous attendons
テュ アトン tu attends	ヴザトンデ vous attendez
イラトン il attend	イルザトーンドゥ ils attendent
エラトン elle attend	エルザトーンドゥ elles attendent

音声：7-11

直説法現在	
デゾーンドゥる	
DESCENDRE (降りる)	
ジュ デゾン je descends	ヌ デゾンドン nous descendons
テュ デゾン tu descends	ヴ デゾンデ vous descendez
イル デゾン il descend	イル デゾーンドゥ ils descendent
エル デゾン elle descend	エル デゾーンドゥ elles descendent

音声：7-12

直説法現在	
オントーンドゥる	
ENTENDRE (聞く)	
ジョントン j'entends	ヌゾントンドン nous entendons
テュ オントン tu entends	ヴゾントンデ vous entendez
イロントン il entend	イルゾントーンドゥ ils entendent
エロントン elle entend	エルゾントーンドゥ elles entendent

音声：7-13

直説法現在	
レポーンドゥる	
RÉPONDRE (答える)	
ジュ レボン je réponds	ヌ レボン nous répondons
テュ レボン tu réponds	ヴ レボンデ vous répondez
イル レボン il répond	イル レポーンドゥ ils répondent
エル レボン elle répond	エル レポーンドゥ elles répondent

音声：7-14

直説法現在	
ペーるドる	
PERDRE (失う)	
ジュ ペーる je perds	ヌ ペードン nous perdons
テュ ペーる tu perds	ヴ ペーデ vous perdez
イル ペーる il perd	イル ペードゥ ils perdent
エル ペーる elle perd	エル ペードゥ elles perdent

音声：7-15

直説法現在	
ヴォーンドゥる	
VENDRE (売る)	
ジュ ヴォン je vends	ヌ ヴォンドン nous vendons
テュ ヴォン tu vends	ヴ ヴォンデ vous vendez
イル ヴォン il vend	イル ヴォーンドゥ ils vendent
エル ヴォン elle vend	エル ヴォーンドゥ elles vendent

* nous attendons, vous attendez, ils attendent, elles attendent のリエゾンに注意。

7.4 例文

音声：7-16

- ジュ シュワズィ アン リーヴル
① **Je choisis un livre.**
私は本を一冊選ぶ。
- デュ フィニ ス ヴァン
② **Tu finis ce vin.**
君はそのワインを終える。
- イル レユスイ ア トゥルヴェ セトテール
③ **Il réussit à trouver cet hôtel.**
彼はそのホテルを見つけることに成功する。
- エラトン ピエール
④ **Elle attend Pierre.**
彼女はピエールを待っている。
- ヌ デソンドン ドゥ ヴワテュール
⑤ **Nous descendons de voiture.**
私たちは車から降りる。
- ヴゾントンデ マリ ションテ
⑥ **Vous entendez Marie chanter.**
あなたはマリーが歌うのを聞く。
- イル ベルドゥ セトゥ メゾン
⑦ **Ils perdent cette maison.**
彼らはその家を失う。
- エル ゾンドゥ ス リーヴル ア マリ
⑧ **Elles rendent ce livre à Marie.**
彼女たちはマリーにその本を返す。
- ピエール ポン ア セトゥ レートル
⑨ **Pierre répond à cette lettre.**
ピエールはその手紙に答える。
- マリ ヴォン セ ターブル
⑩ **Marie vend ces tables.**
マリーはそれらのテーブルを売る。

choisir 「～を選ぶ」、finir 「～を終える」、attendre 「～を待つ」、perdre 「～を失う」、vendre 「～を売る」は「主語＋動詞＋直接目的格補語」という構文をとる。一方、répondre 「～に答える」は「主語＋動詞＋間接目的格補語」という構文をとる。間接目的格補語は前置詞àを付けなくてはならない。rendre 「に...を返す」は二つの目的格補語をとり、「主語＋動詞＋直接目的格補語＋間接目的格補語」となる。一方、descendre 「降りる」は、目的格補語を要求しない自動詞である（de 「～から」は、必須ではない）。動詞が不定法（動詞の原形）を従える場合には、前置詞àかdeを必要とする場合と前置詞が必要ない場合がある。そのいずれであるかは、個別に覚えるほかない。たとえば、「réussir à＋不定法」「...することに成功する」がそれである。entendre は「主語＋entendre＋直接目的格補語＋不定法」で「～が...するのを聞く」の意味となるが、同じ構文をとる仲間voir 「見る」（後出）しかない。

7.5 新出単語

音声：7-17

① choisir

[動詞] 選ぶ

④ attendre

[動詞] 待つ

⑦ perdre

[動詞] 失う

⑩ vendre

[動詞] 売る

⑬ cet après-midi
[熟語] 今日の午後 (に)

⑯ cette semaine
[熟語] 今週 (に)

⑰ aujourd'hui
[副詞] 今日

② finir

[動詞] 終わる

⑤ descendre

[動詞] 降りる

⑧ rendre

[動詞] 返す

⑪ voiture
[名詞・女性] 自動車

⑭ ce soir
[熟語] 今晚 (に)

⑰ ce mois
[熟語] 今月 (に)

③ réussir

[動詞] 成功する

⑥ entendre

[動詞] 聞く

⑨ répondre

[動詞] 答える

⑫ ce matin
[熟語] 今朝 (に)

⑮ cette nuit
[熟語] 今夜 (に)

⑱ cette année
[熟語] 今年 (に)

7.6 第07章練習問題

7.6.1 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- ① choisir
④ attendre
⑦ perdre
⑩ vendre
⑬ cet après-midi
⑯ cette semaine
⑰ aujourd'hui

- ② finir
⑤ descendre
⑧ rendre
⑪ voiture
⑭ ce soir
⑰ ce mois

- ③ réussir
⑥ entendre
⑨ répondre
⑫ ce matin
⑮ cette nuit
⑱ cette année

7.6.2 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- ① [動詞] 選ぶ
④ [動詞] 待つ
⑦ [動詞] 失う
⑩ [動詞] 売る
⑬ [熟語] 今日の午後 (に)
⑯ [熟語] 今週 (に)
⑰ [副詞] 今日

- ② [動詞] 終わる
⑤ [動詞] 降りる
⑧ [動詞] 返す
⑪ [名詞・女性] 自動車
⑭ [熟語] 今晚 (に)
⑰ [熟語] 今月 (に)

- ③ [動詞] 成功する
⑥ [動詞] 聞く
⑨ [動詞] 答える
⑫ [熟語] 今朝 (に)
⑮ [熟語] 今夜 (に)
⑱ [熟語] 今年 (に)

7.6.3 次の動詞の直説法現在の活用を三回ずつ書け。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| ① choisir | ② finir | ③ réussir |
| ④ attendre | ⑤ descendre | ⑥ entendre |
| ⑦ perdre | ⑧ rendre | ⑨ répondre |
| ⑩ vendre | | |

7.6.4 次の語に指示形容詞をつけよ。解答は 89 頁

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| ① garçon | ② livre | ③ crayon |
| ④ fille | ⑤ revue | ⑥ table |
| ⑦ garçons | ⑧ livres | ⑨ crayons |
| ⑩ filles | ⑪ revues | ⑫ tables |
| ⑬ pain | ⑭ beurre | ⑮ courage |
| ⑯ viande | ⑰ confiture | ⑱ chance |
| ⑲ homme | ⑳ hôtel | ㉑ argent |
| ㉒ air | ㉓ étoile | ㉔ église |
| ㉕ eau | ㉖ huile | ㉗ hommes |
| ㉘ hôtels | ㉙ étoiles | ㉚ églises |

7.6.5 次の文章の空欄を補え。

- ① Je un livre.
私は本を一冊選ぶ。
- ② Tu ce vin.
君はそのワインを終える。
- ③ Il à trouver cet hôtel.
彼はそのホテルを見つけることに成功する。
- ④ Elle Pierre.
彼女はピエールを待っている。
- ⑤ Nous de voiture.
私たちは車から降りる。
- ⑥ Vous Marie chanter.
あなたはマリーが歌うのを聞く。
- ⑦ Ils cette maison.
彼らはその家を失う。
- ⑧ Elles ce livre à Marie.
彼女たちはマリーにその本を返す。
- ⑨ Pierre à cette lettre.
ピエールはその手紙に答える。

- ⑩ Marie ces tables.
マリーはそれらのテーブルを売る。

7.6.6 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Je choisis un livre.
- ② Tu finis ce vin.
- ③ Il réussit à trouver cet hôtel.
- ④ Elle attend Pierre.
- ⑤ Nous descendons de voiture.
- ⑥ Vous entendez Marie chanter.
- ⑦ Ils perdent cette maison.
- ⑧ Elles rendent ce livre à Marie.
- ⑨ Pierre répond à cette lettre.
- ⑩ Marie vend ces tables.

7.6.7 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私は本を一冊選ぶ。
- ② 君はそのワインを終える。
- ③ 彼はそのホテルを見つけることに成功する。
- ④ 彼女はピエールを待っている。
- ⑤ 私たちは車から降りる。
- ⑥ あなたはマリーが歌うのを聞く。
- ⑦ 彼らはその家を失う。
- ⑧ 彼女たちはマリーにその本を返す。
- ⑨ ピエールはその手紙に答える。
- ⑩ マリーはそれらのテーブルを売る。

第 8 章

ALLER, VENIR・否定文と疑問文

◆ 本章の目標 ◆

- ALLER, VENIR の変化表を覚える。
- ALLER, VENIR の基本的な用法を覚える。
- ALLER, VENIR の特殊な用法を覚える。

8.1 ALLER, VENIR の直説法現在

音声：8-1

直説法現在	
アレ	
ALLER (行く)	
ジュ ヴェ	ヌザロン
je vais	nous allons
テュ ヴァ	ヴザレ
tu vas	vous allez
イル ヴァ	イル ヴォン
il va	ils vont
エル ヴァ	エル ヴォン
elle va	elles vont

音声：8-2

直説法現在	
ヴニール	
VENIR (来る)	
ジュ ヴィヤン	ヌ ヴノン
je viens	nous venons
テュ ヴィヤン	ヴ ヴネ
tu viens	vous venez
イル ヴィヤン	イル ヴィエヌ
il vient	ils viennent
エル ヴィヤン	エル ヴィエヌ
elle vient	elles viennent

何度も発音し、変化表を言えるようになってから、綴りを覚えましょう。

aller は avoir と類似の変化をする。nous_allons, vous_alliez というリエゾンに注意すること。
venir は語幹の ven-と vien-が交替する。vien-は語幹にアクセントがある場合に現れる。venir の活用では、単数人称形は全て同じ発音である。

8.2 ALLER と VENIR の基本的用法

8.2.1 ALLER

aller は「行く」という意味だが、単独で用いることは決してなく、「行く先」か「行き方」を表す補語をとまなう。そして「行く先」には前置詞 à が用いられることが圧倒的に多い。aller à 「～に行く」の定式を覚えること。前置詞 à が定冠詞と合体することも忘れてはならない(42 頁)。「行き方」すなわち移動手段については、venir の例文で紹介する。

◆ まずは曜日の表現 (le 以下の部分) を抜いて、発音してみましょう。

音声：8-3

- ジュ ヴェ オ カフェ ル ランディ
① **Je vais au café le lundi.**
月曜日ごとに私は喫茶店に行く。
- テュ ヴァ オ レストラン ル マルディ
② **Tu vas au restaurant le mardi.**
火曜日ごとに君はレストランに行く。
- イル ヴァ ア アラ ガー ル メルクディ
③ **Il va à la gare le mercredi.**
水曜日ごとに彼は駅に行く。
- エル ヴァ ア アラ ポストゥ ル ジュディ
④ **Elle va à la poste le jeudi.**
木曜日ごとに彼女は郵便局に行く。
- ヌザロン オ ジャーダン ル ヴォンドゥルディ
⑤ **Nous allons au jardin le vendredi.**
金曜日ごとに私たちは公園に行く。
- ヴザレ オ ション ル サムディ
⑥ **Vous allez aux champs le samedi.**
土曜日ごとに君たちは田園に行く。
- イル ヴォン ア レグリズ ル ディモンシュ
⑦ **Ils vont à l'église le dimanche.**
日曜日ごとに彼らは教会に行く。
- エル ヴォン ア レコル シャク ジュール
⑧ **Elles vont à l'école chaque jour.**
毎日彼女たちは学校に行く。

NB: 曜日の名前は全て男性名詞。例文のように、定冠詞 le を付けると、「～曜日ごとに、毎～曜日に」という意味になる。一方、「～曜日に」という副詞的な用法では、冠詞も前置詞も付けない。Lundi, je vais à la poste. 「月曜に、郵便局に行きます。」

8.2.2 VENIR

venir は「来る」という意味だが、「de+ 名詞」を伴って、「～から来る、～出身である」を表すことが多い。まず、これを覚えること (⑨ - ⑩)。「行く先」を表す表現を用いて「～に来る」を表す場合もあるが、その場合は、その「行く先」に話し手がいる場合が多い (⑭ - ⑯)。また、相手の立場に立って「行く」の意味で使うこともある (Je viens tout de suite! 「すぐに行きます」)。

音声：8-4

- ジュ ヴィヤン デュ ジャボン
⑨ **Je viens du Japon.**
私は日本出身だ。
- テュ ヴィヤン ドゥ フランス
⑩ **Tu viens de France.**
君はフランス出身だ。

- イル ヴィヤン デゼタズユニ
 ⑪ **Il vient des États-Unis.**
 彼はアメリカ出身だ。
- エル ヴィヤン ドゥ パリ
 ⑫ **Elle vient de Paris.**
 彼女はパリ出身だ。
- ヌ ヴノン イスイ オン トゥラン
 ⑬ **Nous venons ici en train.**
 私たちはここに列車で来る。
- ヴ ヴネ イスイ オン ヴワテュー
 ⑭ **Vous venez ici en voiture.**
 君たちはここに自動車で来る。
- イル ヴィエヌ イスイ オンナヴィオン
 ⑮ **Ils viennent ici en avion.**
 彼らはここに飛行機で来る。
- エル ヴィエヌ イスイ ア ピエ
 ⑯ **Elles viennent ici à pied.**
 彼女たちはここに徒歩で来る。

NB: 国の名前には通常定冠詞が必ず付く。ただし、女性国名の場合、前置詞の en と de (「～から」という意味の) の後では無冠詞になる。

例 en France 「フランスに」、de France 「フランスから」

参考 au Japon, aux États-Unis 「日本に、アメリカに」

8.3 ALLER と VENIR の特殊な用法

8.3.1 ALLER+ 目的を表す不定法

aller は動詞の原形(不定法)を前置詞なしで従えて、「～しに行く」という意味になる。

音声：8-5

- ピエール ヴァ シェルシェ マリ ア ラ ガー
 ⑰ **Pierre va chercher Marie à la gare.**
 ピエールは駅にマリを迎えに行く。
- ジャンヌ エ マリ ヴォン トゥラヴァイエ ア ラ ポストゥ
 ⑱ **Jeanne et Marie vont travailler à la poste.**
 ジャンヌとマリーは郵便局に働きに行く。

8.3.2 近接未来

「aller + 動詞の原形(不定法)」は、「(近いうちに)～するだろう」という近未来を表すこともある。現在では、かなり意味が拡張され、第二の未来形として頻繁に用いられる。

音声：8-6

- マリ ヴァ フィニル ス トゥラヴァーユ
 ⑲ **Marie va finir ce travail.**
 マリーはこの仕事をもうすぐ終える。

ピエール エ ジャヌ ヴォン キテ パリ

⑳ Pierre et Jeanne vont **quitter** Paris.

ピエールとジャンヌはパリを離れるだろう。

8.3.3 VENIR+ 目的を表す不定法

venir は動詞の原形（不定法）を前置詞なしで従えて、「～しに来る」という意味になる。

音声：8-7

ポール ヴィヤン エデ マリ

㉑ Paul **vient aider** Marie.

ポールはマリを手伝いに来る。

ジャンヌ ヴィヤン ヴォンドゥラ ターブル

㉒ Jeanne **vient vendre** la table.

ジャンヌはそのテーブルを売りに来る。

8.3.4 近接過去

「venir+de (d')+ 動詞の原形（不定法）」で、「～したばかりだ」というふうに、**近い過去**の事柄を表すことができる。

◆ 近接過去だけ「de (d') + 原形」だということに注意。

音声：8-8

マリ ヴィヤン ドゥ フィニル ス トゥラヴァーユ

㉓ Marie **vient de finir** ce travail.

マリはこの仕事を終えたところだ。

ピエール エ マリ ヴィエヌ ダリヴェ イスイ

㉔ Pierre et Marie **viennent d'arriver** ici.

ピエールとマリはここに到着したばかりだ。

8.4 ALLER, VENIR の否定文と疑問文

◆ Avoir, être, 第一群規則動詞の時と、規則は同なので、単なる復習です。

8.4.1 否定文

ne (n') と pas で動詞を挟む。ただし、allons, allez は母音で始まっているので、ne が n' になることに注意 (20 頁を参照)。

aller 否定	
ジュ ヌ ヴェ バ je ne vais pas	ヌ ナロン バ nous n'allons pas
テュ ヌ ヴァ バ tu ne vas pas	ヴ ナレ バ vous n'allez pas
イル ヌ ヴァ バ il ne va pas	イル ヌ ヴォン バ ils ne vont pas
エル ヌ ヴァ バ elle ne va pas	エル ヌ ヴォン バ elles ne vont pas

音声：8-9

venir 否定	
ジュ ヌ ヴィヤン バ je ne viens pas	ヌ ヌ ヴノン バ nous ne venons pas
テュ ヌ ヴィヤン バ tu ne viens pas	ヴ ヌ ヴネ バ vous ne venez pas
イル ヌ ヴィヤン バ il ne vient pas	イル ヌ ヴィエヌ バ ils ne viennent pas
エル ヌ ヴィヤン バ elle ne vient pas	エル ヌ ヴィエヌ バ elles ne viennent pas

音声：8-10

8.4.2 倒置疑問文

主語と動詞を入れ替えて、-でつなぐ。ただし、va は母音で終わっているので、-tを使うことに注意 (54 頁を参照)。

aller 倒置疑問		venir 倒置疑問	
ヴェージュ vais-je	アロンヌ allons-nous	ヴィヤンジュ viens-je	ヴノンヌ venons-nous
ヴァ テュ vas-tu	アレヴ allez-vous	ヴィヤン テュ viens-tu	ヴネ ヴ venez-vous
ヴァティール va-t-il	ヴォンティール vont-ils	ヴィヤンティール vient-il	ヴィエヌティール viennent-ils
ヴァテル va-t-elle	ヴォンテール vont-elles	ヴィヤンテール vient-elle	ヴィエヌテール viennent-elles

音声：8-11

音声：8-12

8.4.3 補足：否定倒置疑問文

◆ 余裕のある人は読んでみてください。

倒置した動詞と主語の全体を ne と pas で挟む。

aller 否定倒置疑問	
ヌ ヴェージュ バ ne vais-je pas	サロンヌ バ n'allons-nous pas
ヌ ヴァ テュ バ ne vas-tu pas	ナレヴ バ n'allez-vous pas
ヌ ヴァティール バ ne va-t-il pas	ヌ ヴォンティール バ ne vont-ils pas
ヌ ヴァテル バ ne va-t-elle pas	ヌ ヴォンテール バ ne vont-elles pas

venir 否定倒置疑問	
ヌ ヴィヤンジュ バ ne viens-je pas	ヌ ヴノンヌ バ ne venons-nous pas
ヌ ヴィヤン テュ バ ne viens-tu pas	ヌ ヴネ ヴ バ ne venez-vous pas
ヌ ヴィヤンティール バ ne vient-il pas	ヌ ヴィエヌティール バ ne viennent-ils pas
ヌ ヴィヤンテール バ ne vient-elle pas	ヌ ヴィエヌテール バ ne viennent-elles pas

8.4.4 補足：複合倒置疑問文

◆ 余裕のある人は読んでみてください。

主語が代名詞でない場合には、主語と動詞を入れ替えるだけの単純倒置は通常使えない（実は、例外も少なくない）。主語を代名詞で受け直し、その代名詞と動詞を倒置する。主語は倒置した動詞と代名詞の直前に置く。

- ②⑤ ピエール ヴァティル シェルシェ マリ ア ラ ガー
Pierre va-t-il chercher Marie à la gare ?
 ピエールはマリを駅に迎えに行きますか。
- ②⑥ ジャンヌ エ マリ ヴォンテル トゥラヴァイエ ア ラ ポストゥ
Jeanne et Marie vont-elles travailler à la poste ?
 ジャンヌとマリーは郵便局に働きに行きますか。
- ②⑦ マリ ヴァテル フィニル ス トゥラヴァーユ
Marie va-t-elle finir ce travail ?
 マリーはその仕事をすぐに終わりますか。
- ②⑧ ピエール エ ジャンヌ ヴォンティル キテ パリ
Pierre et Jeanne vont-ils quitter Paris ?
 ピエールとジャンヌはパリを離れようとしているのですか。
- ②⑨ ポール ヴィヤンティル エデ マリ
Paul vient-il aider Marie ?
 ポールはマリーを手伝いに来ますか。
- ②⑩ ジャンヌ ヴィヤンテル ヴォンドゥル ラ ターブル
Jeanne vient-elle vendre la table ?
 ジャンヌはテーブルを売りに来ますか。
- ②⑪ マリ ヴィヤンテル ドゥ フィニル ス トゥラヴァーユ
Marie vient-elle de finir ce travail ?
 マリーはその仕事を終えたところですか。
- ②⑫ ピエール エ マリ ヴィエヌティル ダリヴェ イスイ
Pierre et Marie viennent-ils d'arriver ici ?
 ピエールとマリーはここに到着したばかりですか。

8.5 新出単語

音声：8-13

- | | | |
|--|---|---|
| ① <small>アレ</small>
aller
[動詞] 行く | ② <small>ヴニール</small>
venir
[動詞] 来る | ③ <small>アヴィオン</small>
avion
[名詞・男性] 飛行機 |
| ④ <small>ジャンダン</small>
jardin
[名詞・男性] 公園 | ⑤ <small>トゥラン</small>
train
[名詞・男性] 列車 | ⑥ <small>トゥラヴァーユ</small>
travail
[名詞・男性] 仕事 |
| ⑦ <small>エコール</small>
école
[名詞・女性] 学校 | ⑧ <small>ポストゥ</small>
poste
[名詞・女性] 郵便局 | ⑨ <small>ジャポン</small>
Japon
[名詞・男性] 日本 |

フロランス
⑩ France
[名詞・女性] フランス

マルディ
⑬ mardi
[名詞・男性] 火曜日

ヴェンドゥーヴレ
⑯ vendredi
[名詞・男性] 金曜日

シャク ジュー
⑲ chaque jour
[熟語] 毎日

エタズニ
⑪ États-Unis
[名詞・男性] アメリカ

メルクルディ
⑭ mercredi
[名詞・男性] 水曜日

サムディ
⑰ samedi
[名詞・男性] 土曜日

イスイ
⑳ ici
[副詞] ここに

ランディ
⑫ lundi
[名詞・男性] 月曜日

ジュディ
⑮ jeudi
[名詞・男性] 木曜日

ディモンシェ
⑱ dimanche
[名詞・男性] 日曜日

NB: travail の複数形は、通常、travaux (トゥラヴォ) となる

8.6 第 08 章練習問題

8.6.1 ALLER と VENIR の直説法現在の活用を三回ずつ書け。

8.6.2 ALLER と VENIR の否定、倒置の表を二回ずつ書け。

8.6.3 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| ① aller | ② venir | ③ avion |
| ④ jardin | ⑤ train | ⑥ travail |
| ⑦ école | ⑧ poste | ⑨ Japon |
| ⑩ France | ⑪ États-Unis | ⑫ lundi |
| ⑬ mardi | ⑭ mercredi | ⑮ jeudi |
| ⑯ vendredi | ⑰ samedi | ⑱ dimanche |
| ⑲ chaque jour | ⑳ ici | |

8.6.4 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| ① [動詞] 行く | ② [動詞] 来る | ③ [名詞・男性] 飛行機 |
| ④ [名詞・男性] 公園 | ⑤ [名詞・男性] 列車 | ⑥ [名詞・男性] 仕事 |
| ⑦ [名詞・女性] 学校 | ⑧ [名詞・女性] 郵便局 | ⑨ [名詞・男性] 日本 |
| ⑩ [名詞・女性] フランス | ⑪ [名詞・男性] アメリカ | ⑫ [名詞・男性] 月曜日 |
| ⑬ [名詞・男性] 火曜日 | ⑭ [名詞・男性] 水曜日 | ⑮ [名詞・男性] 木曜日 |
| ⑯ [名詞・男性] 金曜日 | ⑰ [名詞・男性] 土曜日 | ⑱ [名詞・男性] 日曜日 |
| ⑲ [熟語] 毎日 | ⑳ [副詞] ここに | |

8.6.5 次の文章の空欄を補え。

- ① Je au café le lundi.
月曜日ごとに私は喫茶店に行く。

- ② Tu au restaurant le mardi.
火曜日ごとに君はレストランに行く。
- ③ Il à la gare le mercredi.
水曜日ごとに彼は駅に行く。
- ④ Elle à la poste le jeudi.
木曜日ごとに彼女は郵便局に行く。
- ⑤ Nous au jardin le vendredi.
金曜日ごとに私たちは公園に行く。
- ⑥ Vous aux champs le samedi.
土曜日ごとに君たちは田園に行く。
- ⑦ Ils à l'église le dimanche.
日曜日ごとに彼らは教会に行く。
- ⑧ Elles à l'école chaque jour.
毎日彼女たちは学校に行く。
- ⑨ Je du Japon.
私は日本出身だ。
- ⑩ Tu de France.
君はフランス出身だ。
- ⑪ Il des États-Unis.
彼はアメリカ出身だ。
- ⑫ Elle de Paris.
彼女はパリ出身だ。
- ⑬ Nous ici en train.
私たちはここに列車で来る。
- ⑭ Vous ici en voiture.
君たちはここに自動車で来る。
- ⑮ Ils ici en avion.
彼らはここに飛行機で来る。
- ⑯ Elles ici à pied.
彼女たちはここに徒歩で来る。
- ⑰ Pierre Marie à la gare.
ピエールは駅にマリを迎えに行く。
- ⑱ Jeanne et Marie à la poste.
ジャンヌとマリーは郵便局に働きに行く。
- ⑲ Marie ce travail.
マリーはこの仕事をもうすぐ終える。
- ⑳ Pierre et Jeanne Paris.
ピエールとジャンヌはパリを離れるだろう。
- ㉑ Paul Marie.
ポールはマリを手伝いに来る。
- ㉒ Jeanne la table.
ジャンヌはそのテーブルを売りに来る。
- ㉓ Marie ce travail.
マリはこの仕事を終えたところだ。

- ②4 Pierre et Marie ici.
ピエールとマリはここに到着したばかりだ。
- ②5 chercher Marie à la gare ?
ピエールはマリを駅に迎えに行きますか。
- ②6 travailler à la poste ?
ジャンヌとマリーは郵便局に働きに行きますか。
- ②7 finir ce travail ?
マリーはその仕事をすぐに終わめますか。
- ②8 quitter Paris ?
ピエールとジャンヌはパリを離れようとしているのですか。
- ②9 aider Marie ?
ポールはマリーを手伝いに来ますか。
- ③0 vendre la table ?
ジャンヌはテーブルを売りに来ますか。
- ③1 de finir ce travail ?
マリーはその仕事を終わったところですか。
- ③2 d'arriver ici ?
ピエールとマリーはここに到着したばかりですか。

8.6.6 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Je vais au café le lundi.
- ② Tu vas au restaurant le mardi.
- ③ Il va à la gare le mercredi.
- ④ Elle va à la poste le jeudi.
- ⑤ Nous allons au jardin le vendredi.
- ⑥ Vous allez aux champs le samedi.
- ⑦ Ils vont à l'église le dimanche.
- ⑧ Elles vont à l'école chaque jour.
- ⑨ Je viens du Japon.
- ⑩ Tu viens de France.
- ⑪ Il vient des États-Unis.
- ⑫ Elle vient de Paris.
- ⑬ Nous venons ici en train.
- ⑭ Vous venez ici en voiture.
- ⑮ Ils viennent ici en avion.
- ⑯ Elles viennent ici à pied.
- ⑰ Pierre va chercher Marie à la gare.
- ⑱ Jeanne et Marie vont travailler à la poste.
- ⑲ Marie va finir ce travail.
- ⑳ Pierre et Jeanne vont quitter Paris.
- ㉑ Paul vient aider Marie.
- ㉒ Jeanne vient vendre la table.
- ㉓ Marie vient de finir ce travail.
- ㉔ Pierre et Marie viennent d'arriver ici.

- ②⑤ Pierre va-t-il chercher Marie à la gare ?
- ②⑥ Jeanne et Marie vont-elles travailler à la poste ?
- ②⑦ Marie va-t-elle finir ce travail ?
- ②⑧ Pierre et Jeanne vont-ils quitter Paris ?
- ②⑨ Paul vient-il aider Marie ?
- ③⑩ Jeanne vient-elle vendre la table ?
- ③⑪ Marie vient-elle de finir ce travail ?
- ③⑫ Pierre et Marie viennent-ils d'arriver ici ?

8.6.7 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 月曜日ごとに私は喫茶店に行く。
- ② 火曜日ごとに君はレストランに行く。
- ③ 水曜日ごとに彼は駅に行く。
- ④ 木曜日ごとに彼女は郵便局に行く。
- ⑤ 金曜日ごとに私たちは公園に行く。
- ⑥ 土曜日ごとに君たちは田園に行く。
- ⑦ 日曜日ごとに彼らは教会に行く。
- ⑧ 毎日彼女たちは学校に行く。
- ⑨ 私は日本出身だ。
- ⑩ 君はフランス出身だ。
- ⑪ 彼はアメリカ出身だ。
- ⑫ 彼女はパリ出身だ。
- ⑬ 私たちはここに列車で来る。
- ⑭ 君たちはここに自動車で来る。
- ⑮ 彼らはここに飛行機で来る。
- ⑯ 彼女たちはここに徒歩で来る。
- ⑰ ピエールは駅にマリを迎えに行く。
- ⑱ ジャンヌとマリーは郵便局に働きに行く。
- ⑲ マリーはこの仕事をもうすぐ終える。
- ⑳ ピエールとジャンヌはパリを離れるだろう。
- ㉑ ポールはマリを手伝いに来る。
- ㉒ ジャンヌはそのテーブルを売りに来る。
- ㉓ マリはこの仕事を終えたところだ。
- ㉔ ピエールとマリはここに到着したばかりだ。
- ㉕ ピエールはマリを駅に迎えに行きますか。
- ㉖ ジャンヌとマリーは郵便局に働きに行きますか。
- ㉗ マリーはその仕事をすぐに終わめますか。
- ㉘ ピエールとジャンヌはパリを離れようとしているのですか。
- ㉙ ポールはマリーを手伝いに来ますか。
- ㉚ ジャンヌはテーブルを売りに来ますか。
- ㉛ マリーはその仕事を終えたところですか。
- ㉜ ピエールとマリーはここに到着したばかりですか。

日用表現 — 曜日の尋ね方

ケル ジュール [ドゥ ラ スメーヌ] ソム ス

Quel jour [de la semaine] sommes-nous ?

今日は何曜日ですか。

— ヌ ソム ランディ
Nous sommes lundi.
今日は月曜日です。

ケル ジュール エス オジュルデュイ

Quel jour est-ce aujourd'hui ?

今日は何曜日ですか。

— セ マルディ
C'est mardi.
火曜日です。

[参考] ル コンビヤン ソム ス Le combien sommes-nous ? — ヌ ソム カトルズ ジュイエ Nous sommes le 14 juillet.
今日は何月何日ですか。 今日は何月何日ですか。

第9章

VENIR 型動詞・人称代名詞

◆ 本章の目標 ◆

- VENIR と同タイプの変化をする三つの動詞を覚える。
- 格の概念を理解する。
- 人称代名詞の格変化を覚える
- 人称代名詞の用法を理解する。

9.1 VENIR 型動詞

音声：9-1

直説法現在	
ヴニ-る	
VENIR (来る)	
ジュ ヴィヤン	ヌ ヴノン
je viens	nous venons
テュ ヴィヤン	ヴ ヴネ
tu viens	vous venez
イル ヴィヤン	イル ヴィエ-ヌ
il vient	ils viennent
エル ヴィヤン	エル ヴィエ-ヌ
elle vient	elles viennent

音声：9-2

直説法現在	
トゥニ-る	
TENIR (手に持っている)	
ジュ ティヤン	ヌ トゥノン
je tiens	nous tenons
テュ ティヤン	ヴ トゥネ
tu tiens	vous tenez
イル ティヤン	イル ティエ-ヌ
il tient	ils tiennent
エル ティヤン	エル ティエ-ヌ
elle tient	elles tiennent

音声：9-3

直説法現在	
ルヴニ-る	
REVENIR (戻ってくる)	
ジュ ルヴィヤン	ヌ ルヴノン
je reviens	nous revenons
テュ ルヴィヤン	ヴ ルヴネ
tu reviens	vous revenez
イル ルヴィヤン	イル ルヴィエ-ヌ
il revient	ils reviennent
エル ルヴィヤン	エル ルヴィエ-ヌ
elle revient	elles reviennent

音声：9-4

直説法現在	
ドゥヴニ-る	
DEVENIR (なる)	
ジュ ドゥヴィヤン	ヌ ドゥヴノン
je deviens	nous devenons
テュ ドゥヴィヤン	ヴ ドゥヴネ
tu deviens	vous devenez
イル ドゥヴィヤン	イル ドゥヴィエ-ヌ
il devient	ils deviennent
エル ドゥヴィヤン	エル ドゥヴィエ-ヌ
elle devient	elles deviennent

◆ 何度も発音して、変化表を言えるようになってから、綴りを覚えましょう。

9.2 VENIR 型動詞の用例

音声：9-5

- ジュ ティヤン アン リーヴル
① **Je tiens un livre.**
私は本を手を持っている。
- テュ ティヤン ス レストラン
② **Tu tiens ce restaurant.**
君はこのレストランを経営している。
- イル るヴィヤン ア ラ メゾン
③ **Il revient à la maison.**
彼は家に帰ってくる。
- エル るヴィヤン ドゥ レグリズ
④ **Elle revient de l'église.**
彼女は教会から帰ってくる。
- ヌ ドゥヴノン メドゥッサン
⑤ **Nous devenons médecins.**
私たちは医者になる。
- ヴ ドゥヴネ プろフェスー
⑥ **Vous devenez professeurs.**
君たちは先生になる。
- イル ドゥヴィエヌ エテュディオ
⑦ **Ils deviennent étudiants.**
彼らは学生になる。
- エル ドゥヴィエヌ エテュディオントゥ
⑧ **Elles deviennent étudiantes.**
彼女たちは学生になる。

NB: devenir は être と同様に属詞をとる動詞である。したがって、devenir の後の名詞（属詞名詞）が職業・身分・国籍を表す場合には、その名詞には冠詞がつかない。

tenir 「～を保持・維持している」は、直接目的格補語を要求する。revenir は venir と同様自動詞で、多くの場合、どこから帰るのかを「de + 名詞」で、どこへ帰るのかを「à + 名詞」で示す。この場合、de や à が後の定冠詞と合体する場合があることも忘れてはならない (42 頁参照)。devenir は être と同様に「主語 + 動詞 + 属詞 (名詞・形容詞)」の構文をとる。属詞が主語と性数一致することを再確認すること (44 頁を参照)。

9.3 格の概念

音声：9-6

- ピエール ドナン クレヨン ア マリ
Pierre donne un crayon à Marie.
ピエールはマリーに鉛筆をあげる。

文中で名詞 (太字) は述語動詞 (donne) と様々な関係をもつ。この関係には一定のパターンがあ

り、そのパターンを分類したのが格である。

主格 (sujet)

Pierre : 「与える (donne)」という動作を行う人 (もの)。Pierre は「与える」という行為の主体 (sujet) であり、上記文中で Pierre は主語 (sujet) である。主格 (sujet) とは、ある名詞が文中で主語の働きをしていることを意味する。

直接目的格 (objet direct)

un crayon : 「与える (donne)」という動作の相手となるもの (人)。un crayon は「与える」という行為の対象 (objet) であり、上記文中で、un crayon は直接目的格補語 (complément d'objet direct) である。直接目的格とは、ある名詞が、文中で直接目的格補語の働きをしていることを意味する。「直接」とは、前置詞が不要だという意味である。

間接目的格 (objet indirect)

à Marie : 「与える (donne)」という動作の相手となる人 (もの)。à Marie は「与える」という行為の対象 (objet) であり、上記文中で、à Marie は間接目的格補語 (complément d'objet indirect) である。間接目的格とは、ある名詞が、文中で間接目的格補語の働きをしていることを意味する。「間接」とは、前置詞 à を伴っているということの意味する。

◆ à 以外の前置詞を要求する間接目的格補語を認める文法書や辞書もありますが、後で見るように、人称代名詞の間接目的格形に置き換えることができるのは、à を伴う間接目的格補語だけです。

前置詞の目的語 1

音声 : 9-7

マリ ショントゥ アヴェク ピエール

Marie chante avec Pierre

マリーはピエールと歌う。

上記文中で、Pierre は「歌う (chante)」の主語でも目的格補語でもない。上の文章は「ピエールが歌う」とも、「ピエールという相手を歌う」でも、「ピエールという相手に歌う」とも訳せない。avec Pierre は動詞とは直接関係がなく、Marie が「歌う」際に、一緒に歌った人を示しているに過ぎないのである。このように、à 以外の前置詞の後の名詞は格をもたない。

前置詞の目的語 2

音声 : 9-8

ピエール ヴァ ア レコール

Pierre va à l'école.

ピエールは学校に行く。

間接目的格は必ず「à + 名詞」で表されるが、逆は真ではない。全ての「à + 名詞」が間接目的格というわけではない。上の文では、à l'école は「学校という相手に」ではなく、「学校という場所に」を意味する。したがって、à l'école は、avec Pierre と同様、間接目的格ではなく、「前置詞+

目的語」である。

9.4 人称代名詞の格変化

一般に、代名詞は、特定のものや人を指し示す働きをもつ。代名詞の一種である、人称代名詞は、「話し手」、「聞き手」を基準に形を変え（人称変化）、何（誰）を指しているのかをより明確に示すことができる。また、動詞の表す動作との関係性（格）に基づいて変化（格変化）することで、文中での役割が明瞭になる。人称変化と格変化をあわせ持つ代名詞は、人称代名詞のみである。人称変化についてはすでに主格形とともに説明したので（41 頁を参照）、ここでは、格変化について整理しておく、次のようになる。

主格形	主語の代用となる。
直接目的格形	直接目的格補語の代用となる。
間接目的格形	間接目的格補語の代用となる。
強勢形	前置詞の目的語の代用となる（他の用法もある）。

人称代名詞は一・二人称と三人称が、異なった語源を持つため、両者の変化表には大きな断裂がある。そのため最初から両者を混在させて覚えようとするよりも、この後示す通り、二つの異なった変化表にして覚える方が合理的である。

◆ 人称代名詞は一・二人称はラテン語の人称代名詞に由来しますが、三人称はラテン語の指示代名詞に由来します。このようにフランス語の歴史は、現在のフランス語文法を理解するのにもおおいに役立ちます。

9.4.1 一・二人称代名詞の格変化

◆ 白い部分を一行ずつ左から右へと読みましょう。()内は無視してください。

音声：9-9

	主格形	直接目的格形	間接目的格形	強勢形
私	^{ジュ} je	^ム me (m')	^ム me (m')	^{ムワ} moi
君	^{テュ} tu	^{トゥ} te (t')	^{トゥ} te (t')	^{トゥワ} toi
私たち	^ヌ nous	^ヌ nous	^ヌ nous	^ヌ nous
君たち	^ヴ vous	^ヴ vous	^ヴ vous	^ヴ vous
	「～が、～は」	「～を」	「～に」	「～」

NB: vous は「君たち」だけでなく、「あなた」を意味することも多い。

9.4.2 三人称代名詞の格変化

◆ 白い部分を一行ずつ左から右へと読みましょう。()内は無視してください。

音声：9-10

	彼 男性単数	彼女 女性単数	彼ら 男性複数	彼女たち 女性複数	
主格	il ^い	elle ^え	ils ^い	elles ^え	～が
直接目的格	le (l') ^れ	la (l') ^ら	les ^れ		～を
間接目的格	lui ^{lui}		leur ^れ		～に
強勢形	lui ^{lui}	elle ^え	eux ^え	elles ^え	～

NB: 三人称形は人だけでなく、ものを表すことも多い。たとえば、le, la, les は、しばしば、「それを、それら」の意味になる。

9.4.3 人称代名詞の格変化（統合）

前にあげた、二つの変化表を注意深く見比べれば、一・二人称代名詞の表に対し、三人称の表が90度回転していることが理解できる。最初は二つの表を口調よく何度も読んで、丸暗記することが大事である。次にそれぞれの形が何形なのかを意識しつつ表を言えるようする。そうすれば、最終的には下記の変化表を頭の中に定着させることができるはずである。

	主格形	直接目的格形	間接目的格形	強勢形
一人称単数	je (j')	me (m')	me (m')	moi
二人称単数	tu	te (t')	te (t')	toi
三人称単数男性	il	le (l')	lui	lui
三人称単数女性	elle	la (l')	lui	elle
一人称複数	nous	nous	nous	nous
二人称複数	vous	vous	vous	vous
三人称複数男性	ils	les	leur	eux
三人称複数女性	elles	les	leur	elles

◆ 二つの表が完全に頭に入ったら、上の表を書いて覚えると良いでしょう。

9.5 人称代名詞の位置

9.5.1 主格形

倒置しない限り、主格形は動詞の前に来る。多くの場合、主格形は文頭に位置する。

音声：9-11

ビエール ショーントゥ
Pierre chante. → イル ショーントゥ ショーントゥ ティル
Pierre chante. Il chante. Chante-t-il ?
ピエールは歌う。 彼は歌う。 彼は歌うか。

◆ 主語が動詞の後に来るのは例外的なことなので、倒置すると、必ず、動詞と主語の間にハイフン（または、-t）が必要になります。

9.5.2 目的格形

通常の名詞の場合とは異なり、人称代名詞の場合には、直接目的格、間接目的格を問わず、常に、**動詞の直前に置く**。

直接目的格

音声：9-12

ビエール エム マリ
Pierre aime Marie. → ⑨ Pierre l'aime.
ピエールはマリーを愛している。 ピエールは彼女を愛している。
ジュテーム テュ メーム
⑩ Je t'aime. ⑪ Tu m'aimes
私は君を愛している。 君は私を愛している。

間接目的格

音声：9-13

マリ モントゥル レグリーズ ア ビエール
Marie montre l'église à Pierre. → ⑫ Marie lui montre l'église.
マリーはピエールに教会を見せる。 マリーは彼に教会を見せる。
ヌ ヴ モントゥラン レグリーズ ヴヌ モントゥレ レグリーズ
⑬ Nous vous montrons l'église. ⑭ Vous nous montrez l'église.
私たちはあなたに教会を見せる。 あなたは私たちに教会を見せる。

◆ つまり、書き換え問題では要注意です。名詞を人称代名詞に置き換えただけで、移動を忘れれば、間違った文になります。

9.5.3 強勢形

前置詞の後の名詞は「前置詞＋強勢形」で置き換える。

音声：9-14

ビエール ショントゥ アヴェク マリ
Pierre chante avec Marie. → ⑮ Pierre chante avec elle.
ピエールはマリーと歌う。 ピエールは彼女と歌う。
デュ ショントゥ アヴェク ムワ ジュ ショントゥ アヴェク トワ
⑯ Tu chantes avec moi. ⑰ Je chante avec toi.
君は私と歌う。 私は君と歌う。

9.6 目的格形の語順

否定や倒置では、人称代名詞の目的格形は動詞の一部と見なされ、「人称代名詞の目的格-動詞」の全体が、ne と pas で挟まれたり、主語代名詞と倒置されたりする。

音声：9-15

イル ム プレゾントゥ マリ
Il **me présente** Marie. ⇒ イル ヌ ム プレゾントゥ パ マリ
彼は私にマリを紹介する。 彼は私にマリを紹介しない。
ム プレゾントゥ テイル マリ
Me présente-t-il Marie ?
彼は私にマリを紹介しますか。

エル ル るガーンドゥ
Elle **le regarde**. ⇒ エル ヌ ル るガーンドゥ パ
彼女は彼を見つめる。 彼女は彼を見つめない。
ル るガーンドゥ テル
Le regarde-t-elle ?
彼女は彼を見つめますか。

◆ 人称代名詞の目的格形は、もはや自立語とは言えず、単独で用いられることは決してありません。動詞の支えなしには、存在し得ないのです。

9.6.1 参考：二種の目的格形の混在

◆ 余裕のある人は読んでください。

直接目的格形と間接目的格形を同時に使用する場合の語順は、間接目的格になるのが一・二人称か三人称かで異なる。すなわち、一・二人称の場合は、「間接＋直接」の語順となり、三人称の場合は、「直接＋間接」の語順となる。

一・二人称が間接目的格（間＋直）		
ムル <i>me le</i> 私に彼を	ムラ <i>me la</i> 私に彼女を	ムレ <i>me les</i> 私に彼らを
トゥル <i>te le</i> 君に彼を	トゥラ <i>te la</i> 君に彼女を	トゥレ <i>te les</i> 君に彼らを
ヌル <i>nous le</i> 私たちに彼を	ヌラ <i>nous la</i> 私たちに彼女を	ヌレ <i>nous les</i> 私たちに彼らを
ヴル <i>vous le</i> 君たちに彼を	ヴラ <i>vous la</i> 君たちに彼女を	ヴレ <i>vous les</i> 君たちに彼らを
三人称が間接目的格（直＋間）		
ル リュイ <i>le lui</i> 彼を彼（女）に	ラ リュイ <i>la lui</i> 彼女を彼（女）に	レ リュイ <i>les lui</i> 彼らを彼（女）に
ル ルー <i>le leur</i> 彼を彼（女）らに	ラ ルー <i>la leur</i> 彼女を彼（女）らに	レ ルー <i>les leur</i> 彼らを彼（女）らに

*三人称形は人だけでなく、ものも表すことに注意。

三人称の間接目的格形と一・二人称の直接目的格形は同時使用ができないので間接目的格形を「à＋強勢形」で代用する。例 Pierre me présente à elle. 「ピエールは私を彼女に紹介する」

◆ 最も合理的な修得法は、上の表を口調よく何度も読んで、覚えてしまうことです。

9.7 新出単語

音声：9-16

① revenir
るヴニール
 [動詞] 帰ってくる

② devenir
ドヴニール
 [動詞] なる

③ tenir
トゥニール
 [動詞] 手に持っている

9.8 付録：網羅的例文

◆ まる覚えするためのものでなく、規則に従って、文章を作った場合に、正しいかどうかを確認するためのものです。

9.8.1 直接目的格形

ビエール ム シェールシュ
Pierre me cherche.
 ビエールは私を捜している。
 ビエール トゥ シェールシュ
Pierre te cherche.
 ビエールは君を捜している。
 ビエール ス シェールシュ
Pierre nous cherche.
 ビエールは私たちを捜している。
 ビエール ヴ シェールシュ
Pierre vous cherche.
 ビエールは君たちを捜している。
 ビエール ル シェールシュ
Pierre le cherche.
 ビエールは彼を捜している。
 ビエール ラ シェールシュ
Pierre la cherche.
 ビエールは彼女を捜している。
 ビエール レ シェールシュ
Pierre les cherche.
 ビエールは彼(女)たちを捜している。

ビエール ス ム シェールシュ パ
Pierre ne me cherche pas.
 ビエールは私を捜していない。
 ビエール ス トゥ シェールシュ パ
Pierre ne te cherche pas.
 ビエールは君を捜していない。
 ビエール ス ス シェールシュ パ
Pierre ne nous cherche pas.
 ビエールは私たちを捜していない。
 ビエール ス ヴ シェールシュ パ
Pierre ne vous cherche pas.
 ビエールは君たちを捜していない。
 ビエール ス ル シェールシュ パ
Pierre ne le cherche pas.
 ビエールは彼を捜していない。
 ビエール ス ラ シェールシュ パ
Pierre ne la cherche pas.
 ビエールは彼女を捜していない。
 ビエール ス レ シェールシュ パ
Pierre ne les cherche pas.
 ビエールは彼(女)たちを捜していない。

ビエール ム シェールシュティール
Pierre me cherche-t-il ?
 ビエールは私を捜しているか。
 ビエール トゥ シェールシュティール
Pierre te cherche-t-il ?
 ビエールは君を捜しているか。
 ビエール ス シェールシュティール
Pierre nous cherche-t-il ?
 ビエールは私たちを捜しているか。
 ビエール ヴ シェールシュティール
Pierre vous cherche-t-il ?
 ビエールは君たちを捜しているか。
 ビエール ル シェールシュティール
Pierre le cherche-t-il ?
 ビエールは彼を捜しているか。
 ビエール ラ シェールシュティール
Pierre la cherche-t-il ?
 ビエールは彼女を捜しているか。
 ビエール レ シェールシュティール
Pierre les cherche-t-il ?
 ビエールは彼(女)たちを捜しているか。

9.8.2 間接目的格形

マリ ム パールル
Marie me parle.
 マリーは私に話しかける。
 マリ トゥ パールル
Marie te parle.
 マリーは君に話しかける。
 マリ ス パールル
Marie nous parle.
 マリーは私たちに話しかける。
 マリ ヴ パールル
Marie vous parle.
 マリーは君たちに話しかける。
 マリ リュイ パールル
Marie lui parle.
 マリーは彼(彼女)に話しかける。
 マリ ルール パールル
Marie leur parle.
 マリーは彼ら(彼女たち)に話しかける。

マリ ス ム パールル パ
Marie ne me parle pas.
 マリーは私に話しかけない。
 マリ ス トゥ パールル パ
Marie ne te parle pas.
 マリーは君に話しかけない。
 マリ ス ス パールル パ
Marie ne nous parle pas.
 マリーは私たちに話しかけない。
 マリ ス ヴ パールル パ
Marie ne vous parle pas.
 マリーは君たちに話しかけない。
 マリ ス リュイ パールル パ
Marie ne lui parle pas.
 マリーは彼(彼女)に話しかけない。
 マリ ス ルール パールル パ
Marie ne leur parle pas.
 マリーは彼ら(彼女たち)に話しかけない。

マリ ム パールルテール
Marie me parle-t-elle ?
 マリーは私に話しかけるか。
 マリ トゥ パールルテール
Marie te parle-t-elle ?
 マリーは君に話しかけるか。
 マリ ス パールルテール
Marie nous parle-t-elle ?
 マリーは私たちに話しかけるか。
 マリ ヴ パールルテール
Marie vous parle-t-elle ?
 マリーは君たちに話しかけるか。
 マリ リュイ パールルテール
Marie lui parle-t-elle ?
 マリーは彼(彼女)に話しかけるか。
 マリ ルール パールルテール
Marie leur parle-t-elle ?
 マリーは彼ら(彼女たち)に話しかけるか。

9.8.3 強勢形

ジャヌ ショントウ アヴェク ムワ
Jeanne chante avec moi.
 ジャンヌは私と歌う。
 ジャヌ ショントウ アヴェク トゥワ
Jeanne chante avec toi.
 ジャンヌは君と歌う。
 ジャヌ ショントウ アヴェク ス
Jeanne chante avec nous.
 ジャンヌは私たちと歌う。
 ジャヌ ショントウ アヴェク ヴ
Jeanne chante avec vous.
 ジャンヌは君たちと歌う。
 ジャヌ ショントウ アヴェク リュイ
Jeanne chante avec lui.
 ジャンヌは彼と歌う。
 ジャヌ ショントウ アヴェク エル
Jeanne chante avec elle.
 ジャンヌは彼女と歌う。
 ジャヌ ショントウ アヴェク ウ
Jeanne chante avec eux.
 ジャンヌは彼らと歌う。
 ジャヌ ショントウ アヴェケル
Jeanne chante avec elles.
 ジャンヌは彼女たちと歌う。

ジャヌ ショントウテール アヴェク ムワ
Jeanne chante-t-elle avec moi ?
 ジャンヌは私と歌うか。
 ジャヌ ショントウテール アヴェク トゥワ
Jeanne chante-t-elle avec toi ?
 ジャンヌは君と歌うか。
 ジャヌ ショントウテール アヴェク ス
Jeanne chante-t-elle avec nous ?
 ジャンヌは私たちと歌うか。
 ジャヌ ショントウテール アヴェク ヴ
Jeanne chante-t-elle avec vous ?
 ジャンヌは君たちと歌うか。
 ジャヌ ショントウテール アヴェク リュイ
Jeanne chante-t-elle avec lui ?
 ジャンヌは彼と歌うか。
 ジャヌ ショントウテール アヴェク エル
Jeanne chante-t-elle avec elle ?
 ジャンヌは彼女と歌うか。
 ジャヌ ショントウテール アヴェク ウ
Jeanne chante-t-elle avec eux ?
 ジャンヌは彼らと歌うか。
 ジャヌ ショントウテール アヴェケル
Jeanne chante-t-elle avec elles ?
 ジャンヌは彼女たちと歌うか。

ジャヌ ス ショントウ バ アヴェク ムワ
Jeanne ne chante pas avec moi.
 ジャンヌは私と歌わない。
 ジャヌ ス ショントウ バ アヴェク トゥワ
Jeanne ne chante pas avec toi.
 ジャンヌは君と歌わない。
 ジャヌ ス ショントウ バ アヴェク ス
Jeanne ne chante pas avec nous.
 ジャンヌは私たちと歌わない。
 ジャヌ ス ショントウ バ アヴェク ヴ
Jeanne ne chante pas avec vous.
 ジャンヌは君たちと歌わない。
 ジャヌ ス ショントウ バ アヴェク リュイ
Jeanne ne chante pas avec lui.
 ジャンヌは彼と歌わない。
 ジャヌ ス ショントウ バ アヴェケル
Jeanne ne chante pas avec elle.
 ジャンヌは彼女と歌わない。
 ジャヌ ス ショントウ バ アヴェク ウ
Jeanne ne chante pas avec eux.
 ジャンヌは彼らと歌わない。
 ジャヌ ス ショントウ バ アヴェケル
Jeanne ne chante pas avec elles.
 ジャンヌは彼女たちと歌わない。

9.8.4 直間混在

ポール リュイ プレゾントゥ
Paul le lui présente.
 ポールは彼を彼（女）に紹介する。
 ポール ラ リュイ プレゾントゥ
Paul la lui présente.
 ポールは彼女を彼（女）に紹介する。
 ポール レ リュイ プレゾントゥ
Paul les lui présente.
 ポールは彼ら（彼女たち）を彼（女）に紹介する。
 ポール ル ルー プレゾントゥ
Paul le leur présente.
 ポールは彼を彼（女）たちに紹介する。
 ポール ラ ルー プレゾントゥ
Paul la leur présente.
 ポールは彼女を彼（女）たちに紹介する。
 ポール レ ルー プレゾントゥ
Paul les leur présente.
 ポールは彼ら（彼女たち）を彼（女）たちに紹介する。

ポール ス ル リュイ プレゾントゥ バ
Paul ne le lui présente pas.
 ポールは彼を彼（女）に紹介しない。
 ポール ス ラ リュイ プレゾントゥ バ
Paul ne la lui présente pas.
 ポールは彼女を彼（女）に紹介しない。
 ポール ス レ リュイ プレゾントゥ バ
Paul ne les lui présente pas.
 ポールは彼ら（彼女たち）を彼（女）に紹介しない。
 ポール ス ル ルー プレゾントゥ バ
Paul ne le leur présente pas.
 ポールは彼を彼（女）たちに紹介しない。
 ポール ス ラ ルー プレゾントゥ バ
Paul ne la leur présente pas.
 ポールは彼女を彼（女）たちに紹介しない。
 ポール ス レ ルー プレゾントゥ バ
Paul ne les leur présente pas.
 ポールは彼ら（彼女たち）を彼（女）たちに紹介しない。

ポール リュイ プレゾントゥティール
Paul le lui présente-t-il ?

ポールは彼(女)に彼を紹介するか。

ポール ラリュイ プレゾントゥティール
Paul la lui présente-t-il ?

ポールは彼(女)に彼女を紹介するか。

ポール レリュイ プレゾントゥティール
Paul les lui présente-t-il ?

ポールは彼(女)に彼ら(彼女たち)を紹介するか。

ポール ルル プレゾントゥティール
Paul le leur présente-t-il ?

ポールは彼(女)たちに彼を紹介するか。

ポール ラル プレゾントゥティール
Paul la leur présente-t-il ?

ポールは彼(女)たちに彼女を紹介するか。

ポール レル プレゾントゥティール
Paul les leur présente-t-il ?

ポールは彼(女)たちに彼ら(彼女たち)を紹介するか。

ポール ムル プレゾントゥ
Paul me le présente.

ポールは私に彼を紹介する。

ポール ムラ プレゾントゥ
Paul me la présente.

ポールは私に彼女を紹介する。

ポール ムレ プレゾントゥ
Paul me les présente.

ポールは私に彼ら(彼女たち)を紹介する。

ポール トゥル プレゾントゥ
Paul te le présente.

ポールは君に彼を紹介する。

ポール トゥラ プレゾントゥ
Paul te la présente.

ポールは君に彼女を紹介する。

ポール トゥレ プレゾントゥ
Paul te les présente.

ポールは君に彼ら(彼女たち)を紹介する。

ポール ヌル プレゾントゥ
Paul nous le présente.

ポールは私たちに彼を紹介する。

ポール スラ プレゾントゥ
Paul nous la présente.

ポールは私たちに彼女を紹介する。

ポール スレ プレゾントゥ
Paul nous les présente.

ポールは私たちに彼ら(彼女たち)を紹介する。

ポール ヴル プレゾントゥ
Paul vous le présente.

ポールは君たちに彼を紹介する。

ポール ヴラ プレゾントゥ
Paul vous la présente.

ポールは君たちに彼女を紹介する。

ポール ヴレ プレゾントゥ
Paul vous les présente.

ポールは君たちに彼ら(彼女たち)を紹介する。

ポール ヌムル プレゾントゥ パ
Paul ne me le présente pas.

ポールは私に彼を紹介しない。

ポール スムラ プレゾントゥ パ
Paul ne me la présente pas.

ポールは私に彼女を紹介しない。

ポール スムレ プレゾントゥ パ
Paul ne me les présente pas.

ポールは私に彼ら(彼女たち)を紹介しない。

ポール ストゥル プレゾントゥ パ
Paul ne te le présente pas.

ポールは君に彼を紹介しない。

ポール ストゥラ プレゾントゥ パ
Paul ne te la présente pas.

ポールは君に彼女を紹介しない。

ポール ストゥレ プレゾントゥ パ
Paul ne te les présente pas.

ポールは君に彼ら(彼女たち)を紹介しない。

ポール スヌル プレゾントゥ パ
Paul ne nous le présente pas.

ポールは私たちに彼を紹介しない。

ポール スヌラ プレゾントゥ パ
Paul ne nous la présente pas.

ポールは私たちに彼女を紹介しない。

ポール スヌレ プレゾントゥ パ
Paul ne nous les présente pas.

ポールは私たちに彼ら(彼女たち)を紹介しない。

ポール スヴル プレゾントゥ パ
Paul ne vous le présente pas.

ポールは君たちに彼を紹介しない。

ポール スヴラ プレゾントゥ パ
Paul ne vous la présente pas.

ポールは君たちに彼女を紹介しない。

ポール スヴレ プレゾントゥ パ
Paul ne vous les présente pas.

ポールは君たちに彼ら(彼女たち)を紹介しない。

ポル ム ル プレゼントゥティール
Paul me le présente-t-il ?
 ポールは私に彼を紹介するか。
 ポル ム ラ プレゼントゥティール
Paul me la présente-t-il ?
 ポールは私に彼女を紹介するか。
 ポル ム レ プレゼントゥティール
Paul me les présente-t-il ?
 ポールは私に彼ら（彼女たち）を紹介するか。
 ポル トゥ ル プレゼントゥティール
Paul te le présente-t-il ?
 ポールは君に彼を紹介するか。
 ポル トゥ ラ プレゼントゥティール
Paul te la présente-t-il ?
 ポールは君に彼女を紹介するか。
 ポル トゥ レ プレゼントゥティール
Paul te les présente-t-il ?
 ポールは君に彼ら（彼女たち）を紹介するか。
 ポル ス ル プレゼントゥティール
Paul nous le présente-t-il ?
 ポールは私たちに彼を紹介するか。
 ポル ス ラ プレゼントゥティール
Paul nous la présente-t-il ?
 ポールは私たちに彼女を紹介するか。
 ポル ス レ プレゼントゥティール
Paul nous les présente-t-il ?
 ポールは私たちに彼ら（彼女たち）を紹介するか。
 ポル ヴ ル プレゼントゥティール
Paul vous le présente-t-il ?
 ポールは君たちに彼を紹介するか。
 ポル ヴ ラ プレゼントゥティール
Paul vous la présente-t-il ?
 ポールは君たちに彼女を紹介するか。
 ポル ヴ レ プレゼントゥティール
Paul vous les présente-t-il ?
 ポールは君たちに彼ら（彼女たち）を紹介するか。

9.9 第 09 章練習問題

9.9.1 devenir, revenir, tenir の活用を三回ずつ書け。

9.9.2 次の文章の空欄を補え。

- ① Je un livre.
私は本を手を持っている。
- ② Tu ce restaurant.
君はこのレストランを経営している。
- ③ Il à la maison.
彼は家に帰ってくる。
- ④ Elle de l'église.
彼女は教会から帰ってくる。
- ⑤ Nous médecins.
私たちは医者になる。
- ⑥ Vous professeurs.
君たちは先生になる。
- ⑦ Ils étudiants.
彼らは学生になる。
- ⑧ Elles étudiantes.
彼女たちは学生になる。

- ⑨ Pierre aime.
ピエールは彼女を愛している。
- ⑩ Je aime.
私は君を愛している。
- ⑪ Tu aimes
君は私を愛している。
- ⑫ Marie montre l'église.
マリは彼に教会を見せる。
- ⑬ Nous montrons l'église.
私たちはあなたに教会を見せる。
- ⑭ Vous montrez l'église.
あなたは私たちに教会を見せる。
- ⑮ Pierre chante avec .
- ⑯ Tu chantes avec .
- ⑰ Je chante avec .

9.9.3 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Je tiens un livre.
- ② Tu tiens ce restaurant.
- ③ Il revient à la maison.
- ④ Elle revient de l'église.
- ⑤ Nous devenons médecins.
- ⑥ Vous devenez professeurs.
- ⑦ Ils deviennent étudiants.
- ⑧ Elles deviennent étudiantes.
- ⑨ Pierre l'aime.
- ⑩ Je t'aime.
- ⑪ Tu m'aimes
- ⑫ Marie lui montre l'église.
- ⑬ Nous vous montrons l'église.
- ⑭ Vous nous montrez l'église.
- ⑮ Pierre chante avec elle.
- ⑯ Tu chantes avec moi.
- ⑰ Je chante avec toi.

9.9.4 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私は本を手を持っている。
- ② 君はこのレストランを経営している。
- ③ 彼は家に帰ってくる。
- ④ 彼女は教会から帰ってくる。
- ⑤ 私たちは医者になる。

- ⑥ 君たちは先生になる。
- ⑦ 彼らは学生になる。
- ⑧ 彼女たちは学生になる。
- ⑨ ピエールは彼女を愛している。
- ⑩ 私は君を愛している。
- ⑪ 君は私を愛している。
- ⑫ マリは彼に教会を見せる。
- ⑬ 私たちはあなたに教会を見せる。
- ⑭ あなたは私たちに教会を見せる。
- ⑮ ピエールは彼女と歌う。
- ⑯ 君は私と歌う。
- ⑰ 私は君と歌う。

9.9.5 次の人称代名詞の変化表をうめよ。

	主格形	直接目的格形	間接目的格形	強勢形
私				
君				
私たち				
君たち				
	「～が、～は」	「～を」	「～に」	「～」

	彼 男性単数	彼女 女性単数	彼ら 男性複数	彼女たち 女性複数	
主格					～が
直接目的格					～を
間接目的格					～に
強勢形					～

9.9.6 次の人称代名詞の表を完成せよ。

	主格形	直接目的格形	間接目的格形	強勢形
一人称単数				
二人称単数				
三人称単数男性				
三人称単数女性				
一人称複数				
二人称複数				
三人称複数男性				
三人称複数女性				

9.9.7 次の文章を二回書き写した後、否定形と倒置形に書き直せ。解答は 116 頁以下

9.9.8 人称代名詞直接目的格形

Pierre me cherche.
 Pierre te cherche.
 Pierre nous cherche.
 Pierre vous cherche.
 Pierre le cherche.
 Pierre la cherche.
 Pierre les cherche.

9.9.9 人称代名詞間接目的格形

Marie me parle.
 Marie te parle.
 Marie nous parle.
 Marie vous parle.
 Marie lui parle.
 Marie leur parle.

9.9.10 人稱代名詞強勢形

Jeanne chante avec moi.
Jeanne chante avec toi.
Jeanne chante avec nous.
Jeanne chante avec vous.
Jeanne chante avec lui.
Jeanne chante avec elle.
Jeanne chante avec eux.
Jeanne chante avec elles.

9.9.11 人稱代名詞直接目的格形＋間接目的格形

Paul me le présente.
Paul me la présente.
Paul me les présente.
Paul te le présente.
Paul te la présente.
Paul te les présente.
Paul nous le présente.
Paul nous la présente.
Paul nous les présente.
Paul vous le présente.
Paul vous la présente.
Paul vous les présente.

Paul le lui présente.
Paul la lui présente.
Paul les lui présente.
Paul le leur présente.
Paul la leur présente.
Paul les leur présente.

9.10 基数詞 (101 以上)

音声: 9-17

101	cent un	ソン アン	5000	cinq mille	サーク ミル
102	cent deux	ソン ドゥー	6000	six mille	スイ ミル
103	cent trois	ソン トゥろワ	7000	sept mille	セツト ミル
104	cent quatre	ソン カートる	8000	huit mille	ユイート ミル
105	cent cinq	ソン サーク	9000	neuf mille	ヌーフ ミル
106	cent six	ソン スィース	一万	dix mille	ディ ミル
107	cent sept	ソン セツト	十万	cent mille	ソン ミル
108	cent huit	ソン ユイート	百万	un million	アン ミリオン
109	cent neuf	ソン ヌーフ	千万	dix millions	ディ ミリオン
110	cent dix	ソン ディース	一億	cent millions	ソン ミリオン
111	cent onze	ソン オーンズ	十億	un milliard	アン ミリヤール
112	cent douze	ソン ドゥーズ	百億	dix milliards	ディ ミリヤール
113	cent treize	ソン トゥれーズ	千億	cent milliards	ソン ミリヤール
114	cent quatorze	ソン カトールズ	一兆	un billion	アン ビリオン
115	cent quinze	ソン カーンズ	十兆	dix billions	ディ ビリオン
116	cent seize	ソン セーズ	百兆	cent billions	ソン ビリオン
117	cent dix-sept	ソン ディセートゥ			
118	cent dix-huit	ソン ディズユイートゥ			
119	cent dix-neuf	ソン ディズヌーフ			
200	deux cents	ドゥ ソン			
300	trois cents	トゥろワ ソン			
400	quatre cents	カートる ソン			
500	cinq cents	サーク ソン			
600	six cents	スイ ソン			
700	sept cents	セツト ソン			
800	huit cents	ユイート ソン			
900	neuf cents	ヌーフ ソン			
1000	mille	ミル			
1001	mille un	ミル アン			
1002	mille deux	ミル ドゥー			
1003	mille trois	ミル トゥろワ			
1004	mille quatre	ミル カートる			
1005	mille cinq	ミル サーク			
1006	mille six	ミル スィース			
1007	mille sept	ミル セツト			
1008	mille huit	ミル ユイート			
1009	mille neuf	ミル ヌーフ			
1010	mille dix	ミル ディース			
1100	mille cent	ミル ソン			
2000	deux mille	ドゥー ミル			
2001	deux mille un	ドゥー ミル アン			
3000	trois mille	トゥろワ ミル			
4000	quatre mille	カートる ミル			

mille には複数の-s はつかない。
cent は端数のない時だけ、複数の-s がつく (deux cents と deux cent un)。ただし、後に mille がある場合には、-s はつかない (deux cents と deux cent mille)。

第 10 章

叙法動詞・複合過去

◆ 本章の目標 ◆

- 叙法動詞の変化と用法を覚える。
- 過去分詞の作り方、用法を覚える。
- 複合過去の変化と用法を覚える。

動詞の多くは、別の動詞の原形（不定法）に従える場合、前置詞の *de* や *à* を必要とする。しかし、中には原形を前置詞なしで従えることのできる動詞もある。叙法動詞はそうした動詞の一種である。

複合過去は過去の行為や出来事を表すための時称（時制）である。直説法現在とは異なり、語尾変化ではなく、助動詞と過去分詞を組み合わせで、人称変化を示す。

10.1 叙法動詞

叙法動詞は行為・状態を直接表現せず、**動詞の原形（不定法）を前置詞なしで直接従えて**、その原形が表す行為・状態が、主語の願望・能力・義務などであることを表す。

音声：10-1

直説法現在	
ドゥワワー	
DEVOIR (しなければならない)	
ジュ ドワ	ヌ ドゥヴォン
je dois	nous devons
テュ ドワ	ヴ ドゥヴェ
tu dois	vous devez
イル ドワ	イル ドゥワヴ
il doit	ils doivent
エル ドワ	エル ドゥワヴ
elle doit	elles doivent

音声：10-2

直説法現在	
サヴワー	
SAVOIR (できる、知っている)	
ジュ セ	ヌ サヴォン
je sais	nous savons
テュ セ	ヴ サヴェ
tu sais	vous savez
イル セ	イル サーヴ
il sait	ils savent
エル セ	エル サーヴ
elle sait	elles savent

他の多くの不規則動詞と同様、単数人称の変化形は発音が同一で、-s, -s, -t, -t の語尾を持つことに注意。savoir は不定法語尾-oir を除いた語幹 sav-に-ons, -ez, -ent, -ent がつくが、この語尾変化は-er 動詞と全く同じである。

音声：10-3

直説法現在	
プヴワーる	
POUVOIR (可能である)	
ジュ ブ je peux (puis-je)	ヌ プヴォン nous pouvons
テュ ブ tu peux	ヴ プヴェ vous pouvez
イル ブ il peut	イル プーヴ ils peuvent
エル ブ elle peut	エル プーヴ elles peuvent

*puis は古い形で、倒置の場合のみ用いる。

音声：10-4

直説法現在	
ヴルワーる	
VOULOIR (欲する)	
ジュ ヴ je veux	ヌ ヴロン nous voulons
テュ ヴ tu veux	ヴ ヴレ vous voulez
イル ヴ il veut	イル ヴール ils veulent
エル ヴ elle veut	エル ヴール elles veulent

他の多くの不規則動詞と同様、単数人称の変化形は発音が同一で、-x, -x, -t, -t の語尾を持つことに注意(多くの場合、u の後では、-s は-x になる → *devoir, savoir* の単数人称形と比較)。ほとんどの不規則動詞が、一人称複数形と二人称複数形では規則変化することにも注意すること。pouvoir, vouloir の不定法語尾-oir を取り除いた語幹 *pouv-, voul-*に-*ons, -ez* を付すと一人称複数形と二人称複数形になるが、この語尾変化は-er 動詞と全く同じである。

10.2 叙法動詞の例文

音声：10-5

- ジュ ドゥワ シェるシェ アンノテル
- ① Je **dois** chercher un hôtel.
私はホテルを探さないといけない。
- テュ ブ アレ オ カフェ
- ② Tu **peux** aller au café.
君は喫茶店に行ける。
- イル セ ションテ オン フランセ
- ③ Il **sait** chanter en français.
彼はフランス語で歌うことができる。
- エル ヴ モンジェ ル パン
- ④ Elle **veut** manger le pain.
彼女はパンを食べたがっている。
- ヌ ドゥヴォン アシュテ ユヌ ターブル
- ⑤ Nous **devons** acheter une table.
私たちはテーブルを買わなければならない。
- ヴ プヴェ フェるメ ラ フネートる
- ⑥ Vous **pouvez** fermer la fenêtre.
窓を開けても良いですよ。
- イル サヴ ジュエ オ テニス
- ⑦ Ils **savent** jouer au tennis.
彼らはテニスをすることができる。
- エル ヴル れステ ア ラ メゾン
- ⑧ Elles **veulent** rester à la maison.
彼女たちは家に留まることを望んでいる。

devoir は不定法で表されることがらが、義務や避け得ない行為・出来事であることを表す

(devoirs と名詞複数形にすると「宿題」の意味になることも知っておくとよい)。pouvoir と savoir は、いずれも不定法をしたがえて「～できる」の意味であるが、savoir が「～する能力を持つ」ことを意味するのに対し、pouvoir は「～することが差し支えない」ことを意味する。Je sais nager. 「私は泳ぐことができる」は溺れることなく泳ぐ能力があることを意味するが、Je peux nager. 「私は泳ぐことができる」は、気温が十分に高いので、プールに水が貼ってあるので、お父さんが「泳いでいいよ」と許可したので、などなど、能力ではなく、状況が泳ぐことを可能している場合に用いる。したがって、Puis-je nager ?/Est-ce que Je peux nager ?は「泳いでも良いですか」と許可を求める表現になることも多い。vouloir は「～したい」と訳すことも多いが、単なる願望よりも強い意志を表すことも多い。「～したい」の意味では、「je voudrais + 不定法」「j'aimerais + 不定法」などを使うのが普通である (281 頁参照)。

10.3 過去分詞の作り方

過去分詞は動詞から派生した形容詞の一種である。多くの動詞は、原形（不定法）から規則的に過去分詞を作ることができる。

10.3.1 第一群規則動詞と ALLER

原形が-er で終わる全ての動詞は、語尾の-er を-é に変えることで、過去分詞を作ることができる。

音声：10-6

aller	→	allé	chercher	→	cherché	manger	→	mangé
-------	---	------	----------	---	---------	--------	---	-------

10.3.2 第二群規則動詞と-ir で終わる不規則動詞の一部

原形が-ir で終わる動詞の多くは（一部は例外：後述の venir, mourir を参照）、語尾の-ir を-i に変えることで、過去分詞を作ることができる。

音声：10-7

choisir	→	choisi	réussir	→	réussi	finir	→	fini
---------	---	--------	---------	---	--------	-------	---	------

10.3.3 最初に覚えるべき不規則動詞：AVOIR, ÊTRE

音声：10-8

avoir	→	eu	être	→	été
-------	---	----	------	---	-----

◆ まずは、第一群規則動詞、第二群規則、avoir, être の過去分詞が作れるようになること！

10.3.4 その他の動詞

◆ 後述の être を助動詞にとる動詞の不規則変化を優先的に覚えると良い。

RENDRE 型動詞

音声：10-9

アトーンドゥる attendre →	アトンデュ attendu	デソーンドゥる descendre →	デソンデュ descendu
待つ オントーンドゥる entendre →	オントンデュ entendu	降りる ペーるドゥる perdre →	ペーるデュ perdu
聞く ロンドゥる rendre →	ロンデュ rendu	失う レポーンドゥる répondre →	レポンデュ répondu
返す ヴォーンドゥる vendre →	ヴォンデュ vendu	答える	

VENIR 型動詞

音声：10-10

ヴニール venir →	ヴニユ venu	ドゥヴニール devenir →	ドゥヴニユ devenu
来る るヴニール revenir →	るヴニユ revenu	なる トゥニール tenir →	トゥニユ tenu
帰る		持つ	

叙法動詞

音声：10-11

ドゥヴワーる devoir →	デュ dû	フヴワーる pouvoir →	ピユ pu
しなければならない サヴワーる savoir →	スユ su	可能である ヴルワーる vouloir →	ヴリュ voulu
できる、知っている		欲する	

10.4 過去分詞の用法と性数変化

10.4.1 過去分詞の性数変化

過去分詞は通常の形容詞と同様、女性形では-eを加え、複数形では単数形に-sを加える。しかし、過去分詞の多くは母音で終わっているため、母音で終わる形容詞 joli などの場合と同様、男性形と女性形の発音が同一になることが多い。さらに、複数の-sは発音に影響を与えないので、**性数変化は事実上、綴りの上だけの問題だ**と言える。

音声：10-12

TOMBÉ (< tomber)			VENU (< venir)		
	男性	女性		男性	女性
単数	tombé	tombée	単数	venu	venue
複数	tombés	tombées	複数	venus	venues
	トンベ	トンベ		ヴニユ	ヴニユ

PARTI (< partir)			DÛ (< devoir)		
	男性	女性		男性	女性
単数	parti	partie	単数	dû	due
複数	partis	parties	複数	dus	dues
	パルティ	パルティ		デュ	デュ

NB: devoir の過去分詞では、男性単数形だけが dû となるが、これは、部分冠詞や「前置詞+冠詞」などと区別するためだと言われている。

ただし、ごく一部の過去分詞は子音で終わっている。その場合は、多くの形容詞と同様、男性形と女性形とで発音が異なる。また、男性単数形が-s で終わっている過去分詞では、男性単数形と男性複数形が同じ形になるのも、形容詞の場合と同様である。

音声：10-13

MORT (< mourir)			PRIS (< prendre)		
	男性	女性		男性	女性
単数	mort	morte	単数	pris	prise
複数	morts	mortes	複数	pris	prises
	モ-る	モ-るトゥ		プリ	プリーズ

*prendre は次章で学ぶ不規則動詞。

10.4.2 過去分詞の用法

過去分詞の意味は、もとの動詞が目的格補語をとる他動詞か、目的格補語を必要としない自動詞かで変わる。自動詞の場合、完了の意味をもって、「～した...」の意味となるのに対して、他動詞の場合、受け身の「～される...」や受け身と完了を兼ね備えた「～された...」の意味となる。形容詞なので、「...」で表される名詞を修飾することに注意。また過去分詞はほとんどの場合、名詞の後につく。さらに、性数一致の必要もある。

● 自動詞

- venir 「来る」 ⇒ venu 「来た～」:

例 un garçon venu de France 「フランスから来た少年」 男性単数

- mourir 「死ぬ」 ⇒ mort 「死んだ～」:

例 des feuilles ^{フ-ユ モ-る トゥ} mortes 「枯葉 (死んだ葉)」 女性複数

● 他動詞

- trouver 「見つける」 ⇒ trouvé 「見つけられた」:

例 des objets ^{オブジェ トゥ ヴェ} trouvés 「落とし物 (見つけられた物)」 男性複数

- aimer 「愛する」 ⇒ aimé 「愛される」:

例 une femme ^{フ-ム エ-メ ドゥ トゥ ル モンドゥ} aimée de tout le monde 「皆から愛される女性」 女性単数 (tout le monde 「皆」)

すでに述べた通り、過去分詞は、動詞から派生した形容詞の一種である。様々な補語をとり得るなど動詞的な性質をもちつつも、形容詞と同様、名詞を修飾し、それに伴って性数一致を行う。

なお、過去分詞も形容詞の一種であるから、「主語 + être + 属詞形容詞 = 過去分詞」の構文を当然とり得る（非制限用法）。実は、その一つが、次に説明する être を助動詞にとる複合過去なのである。もう一つは受動態である（230頁を参照）。

10.5 複合過去の助動詞

複合過去 = 助動詞 (avoir, être) の直説法現在 + 過去分詞

複合過去は上記の定式に則って作られるが、助動詞に avoir, être のいずれを使うかは、過去分詞になる動詞により、決まっている。ある動詞がどちらの助動詞をとるかを知るには最初は辞書や参考書で確かめるより方法がない。しかし、être を助動詞にとる動詞は極端な少数派なので（20-30個）、少しずつ覚えれば、困ることはなくなる。

10.5.1 助動詞 AVOIR をとる動詞

ほとんどの動詞は、助動詞に avoir を用いて、複合過去を作る。ただし、avoir (eu) と être (été) の二つが助動詞には avoir を用いることは、意識的に覚えること。

10.5.2 助動詞 ÊTRE をとる動詞

移動・変化を表す自動詞の一部と、全ての代名動詞（後述、158頁参照）は、助動詞に être を用いて、複合過去を作る。下記のものから優先的に憶えると良い（太字のものが最優先）。

◆ 不規則な過去分詞も含めて覚えてください（太字のものを重点的に）。

変化を表す自動詞

音声：10-14

ドゥヴニール devenir →	ドゥヴニユ devenu	ネートゥール naître →	ネ né	ムリール mourir →	モー mort
なる		生まれる		死ぬ	

移動を表す自動詞

音声：10-15

アレ aller 行く るヴニール	→	アレ allé	ヴニール venir 来る	→	ヴニール venu
るヴニール revenir 帰る	→	るヴニール revenu	アリヴェ arriver 到着する	→	アリヴェ arrivé
バるティール partir 出発する	→	バるティ parti	モンテ monter 登る、乗る	→	モンテ monté
デソーンドゥル descendre 降りる	→	デソンドゥ descendu	オントゥレ entrer 入る	→	オントゥレ entré
ソるティール sortir 出る	→	ソるティ sorti	トンベ tomber 落ちる、倒れる	→	トンベ tombé

10.6 助動詞に AVOIR を用いた複合過去

音声：10-16

音声：10-17

複合過去 CHERCHER		複合過去 MANGER	
ジェ シェるシェ j'ai cherché	ヌザヴォン シェるシェ nous avons cherché	ジェ モンジェ j'ai mangé	ヌザヴォン モンジェ nous avons mangé
テュ ア シェるシェ tu as cherché	ヴザヴェ シェるシェ vous avez cherché	テュ ア モンジェ tu as mangé	ヴザヴェ モンジェ vous avez mangé
イラ シェるシェ il a cherché	イルゾン シェるシェ ils ont cherché	イラ モンジェ il a mangé	イルゾン モンジェ ils ont mangé
エラ シェるシェ elle a cherché	エルゾン シェるシェ elles ont cherché	エラ モンジェ elle a mangé	エルゾン モンジェ elles ont mangé

助動詞に AVOIR を用いた時には、過去分詞は不変!

音声：10-18

⑨ **Nous avons chanté.**
ヌザヴォン ションテ
私たちは歌った。

⑩ **Elles ont pleuré.**
エルゾン プルレ
彼女たちは泣いた。

助動詞に avoir を用いた複合過去では、過去分詞の形容詞的性質は、通常、無視されて、性数一致が起こることはありません（例外については、142 頁と 196 頁を参照）。

10.7 助動詞に ÊTRE を用いた複合過去

助動詞に avoir を用いた時とは違って、

助動詞に ÊTRE を用いた時には、過去分詞は主語に性数一致する。

助動詞に être を用いた際の過去分詞の性数一致は、「主語 + être + 属詞形容詞」の性数一致と完全に同じ規則に従っていることに注意すること（44 頁参照）。実は、助動詞に être を用いた場合、過去分詞は完全に形容詞として振る舞っているのである。先に述べた通り、これは、過去分詞の非制限用法の変種とって良い。

音声：10-19

複合過去									
VENIR									
ジュ スエイ ヴニユ	je suis <table border="1"><tr><td>venu</td><td>男性単数</td></tr><tr><td>venue</td><td>女性単数</td></tr></table>	venu	男性単数	venue	女性単数				
venu	男性単数								
venue	女性単数								
テュ エ ヴニユ	tu es <table border="1"><tr><td>venu</td><td>男性単数</td></tr><tr><td>venue</td><td>女性単数</td></tr></table>	venu	男性単数	venue	女性単数				
venu	男性単数								
venue	女性単数								
イレ ヴニユ	il est venu								
エレ ヴニユ	elle est venue								
ヌ ソーム ヴニユ	nous sommes <table border="1"><tr><td>venus</td><td>男性複数</td></tr><tr><td>venues</td><td>女性複数</td></tr></table>	venus	男性複数	venues	女性複数				
venus	男性複数								
venues	女性複数								
ヴゼートゥ ヴニユ	vous êtes <table border="1"><tr><td>venu</td><td>男性単数</td></tr><tr><td>venue</td><td>女性単数</td></tr><tr><td>venus</td><td>男性複数</td></tr><tr><td>venues</td><td>女性複数</td></tr></table>	venu	男性単数	venue	女性単数	venus	男性複数	venues	女性複数
venu	男性単数								
venue	女性単数								
venus	男性複数								
venues	女性複数								
イル ソン ヴニユ	ils sont venus								
エル ソン ヴニユ	elles sont venues								

音声：10-20

複合過去									
ARRIVER									
ジュ スエイ アリヴェ	je suis <table border="1"><tr><td>arrivé</td><td>男性単数</td></tr><tr><td>arrivée</td><td>女性単数</td></tr></table>	arrivé	男性単数	arrivée	女性単数				
arrivé	男性単数								
arrivée	女性単数								
テュ エ アリヴェ	tu es <table border="1"><tr><td>arrivé</td><td>男性単数</td></tr><tr><td>arrivée</td><td>女性単数</td></tr></table>	arrivé	男性単数	arrivée	女性単数				
arrivé	男性単数								
arrivée	女性単数								
イレタリヴェ	il est arrivé								
エレタリヴェ	elle est arrivée								
ヌ ソーム アリヴェ	nous sommes <table border="1"><tr><td>arrivés</td><td>男性複数</td></tr><tr><td>arrivées</td><td>女性複数</td></tr></table>	arrivés	男性複数	arrivées	女性複数				
arrivés	男性複数								
arrivées	女性複数								
ヴゼートゥ アリヴェ	vous êtes <table border="1"><tr><td>arrivé</td><td>男性単数</td></tr><tr><td>arrivée</td><td>女性単数</td></tr><tr><td>arrivés</td><td>男性複数</td></tr><tr><td>arrivées</td><td>女性複数</td></tr></table>	arrivé	男性単数	arrivée	女性単数	arrivés	男性複数	arrivées	女性複数
arrivé	男性単数								
arrivée	女性単数								
arrivés	男性複数								
arrivées	女性複数								
イル ソンタリヴェ	ils sont arrivés								
エル ソンタリヴェ	elles sont arrivées								

助動詞に ÊTRE を用いた時には、過去分詞は主語に性数一致する。 人称代名詞、一人称、二人称の主格形「私は、君は...」には、男性形と女性形の区別はないが、それらの主格形が差す人物の性に合わせて(「私」「君」が男性か女性かにあわせて)、過去分詞が性数一致する。なお、vousは「あなた」の意味もあるので、過去分詞が単数形になることもある。もちろん、主語が人称代名詞以外の場合には、主語となる名詞に過去分詞が性数一致する。なお、男女が混在する場合は、つねに男性複数形として扱われる。

音声：10-21

- ⑪ Elle est morte. エレ モーエトク
彼女は死んだ。
- ⑫ Vous êtes parti. ヴゼートゥ パルティ
あなたは(男性)出発した。

10.8 新出単語

音声：10-22

- | | | |
|---|---|--|
| ① devoir <small>ドゥヴァー</small>
[動詞] しなければならない | ② savoir <small>サヴァー</small>
[動詞] できる、知っている | ③ pouvoir <small>プヴァー</small>
[動詞] 可能である |
| ④ vouloir <small>ヴルヴァー</small>
[動詞] 欲する | ⑤ attendu <small>アトンデュ</small>
[過去分詞] attendre | ⑥ perdu <small>ペルデュ</small>
[過去分詞] perdre |
| ⑦ vendu <small>ヴェンデュ</small>
[過去分詞] vendre | ⑧ descendu <small>デソンドュ</small>
[過去分詞] descendre | ⑨ rendu <small>ロンデュ</small>
[過去分詞] rendre |

⑩ オントンデュ
entendu
[過去分詞] entendre

⑬ トゥニユ
tenu
[過去分詞] tenir

⑯ デュ
dû
[過去分詞] devoir

⑲ スユ
su
[過去分詞] savoir

⑳ ネ
né
[過去分詞] naître

⑪ レボンデュ
répondu
[過去分詞] répondre

⑭ ドゥヴェニユ
devenu
[過去分詞] devenir

⑰ ヴリュ
voulu
[過去分詞] vouloir

⑳ パルティ
parti
[過去分詞] partir

㉓ モー
mort
[過去分詞] mourir

⑫ ヴェニユ
venu
[過去分詞] venir

⑮ ルヴェニユ
revenu
[過去分詞] revenir

⑱ ピユ
pu
[過去分詞] pouvoir

㉑ ソルティ
sorti
[過去分詞] sortir

10.9 第 10 章練習問題

10.9.1 次の動詞の直説法現在の活用を三回ずつ書け。

- ① devoir ② pouvoir ③ savoir ④ vouloir

10.9.2 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- ① devoir
④ vouloir
⑦ vendu
⑩ entendu
⑬ tenu
⑯ dû
⑲ su
⑳ né

- ② savoir
⑤ attendu
⑧ descendu
⑪ répondu
⑭ devenu
⑰ voulu
⑳ parti
㉓ mort

- ③ pouvoir
⑥ perdu
⑨ rendu
⑫ venu
⑮ revenu
⑱ pu
㉑ sorti

10.9.3 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- ① [動詞] しなければならない
④ [動詞] 欲する
⑦ [過去分詞] vendre
⑩ [過去分詞] entendre
⑬ [過去分詞] tenir
⑯ [過去分詞] devoir
⑲ [過去分詞] savoir
⑳ [過去分詞] naître

- ② [動詞] できる、知っている
⑤ [過去分詞] attendre
⑧ [過去分詞] descendre
⑪ [過去分詞] répondre
⑭ [過去分詞] devenir
⑰ [過去分詞] vouloir
⑳ [過去分詞] partir
㉓ [過去分詞] mourir

- ③ [動詞] 可能である
⑥ [過去分詞] perdre
⑨ [過去分詞] rendre
⑫ [過去分詞] venir
⑮ [過去分詞] revenir
⑱ [過去分詞] pouvoir
㉑ [過去分詞] sortir

10.9.4 空欄に適切な過去分詞を埋めよ

直接書き込まずに、ノート上で数回練習すること

-ER 動詞

aller → chercher → manger →

-IR 動詞

choisir → réussir → finir →

AVOIR・ÊTRE

avoir → être →

RENDRE 型動詞

attendre → descendre →
 entendre → perdre →
 rendre → répondre →
 vendre →

VENIR 型動詞

venir → devenir →
 revenir → tenir →

叙法動詞

devoir → pouvoir →
 savoir → vouloir →

10.9.5 助動詞に ÊTRE を用いる動詞：空欄に適切な過去分詞を埋めよ

直接書き込まずに、ノート上で数回練習すること

移動を表す動詞

aller	→	<input type="text"/>	venir	→	<input type="text"/>
revenir	→	<input type="text"/>	arriver	→	<input type="text"/>
partir	→	<input type="text"/>	monter	→	<input type="text"/>
descendre	→	<input type="text"/>	entrer	→	<input type="text"/>
sortir	→	<input type="text"/>	tomber	→	<input type="text"/>

変化を表す動詞

devenir	→	<input type="text"/>	naître	→	<input type="text"/>	mourir	→	<input type="text"/>
---------	---	----------------------	---------------	---	----------------------	--------	---	----------------------

10.9.6 主語を elle にして全文を書き換えよ (二回書け)。

- ① Il est allé.
- ② Il est venu.
- ③ Il est revenu.
- ④ Il est arrivé.
- ⑤ Il est parti.
- ⑥ Il est monté.
- ⑦ Il est descendu.
- ⑧ Il est entré.
- ⑨ Il est sorti.
- ⑩ Il est tombé.
- ⑪ Il est né.
- ⑫ Il est mort.
- ⑬ Il est devenu.

10.9.7 主語を ils にして全文を書き換えよ (二回書け)。

- ① Elle est allée.
- ② Elle est venue.
- ③ Elle est revenue.
- ④ Elle est arrivée.

- ⑤ Elle est partie.
- ⑥ Elle est montée.
- ⑦ Elle est descendue.
- ⑧ Elle est entrée.
- ⑨ Elle est sortie.
- ⑩ Elle est tombée.
- ⑪ Elle est née.
- ⑫ Elle est morte.
- ⑬ Elle est devenue.

10.9.8 主語を elles にして全文を書き換えよ（二回書け）。

- ① Ils sont allés.
- ② Ils sont venus.
- ③ Ils sont revenus.
- ④ Ils sont arrivés.
- ⑤ Ils sont partis.
- ⑥ Ils sont montés.
- ⑦ Ils sont descendus.
- ⑧ Ils sont entrés.
- ⑨ Ils sont sortis.
- ⑩ Ils sont tombés.
- ⑪ Ils sont nés.
- ⑫ Ils sont morts.
- ⑬ Ils sont devenus.

10.9.9 主語を II にして全文を書き換えよ（二回書け）。

- ① Elles sont allées.
- ② Elles sont venues.
- ③ Elles sont revenues.
- ④ Elles sont arrivées.
- ⑤ Elles sont parties.
- ⑥ Elles sont montées.
- ⑦ Elles sont descendues.
- ⑧ Elles sont entrées.

- ⑨ Elles sont sorties.
- ⑩ Elles sont tombées.
- ⑪ Elles sont nées.
- ⑫ Elles sont mortes.
- ⑬ Elles sont devenues.

10.9.10 次の動詞の複合過去の活用表を書け。

chercher manger venir arriver

10.9.11 次の文章の空欄を補え。

- ① Je chercher un hôtel.
私はホテルを探さないといけない。
- ② Tu aller au café.
君は喫茶店に行ける。
- ③ Il chanter en français.
彼はフランス語で歌うことができる。
- ④ Elle manger le pain.
彼女はそのパンを食べたがっている。
- ⑤ Nous acheter une table.
私たちはテーブルを買わなければならない。
- ⑥ Vous fermer la fenêtre.
窓を閉めても良いですよ。
- ⑦ Ils jouer au tennis.
彼らはテニスをすることができる。
- ⑧ Elles rester à la maison.
彼女たちは家に留まることを望んでいる。
- ⑨ Nous .
- 私たちは歌った。
- ⑩ Elles .
- 彼女たちは泣いた。
- ⑪ Elle .
- 彼女は死んだ。
- ⑫ Vous .
- あなたは（男性）出発した。

10.9.12 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Je dois chercher un hôtel.
- ② Tu peux aller au café.
- ③ Il sait chanter en français.
- ④ Elle veut manger le pain.
- ⑤ Nous devons acheter une table.

- ⑥ Vous pouvez fermer la fenêtre.
- ⑦ Ils savent jouer au tennis.
- ⑧ Elles veulent rester à la maison.
- ⑨ Nous avons chanté.
- ⑩ Elles ont pleuré.
- ⑪ Elle est morte.
- ⑫ Vous êtes parti.

10.9.13 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私はホテルを探さないといけない。
- ② 君は喫茶店に行ける。
- ③ 彼はフランス語で歌うことができる。
- ④ 彼女はそのパンを食べたがっている。
- ⑤ 私たちはテーブルを買わなければならない。
- ⑥ 窓を閉めても良いですよ。
- ⑦ 彼らはテニスをすることができる。
- ⑧ 彼女たちは家に留まることを望んでいる。
- ⑨ 私たちは歌った。
- ⑩ 彼女たちは泣いた。
- ⑪ 彼女は死んだ。
- ⑫ あなたは（男性）出発した。

第 11 章

FAIRE, PRENDRE, METTRE ・ 複合 過去

11.1 FAIRE, PRENDRE, METTRE

「する」、「とる」、「置く」といった具合に、faire, prendre, mettre は極めて抽象的な意味をもつ。訳語通りの狭い意味で使われることは、むしろ、まれで、かなり広い意味で用いられる。様々な慣用表現でも現れるため、使用頻度は、極めて高い。

音声：11-1

直説法現在	
フェーる	
FAIRE (する、作る)	
ジュ フェ je fais	ヌ フゾン nous faisons
テュ フェ tu fais	ヴ フェット vous faites
イル フェ il fait	イル フォン ils font
エル フェ elle fait	エル フォン elles font

音声：11-2

直説法現在	
メートゥる	
METTRE (置く)	
ジュ メ je mets	ヌ メトン nous mettons
テュ メ tu mets	ヴ メテ vous mettez
イル メ il met	イル メートゥ ils mettent
エル メ elle met	エル メートゥ elles mettent

音声：11-3

直説法現在	
プランドる	
PRENDRE (とる)	
ジュ プラン je prends	ヌ プるノン nous prenons
テュ プラン tu prends	ヴ プるネ vous prenez
イル プラン il prend	イル プれーヌ ils prennent
エル プラン elle prend	エル プれーヌ elles prennent

faire は単数人称は完全に規則的で、不定法語尾の-re を取り除いた語幹 fai-に-s, -s, -t, -t を付して作る (finir, venir, savoir など多くの不規則動詞と同様)。mettre は複数人称が完全に規則的で、不定法語尾-re を取り除いた語幹 mett-に-ons, -ez, -ent, -ent をつける (-er 動詞と同じ)。

音声：11-4

直説法現在	
アプランドる	
APPRENDRE (学ぶ、教える)	
ジャブラン j'apprends	ヌザブるノン nous apprenons
テュ アブラン tu apprends	ヴザブるネ vous apprenez
イラブラン il apprend	イルザブレーヌ ils apprennent
エラブラン elle apprend	エルザブレーヌ elles apprennent

音声：11-5

直説法現在	
コンブランドる	
COMPRENDRE (理解する)	
ジュ コンブラン je comprends	ヌ コンブるノン nous comprenons
テュ コンブラン tu comprends	ヴ コンブるネ vous comprenez
イル コンブラン il comprend	イル コンブレーヌ ils comprennent
エル コンブラン elle comprend	エル コンブレーヌ elles comprennent

音声：11-6

過去分詞：faire > fait (フェ)、mettre > mis (ミ)、prendre > pris (プリ)、
apprendre > appris (アプリ)、comprendre > compris (コンプリ)

11.2 新出動詞の例文

音声：11-7

- ① **Je fais** des courses.
私は買い物をする。
- ② **Tu prends** froid.
君は風邪をひく。
- ③ **Il met** les lunettes.
彼は眼鏡をかける。
- ④ **Elle apprend** le français à Marie.
彼女はマリーにフランス語を教えている。
- ⑤ **Nous mettons** une lettre sur la table.
私たちはテーブルの上に手紙を置く。
- ⑥ **Qu'est-ce que vous faites** dans la vie ?
仕事は何ですか。
- ⑦ **Ils prennent** l'avion.
彼らは飛行機に乗る (利用する)。
- ⑧ **Elles comprennent** le japonais.
彼女たちは日本語を理解する。

faire, prendre, mettre, comprendre は、直接目的格補語を要求する他動詞である。faire, mettre, prendre は英語の make, do, put, take に相当する基本動詞で、日常、非常によく用いられる。apprendre は「学ぶ」と「教える」の両方の意味があるが、前者の場合は直接目的格補語 (何を) のみをとる、後者の場合は、それに加えて、間接目的格補語 (誰に) をとる。mettre は身に着

ける動作を表し、身に付けた状態は porter で表すことも知っておくと良い (Il porte les lunettes. 「彼は眼鏡をかけている」)。

11.3 複合過去の語順

◆ 複合過去の語順では、助動詞のみが動詞として扱われる、という点を意識して、下記を読むと良いでしょう。

11.3.1 否定文

通常、否定文は動詞を ne (n') と pas で挟むが、複合過去では、**助動詞だけを ne (n') と pas で挟む**。

音声：11-8

エレ モー トゥ エル ネ バ モー トゥ
Elle est morte. → Elle n'est pas morte.
彼女は死んだ。 彼女は死ななかった。

ヌザヴォン ションテ ス ナヴォン バ ションテ
Nous avons chanté. → Nous n'avons pas chanté.
私たちは歌った。 私たちは歌わなかった。

11.3.2 倒置疑問文

通常、倒置は主語と動詞を入れ替えるが、複合過去では、**主語と助動詞だけを入れ替える**。

音声：11-9

ヴゼートゥ バルティ エトゥヴ バルティ
Vous êtes parti. → Êtes-vous parti ?
あなたは出発した。 あなたは出発したか。

エルゾン プルレ オンテル プルレ
Elles ont pleuré. → Ont-elles pleuré ?
彼女たちは泣いた。 彼女たちは泣いたか。

11.3.3 人称代名詞目的格形

複合過去では、通常動詞の直前に置く **人称代名詞の目的格形を助動詞の直前に置く**。

音声：11-10

ジュ トゥ ヴェ ル リーヴ ジュ レ トゥ ヴェ
J'ai trouvé le livre. → Je l'ai trouvé.
私はその本を見つけた。 私はそれを見つけた。

テュ ア バルレ ア マリ テュ リエイ ア バルレ
Tu as parlé à Marie. → Tu lui as parlé.
君はマリーに話しかけた。 君は彼女に話しかけた。

11.3.4 補足：人称代名詞目的格形を伴った倒置・否定

通常は、人称代名詞目的格形と動詞をセットにするが、複合過去では**人称代名詞の目的格形と助動詞をワンセットとし**、ne (n') と pas で挟んだり、主語と倒置したりする。

音声：11-11

<p>ヴ リュイ アヴェ パルレ Vous lui avez parlé. あなたは彼（女）に話しかけた。</p>	→	<p>ヴ ス リュイ <u>アヴェ</u> <u>パ</u> パルレ Vous ne lui avez pas parlé. あなたは彼女に話しかけなかった。</p> <p>リュイ <u>アヴェ</u> <u>ヴ</u> パルレ <u>Lui avez</u>-vous parlé ? あなたは彼（女）に話しかけたか。</p>
---	---	--

11.4 人称代名詞目的格形と過去分詞の性数一致

助動詞に **avoir** を用いた複合過去でも、**人称代名詞の直接目的格形を使うと、過去分詞は性数一致する**。ただし、性数一致の相手は直接目的格人称代名詞が指しているもの（人）である。（なお、関係詞の直接目的格形に関しても同様の現象が起こるが、これは後述する（196 頁）。）

音声：11-12

<p>ヌザヴォン トゥルヴェ ル リーヴ Nous avons trouvé le livre. 私たちはその本を見つけた。</p>	→	<p>ヌ ラヴォン トゥルヴェ Nous l'avons trouvé. 私たちはそれを見つけた。</p>
<p>ヌザヴォン トゥルヴェ ラ ムヴェ Nous avons trouvé la revue. 私たちはその雑誌を見つけた。</p>	→	<p>ヌ ラヴォン トゥルヴェ Nous l'avons trouvée. 私たちはそれを見つけた。</p>
<p>ヌザヴォン トゥルヴェ レ リーヴ Nous avons trouvé les livres. 私たちはそれらの本を見つけた。</p>	→	<p>ヌ レザヴォン トゥルヴェ Nous les avons trouvés. 私たちはそれらを見つけた。</p>
<p>ヌザヴォン トゥルヴェ レ ムヴェ Nous avons trouvé les revues. 私たちはそれらの雑誌を見つけた。</p>	→	<p>ヌ レザヴォン トゥルヴェ Nous les avons trouvées. 私たちはそれらを見つけた。</p>

人称代名詞の間接目的格形では、性数一致が生じないことに注意すること。

<p>ジュ パルレ ア マリ J'ai parlé à Marie. 私はマリーに話しかけた。</p>	→	<p>ジュ リュイ エ パルレ Je lui ai parlé. 私は彼女に話しかけた。</p>
---	---	--

11.5 複合過去の用法

複合過去は基本的に、ある行為や出来事が、すでに終わってしまったこと（完了）を意味する。したがって、「～してしまった。～することはもう終わった、～という出来事は過去のことである」という日本語の表現に相当する。逆に、「～しているところだった、～という状態だった、～とい

う習慣があった」というふうに、完了を含意することなく、過去の事柄を表現したい場合には、複合過去は利用できない。この場合は、第 16 章で学ぶ直説法半過去を用いる。

また、複合過去は、「～してしまった結果、現在… という状態ある」というふうに、**現在の状態を含意する傾向が強い**。しかし、日本語の過去形にも、そうしたニュアンスは非常に強いので、あまり難しく考える必要はない。特に注意しなければならないのは、「～した結果、… の経験がある」という経験を表す場合であろう。

11.5.1 過去の行為・出来事を表す。

音声：11-13

ヌ ソム ネ オン ドゥウ ミル ドゥウ
⑨ **Nous sommes nés en 2002.**

私たちは 2002 年に生まれた。

マリ ア アシュテ ス リヴル イエー
⑩ **Marie a acheté ce livre hier.**

マリーはその本を昨日買った。

エテル デジャ パルティ
⑪ **Est-elle déjà partie ?**

彼女はもう出かけましたか。

11.5.2 過去の出来事を通して現在の状態を示す。

音声：11-14

ジェ デジャ モントゥレ セテグリズ ア ビエー
⑫ **J'ai déjà montré cette église à Pierre.**

その教会はもうピエールに見せた（もう見せなくて良い）。

ヌザヴォン エテ ア パリ
⑬ **Nous avons été à Paris.**

パリに行ったことがある（私たちはパリにいたことがある）。

イル ノン パ オンコー トゥルヴェ ス リーブ
⑭ **Ils n'ont pas encore trouvé ce livre ?**

彼らはその本をまだ見つけていないのですか（問題の本がまだ手元にない）。



Pont de Gard, aqueduc romain (Wikipedia)

11.6 新出単語

音声：11-15

① アブろーンドゥる
apprendre
[動詞] 学ぶ、教える

④ メートゥる
mettre
[動詞] 置く

⑦ キュイジーヌ
cuisine
[名詞・女性] 料理

② コンプろーンドゥる
comprendre
[動詞] 理解する

⑤ プろーンドゥる
prendre
[動詞] とる

⑧ デジャ
déjà
[副詞] すでに

③ フェーる
faire
[動詞] する、作る

⑥ クーース
courses
[名詞・女性] 買い物

⑨ オンコーる
encore
[副詞] まだ

11.7 付録：網羅的例文

◆ まる覚えするためのものではなく、規則に従って、文章を作った場合に、正しいかどうかを確認するためのものです。

11.7.1 ÊTRE を助動詞に使う複合過去

être を助動詞に使う動詞は、aller, venir, revenir, arriver, partir, monter, descendre, entrer, sortir, tomber; devenir, naître, mourir など、移動や変化を表す自動詞の一部である。être を助動詞に使った場合、過去分詞は主語に性数一致する。

ジュ スエイ ヴニユ
Je suis venu.
私(男)は来た。
ジュ スエイ ヴニユ
Je suis venue.
私(女)は来た。
テュ エ ヴニユ
Tu es venu.
君(男)は来た。
テュ エ ヴニユ
Tu es venue.
君(女)は来た。
イレ ヴニユ
Il est venu.
彼は来た。
エレ ヴニユ
Elle est venue.
彼女は来た。
ヌ ソーム ヴニユ
Nous sommes venus.
私たち(男/男女)は来た。
ヌ ソーム ヴニユ
Nous sommes venues.
私たち(女)は来た。
ヴゼートゥ ヴニユ
Vous êtes venu.
あなた(男)は来た。
ヴゼートゥ ヴニユ
Vous êtes venue.
あなた(女)は来た。
ヴゼートゥ ヴニユ
Vous êtes venus.
君たち(男)は来た。
ヴゼートゥ ヴニユ
Vous êtes venues.
君たち(女)は来た。
イル ソン ヴニユ
Ils sont venus.
彼らは来た。
エル ソン ヴニユ
Elles sont venues.
彼女たちは来た。

ジュ ス スエイ バ ヴニユ
Je ne suis pas venu.
私は来なかった。
ジュ ス スエイ バ ヴニユ
Je ne suis pas venue.
私は来なかった。
テュ ネ バ ヴニユ
Tu n'es pas venu.
君は来なかった。
テュ ネ バ ヴニユ
Tu n'es pas venue.
君は来なかった。
イル ネ バ ヴニユ
Il n'est pas venu.
彼は来なかった。
エル ネ バ ヴニユ
Elle n'est pas venue.
彼女は来なかった。
ヌ ス ソーム バ ヴニユ
Nous ne sommes pas venus.
私たちは来なかった。
ヌ ス ソーム バ ヴニユ
Nous ne sommes pas venues.
私たちは来なかった。
ヴ ネットゥ バ ヴニユ
Vous n'êtes pas venu.
あなたは来なかった。
ヴ ネットゥ バ ヴニユ
Vous n'êtes pas venue.
あなたは来なかった。
ヴ ネットゥ バ ヴニユ
Vous n'êtes pas venus.
君たちは来なかった。
ヴ ネットゥ バ ヴニユ
Vous n'êtes pas venues.
君たちは来なかった。
イル ス ソン バ ヴニユ
Ils ne sont pas venus.
彼らは来なかった。
エル ス ソン バ ヴニユ
Elles ne sont pas venues.
彼女たちは来なかった。

スエイージュ ヴニユ
Suis-je venu ?
私は来たか。
スエイージュ ヴニユ
Suis-je venue ?
私(女)は来たか。
エ テュ ヴニユ
Es-tu venu ?
君は来たか。
エ テュ ヴニユ
Es-tu venue ?
君(女)は来たか。
エテイル ヴニユ
Est-il venu ?
彼は来たか。
エテール ヴニユ
Est-elle venue ?
彼女は来たか。
ソームヌ ヴニユ
Sommes-nous venus ?
私たちは来たか。
ソームヌ ヴニユ
Sommes-nous venues ?
私たち(女)は来たか。
エートゥ ヴ ヴニユ
Êtes-vous venu ?
あなたは来たか。
エートゥ ヴ ヴニユ
Êtes-vous venue ?
あなた(女)は来たか。
エートゥ ヴ ヴニユ
Êtes-vous venus ?
君たちは来たか。
エートゥ ヴ ヴニユ
Êtes-vous venues ?
君たち(女)は来たか。
ソントイル ヴニユ
Sont-ils venus ?
彼らは来たか。
ソントール ヴニユ
Sont-elles venues ?
彼女たちは来たか。

*男女が混在

する場合は常に男性複数形を用いる。

11.7.2 AVOIR を助動詞に使う複合過去

ほとんどの動詞は、複合過去にする際、助動詞として avoir を使う。avoir が助動詞の場合、原則として、過去分詞は不変で、性数一致しない。

ジェ ションテ
J'ai chanté.
私は歌った。
テュ ア ションテ
Tu as chanté.
君は歌った。
イラ ションテ
Il a chanté.
彼は歌った。
エラ ションテ
Elle a chanté.
彼女は歌った。
ヌザヴォン ションテ
Nous avons chanté.
私たちは歌った。
ヴォザヴェ ションテ
Vous avez chanté.
君たちは歌った。
イルゾン ションテ
Ils ont chanté.
彼らは歌った。
エルゾン ションテ
Elles ont chanté.
彼女たちは歌った。

ジュ ネ バ ションテ
Je n'ai pas chanté.
私は歌わなかった。
テュ ナ バ ションテ
Tu n'as pas chanté.
君は歌わなかった。
イル ナ バ ションテ
Il n'a pas chanté.
彼は歌わなかった。
エル ナ バ ションテ
Elle n'a pas chanté.
彼女は歌わなかった。
ヌ ナヴォン バ ションテ
Nous n'avons pas chanté.
私たちは歌わなかった。
ヴ ナヴェ バ ションテ
Vous n'avez pas chanté.
君たちは歌わなかった。
イルノン バ ションテ
Ils n'ont pas chanté.
彼らは歌わなかった。
エルノン バ ションテ
Elles n'ont pas chanté.
彼女たちは歌わなかった。

エージュ ションテ
Ai-je chanté ?
私は歌ったか。
ア テュ ションテ
As-tu chanté ?
君は歌ったか。
アテイル ションテ
A-t-il chanté ?
彼は歌ったか。
アテール ションテ
A-t-elle chanté ?
彼女は歌ったか。
アヴォンヌ ションテ
Avons-nous chanté ?
私たちは歌ったか。
アヴェ ヴ ションテ
Avez-vous chanté ?
君たちは歌ったか。
オントイル ションテ
Ont-ils chanté ?
彼らは歌ったか。
オントール ションテ
Ont-elles chanté ?
彼女たちは歌ったか。

11.7.3 人称代名詞目的格形と複合過去

助動詞に avoir を用いた場合でも、過去分詞は、人称代名詞の直接目的格形が指す人やものには性数一致する。間接目的格形には性数一致しないことにも注意すること。

三人称単数の直接目的格代名詞

ジュ レ トゥルヴェ
Je l'ai trouvé(e).

私は彼(女)を見つけた。

テュ ラ トゥルヴェ
Tu l'as trouvé(e).

君は彼(女)を見つけた。

イル ラ トゥルヴェ
Il l'a trouvé(e).

彼は彼(女)を見つけた。

エル ラ トゥルヴェ
Elle l'a trouvé(e).

彼女は彼(女)を見つけた。

ヌ ラヴォン トゥルヴェ
Nous l'avons trouvé(e).

私たちは彼(女)を見つけた。

ヴ ラヴェ トゥルヴェ
Vous l'avez trouvé(e).

君たちは彼(女)を見つけた。

イル ロン トゥルヴェ
Ils l'ont trouvé(e).

彼らは彼(女)を見つけた。

エル ロン トゥルヴェ
Elles l'ont trouvé(e).

彼女たちは彼(女)を見つけた。

ジュ スレ バ トゥルヴェ
Je ne l'ai pas trouvé(e).

私は彼(女)を見つけないかった。

テュ スラ バ トゥルヴェ
Tu ne l'as pas trouvé(e).

君は彼(女)を見つけないかった。

イル スラ バ トゥルヴェ
Il ne l'a pas trouvé(e).

彼は彼(女)を見つけないかった。

エル スラ バ トゥルヴェ
Elle ne l'a pas trouvé(e).

彼女は彼(女)を見つけないかった。

ヌ スラヴォン バ トゥルヴェ
Nous ne l'avons pas trouvé(e).

私たちは彼(女)を見つけないかった。

ヴ スラヴェ バ トゥルヴェ
Vous ne l'avez pas trouvé(e).

君たちは彼(女)を見つけないかった。

イル スロン バ トゥルヴェ
Ils ne l'ont pas trouvé(e).

彼らは彼(女)を見つけないかった。

エル スロン バ トゥルヴェ
Elles ne l'ont pas trouvé(e).

彼女たちは彼(女)を見つけないかった。

レージュ トゥルヴェ
L'ai-je trouvé(e) ?

私は彼(女)を見つけたか。

ラ テュ トゥルヴェ
L'as-tu trouvé(e) ?

君は彼(女)を見つけたか。

ラティール トゥルヴェ
L'a-t-il trouvé(e) ?

彼は彼(女)を見つけたか。

ラテール トゥルヴェ
L'a-t-elle trouvé(e) ?

彼女は彼(女)を見つけたか。

ラヴォン ス トゥルヴェ
L'avons-nous trouvé(e) ?

私たちは彼(女)を見つけたか。

ラヴェ ヴ トゥルヴェ
L'avez-vous trouvé(e) ?

君たちは彼(女)を見つけたか。

ロンティール トゥルヴェ
L'ont-ils trouvé(e) ?

彼らは彼(女)を見つけたか。

ロンテール トゥルヴェ
L'ont-elles trouvé(e) ?

彼女たちは彼(女)を見つけたか。

三人称複数の直接目的格代名詞

人称代名詞の三人称複数形そのものは、男女の区別がなく、男性名詞・女性名詞のいずれを指す場合でも、les を使うが、過去分詞の性数一致では、男性複数と女性複数を区別しなければならぬ。逆から言えば、単独では男女の区別が付かない les が男性複数か女性複数かを過去分詞を見ることで確認できる。

なお、男女が混合している場合には、男性複数になる。

ジュ レゼ トゥルヴェ
Je les ai trouvé(e)s.

私は彼ら(彼女たち)を見つけた。

テュ レザ トゥルヴェ
Tu ne les as pas trouvé(e)s.

君は彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

イル レザ トゥルヴェ
Il ne les a pas trouvé(e)s.

彼は彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

エル レザ トゥルヴェ
Elle ne les a pas trouvé(e)s.

彼女は彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

ヌ レザヴォン トゥルヴェ
Nous ne les avons pas trouvé(e)s.

私たちは彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

ヴ レザヴェ トゥルヴェ
Vous ne les avez pas trouvé(e)s.

君たちは彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

イル レゾン トゥルヴェ
Ils ne les ont pas trouvé(e)s.

彼らは彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

エル レゾン トゥルヴェ
Elles ne les ont pas trouvé(e)s.

彼女たちは彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

ジュ スレゼ バ トゥルヴェ
Je ne les ai pas trouvé(e)s.

私は彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

テュ スレザ バ トゥルヴェ
Tu ne les as pas trouvé(e)s.

君は彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

イル スレザ バ トゥルヴェ
Il ne les a pas trouvé(e)s.

彼は彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

エル スレザ バ トゥルヴェ
Elle ne les a pas trouvé(e)s.

彼女は彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

ヌ スレザヴォン バ トゥルヴェ
Nous ne les avons pas trouvé(e)s.

私たちは彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

ヴ スレザヴェ バ トゥルヴェ
Vous ne les avez pas trouvé(e)s.

君たちは彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

イル スレゾン バ トゥルヴェ
Ils ne les ont pas trouvé(e)s.

彼らは彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

エル スレゾン バ トゥルヴェ
Elles ne les ont pas trouvé(e)s.

彼女たちは彼ら(彼女たち)を見つけないかった。

レーゼジュ トゥルヴェ
Les ai-je trouvé(e)s ?

私は彼ら(彼女たち)を見つけたか。

レザ テュ トゥルヴェ
Les as-tu trouvé(e)s ?

君は彼ら(彼女たち)を見つけたか。

レザティール トゥルヴェ
Les a-t-il trouvé(e)s ?

彼は彼ら(彼女たち)を見つけたか。

レザテール トゥルヴェ
Les a-t-elle trouvé(e)s ?

彼女は彼ら(彼女たち)を見つけたか。

レザヴォン ス トゥルヴェ
Les avons-nous trouvé(e)s ?

私たちは彼ら(彼女たち)を見つけたか。

レザヴェ ヴ トゥルヴェ
Les avez-vous trouvé(e)s ?

君たちは彼ら(彼女たち)を見つけたか。

レゾンティール トゥルヴェ
Les ont-ils trouvé(e)s ?

彼らは彼ら(彼女たち)を見つけたか。

レゾンテール トゥルヴェ
Les ont-elles trouvé(e)s ?

彼女たちは彼ら(彼女たち)を見つけたか。

三人称の間接目的格人称代名詞

直接目的格人称代名詞とは異なり、間接目的格人称代名詞を利用した場合、過去分詞は性数一致しない。なお、間接目的格人称代名詞、lui と leur は、いずれも男女の区別がなく、「彼に、彼女に」、「彼らに、彼女たちに」を意味するが、過去分詞を見ても、性数一致がないため、それらの代名詞が、男性を指しているのか、女性を指しているのかは、区別できない。

ジュ リュイ エ パルレ

Je lui ai parlé.

私は彼（女）に話しかけた。

テュ ルーア パルレ

Tu leur as parlé.

君は彼（女）らに話しかけた。

イル リュイ ア パルレ

Il lui a parlé.

彼は彼（女）に話しかけた。

エル ルーア パルレ

Elle leur a parlé.

彼女は彼（女）らに話しかけた。

ヌ リュイ アヴォン パルレ

Nous lui avons parlé.

私たちは彼（女）に話しかけた。

ヴ ルーア ヴェ パルレ

Vous leur avez parlé.

君たちは彼（女）らに話しかけた。

イル リュイ オン パルレ

Ils lui ont parlé.

彼らは彼（女）に話しかけた。

エル ルーオン パルレ

Elles leur ont parlé.

彼女たちは彼（女）らに話しかけた。

ジュ ヌ リュイ エ パ パルレ

Je ne lui ai pas parlé.

私は彼（女）に話しかけなかった。

テュ ヌ ルーア パ パルレ

Tu ne leur as pas parlé.

君は彼（女）らに話しかけなかった。

イル ヌ リュイ ア パ パルレ

Il ne lui a pas parlé.

彼は彼（女）に話しかけなかった。

エル ヌ ルーア パ パルレ

Elle ne leur a pas parlé.

彼女は彼（女）らに話しかけなかった。

ヌ ヌ リュイ アヴォン パ パルレ

Nous ne lui avons pas parlé.

私たちは彼（女）に話しかけなかった。

ヴ ヌ ルーア ヴェ パ パルレ

Vous ne leur avez pas parlé.

君たちは彼（女）らに話しかけなかった。

イル ヌ リュイ オン パ パルレ

Ils ne lui ont pas parlé.

彼らは彼（女）に話しかけなかった。

エル ヌ ルーオン パ パルレ

Elles ne leur ont pas parlé.

彼女たちは彼（女）らに話しかけなかった。

リュイ エージュ パルレ

Lui ai-je parlé ?

私は彼（女）に話しかけたか。

ルーア テュ パルレ

Leur as-tu parlé ?

君は彼（女）らに話しかけたか。

リュイ アティール パルレ

Lui a-t-il parlé ?

彼は彼（女）に話しかけたか。

ルーア テール パルレ

Leur a-t-elle parlé ?

彼女は彼（女）らに話しかけたか。

リュイ アヴォンヌ パルレ

Lui avons-nous parlé ?

私たちは彼（女）に話しかけたか。

ルーア ヴェ ヴ パルレ

Leur avez-vous parlé ?

君たちは彼（女）らに話しかけたか。

リュイ オンティール パルレ

Lui ont-ils parlé ?

彼らは彼（女）に話しかけたか。

ルーオン テール パルレ

Leur ont-elles parlé ?

彼女たちは彼（女）らに話しかけたか。

一人称・二人称の直接目的格代名詞

過去分詞の性数一致に注意。

ジュ テ トゥルヴエ

Je t'ai trouvé(e).

私は君を見つけた。

テュ マ トゥルヴエ

Tu m'as trouvé(e).

君は私を見つけた。

イル タ トゥルヴエ

Il t'a trouvé(e).

彼は私を見つけた。

エル マ トゥルヴエ

Elle m'a trouvé(e).

彼女は私を見つけた。

ヌ タヴォン トゥルヴエ

Nous t'avons trouvé(e).

私たちは君を見つけた。

ヴ マヴェ トゥルヴエ

Vous m'avez trouvé(e).

君たちは私を見つけた。

イル トン トゥルヴエ

Ils t'ont trouvé(e).

彼らは私を見つけた。

エル モン トゥルヴエ

Elles m'ont trouvé(e).

彼女たちは私を見つけた。

ジュ ヴゼ トゥルヴエ

Je vous ai trouvé(e)(s).

私は君たち（あなた）を見つけた。

テュ ヌザ トゥルヴエ

Tu nous as trouvé(e)s.

君は私たちを見つけた。

イル ヴザ トゥルヴエ

Il vous a trouvé(e)(s).

彼は君たち（あなた）を見つけた。

エル ヌザ トゥルヴエ

Elle nous a trouvé(e)s.

彼女は私たちを見つけた。

ヌ ヴザヴォン トゥルヴエ

Nous vous avons trouvé(e)(s).

私たちは君たち（あなた）を見つけた。

ヴ ヌザヴェ トゥルヴエ

Vous nous avez trouvé(e)s.

君たちは私たちを見つけた。

イル ヌゾン トゥルヴエ

Ils nous ont trouvé(e)(s).

彼らは君たち（あなた）を見つけた。

エル ヌゾン トゥルヴエ

Elles nous ont trouvé(e)s.

彼女たちは私たちを見つけた。

一人称・二人称の間接目的格代名詞

過去分詞が性数一致しないことに注意。

ジュ テ バるレ
Je t'ai parlé.

私は君に話しかけた。

テュ マ バるレ
Tu m'as parlé.

君は私に話しかけた。

イル タ バるレ
Il t'a parlé.

彼は君に話しかけた。

エル マ バるレ
Elle m'a parlé.

彼女は私に話しかけた。

ヌ タヴォン バるレ
Nous t'avons parlé.

私たちは君に話しかけた。

ヴ マヴェ バるレ
Vous m'avez parlé.

君たちは私に話しかけた。

イル トン バるレ
Ils t'ont parlé.

彼らは君に話しかけた。

エル モン バるレ
Elles m'ont parlé.

彼女たちは私に話しかけた。

ジュ ヴゼ バるレ
Je vous ai parlé.

私は君たち（あなた）に話しかけた。

テュ ヌザ バるレ
Tu nous as parlé.

君は私たちに話しかけた。

イル ヴザ バるレ
Il vous a parlé.

彼は君たち（あなた）に話しかけた。

エル ヌザ バるレ
Elle nous a parlé.

彼女は私たちに話しかけた。

ヌ ヴザヴォン バるレ
Nous vous avons parlé.

私たちは君たち（あなた）に話しかけた。

ヴ ヌザヴェ バるレ
Vous nous avez parlé.

君たちは私たちに話しかけた。

イル ヴゾン バるレ
Ils vous ont parlé.

彼らは君たち（あなた）に話しかけた。

エル ヌゾン バるレ
Elles nous ont parlé.

彼女たちは私たちに話しかけた。

11.8 第 11 章練習問題

11.8.1 次の動詞の直説法現在の活用を三回ずつ書け。

- | | | |
|--------------|-----------|-------------|
| ① faire | ② prendre | ③ apprendre |
| ④ comprendre | ⑤ mettre | |

11.8.2 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- | | | |
|-------------|--------------|-----------|
| ① apprendre | ② comprendre | ③ faire |
| ④ mettre | ⑤ prendre | ⑥ courses |
| ⑦ cuisine | ⑧ déjà | ⑨ encore |

11.8.3 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- | | | |
|---------------|-------------|---------------|
| ① [動詞] 学ぶ、教える | ② [動詞] 理解する | ③ [動詞] する、作る |
| ④ [動詞] 置く | ⑤ [動詞] とる | ⑥ [名詞・女性] 買い物 |
| ⑦ [名詞・女性] 料理 | ⑧ [副詞] すでに | ⑨ [副詞] まだ |

11.8.4 次の表を完成せよ

J'ai fermé la porte.	→	Je n'ai pas fermé la porte.	→	Ai-je fermé la porte ?
Tu	→		→	
Il	→		→	
Elle	→		→	
Nous	→		→	
Vous	→		→	
Ils	→		→	
Elles	→		→	

11.8.5 太字を人称代名詞にして全文を書き換えよ。その後、倒置と否定で書き換えよ。

男性単数

【例】 Mari a cherché **ce restaurant**. → Marie l'a cherché. → 否定文、疑問文

過去分詞が直接目的格代名詞に性数一致することに注意 → 過去分詞は男性単数形

- ① J'ai cherché **ce livre**.
- ② Tu as cherché **ce garçon**.
- ③ Il a cherché **cet hôtel**.
- ④ Elle a cherché **ce crayon**.
- ⑤ Nous avons cherché **ce café**.
- ⑥ Vous avez cherché **ce restaurant**.
- ⑦ Ils ont cherché **cet avion**.
- ⑧ Elles ont cherché **ce jardin**.

女性単数

【例】 Paul a regardé **cette robe**. → Paul l'a regardée →. 否定文、疑問文

過去分詞が直接目的格代名詞に性数一致することに注意。

- ① J'ai regardé **cette fille**.
- ② Tu as regardé **cette table**.
- ③ Il a regardé **cette étoile**.
- ④ Elle a regardé **cette église**.
- ⑤ Nous avons regardé **cette maison**.
- ⑥ Vous avez regardé **cette porte**.
- ⑦ Ils ont regardé **cette femme**.
- ⑧ Elles ont regardé **cette fenêtre**.

男性複数

【例】 Mari a acheté **ces restaurants**. → Marie les a achetés. → 否定文、疑問文

過去分詞が直接目的格代名詞に性数一致することに注意。

- ① J'ai acheté **ces livres**.
- ② Tu as acheté **ces garçons**.
- ③ Il a acheté **ces hôtels**.
- ④ Elle a acheté **ces crayons**.
- ⑤ Nous avons acheté **ces cafés**.
- ⑥ Vous avez acheté **ces restaurants**.
- ⑦ Ils ont acheté **ces avions**.
- ⑧ Elles ont acheté **ces jardins**.

女性複数

【例】 Paul a cherché **ces robes**. → Paul les a **cherchées**. →. 否定文、疑問文

過去分詞が直接目的格代名詞に性数一致することに注意。

- ① J'ai regardé **ces filles**.
- ② Tu as regardé **ces tables**.
- ③ Il a regardé **ces étoiles**.
- ④ Elle a regardé **ces églises**.
- ⑤ Nous avons regardé **ces maisons**.
- ⑥ Vous avez regardé **ces portes**.
- ⑦ Ils ont regardé **ces femmes**.
- ⑧ Elles ont regardé **ces fenêtres**.

11.8.6 次の表を完成せよ。解答は 131 頁

	REVENIR	ARRIVER	SORTIR
私 (男)	Je suis revenu.		
私 (女)			
君 (男)			
君 (女)			
彼			
彼女			
私たち (男)			
私たち (女)			
あなた (男)			
あなた (女)			
君たち (男)			
君たち (女)			
彼ら			
彼女たち			

11.8.7 次の文章の空欄を補え。

- ① Je des courses.
私は買い物をする。
- ② Tu froid.
君は風邪をひく。
- ③ Il les lunettes.
彼は眼鏡をかける。
- ④ Elle le français à Marie.
彼女はマリーにフランス語を教えている。
- ⑤ Nous une lettre sur la table.
私たちはテーブルの上に手紙を置く。
- ⑥ Qu'est-ce que vous dans la vie ?
仕事は何ですか。
- ⑦ Ils l'avion.
彼らは飛行機に乗る (利用する)。
- ⑧ Elles le japonais.
彼女たちは日本語を理解する。
- ⑨ Nous en 2002.
私たちは 2002 年に生まれた。
- ⑩ Marie ce livre hier.
マリーはその本を昨日買った。
- ⑪ ?
彼女はもう出かけましたか。
- ⑫ J' cette église à Pierre.
その教会はもうピエールに見せた (もう見せなくて良い)。
- ⑬ Nous à Paris.
パリに行ったことがある (私たちはパリにいたことがある)。
- ⑭ Ils ce livre ?
彼らはその本をまだ見つけていないのですか (問題の本がまだ手元にない)。

11.8.8 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Je fais des courses.
- ② Tu prends froid.
- ③ Il met les lunettes.
- ④ Elle apprend le français à Marie.
- ⑤ Nous mettons une lettre sur la table.
- ⑥ Qu'est-ce que vous faites dans la vie ?
- ⑦ Ils prennent l'avion.
- ⑧ Elles comprennent le japonais.
- ⑨ Nous sommes nés en 2002.
- ⑩ Marie a acheté ce livre hier.
- ⑪ Est-elle déjà partie ?

- ⑫ J'ai déjà montré cette église à Pierre.
- ⑬ Nous avons été à Paris.
- ⑭ Ils n'ont pas encore trouvé ce livre ?

11.8.9 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私は買い物をする。
- ② 君は風邪をひく。
- ③ 彼は眼鏡をかける。
- ④ 彼女はマリーにフランス語を教えている。
- ⑤ 私たちはテーブルの上に手紙を置く。
- ⑥ 仕事は何ですか。
- ⑦ 彼らは飛行機に乗る（利用する）。
- ⑧ 彼女たちは日本語を理解する。
- ⑨ 私たちは 2002 年に生まれた。
- ⑩ マリーはその本を昨日買った。
- ⑪ 彼女はもう出かけましたか。
- ⑫ その教会はもうピエールに見せた（もう見せなくて良い）。
- ⑬ パリに行ったことがある（私たちはパリにいたことがある）。
- ⑭ 彼らはその本をまだ見つけていないのですか（問題の本がまだ手元にない）。

第 12 章

代名動詞、特殊な-er 動詞

◆ 本章の目標 ◆

- 代名動詞の直説法現在の人称変化を覚える。
- 代名動詞の再帰的用法と相互的用法を理解し、覚える。
- 代名動詞の否定文・倒置文・複合過去形を作れるようになる。

12.1 代名動詞 (verbe pronominal)

12.1.1 再帰代名詞 (pronom réfléchi)

代名動詞は、「自分自身を、自分自身に」という意味の直接目的格、もしくは間接目的格の代名詞を動詞の前に置いたものである。こうした「自分自身を、自分自身に」という意味をもつ目的格代名詞を**再帰代名詞**という。再帰代名詞は、主語と同一の人や物を指す。

再帰代名詞の多くは人称代名詞の目的格形と同じ形であるが、三人称形は大きく異なる。

再帰代名詞一・二人称形

一・二人称形の再帰代名詞は、人称代名詞の目的格形と全く同じ形をとる。つまり、人称代名詞を覚えていれば、新たに覚えることは何もない。

人称代名詞	me (m')	te (t')	nous	vous
直接目的格	私を	君を	私たちを	君たちを
間接目的格	私に	君に	私たちに	君たちに
再帰代名詞	me (m')	te (t')	nous	vous
直接目的格	私自身を	君自身を	私たち自身を	君たち自身を
間接目的格	私自身に	君自身に	私たち自身に	君たち自身に

再帰代名詞三人称形

三人称形の再帰代名詞は、人称代名詞の目的格形とは全く異なる形をとる。しかし、一つの形、se (s') しかない。すなわち、se (s') = 「彼自身を (に)、彼女自身を (に)、彼ら (彼女たち) 自身を (に)」である。

人称代名詞直接目的格形	le (l')	la (l')	les
	彼を	彼女を	彼ら (彼女たち) を
人称代名詞間接目的格形	lui	lui	leur
	彼に	彼女に	彼ら (彼女たち) に
再帰代名詞直接目的格形	se (s')	se (s')	se (s')
	彼自身を	彼女自身を	彼ら (彼女たち) 自身を
再帰代名詞間接目的格形	se (s')	se (s')	se (s')
	彼自身に	彼女自身に	彼ら (彼女たち) 自身に

再帰代名詞の性質

音声：12-1

〔再帰代名詞〕	〔人称代名詞〕
ジュ ム クーシュ Je me couche. 私は寝る (自分自身を寝かせる)	マリ ム クーシュ Marie me couche. マリは私を寝かせる
マリ ス クーシュ Marie se couche. マリは寝る (自分自身を寝かせる)	マリ ラ クーシュ Marie la couche. マリは彼女 (マリと別人) を寝かせる

再帰代名詞は、主語と目的格補語が同一の人・ものである場合に、用いられる。人称代名詞の目的格形は、主語とは異なった人・ものを表す。両者の違いをしっかりと意識すること。

12.1.2 代名動詞の活用

代名動詞の用法であっても、動詞は通常通り活用する。ただし、同時に、再帰代名詞も人称変化することに注意しなければならない。

音声：12-2

直説法現在	
ス クシェ SE COUCHER (寝る)	
ス クション se couchant	ス クシェ se couché
ジュ ム クーシュ je me couche	ヌヌ クション nous nous couchons
テュ トゥ クーシュ tu te couches	ヴ ヴ クシェ vous vous couchez
イル ス クーシュ il se couche	イル ス クーシュ ils se couchent
エル ス クーシュ elle se couche	エル ス クーシュ elles se couchent

音声：12-3

直説法現在	
サレテ S'ARRÊTER (立ち止まる)	
サレト s'arrêtant	サレテ s'arrêté
ジュ マレートゥ je m'arrête	ヌヌザレト nous nous arrêtons
テュ タレートゥ tu t'arrêtes	ヴ ヴザレテ vous vous arrêtez
イル サレートゥ il s'arrête	イル サレートゥ ils s'arrêtent
エル サレートゥ elle s'arrête	エル サレートゥ elles s'arrêtent

12.2 代名動詞の用法

ほとんどの動詞は、再帰代名詞と結びついて、代名動詞となる。多くの場合、代名動詞的に用いられた場合の意味は、もとの動詞の意味から判断できるので、辞書にはいつも全ての意味が記載されているわけではない。したがって、代名動詞の基本的な用法をしっかりと理解しておく必要がある。

なお、代名動詞の意味を辞書で調べたい場合は、その動詞の部分を引きくと、代名動詞の用法は、記述の最後にまとめてあり、辞書により「se (s')—:」が(代動)で書き始められている。自分の辞書がどうなっているかを確かめておくと良い。

12.2.1 再帰的用法

主語の行う動作の相手(目的格補語)となるのが、主語自身であるような用法であり、最も頻繁に出くわす代名動詞の用法である。

再帰代名詞が直接目的格：「自分自身を～する」

coucher 「寝かせる」 → se coucher 「自分自身を寝かせる」 → 「寝る」
arrêter 「止める」 → s'arrêter 「自分自身を止める」 → 「立ち止まる」

音声：12-4

- ⑬ Pierre **se couche** à 10 heures.

ピエールは10時に寝る。

- ⑭ Marie **s'arrête** devant l'hôtel.

マリはホテルの前で立ち止まる。

再帰代名詞が間接目的格：「自分自身に～する」

acheter 「買う」 → s'acheter 「自分自身に買う」(特殊な変化をする-er動詞: 161頁)

音声：12-5

ピエール サンエトワ セトワ ヴァンテュール

⑮ Pierre **s'achète** cette voiture.

ピエールはその車を(自分のために)買う。

マリ スラヴ レマン

⑯ Marie **se lave** les mains.

マリは手を洗う。

二つ目の例文の再帰代名詞は「自分自身に」というよりも、「自分自身の」という意味で、直接目的格の les mains の所有者を表している。

なお、Marie se lave. と体の一部が示されない場合は、全身を洗うことを意味し、この場合の再帰代名詞は直接目的格である。

12.2.2 相互的用法

必ず複数の主語をとり、その複数の主語動詞が、相手に同じ行為を行うような関係を表す用法である。再帰的用法についてよく用いられる。

再帰代名詞が直接目的格：「互いに相手を～する」

aimer 「を愛する」 → s'aimer 「互いに相手を愛する」 → 「愛し合う」

regarder 「を見つめる」 → se regarder 「互いに相手を見つめる」 → 「見つめ合う」

音声：12-6

ピエール エマリ セムラン ロートル

⑰ Pierre et Marie **s'aiment** l'un l'autre.

ピエールとマリは愛し合っている(互いを愛する)。

マリ エジャンヌ スルガドゥリュヌ ロートル

⑱ Marie et Jeanne **se regardent** l'une l'autre.

マリとジャンヌは見つめ合う(互いに相手を見る)。

再帰代名詞が間接目的格：「互いに相手に～する」

parler à 「に話しかける」 → se parler 「互いに相手に話しかける」

téléphoner à 「に電話する」 → se téléphoner 「互いに相手に電話をする」

音声：12-7

ピエール エ ジャヌ ヌ ス パルル バ

⑱ Pierre et Jeanne ne se parlent pas.

ピエールとジャンヌは互いに口をきかない（互いに相手に話しかけない）。

ジャンヌ エ マリ ス テレるオヌ リユヌ ア ロートる

⑳ Jeanne et Marie se téléphonent l'une à l'autre.

ジャンヌとマリは電話をしあう（互いに相手に電話をかける）。

なお、再帰的用法と区別するため、上記の例のように、しばしば、l'un l'autre などが用いられる。l'un l'autre は「互いに相手を」という意味で、再帰代名詞が直接目的格の場合に用いられる。これは代名詞なので、性数一致が必要で、主語が女性ばかりの場合には、l'une l'autre になる。また、再帰代名詞が間接目的格の場合には、l'un à l'autre は「互いに相手に」と、前置詞の à が必要である。主語が女性ばかりの場合には、l'une à l'autre となる。

代名動詞の相互的用法は、それ自体が「互いに～する」という意味なので、l'un l'autre, l'une à l'autre などは絶対に必要というわけではなく、省略しても構わない。しかし、実際には、曖昧さをさけるために、非常によく用いられる。たとえば、Marie et Jeanne s'aiment. は「マリとジャンヌは愛し合っている」（相互的用法）とも、「マリとジャンヌは自分のことを愛している」（再帰的用法）とも、解釈できるのである。

12.2.3 受動的用法

受動的用法では、必ず主語は物で、再帰代名詞は常に直接目的格である。個別に熟語として覚えれば十分である（代名動詞の一部のみ、受動的用法で使用可能である）。

音声：12-8

ス リーヴる ス ヴォン トゥレ ビヤン

㉑ Ce livre se vend très bien.

その本はよく売れている（よく売られる）。

12.2.4 本来的用法

本来的用法では、再帰代名詞は常に直接目的格である。とはいえ、再帰代名詞が文中でどのような機能を果たしているのかが理屈では説明できない場合がほとんどである。したがって、個別に熟語として覚えるほかない。

音声：12-9

ピエール ソン ヴァ

㉒ Pierre s'en va.

ピエールは立ち去る。

◆ 文法事項として覚えるべきなのは、再帰的用法と相互的用法のみ！あとは熟語として個別に覚えよう。

12.3 代名動詞の否定文と倒置疑問文

人称代名詞の目的格形と同様、**再帰代名詞は動詞の一部と見なされる**。否定文の場合には、「再帰代名詞＋動詞」を ne と pas ではさみ、倒置する場合には、「再帰代名詞＋動詞」と主語をいれかえる。

音声：12-10

ビエール ス クーシュ
 Pierre **[se couche]**. ⇒ ビエール ス ス クシュ バ Pierre ne **[se couche]** pas.
ピエールは寝る。 ピエールは寝ない。
ス クシュティール
[Se couche]-t-il ?
彼は寝ますか。

マリ サレトッ
 Marie **[s'arrête]**. ⇒ マリ ス サレトッ バ Marie ne **[s'arrête]** pas.
マリは立ち止まる。 マリは立ち止まらない。
サレトッテル
[S'arrête]-t-elle ?
彼女は立ち止まりますか。

12.4 代名動詞の複合過去

代名動詞の複合過去も基本的には他の動詞の場合と同じである。ただし、次の点に注意すること。

- 助動詞には必ず être を用いる
- 再帰代名詞は助動詞の直前につく（人称代名詞の目的格形の場合を参照）
- 再帰代名詞が直接目的格の場合にのみ、過去分詞が再帰代名詞に性数一致する

12.4.1 再帰代名詞が直接目的格の場合：性数一致あり

音声：12-11

- ビエール セ クシェ
 ㉓ Pierre **s'est couché**.
ピエールは寝た。
- マリ セタレテ
 ㉔ Marie **s'est arrêtée**.
マリは立ち止まった。
- マリ エ ジャヌ ス ソン るがるデ
 ㉕ Marie et Jeanne **se sont regardées**.
マリとジャンヌは見つめあった。

12.4.2 再帰代名詞が間接目的格の場合：性数一致なし

音声：12-12

- ビエール セタシュテ セトウ ヴワテュー
 ②⑥ Pierre **s'est acheté** cette voiture.
 ビエールはその車を買った。
- マリ セ ラヴェ レ マン
 ②⑦ Marie **s'est lavé** les mains.
 マリは手を洗った
- マリ エ ジャヌ ス ソン テレフォネ
 ②⑧ Marie et Jeanne **se sont téléphoné**.
 マリとジャンヌは電話をかけあった。

12.4.3 否定文と倒置疑問文

代名動詞の複合過去で、倒置疑問文・否定文を作る場合には、再帰代名詞は助動詞の一部と見なされる。

音声：12-13

- | | | |
|--|---|---|
| <p>ビエール セ クシエ
 Pierre s'est couché.
 ビエールは寝た。</p> | ⇒ | <p>ビエール ス セ バ クシエ
 Pierre ne s'est pas couché.
 ビエールは寝なかった。
 セティル クシエ
 S'est-il couché ?
 彼は寝ましたか。</p> |
| <p>マリ セ タレテ
 Marie s'est arrêtée.
 マリは立ち止まった。</p> | ⇒ | <p>マリ ス セ バ ザレテ
 Marie ne s'est pas arrêtée.
 マリは立ち止まらなかった。
 セテル アレテ
 S'est-elle arrêtée ?
 彼女は立ち止まりましたか。</p> |

12.5 特殊な第一群規則動詞

第一群規則動詞のほとんどは、完全な規則変化をするが、中には、通常とは少し異なった変化をするものもある。既出のものも含め、そうした特殊な第一群規則動詞をまとめておく。

◆ 不規則な第一群規則動詞を一気に覚える必要はない。必要に応じて、少しずつ、覚えやすいものから覚えていくと良い。

なお、本章以後では、動詞活用表に過去分詞と現在分詞を加えてある。現在分詞については、第16章で学ぶので、当面、無視して構わない。

12.5.1 綴り字上特殊な一人称複数形をもつもの

最も覚えやすいタイプの不規則変化である。以下の-er動詞では、綴り字を規則的に変化させると一人称複数形が、mangons, changons, commencons となるが、これでは、発音がモンゴン、ションゴン、コモンコンとなってしまう。-gの後にeをつけるのは、モンジョン、ションジョンと発音できるようにするためである（人名のGeorgesをジョルジュと読むように）。他方、cの下にセディエウ(=cédille)をつけるのは、コモンソンと発音できるようにするためである(garçonをガルソンと読むことを思い出そう)。なお、他の人称では綴り字を規則的に変化させておけば良い。

音声：12-14

直説法現在	
モンジュ MANGER (食べる)	
モンジョン mangeant	モンジュ mangé
ジュ モーンジュ je mange	ヌ モンジョン nous mangeons
テュ モーンジュ tu manges	ヴ モンジュ vous mangez
イル モーンジュ il mange	イル モーンジュ ils mangent
エル モーンジュ elle mange	エル モーンジュ elles mangent

音声：12-15

直説法現在	
ションジュ CHANGER (変える)	
ションジョン changeant	ションジュ changé
ジュ ショーンジュ je change	ヌ ションジョン nous changeons
テュ ショーンジュ tu changes	ヴ ションジュ vous changez
イル ショーンジュ il change	イル ショーンジュ ils changent
エル ショーンジュ elle change	エル ショーンジュ elles changent

音声：12-16

直説法現在	
コモンセ COMMENCER (始める)	
コモンソン commençant	コモンセ commencé
ジュ コモンス je commence	ヌ コモンソン nous commençons
テュ コモンス tu commences	ヴ コモンセ vous commencez
イル コモンス il commence	イル コモンス ils commencent
エル コモンス elle commence	エル コモンス elles commencent

12.5.2 語幹の子音数が変化する動詞

下記の変化表の中では、-l-や-t-が一つになったり、二つになったりする。一つになるのは、不定法形と一人称複数形、二人称複数形である。これらの形ではアクセントが語尾の-er, -ons, -ezにある。一方、二つになるのは、単数人称と三人称複数形で、これらの語尾-e, -es, -e, -entにはアクセントがない。つまり、アクセントの配分と、-l-対-ll- (-t-対-tt-)の配分が完全に一致していることを理解すれば、-l-や-t-の数で迷うことはなくなる。

子音の数の違いは、その直前の-e-の発音の違いを表している。語幹の-e-は、アクセントがない時には、[ə]と弱いウで発音するが、アクセントがある場合には、[ɛ]と開いたエで発音する。つま

り、*appe-*を「アペ」と読むか「アプ」と読むか、*je-*を「ジュ」と読むか「ジェ」と読むかを、後に続く子音字の数で表しているのである。

音声：12-17

直説法現在	
アプレ	
APPELER (呼ぶ)	
アプロン appellant	アプレ appelé
ジャペール j'appelle	ヌザプロン nous appelons
テュ アペール tu appelles	ヴザブレ vous appelez
イラペール il appelle	イルザペール ils appellent
エラペール elle appelle	エルザペール elles appellent

音声：12-18

直説法現在	
ジュテ	
JETER (投げる)	
ジュトン jetant	ジュテ jeté
ジュ ジェートゥ je jette	ヌ ジュトン nous jetons
テュ ジェートゥ tu jettes	ヴ ジュテ vous jetez
イル ジェートゥ il jette	イル ジェートゥ ils jettent
エル ジェートゥ elle jette	エル ジェートゥ elles jettent

次の動詞では、同様の-eの発音の違いを、アクセサン・グループの有無で表している。*ache-*を「アシュ」と読む場合は、アクセサンがなく、「アシェ」と読む場合は、アクセサンがつくのである。

音声：12-19

直説法現在	
アシュテ	
ACHETER (買う)	
アシュトン achetant	アシュテ acheté
ジャシュエートゥ j'achète	ヌザシュトン nous achetons
テュ アシュエートゥ tu achètes	ヴザシュテ vous achetez
イラシュエートゥ il achète	イルザシュエートゥ ils achètent
エラシュエートゥ elle achète	エルザシュエートゥ elles achètent

12.5.3 語幹のアクセサンが変化する動詞

次の動詞でも、不定法形と一人称複数形、二人称複数形とその他の人称形の対立構造は同じだが、その対立は、アクセサンテギユを用いるか、アクセサングラーブを用いるかにある。

アクセントがない時には、*préférer* や *espérer* の-eは [e] と鋭いエで発音する。一方、これらの-eにアクセントがある時には、-èとなり、[e] と開いたエで発音する。-eと-è、-éと-èという綴りの違いは、そうした発音の違いを示す。

音声：12-20

直説法現在	
エスベレ ESPÉRER (望む)	
エスベロン espérant	エスベレ espéré
ジェスベール j'espère	ヌゼスベロン nous espérons
テュ エスベール tu espères	ヴゼスベレ vous espérez
イレスベール il espère	イルゼスベール ils espèrent
エレスベール elle espère	エルゼスベール elles espèrent

音声：12-21

直説法現在	
ブレフェレ PRÉFÉRER (～の方を好む)	
ブレフェロン préférant	ブレフェレ préféré
ジュ ブレフェール je préfère	ヌ ブレフェロン nous préférons
テュ ブレフェール tu préfères	ヴ ブレフェレ vous préférez
イル ブレフェール il préfère	イル ブレフェール ils préfèrent
エル ブレフェール elle préfère	エル ブレフェール elles préfèrent

12.5.4 語幹の母音が交代する動詞

次の動詞でも、不定法形と一人称複数形、二人称複数形とその他の人称形の対立構造は同じだが、その対立構造が、-y-を用いるか、-i-を用いるかにある。語尾にアクセントがある形では、y が現れ、語幹にアクセントがある形では、-i-が現れる。ただし、この不規則変化は、規則変化で置き換えられる傾向がある。すなわち、payer, essayer には、envoyer と同じタイプの変化と、完全な規則変化の二種類があり、どちらも普通に用いられる。

音声：12-22

直説法現在	
オンヴワイエ ENVOYER (送る)	
オンヴワイオン envoyant	オンヴワイエ envoyé
ジョンヴワ j'envoie	ヌゾンヴワイオン nous envoyons
テュ オンヴワ tu envoies	ヴゾンヴワイエ vous envoyez
イロンヴワ il envoie	イルゾンヴワ ils envoient
エロンヴワ elle envoie	エルゾンヴワ elles envoient

音声：12-23

直説法現在	
ペイエ PAYER (払う)	
ペヨン payant	ペイエ payé
ジュ ペイ、ジュ ペ je paye (je paie)	ヌ ペヨン nous payons
テュ ペイ、テュ ペ tu payes (tu paies)	ヴ ペイエ vous payez
イル ペイ、イル ペ il paye (il paie)	イル ペイ、イル ペ ils payent (ils paient)
エル ペイ、エル ペ elle paye (elle paie)	エル ペイ、エル ペ elles payent (elles paient)

音声：12-24

直説法現在	
エセイエ ESSAYER (試す)	
エセイヨン essayant	エセイエ essayé
ジェセイ (ジェセ) j'essaie (j'essaie)	ヌゼセイヨン nous essayons
テュ エセイ (テュエセ) tu essayes (tu essaies)	ヴゼセイエ vous essayez
イレセイ (イレセ) il essaie (il essaie)	イルゼセイ (イルゼセ) ils essayent (ils essaient)
エレセイ (エレセ) elle essaie (elle essaie)	エルゼセイ (エルゼセ) elles essayent (elles essaient)

12.6 特殊な第一群規則動詞参考例文

音声：12-25

- ① ジャベル マリ
J'appelle Marie.
私はマリを呼ぶ。
- ② テュ オンヅワ ユヌ レトル ア ポール
Tu envoies une lettre à Paul.
君はポールに手紙を送る。
- ③ イレセ セトゥ ヴワテュール
Il essaie cette voiture.
彼はその車を試す。
- ④ エル ベ ディズル
Elle paie 10 euros.
彼女は10ユーロを払う。
- ⑤ イルゼスベル トゥルヴェ アン ボン リーヴル
Ils espèrent trouver un bon livre.
彼らは良い本が見つかると思っている。
- ⑥ エル プレフェル ル トゥラン ア ラヴィオン
Elles préfèrent le train à l'avion.
彼女たちは飛行機よりも列車の方を好む。
- ⑦ ヌザブロン マリ
Nous appelons Marie.
私たちはマリを呼ぶ。
- ⑧ ヴゾンヴワイエ ユヌ レトル ア ポール
Vous envoyez une lettre à Paul.
君たちはポールに手紙を送る。
- ⑨ ヌゼセイヨン セトゥ ヴワテュール
Nous essayons cette voiture.
私たちはその車を試す。
- ⑩ ヴ ベイエ ディズル
Vous payez 10 euros.
君たちは10ユーロを支払う。
- ⑪ ヌゼスベルン トゥルヴェ アン ボン リーヴル
Nous espérons trouver un bon livre.
私たちは良い本が見つかると思っている。
- ⑫ ヴプレフェル ル トゥラン ア ラヴィオン
Vous préférez le train à l'avion.
君たちは飛行機より列車の方を好む。

12.7 付録：代名動詞の網羅的例文

12.7.1 直説法現在

動詞の変化は通常の直説法現在変化である。ただし、再帰代名詞も主語の人称にあわせて変化することに注意すること。また、再帰代名詞は動詞と一体化しており、切り離すことができない。そのため、否定文を作るには、「再帰代名詞+動詞」を *ne* と *pas* ではさみ、倒置を行うには、「再帰代名詞+動詞」を文頭に出す。動詞が母音で始まっている場合には、再帰代名詞の多くがエリジョンすることにも注意すること。

ジュ ム クーシュ
Je me couche.
私は寝る
テュ トゥ クーシュ
Tu te couches.
君は寝る
イル ス クーシュ
Il se couche.

彼は寝る
エル ス クーシュ
Elle se couche.
彼女は寝る
ヌ ス クション
Nous nous couchons.
私たちは寝る
ヴ ヴ クシェ
Vous vous couchez.

君たちは寝る
イル ス クーシュ
Ils se couchent.
彼らは寝る
エル ス クーシュ
Elles se couchent.
彼女たちは寝る

ジュ ス ム クシュ バ
Je ne me couche pas.
私は寝ない
テュ ス トゥ クシュ バ
Tu ne te couches pas.
君は寝ない
イル ス ス クシュ バ
Il ne se couche pas.

彼は寝ない
エル ス ス クシュ バ
Elle ne se couche pas.
彼女は寝ない
ヌ ス ス クション バ
Nous ne nous couchons pas.
私たちは寝ない
ヴ ヴ ヴ クシェ バ
Vous ne vous couchez pas.

君たちは寝ない
イル ス ス クシュ バ
Ils ne se couchent pas.
彼らは寝ない
エル ス ス クシュ バ
Elles ne se couchent pas.
彼女たちは寝ない

ム クシュエージュ
Me couché-je ?
私は寝ますか
トゥ クシュ テュ
Te couches-tu ?
君は寝ますか
ス クシュティル
Se couche-t-il ?
彼は寝ますか

ス クシュテル
Se couche-t-elle ?
彼女は寝ますか
ヌ クション ス
Nous couchons-nous ?
私たちは寝ますか
ヴ クシェ ヴ
Vous couchez-vous ?
君たちは寝ますか

ス クシュティル
Se couchent-ils ?
彼らは寝ますか
ス クシュテル
Se couchent-elles ?
彼女たちは寝ますか

ジュ マレートゥ
Je m'arrête.
私は立ち止まる
テュ タレートゥ
Tu t'arrêtes.
君は立ち止まる
イル サレートゥ
Il s'arrête.

彼は立ち止まる
エル サレートゥ
Elle s'arrête.
彼女は立ち止まる
ヌ ヌザレトン
Nous nous arrêtons.
私たちは立ち止まる
ヴ ヴザレテ
Vous vous arrêtez.

君たちは立ち止まる
イル サレートゥ
Ils s'arrêtent.
彼らは立ち止まる
エル サレートゥ
Elles s'arrêtent.
彼女たちは立ち止まる

ジュ ス マレトウ バ
Je ne m'arrête pas.
私は立ち止まらない
テュ ス タレトウ バ
Tu ne t'arrêtes pas.
君は立ち止まらない
イル ス サレトウ バ
Il ne s'arrête pas.

彼は立ち止まらない
エル ス サレトウ バ
Elle ne s'arrête pas.
彼女は立ち止まらない
ヌ ス ヌザレトン バ
Nous ne nous arrêtons pas.
私たちは立ち止まらない
ヴ ヴ ヴザレテ バ
Vous ne vous arrêtez pas.

君たちは立ち止まらない
イル ス サレトウ バ
Ils ne s'arrêtent pas.
彼らは立ち止まらない
エル ス サレトウ バ
Elles ne s'arrêtent pas.
彼女たちは立ち止まらない

マレテージュ
M'arrêté-je ?
私は立ち止まりますか
タレトウテュ
T'arrêtes-tu ?
君は立ち止まりますか
サレトウティル
S'arrête-t-il ?
彼は立ち止まりますか

サレトウテル
S'arrête-t-elle ?
彼女は立ち止まりますか
ヌザレトン ス
Nous arrêtons-nous ?
私たちは立ち止まりますか
ヴザレテ ヴ
Vous arrêtez-vous ?
君たちは立ち止まりますか

サレトウティル
S'arrêtent-ils ?
彼らは立ち止まりますか
サレトウテル
S'arrêtent-elles ?
彼女たちは立ち止まりますか

ジュ ム ラヴ レ マン
Je me lave les mains.

私は手を洗う
デュ トゥ ラヴ レ マン
Tu te laves les mains.

君は手を洗う
イル ス ラヴ レ マン
Il se lave les mains.

彼は手を洗う
エル ス ラヴ レ マン
Elle se lave les mains.

彼女は手を洗う
ヌ ス ラヴォン レ マン
Nous nous lavons les mains.

私たちは手を洗う
ヴ ヴ ラヴェ レ マン
Vous vous lavez les mains.

君たちは手を洗う
イル ス ラヴ レ マン
Ils se lavent les mains.

彼らは手を洗う
エル ス ラヴ レ マン
Elles se lavent les mains.
彼女たちは手を洗う

ジュ ヌ ム ラヴ バレ マン
Je ne me lave pas les mains.

私は手を洗わない
デュ ヌ トゥ ラヴ バレ マン
Tu ne te laves pas les mains.

君は手を洗わない
イル ヌ ス ラヴ バレ マン
Il ne se lave pas les mains.

彼は手を洗わない
エル ヌ ス ラヴ バレ マン
Elle ne se lave pas les mains.

彼女は手を洗わない
ヌ ヌ ス ラヴォン バレ マン
Nous ne nous lavons pas les mains.

私たちは手を洗わない
ヴ ヌ ヴ ラヴェ バレ マン
Vous ne vous lavez pas les mains.

君たちは手を洗わない
イル ヌ ス ラヴ バレ マン
Ils ne se lavent pas les mains.

彼らは手を洗わない
エル ヌ ス ラヴ バレ マン
Elles ne se lavent pas les mains.
彼女たちは手を洗わない

ム ラヴェジュレ マン
Me lavé-je les mains ?

私は手を洗いますか
トゥ ラヴ テュレ マン
Te laves-tu les mains ?

君は手を洗いますか
ス ラヴティル レ マン
Se lave-t-il les mains ?

彼は手を洗いますか
ス ラヴテル レ マン
Se lave-t-elle les mains ?

彼女は手を洗いますか
ヌ ラヴォン スレ マン
Nous lavons-nous les mains ?

私たちは手を洗いますか
ヴ ラヴェ ヴレ マン
Vous lavez-vous les mains ?

君たちは手を洗いますか
ス ラヴティル レ マン
Se lavent-ils les mains ?

彼らは手を洗いますか
ス ラヴテル レ マン
Se lavent-elles les mains ?
彼女たちは手を洗いますか

12.7.2 複合過去

変化は通常の複合過去と同じである。ただし、助動詞の直前に再帰代名詞をおくことに注意しなければならない。また、助動詞と再帰代名詞は一体化しているので、否定文では、「再帰代名詞＋助動詞」を *ne* と *pas* ではさみ、倒置する場合には、「再帰代名詞＋助動詞」を主語と入れ替える。

再帰代名詞が直接目的格の場合

再帰代名詞が直接目的格の場合には、過去分詞が再帰代名詞に性数一致する。

ジュ ム スエイ クシエ
Je me suis couché(e).

私は寝た
テュ テ クシエ
Tu t'es couché(e).

君は寝た
イル セ クシエ
Il s'est couché.

彼は寝た
エル セ クシエ
Elle s'est couchée.

彼女は寝た
ヌ ス ソム クシエ
Nous nous sommes couché(e)s.

私たちは寝た
ヴ ヴゼトゥ クシエ
Vous vous êtes couché(e)(s).

君たちは寝た
イル ス ソン クシエ
Ils se sont couchés.

彼らは寝た
エル ス ソン クシエ
Elles se sont couchées.
彼女たちは寝た

ム スエイジュ クシエ
Me suis-je couché(e) ?

私は寝ましたか
テ テュ クシエ
T'es-tu couché(e) ?

君は寝ましたか
セテル クシエ
S'est-il couché ?

彼は寝ましたか
セテル クシエ
S'est-elle couchée ?

彼女は寝ましたか
ヌ ソム ス クシエ
Nous sommes-nous couché(e)s ?

私たちは寝ましたか
ヴゼトゥ ヴ クシエ
Vous êtes-vous couché(e)(s) ?

君たちは寝ましたか
ス ソンテイル クシエ
Se sont-ils couchés ?

彼らは寝ましたか
ス ソンテル クシエ
Se sont-elles couchées ?
彼女たちは寝ましたか

ジュ ム スエイ アレテ
Je me suis arrêté(e).

私は立ち止まった
テュ テ アレテ
Tu t'es arrêté(e).

君は立ち止まった
イル セ アレテ
Il s'est arrêté.

彼は立ち止まった
エル セ アレテ
Elle s'est arrêtée.

彼女は立ち止まった
ヌ ス ソム アレテ
Nous nous sommes arrêté(e)s.

私たちは立ち止まった
ヴ ヴゼトゥ アレテ
Vous vous êtes arrêté(e)(s).

君たちは立ち止まった
イル ス ソン アレテ
Ils se sont arrêtés.

彼らは立ち止まった
エル ス ソン アレテ
Elles se sont arrêtées.
彼女たちは立ち止まった

ジュ ヌ ム スエイ バ クシエ
Je ne me suis pas couché(e).

私は寝なかった
テュ ヌ テ バ クシエ
Tu ne t'es pas couché(e).

君は寝なかった
イル ヌ セ バ クシエ
Il ne s'est pas couché.

彼は寝なかった
エル ヌ セ バ クシエ
Elle ne s'est pas couchée.

彼女は寝なかった
ヌ ヌ ソム バ クシエ
Nous ne nous sommes pas couché(e)s.

私たちは寝なかった
ヴ ヌ ヴゼトゥ バ クシエ
Vous ne vous êtes pas couché(e)(s).

君たちは寝なかった
イル ヌ ス ソン バ クシエ
Ils ne se sont pas couchés.

彼らは寝なかった
エル ヌ ス ソン バ クシエ
Elles ne se sont pas couchées.
彼女たちは寝なかった

ジュ ヌ ム スエイ バ アレテ
Je ne me suis pas arrêté(e).

私は立ち止まらなかった
テュ ヌ テ バ アレテ
Tu ne t'es pas arrêté(e).

君は立ち止まらなかった
イル ヌ セ バ アレテ
Il ne s'est pas arrêté.

彼は立ち止まらなかった
エル ヌ セ バ アレテ
Elle ne s'est pas arrêtée.

彼女は立ち止まらなかった
ヌ ヌ ソム バ アレテ
Nous ne nous sommes pas arrêté(e)s.

私たちは立ち止まらなかった
ヴ ヌ ヴゼトゥ バ アレテ
Vous ne vous êtes pas arrêté(e)(s).

君たちは立ち止まらなかった
イル ヌ ス ソン バ アレテ
Ils ne se sont pas arrêtés.

彼らは立ち止まらなかった
エル ヌ ス ソン バ アレテ
Elles ne se sont pas arrêtées.
彼女たちは立ち止まらなかった

ム スエイジュ アレテ
Me suis-je arrêté(e) ?
 私は立ち止まりましたか
 テ テュ アレテ
T'es-tu arrêté(e) ?
 君は立ち止まりましたか
 セテル アレテ
S'est-il arrêté ?
 彼は立ち止まりましたか
 セテル アレテ
S'est-elle arrêtée ?
 彼女は立ち止まりましたか
 ヌ ソム ヌ アレテ
Nous sommes-nous arrêté(e)s ?
 私たちは立ち止まりましたか
 ヴゼトゥ ヴ アレテ
Vous êtes-vous arrêté(e)(s) ?
 君たちは立ち止まりましたか
 ス ソンテル アレテ
Se sont-ils arrêtés ?
 彼らは立ち止まりましたか
 ス ソンテル アレテ
Se sont-elles arrêtées ?
 彼女たちは立ち止まりましたか

再帰代名詞が間接目的格の場合

再帰代名詞が間接目的格の場合には、過去分詞は性数一致しない。

ジュ ム スエイ ラヴェ レ マン
Je me suis lavé les mains.
 私は手を洗った
 テュ テ ラヴェ レ マン
Tu t'es lavé les mains.
 君は手を洗った
 イル セ ラヴェ レ マン
Il s'est lavé les mains.
 彼は手を洗った
 エル セ ラヴェ レ マン
Elle s'est lavé les mains.
 彼女は手を洗った
 ヌ ヌ ソム ラヴェ レ マン
Nous nous sommes lavé les mains.
 私たちは手を洗った
 ヴ ヴ ゼトゥ ラヴェ レ マン
Vous vous êtes lavé les mains.
 君たちは手を洗った
 イル ス ソン ラヴェ レ マン
Ils se sont lavé les mains.
 彼らは手を洗った
 エル ス ソン ラヴェ レ マン
Elles se sont lavé les mains.
 彼女たちは手を洗った

ジュ ヌ ム スエイ バ ラヴェ レ マン
Je ne me suis pas lavé les mains.
 私は手を洗わなかった
 テュ ヌ テ バ ラヴェ レ マン
Tu ne t'es pas lavé les mains.
 君は手を洗わなかった
 イル ヌ セ バ ラヴェ レ マン
Il ne s'est pas lavé les mains.
 彼は手を洗わなかった
 エル ヌ セ バ ラヴェ レ マン
Elle ne s'est pas lavé les mains.
 彼女は手を洗わなかった
 ヌ ヌ ヌ ソム バ ラヴェ レ マン
Nous ne nous sommes pas lavé les mains.
 私たちは手を洗わなかった
 ヴ ヌ ヴ ゼトゥ バ ラヴェ レ マン
Vous ne vous êtes pas lavé les mains.
 君たちは手を洗わなかった
 イル ヌ ス ソン バ ラヴェ レ マン
Ils ne se sont pas lavé les mains.
 彼らは手を洗わなかった
 エル ヌ ス ソン バ ラヴェ レ マン
Elles ne se sont pas lavé les mains.
 彼女たちは手を洗わなかった

ム スエイジュ ラヴェ レ マン
Me suis-je lavé les mains ?
 私は手を洗いましたか
 テ テュ ラヴェ レ マン
T'es-tu lavé les mains ?
 君は手を洗いましたか
 セテル ラヴェ レ マン
S'est-il lavé les mains ?
 彼は手を洗いましたか
 セテル ラヴェ レ マン
S'est-elle lavé les mains ?
 彼女は手を洗いましたか
 ヌ ソム ヌ ラヴェ レ マン
Nous sommes-nous lavé les mains ?
 私たちは手を洗いましたか
 ヴ ゼトゥ ヴ ラヴェ レ マン
Vous êtes-vous lavé les mains ?
 君たちは手を洗いましたか
 ス ソンテル ラヴェ レ マン
Se sont-ils lavé les mains ?
 彼らは手を洗いましたか
 ス ソンテル ラヴェ レ マン
Se sont-elles lavé les mains ?
 彼女たちは手を洗いましたか

12.8 新出単語

音声：12-26

アブレ
① appeler
[動詞] 呼ぶ

エスベレ
④ espérer
[動詞] 望む

エッセイエ
⑦ essayer
[動詞] 試す

ションジエ
⑩ changer
[動詞] 変える

アレテ
⑬ arrêter
[動詞] 止まらせる

マン
⑯ main
[名詞・女性] 手

ジュテ
② jeter
[動詞] 投げる

プレフェレ
⑤ préférer
[動詞] ～の方を好む

ペイエ
⑧ payer
[動詞] 払う

コモンセ
⑪ commencer
[動詞] 始める

テレフォネ
⑭ téléphoner
[動詞] 電話する

ラン（リュス）ロートル
⑰ l'un(e) l'autre
[熟語] 一方が他方を

アシュテ
③ acheter
[動詞] 買う

オンヴワイエ
⑥ envoyer
[動詞] 送る

モンジェ
⑨ manger
[動詞] 食べる

クシエ
⑫ coucher
[動詞] 寝かせる

ラヴェ
⑮ laver
[動詞] 洗う

ランナ（リュナ）ロートル
⑱ l'un(e) à l'autre
[熟語] 一方が他方に

12.9 第12章練習問題

12.9.1 次の単語の意味と発音を考えながら三回書け

12.9.2 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

① appeler
④ espérer
⑦ essayer
⑩ changer
⑬ arrêter
⑯ main

② jeter
⑤ préférer
⑧ payer
⑪ commencer
⑭ téléphoner
⑰ l'un(e) l'autre

③ acheter
⑥ envoyer
⑨ manger
⑫ coucher
⑮ laver
⑱ l'un(e) à l'autre

12.9.3 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

① [動詞] 呼ぶ
④ [動詞] 望む
⑦ [動詞] 試す
⑩ [動詞] 変える
⑬ [動詞] 止まらせる

② [動詞] 投げる
⑤ [動詞] ～の方を好む
⑧ [動詞] 払う
⑪ [動詞] 始める
⑭ [動詞] 電話する

③ [動詞] 買う
⑥ [動詞] 送る
⑨ [動詞] 食べる
⑫ [動詞] 寝かせる
⑮ [動詞] 洗う

⑩ [名詞・女性] 手

⑪ [熟語] 一方が他方を

⑫ [熟語] 一方が他方に

12.9.4 次の動詞の活用を書いた後、それを否定形と倒置形にせよ

① se coucher

② s'arrêter

③ se laver

12.9.5 次の動詞の複合過去の活用を書いた後、それを否定形と倒置形にせよ

① se coucher

② s'arrêter

③ se laver

12.9.6 []内の過去分詞を正しい形になおし、次の()内に補え

再帰代名詞が直接目的格の場合：性数一致あり

[couché] ① Pierre s'est ().

② Marie s'est ().

③ Pierre et Paul se sont ().

④ Marie et Jeanne se sont ().

[arrêté] ① Pierre s'est ().

② Marie s'est ().

③ Pierre et Paul se sont ().

④ Marie et Jeanne se sont ().

[regardé] ① Pierre et Paul se sont ().

② Marie et Jeanne se sont ().

[aimé.] ① Pierre et Paul se sont ().

② Marie et Jeanne se sont ().

再帰代名詞が間接目的格の場合：性数一致なし

- [acheté] ① Pierre s'est () cette voiture.
 ② Marie s'est () cette voiture.
 ③ Pierre et Paul se sont () cette voiture.
 ④ Marie et Jeanne se sont () cette voiture.

- [lavé] ① Pierre s'est () les mains.
 ② Marie s'est () les mains.
 ③ Pierre et Paul se sont () les mains.
 ④ Marie et Jeanne se sont () les mains.

- [parlé] ① Pierre et Paul se sont ().
 ② Marie et Jeanne se sont ().

- [téléphoné] ① Pierre et Paul se sont ().
 ② Marie et Jeanne se sont ().

12.9.7 次の文章の空欄を補え。

- ① J' [] Marie.
 私はマリを呼ぶ。
- ② Tu [] une lettre à Paul.
 君はポールに手紙を送る。
- ③ Il [] cette voiture.
 彼はその車を試す。
- ④ Elle [] 10 euros.
 彼女は10ユーロ支払う。
- ⑤ Ils [] trouver un bon livre.
 彼らは良い本が見つかると思っている。
- ⑥ Elles [] le train à l'avion.
 彼女たちは飛行機よりも列車の方を好む。
- ⑦ Nous [] Marie.
 私たちはマリを呼ぶ。
- ⑧ Vous [] une lettre à Paul.
 君たちはポールに手紙を送る。
- ⑨ Nous [] cette voiture.
 私たちはその車を試す。

- ⑩ Vous 10 euros.
君たちは10ユーロを支払う。
- ⑪ Nous trouver un bon livre.
私たちは良い本が見つかると思っている。
- ⑫ Vous le train à l'avion.
君たちは飛行機より列車の方を好む。
- ⑬ Pierre à 10 heures.
ピエールは10時に寝る。
- ⑭ Marie devant l'hôtel.
マリはホテルの前で立ち止まる。
- ⑮ Pierre cette voiture.
ピエールはその車を(自分のために)買う。
- ⑯ Marie les mains.
マリは手を洗う。
- ⑰ Pierre et Marie l'un l'autre.
ピエールとマリは愛し合っている(互いを愛する)。
- ⑱ Marie et Jeanne l'une l'autre.
マリとジャンヌは見つめ合う(互いに相手を見る)。
- ⑲ Pierre et Jeanne ne pas.
ピエールとジャンヌは互いに口をきかない(互いに相手に話しかけない)。
- ⑳ Jeanne et Marie l'une à l'autre.
ジャンヌとマリは電話をしあう(互いに相手に電話をかける)。
- ㉑ Ce livre très bien.
その本はよく売れている(よく売られる)。
- ㉒ Pierre .
ピエールは立ち去る。
- ㉓ Pierre .
ピエールは寝た。
- ㉔ Marie .
マリは立ち止まった。
- ㉕ Marie et Jeanne .
マリとジャンヌは見つめあった。
- ㉖ Pierre cette voiture.
ピエールはその車を買った。
- ㉗ Marie les mains.
マリは手を洗った
- ㉘ Marie et Jeanne .
マリとジャンヌは電話をかけあった。

12.9.8 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① J'appelle Marie.
- ② Tu envoies une lettre à Paul.
- ③ Il essaie cette voiture.
- ④ Elle paie 10 euros.
- ⑤ Ils espèrent trouver un bon livre.

- ⑥ Elles préfèrent le train à l'avion.
- ⑦ Nous appelons Marie.
- ⑧ Vous envoyez une lettre à Paul.
- ⑨ Nous essayons cette voiture.
- ⑩ Vous payez 10 euros.
- ⑪ Nous espérons trouver un bon livre.
- ⑫ Vous préférez le train à l'avion.
- ⑬ Pierre se couche à 10 heures.
- ⑭ Marie s'arrête devant l'hôtel.
- ⑮ Pierre s'achète cette voiture.
- ⑯ Marie se lave les mains.
- ⑰ Pierre et Marie s'aiment l'un l'autre.
- ⑱ Marie et Jeanne se regardent l'une l'autre.
- ⑲ Pierre et Jeanne ne se parlent pas.
- ⑳ Jeanne et Marie se téléphonent l'une à l'autre.
- ㉑ Ce livre se vend très bien.
- ㉒ Pierre s'en va.
- ㉓ Pierre s'est couché.
- ㉔ Marie s'est arrêtée.
- ㉕ Marie et Jeanne se sont regardées.
- ㉖ Pierre s'est acheté cette voiture.
- ㉗ Marie s'est lavé les mains.
- ㉘ Marie et Jeanne se sont téléphoné.

12.9.9 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私はマリを呼ぶ。
- ② 君はポールに手紙を送る。
- ③ 彼はその車を試す。
- ④ 彼女は10ユーロ支払う。
- ⑤ 彼らは良い本が見つかると思っている。
- ⑥ 彼女たちは飛行機よりも列車の方を好む。
- ⑦ 私たちはマリを呼ぶ。
- ⑧ 君たちはポールに手紙を送る。
- ⑨ 私たちはその車を試す。
- ⑩ 君たちは10ユーロを支払う。
- ⑪ 私たちは良い本が見つかると思っている。
- ⑫ 君たちは飛行機より列車の方を好む。
- ⑬ ピエールは10時に寝る。
- ⑭ マリはホテルの前で立ち止まる。
- ⑮ ピエールはその車を（自分のために）買う。
- ⑯ マリは手を洗う。
- ⑰ ピエールとマリは愛し合っている（互いを愛する）。
- ⑱ マリとジャンヌは見つめ合う（互いに相手を見る）。

- ⑱ ピエールとジャンヌは互いに口をきかない（互いに相手に話しかけない）。
⑳ ジャンヌとマリは電話をしあう（互いに相手に電話をかける）。
㉑ その本はよく売れている（よく売られる）。
㉒ ピエールは立ち去る。
㉓ ピエールは寝た。
㉔ マリは立ち止まった。
㉕ マリとジャンヌは見つめあった。
㉖ ピエールはその車を買った。
㉗ マリは手を洗った
㉘ マリとジャンヌは電話をかけあった。

12.9.10 補問：次の動詞の活用を三回ずつ書け

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| ① appeler | ② jeter | ③ acheter |
| ④ espérer | ⑤ préférer | ⑥ envoyer |
| ⑦ essayer | ⑧ payer | ⑨ manger |
| ⑩ changer | ⑪ commencer | |

第 13 章

不規則動詞・所有形容詞・非人称動詞

◆ 本章の目標 ◆

- よく用いられる不規則動詞の変化を覚える
- 所有形容詞の変化を覚え、その用法を理解する
- 非人称表現の原理を理解し、その具体的用法のいくつかを覚える

13.1 OUVRIR, PARTIR 型の動詞

第一群規則動詞、第二群規則動詞以外の動詞は、多くの場合、一括して「不規則動詞」と呼ばれるが、それらの動詞の多くも、実際には、ある程度の規則に基づいて変化することが多い。そうした準規則動詞として、第七課ですでに、rendre を見た。以下の OUVRIR 型、PARTIR 型の動詞も、また、準規則動詞と言える。

13.1.1 OUVRIR 型

音声：13-1

直説法現在	
ウヴリーる	
OUVRIR (開く)	
ウヴラン ouvrant	ウヴェーる ouvert
ジューヴる j'ouvre	ヌズヴラン nous ouvrons
テュウーヴる tu ouvres	ヴズヴれ vous ouvrez
イルーヴる il ouvre	イルズーヴる ils ouvrent
エルーヴる elle ouvre	エルズーヴる elles ouvrent

音声：13-2

直説法現在	
オフリーフ	
OFFRIR (提供する)	
オフラン offrant	オフエーる offert
ジョーフる j'offre	ヌゾフラン nous offrons
テュ オーフる tu offres	ヴゾフレ vous offrez
イローフる il offre	イルゾーフる ils offrent
エローフる elle offre	エルゾーフる elles offrent

これらの動詞の直説法現在の語尾変化は、第一群規則動詞 (-er 動詞) と全く同じだが、過去分詞は不規則変化（ただし、本タイプに属する動詞が -ert 型の過去分詞をとる点は規則的: couvrir → couvert, souffrir → souffert...）。

13.1.2 PARTIR 型

語幹

本タイプの特徴は原形から規則的に作り出せる語幹に加えて、第二の語幹が存在し、前者が複数人称、後者が単数人称に用いられる点にある。

規則的な語幹（複数人称）：不定法から-ir/-re を取り除く

partir → **part**, sentir → **sent**, sortir → **sort**, servir → **serv**, dormir → **dorm**; suivre → **suiv**
(-re を取り除く)

第二の語幹（単数人称）：規則的な語幹から、末尾の子音字 (-t,-v,-m) を取り除く

partir → part → **par-**, sentir → sent → **sen-**, sortir → sort → **sor-**, servir → serv → **ser-**,
dormir → dorm → **dor-**; suivre → suiv → **sui-**.

語尾

	単数	複数
一人称	-s	-ons
二人称	-s	-ez
三人称	-t	-ent

単数人称では第二の語幹、複数人称では規則的な語幹を使い分けることに注意。過去分詞は規則的な語幹に-i を加える。

直説法現在の活用

音声：13-3

直説法現在	
PARTIR (出発する)	
partant	parti
je pars	nous partons
tu pars	vous partez
il part	ils partent
elle part	elles partent

音声：13-4

直説法現在	
SENTIR (感じる)	
sentant	senti
je sens	nous sentons
tu sens	vous sentez
il sent	ils sentent
elle sent	elles sentent

音声：13-5

直説法現在	
ソルティー SORTIR (出る)	
ソルトン sortant	ソルティ sorti
ジュ ソー je sors	ヌ ソルトン nous sortons
テュ ソー tu sors	ヴ ソルテ vous sortez
イル ソー il sort	イル ソー ils sortent
エル ソー elle sort	エル ソー elles sortent

音声：13-6

直説法現在	
セるヴィー SERVIR (給仕する)	
セるヴォン servant	セるヴィ servi
ジュ セー je sers	ヌ セるヴォン nous servons
テュ セー tu sers	ヴ セるヴェ vous servez
イル セー il sert	イル セるヴ ils servent
エル セー elle sert	エル セるヴ elles servent

音声：13-7

直説法現在	
ドルミー DORMIR (眠る)	
ドルモン dormant	ドルミ dormi
ジュ ドー je dors	ヌ ドルモン nous dormons
テュ ドー tu dors	ヴ ドルメ vous dormez
イル ドー il dort	イル ドー ils dorment
エル ドー elle dort	エル ドー elles dorment

音声：13-8

直説法現在	
スエイヴィー SUIVRE (続く)	
スエイヴォン suivant	スエイヴィ suivi
ジュ スエイ je suis	ヌ スエイヴォン nous suivons
テュ スエイ tu suis	ヴ スエイヴェ vous suivez
イル スエイ il suit	イル スエイ ils suivent
エル スエイ elle suit	エル スエイ elles suivent

13.1.3 OUVRIIR 型と PARTIR 型動詞の例文

音声：13-9

- | | |
|--|--|
| <p>ジュヴル ラ ポルト
① J'ouvre la porte.
私はドアを開ける</p> <p>テュ オフル アン リヴル ア マリ
② Tu offres un livre à Marie.
君は本をマリにあげる</p> <p>イル パル プル パリ
③ Il part pour Paris.
彼はパリに向けて出発する</p> <p>エル ス ソントゥー
④ Elle se sent heureuse.
彼女は自分が幸せだと感じる</p> | <p>ヌ ソルトン ス スワー
⑤ Nous sortons ce soir.
今晚、私たちは出かける</p> <p>ヴ セるヴェ ドュ カフェ ア ビエー
⑥ Vous servez du café à Pierre.
あなたはピエールにコーヒーを給仕する</p> <p>イル スエイヴ セトゥ ヴワテュー
⑦ Ils suivent cette voiture.
彼らはその車の後をつける</p> <p>エル ドルム トゥレ ビャン セトゥ ニュー
⑧ Elles dorment très bien cette nuit.
彼女たちは今夜とてもよく眠れる</p> |
|--|--|

13.2 所有形容詞

所有形容詞は修飾対象の名詞の「所有者」を示す働きをもつが、むしろ、冠詞の一種である。冠詞と同じく性数変化をもち、定冠詞と同様の限定作用をもつ。そのため、所有形容詞と不定冠詞・部分冠詞・定冠詞を同時に用いることはできない。

13.2.1 所有形容詞の性数変化

定冠詞

		男性	女性
可算	単数	le (l')	la (l')
	複数	les	
不可算		le (l')	la (l')

音声：13-11

① **mon** livre
私の本

④ **mes** livres
私の本

⑦ **mon** courage
私の勇気

mon (私の) 音声：13-10

		男性	女性
可算	単数	mon	ma (mon)
	複数	mes	
不可算		mon	ma (mon)

② **ma** revue
私の雑誌

⑤ **mes** revues
私の雑誌

⑧ **ma** chance
私の幸運

③ **mon** école
私の学校

⑥ **mes** écoles
私の学校

⑨ **mon** huile
私の油

ton (君の) 音声：13-12

		男性	女性
可算	単数	ton	ta (ton)
	複数	tes	
不可算		ton	ta (ton)

① **ton** frère
君の兄弟

④ **tes** frères
君の兄弟たち

⑦ **ton** argent
君のお金

son (彼の・彼女の) 音声：13-13

		男性	女性
可算	単数	son	sa (son)
	複数	ses	
不可算		son	sa (son)

② **ta** sœur
君の姉妹

⑤ **tes** sœurs
君の姉妹たち

⑧ **ta** confiture
君のジャム

③ **ton** idée
君のアイデア

⑥ **tes** idées
君のアイデア

注意！ son, sa, ses は、どれも、「彼の」と「彼女の」の両方の意味を持ち得る。どちらの意味
で用いられているのかは、文脈で判断するしかない。

音声：13-14

① **ton** frère
君の兄弟

④ **tes** frères
君の兄弟たち

⑦ **ton** argent
君のお金

② **ta** sœur
君の姉妹

⑤ **tes** sœurs
君の姉妹たち

⑧ **ta** confiture
君のジャム

③ **ton** idée
君のアイデア

⑥ **tes** idées
君のアイデア

音声：13-15

① **son** livre
彼の（彼女の）本

④ **ses** livres
彼の（彼女の）本

② **sa** robe
彼の（彼女の）ドレス

⑤ **ses** robes
彼の（彼女の）ドレス

③ **son** amie
彼の（彼女の）女友達

⑥ **ses** amies
彼の（彼女の）女友達

- ⑦ **son** beurre
ソン ブー
 彼の（彼女の）バター

- ⑧ **sa** viande
サ ヴィオーンド
 彼の（彼女の）肉

音声：13-16

notre（私たちの）

		男性	女性
可算	単数	ノートル notre	
	複数	ノ nos	
不可算		ノートル notre	

音声：13-17

votre（君たちの）

		男性	女性
可算	単数	ヴォートル votre	
	複数	ヴォ vos	
不可算		ヴォートル votre	

音声：13-18

leur（彼らの・彼女たちの）

		男性	女性
可算	単数	ル leur	
	複数	ル leurs	
不可算		ル leur	

音声：13-19

- ① **notre** père
ノトル ペー
 私たちの父

- ② **notre** mère
ノトル メー
 私たちの母

- ③ **nos** parents
ノ パロン
 私たちの両親

- ④ **notre** ami
ノトラミ
 私たちの友達

- ⑤ **notre** amie
ノトラミ
 私たちの女友達

- ⑥ **nos** amis
ノザミ
 私たちの友達たち

音声：13-20

- ① **votre** fils
ヴォトル フィス
 君たちの息子

- ② **votre** fille
ヴォトル フィュー
 君たちの娘

- ③ **vos** enfants
ヴォゾンフォン
 君たちの子供

音声：13-21

- ① **leur** voisin
ル ヴワザン
 彼（女）らの隣人

- ② **leur** voisine
ル ヴワズィーヌ
 彼（女）らの隣人（女性）

- ③ **leurs** voisins
ル ヴワザン
 彼（女）らの隣人たち

13.2.2 所有形容詞の用法と例文

所有形容詞が表す「所有」はかなり広い意味で理解しなければならない。たとえば、*ta confiture* は、「君が持っているジャム」だけではなく、「君の作るジャム」や「君が今食べているジャム」など様々な意味を持ち得る。いつも「君のジャム」と訳しては、意味が通じなかったり、文意の理解が不正確になったりするので、注意すること。

音声：13-22

- ⑨ **Mon** mari est professeur.
モン マリ エ プروفesseur
 私の夫は教員だ

- ⑩ **Ma** femme est médecin.
マ ファム エ メドゥサン
 私の妻は医者だ

- ⑪ **Mes** amies sont françaises.
メザミ ソン フランセーズ
 私の友達たちはフランス人だ

- モネコル エ プティートゥ
 ⑫ **Mon école est petite.**
 私の学校は小さい
- トン フレール ア マロ ド
 ⑬ **Ton frère a mal au dos.**
 君の兄弟は背中が痛い
- タ スール ア マラ ラ テートゥ
 ⑭ **Ta sœur a mal à la tête.**
 君の姉妹は頭が痛い
- テザミ オン マロ ジョーンブ
 ⑮ **Tes amies ont mal aux jambes.**
 君の女友達は脚が痛い。
- トニデ ネ バ ボース
 ⑯ **Ton idée n'est pas bonne.**
 君のアイデアは良くない
- ジュ シェルジュ ソン リーザル
 ⑰ **Je cherche son livre.**
 私は彼（彼女）の本を探している。
- テュ ス トゥールヴ バ サ ローブ
 ⑱ **Tu ne trouves pas sa robe.**
 君は彼（彼女）のドレスが見つからない。
- エル バス セ ヴァコンス オン フランス
 ⑲ **Elle passe ses vacances en France.**
 彼女は休暇をフランスで過ごす
- イル ム モントゥル ソノテール
 ⑳ **Il me montre son hôtel.**
 彼は私に彼のホテルを見せる
- ノトゥル ベール エトントゥレ ドン ラ メゾン
 ㉑ **Notre père est entré dans la maison.**
 私たちの父は家の中に入った。
- ノトゥル メール ア アシュテ ドゥ ラ ヴィオーンドゥ
 ㉒ **Notre mère a acheté de la viande.**
 私たちの母は肉を買った。
- ノ パラン ジュ オ テニス
 ㉓ **Nos parents jouent au tennis**
 私たちの両親はテニスをしているところだ
- ヴォトゥル フィス ア フィニ ル トゥラヴァーユ
 ㉔ **Votre fils a fini le travail.**
 君たちの息子は仕事を終えた。
- ヴォトゥル フィュー ア ションテ アヴェク モワ
 ㉕ **Votre fille a chanté avec moi.**
 君たちの娘は私と歌を歌った
- ヴォゾンフォン オン ウヴリエ ス リーザル
 ㉖ **Vos enfants ont oublié ce livre.**
 君たちの子供たちは、その本を置き忘れた。
- ルル ヴワザン エタリヴェ
 ㉗ **Leur voisin est arrivé.**
 彼らの隣人がやってきた

ルル ヴワズィヌ エタリヴェ

⑳ **Leur voisine est arrivée.**

彼らの隣人（女性）がやってきた

ルル ヴワザン ス ソン クシエ

㉑ **Leurs voisins se sont couchés.**

彼らの隣人たちは寝てしまった

13.3 非人称表現

述語動詞が主語として il をとっているものの、その il を「彼が」とか「それが」と訳してはならない場合がある。たとえば、以下で見る、時刻を表す il est ~ (heures) や天候を表す il fait ~ の il がそれにあたる。これらの場合、述語動詞は非人称動詞として用いられている。なお、pleuvoir 「雨が降る」、neiger 「雪が降る」などのように、非人称表現でしか用いられない動詞もあり、これらの動詞には三人称単数形しか存在しない。

◆ 時刻の表現や天候の表現は会話の時間に学ぼう。文法事項として重要なのは間違いやすい「その他の非人称動詞」である。

13.3.1 時刻の表現

音声：13-23

ケルー エティル
Quelle heure est-il ?
何時ですか
イレ ユヌー
Il est une heure.
一時です
イレ カトゥー
Il est quatre heures.
四時です
イレ セトゥー
Il est sept heures.
七時です
イレ ディズー
Il est dix heures.
十時です
イレ ミディ
Il est midi.
正午です

ヴザヴェ ルー
Vous avez l'heure ?
何時ですか
イレ ドゥズー
Il est deux heures.
二時です
イレ サンクー
Il est cinq heures.
五時です
イレ ユイトゥー
Il est huit heures.
八時です
イレ オンズー
Il est onze heures.
十一時です
イレ ミニユイ
Il est minuit.
午前0時です

イレ トゥー
Il est trois heures.
三時です
イレ スィズー
Il est six heures.
六時です
イレ ヌヴー
Il est neuf heures.
九時です
イレ ドゥズー
Il est douze heures.
十二時です
イレ トン ドゥ パルティエー
Il est temps de partir.
出発時間です。

イレ ユヌー ディス
Il est une heure dix.
一時十分です
イレ トゥー
Il est trois heures moins dix.
三時十分前です
イレ サンクー ムワン ル カー
Il est cinq heures moins le quart.
五時十五分前です

イレ ドゥズー エ ドゥミ
Il est deux heures et demie.
二時半です
イレ カトゥー エ カル
Il est quatre heures et quart.
四時十五分です
イレ スィズー ジュストゥ
Il est six heures juste.
六時ちょうどです

13.3.2 天候

音声：13-24

ケル トン フェティル
Quel temps fait-il ?
 天気はどうですか
 イル フェ ボ
Il fait beau.
 良い天気です
 イル フェ プルワ
Il fait froid.
 寒いです
 プルティル マントゥノン
Pleut-il maintenant ?
 今、雨が降っていますか

イル フェ モヴェ
Il fait mauvais.
 悪天候です
 イル プル
Il pleut.
 雨が降っています
 ノン イル ヌ プル バ
Non, il ne pleut pas
 いいえ、雨は降っていません

イル フェ ショ
Il fait chaud.
 暑いです
 イル ネージュ
Il neige.
 雪が降っています

13.3.3 その他の非人称表現

天候や時刻の表現では、述語動詞の行為・動作を行う人やもの、すなわち、主語が明示できないので、非人称が用いられると考えられる。しかし、フランス語には、**il faut** ~ 「～が必要である」、**il y a** ~ 「～がある」、**il arrive** ~ 「～が起こる」などのように、本来は主語になり得る名詞を主語とせず、あえて非人称の **il** を主語とする表現がある。**il faut** や **il y a** が非人称表現しかとり得ないのに対し、**arriver** は **Un accident est arrivé.** 「事故が起こった」という表現も可能である（同様の例としては、**rester** ~ 「～が残っている」、**manquer** ~ 「～が欠けている」などがよく用いられる）

音声：13-25

イル フォ ドゥズる プル ヴニる イスイ
Il faut deux heures pour venir ici.
 ここに来るには二時間が必要だ
 イル フォ レステ イスイ
Il faut rester ici.
 ここに留まらなくてはならない
 ケスキル フォ
Qu'est-ce qu'il faut ?
 何が必要ですか
 イレタリヴェ アナクスイドン
Il est arrivé un accident.
 事故が起こった
 エティル アリヴェ アナクスイドン
Est-il arrivé un accident ?
 事故があったのですか
 イリヤ アン リヴる スユる ラ タブル
Il y a un livre sur la table.
 テーブルの上に本がある
 ヤティル アン リヴる スユる ラ タブル
Y a-t-il un livre sur la table ?
 テーブルの上に本がありますか

イル ヌ フォ バ ダるジョン
Il ne faut pas d'argent.
 お金は必要ありません
 イル ヌ フォ バ レステ イスイ
Il ne faut pas rester ici.
 ここに留まってはならない

イル ネ バ アリヴェ ダクスイドン
Il n'est pas arrivé d'accident.
 事故は起こっていない
 ケスキル タリヴェ
Qu'est-ce qu'il est arrivé ?
 何が起こったのですか
 スユる ラ タブル イル ニヤ バ ドゥ リーヴる
Sur la table, il n'y a pas de livre .
 テーブルの上には本はない
 ケスキルヤ
Qu'est-ce qu'il y a ?
 何がありますか

◆ まずは太字の表現を覚えよう！

以上の非人称表現では、意味上の主語が動詞の後に来る。しかし、文法的には、これらの「意味上の主語」は直接目的格補語として、扱われる。そのため、否定文中では否定冠詞の **de (d')** が用いられる。また、疑問代名詞を使う場合には、直接目的格形を用いる（疑問代名詞は、第十九課で扱うので、ここでは詳しく説明しない）。

13.4 新出単語

音声：13-26

フレール
① frère
[名詞・男性] 兄弟

ペール
④ père
[名詞・男性] 父

フィス
⑦ fils
[名詞・男性] 息子

ヴワザン
⑩ voisin
[名詞・男性] 隣人（男）

イデ
⑬ idée
[名詞・女性] アイデア・思想

ミディ
⑯ midi
[名詞・男性] 正午

ドゥミ
⑰ demi(e)
[名詞・男性/女性] 半分（の）

マントゥノン
⑳ maintenant
[副詞] 今

スール
② sœur
[名詞・女性] 姉妹

メール
⑤ mère
[名詞・女性] 母

フィユ
⑧ fille
[名詞・女性] 娘

ヴワズィーム
⑪ voisine
[名詞・女性] 隣人（女）

ウール
⑭ heure
[名詞・女性] 時刻・時

ミニユイ
⑰ minuit
[名詞・男性] 午前0時

カール
⑳ un quart
[名詞・男性] 四分の一

ローブ
③ robe
[名詞・女性] ドレス

パラン
⑥ parents
[名詞・男性複数] 両親

オンルオン
⑨ enfant
[名詞・男性/女性] 子供

マリ
⑫ mari
[名詞・男性] 夫

トン
⑮ temps
[名詞・男性] 天気・時間

アクシドン
⑱ accident
[名詞・男性] 事故

ジュストゥ
㉑ juste
[副詞] ちょうど

NB: 通常、midi, minuit には冠詞はつかない。また、des parents は単数で「親」の意味では使わない。一人の親を表す場合には、père, mère を使う。

13.5 第13章練習問題

13.5.1 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

① frère

④ père

⑦ fils

⑩ voisin

⑬ idée

⑯ midi

⑰ demi(e)

⑳ maintenant

② sœur

⑤ mère

⑧ fille

⑪ voisine

⑭ heure

⑰ minuit

⑳ un quart

③ robe

⑥ parents

⑨ enfant

⑫ mari

⑮ temps

⑱ accident

㉑ juste

13.5.2 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|
| ① [名詞・男性] 兄弟 | ② [名詞・女性] 姉妹 | ③ [名詞・女性] ドレス |
| ④ [名詞・男性] 父 | ⑤ [名詞・女性] 母 | ⑥ [名詞・男性複数] 両親 |
| ⑦ [名詞・男性] 息子 | ⑧ [名詞・女性] 娘 | ⑨ [名詞・男性/女性] 子供 |
| ⑩ [名詞・男性] 隣人(男) | ⑪ [名詞・女性] 隣人(女) | ⑫ [名詞・男性] 夫 |
| ⑬ [名詞・女性] アイデア・思想 | ⑭ [名詞・女性] 時刻・時 | ⑮ [名詞・男性] 天気・時間 |
| ⑯ [名詞・男性] 正午 | ⑰ [名詞・男性] 午前0時 | ⑱ [名詞・男性] 事故 |
| ⑲ [名詞・男性/女性] 半分(の) | ⑳ [名詞・男性] 四分の一 | ㉑ [副詞] ちょうど |
| ㉒ [副詞] 今 | | |

13.5.3 次の動詞の変化表を三回書け

OUVRIR, OFFRIR, PARTIR, SENTIR, SORTIR, SERVIR, DORMIR, SUIVRE

13.5.4 所有形容詞の変化表を三回書け

13.5.5 次の文章の空欄を補え。

- ① J' la porte.
私はドアを開ける
- ② Tu un livre à Marie.
君は本をマリにあげる
- ③ Il pour Paris.
彼はパリに向けて出発する
- ④ Elle se heureuse.
彼女は自分が幸せだと感じる
- ⑤ Nous ce soir.
今晚、私たちは出かける
- ⑥ Vous du café à Pierre.
あなたはピエールにコーヒーを給仕する
- ⑦ Ils cette voiture.
彼らはその車の後をつける
- ⑧ Elles très bien cette nuit.
彼女たちは今夜とてもよく眠れる
- ⑨ mari est professeur.
私の夫は教員だ
- ⑩ femme est médecin.
私の妻は医者だ
- ⑪ amies sont françaises.
私の友達たちはフランス人だ
- ⑫ école est petite.
私の学校は小さい

- ⑬ frère a mal au dos.
君の兄弟は背中が痛い
- ⑭ sœur a mal à la tête.
君の姉妹は頭が痛い
- ⑮ amies ont mal aux jambes.
君の女友達は脚が痛い。
- ⑯ idée n'est pas bonne.
君のアイデアは良くない
- ⑰ Je cherche livre.
私は彼（彼女）の本を探している。
- ⑱ Tu ne trouves pas robe.
君は彼（彼女）のドレスが見つからない。
- ⑲ Elle passe vacances en France.
彼女は休暇をフランスで過ごす
- ⑳ Il me montre hôtel.
彼は私に彼のホテルを見せる
- ㉑ père est entré dans la maison.
私たちの父は家の中に入った。
- ㉒ mère a acheté de la viande.
私たちの母は肉を買った。
- ㉓ parents jouent au tennis
私たちの両親はテニスをしているところだ
- ㉔ fils a fini le travail.
君たちの息子は仕事を終えた。
- ㉕ fille a chanté avec moi.
君たちの娘は私と歌を歌った
- ㉖ enfants ont oublié ce livre.
君たちの子供たちは、その本を置き忘れた。
- ㉗ voisin est arrivé.
彼らの隣人がやってきた
- ㉘ voisine est arrivée.
彼らの隣人（女性）がやってきた
- ㉙ voisins se sont couchés.
彼らの隣人たちは寝てしまった

13.5.6 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① J'ouvre la porte.
- ② Tu offres un livre à Marie.
- ③ Il part pour Paris.
- ④ Elle se sent heureuse.
- ⑤ Nous sortons ce soir.
- ⑥ Vous servez du café à Pierre.
- ⑦ Ils suivent cette voiture.
- ⑧ Elles dorment très bien cette nuit.
- ⑨ Mon mari est professeur.

- ⑩ Ma femme est médecin.
- ⑪ Mes amies sont françaises.
- ⑫ Mon école est petite.
- ⑬ Ton frère a mal au dos.
- ⑭ Ta sœur a mal à la tête.
- ⑮ Tes amies ont mal aux jambes.
- ⑯ Ton idée n'est pas bonne.
- ⑰ Je cherche son livre.
- ⑱ Tu ne trouves pas sa robe.
- ⑲ Elle passe ses vacances en France.
- ⑳ Il me montre son hôtel.
- ㉑ Notre père est entré dans la maison.
- ㉒ Notre mère a acheté de la viande.
- ㉓ Nos parents jouent au tennis.
- ㉔ Votre fils a fini le travail.
- ㉕ Votre fille a chanté avec moi.
- ㉖ Vos enfants ont oublié ce livre.
- ㉗ Leur voisin est arrivé.
- ㉘ Leur voisine est arrivée.
- ㉙ Leurs voisins se sont couchés.

13.5.7 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私はドアを開ける
- ② 君は本をマリアにあげる
- ③ 彼はパリに向けて出発する
- ④ 彼女は自分が幸せだと感じる
- ⑤ 今晚、私たちは出かける
- ⑥ あなたはピエールにコーヒーを給仕する
- ⑦ 彼らはその車の後をつける
- ⑧ 彼女たちは今夜とてもよく眠れる
- ⑨ 私の夫は教員だ
- ⑩ 私の妻は医者だ
- ⑪ 私の友達たちはフランス人だ
- ⑫ 私の学校は小さい
- ⑬ 君の兄弟は背中が痛い
- ⑭ 君の姉妹は頭が痛い
- ⑮ 君の女友達は脚が痛い。
- ⑯ 君のアイデアは良くない
- ⑰ 私は彼（彼女）の本を探している。
- ⑱ 君は彼（彼女）のドレスが見つからない。
- ⑲ 彼女は休暇をフランスで過ごす
- ⑳ 彼は私に彼のホテルを見せる
- ㉑ 私たちの父は家の中に入った。

- ⑳ 私たちの母は肉を買った。
 ㉑ 私たちの両親はテニスをしているところだ
 ㉒ 君たちの息子は仕事を終えた。
 ㉓ 君たちの娘は私と歌を歌った
 ㉔ 君たちの子供たちは、その本を置き忘れた。
 ㉕ 彼らの隣人がやってきた
 ㉖ 彼らの隣人（女性）がやってきた
 ㉗ 彼らの隣人たちは寝てしまった

13.5.8 [補問] 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

時刻の表現

Quelle heure est-il ?	Vous avez l'heure ?	
Il est une heure.	Il est deux heures.	Il est trois heures.
Il est quatre heures.	Il est cinq heures.	Il est six heures.
Il est sept heures.	Il est huit heures.	Il est neuf heures.
Il est dix heures.	Il est onze heures.	Il est douze heures.
Il est midi.	Il est minuit.	Il est temps de partir.

Il est une heure dix.	Il est deux heures et demie.
Il est trois heures moins dix.	Il est quatre heures et quart.
Il est cinq heures moins le quart.	Il est six heures juste.

天候

Quel temps fait-il ?		
Il fait beau.	Il fait mauvais.	Il fait chaud.
Il fait froid.	Il pleut.	Il neige.
Pleut-il maintenant ?	Non, il ne pleut pas	

その他の非人称表現

Il faut deux heures pour venir ici.	Il ne faut pas d'argent.
Il faut rester ici.	Il ne faut pas rester ici.
Qu'est-ce qu'il faut ?	
Il est arrivé un accident.	Il n'est pas arrivé d'accident.
Est-il arrivé un accident ?	Qu'est-ce qu'il est arrivé ?
Il y a un livre sur la table.	Sur la table, il n'y a pas de livre .

Y a-t-il un livre sur la table ?

Qu'est-ce qu'il y a ?

13.5.9 [補問] 次の和文をフランス語に書き換えよ。

時刻の表現

何時ですか	何時ですか	
一時です	二時です	三時です
四時です	五時です	六時です
七時です	八時です	九時です
十時です	十一時です	十二時です
正午です	午前 0 時です	出発時間です。

一時十分です	二時半です
三時十分前です	四時十五分です
五時十五分前です	六時ちょうどです

天候

天気はどうか		
良い天気です	悪天候です	暑いです
寒いです	雨が降っています	雪が降っています
今、雨が降っていますか	いいえ、雨は降っていません	

その他の非人称表現

ここに来るには二時間が必要だ	お金は必要ありません
ここに留まらなくてはならない	ここに留まってはならない
何が必要ですか	
事故が起こった	事故は起こっていない
事故があったのですか	何が起こったのですか
テーブルの上に本がある	テーブルの上に本はない
テーブルの上に本がありますか	何がありますか

第 14 章

関係詞 (1)

◆ 本章の目標 ◆

- qui と que を使って、関係代名詞の基本を理解する
- qui, que 以外の関係代名詞の用法を学ぶ

英語、仏語などヨーロッパの言語では、関係詞はなじみの深い品詞であるが、日本語には、これに該当する語がない。したがって、関係詞を使えるようになるには、その基本原理を理解する必要がある。以下では、まず、関係詞の基本原理を説明し、その後で、様々な関係詞の用法を解説する。

14.1 関係詞の基本—— (1)

14.1.1 関係詞を用いる前提

関係詞が用いられるためには、二つの前提がある。

- 二つの文があること
- 二つの文に共通する要素があること

Pierre cherche **Marie**. **Marie** est son amie.

上記のように、共通する要素を持つ二つの文がある場合に、関係詞を用いて、両者を結びつけることができる。

14.1.2 主文と従属文

A: [主文] Pierre cherche Marie. [従属文] Marie est son amie.
 B: [主文] Marie est son amie. [従属文] Pierre cherche Marie.

二つの文のうち、どちらを主文に、どちらを従属文にするかは、文の論理的関係により決まってしまうこともあるが、基本的には自由である。

14.1.3 主文

A: [主文] Pierre cherche *Marie*.
B: [主文] *Marie* est son amie.

主文の特徴は、関係詞を用いても、形が変わらないということにある。主文中の共通する要素（ここでは Marie）は**先行詞**と呼ばれる。

14.1.4 従属文

A: [従属文] *Marie* est son amie.
B: [従属文] Pierre cherche *Marie*.

従属文の特徴は、関係詞を用いると、形が変わってしまうということにある。すなわち、共通する要素（ここでは Marie）が関係詞に置き換わるのである。

A: [従属文] *Marie* est son amie. ⇒ *qui* est son amie
B: [従属文] Pierre cherche *Marie*. ⇒ *que* Pierre cherche

上記の二文に関して、次の二点に注意しなければならない。

1. Marie がもともとあった位置には関係なく、関係詞が文の一番前に来ている
2. 同じ Marie を関係詞にしても、A では *qui* に、B では *que* になっている

上記のことが起こるのは次の理由による。

1. **関係詞は常に従属文の冒頭に置かねばならない。**
2. 従属文中の主語の代用となる関係詞は主格形の *qui*、直接目的格補語の代用となる関係詞は直接目的格形の *que* である。つまり、**関係詞がどの形をとるかは、共通する要素が従属文中でどういう働きをしているのかによって決まる。**

14.1.5 従属文の位置

通常、従属文は、先行詞（ここでは Marie）の直後に置かねばならない。したがって、A, B は、最終的に次のようになる。

<p>A: Pierre cherche Marie qui est son amie.</p> <p>B: Marie que Pierre cherche est son amie.</p>

14.2 関係詞の基本—— (2)

14.2.1 関係詞を含む文を理解する

すでに見たとおり、関係詞は共通する要素を持つ二文を連結する。関係詞を含む文を正確に理解するためには、その二文を元の形に復元する必要がある。馴れるにしたがって、そうした復元手順は無意識に行えるようになる。しかし、初心者のうちには、意識してその手順を行わねばならない。また、初心者の域を超えた後でも、理解不可能な文に出くわした場合には、基本に立ち返り、二文を復元しなければならない（これを怠って文意を誤解するケースは、中級者にも珍しくない）。なお、関係詞を含む文を理解するための大前提として、文中の関係詞が見分けられなければならない。**様々な関係詞の形を覚えておくことは基本中の基本**である。

14.2.2 主文と従属文

<p>A: Marie que Pierre aime habite à Paris.</p> <p>B: Pierre aime Marie qui habite à Paris.</p>

第一段階：関係詞を見分ける

<p>A: Marie que Pierre aime habite à Paris.</p> <p>B: Pierre aime Marie qui habite à Paris.</p>

第二段階：主文を見分ける。原則: 主文は関係詞の前にある

<p>A: Marie que Pierre aime habite à Paris.</p> <p>B: Pierre aime Marie qui habite à Paris.</p>

Bの方は Pierre aime Marie で「ピエールはマリを愛する」という文が成り立つので、原則通り

に主文が見分けられる。

A の方は Marie 「マリ」だけでは、文が成り立たないので、原則だけでは主文が見分けられない。こういう場合には、文の末尾に主文の残りが見つかる。Marie Paris, Marie à Paris, と文の末尾の要素を一つずつ遡って、Marie につなげていくと、Marie habite à Paris で「マリはパリに住んでいる」という文が見つかる。これが主文である。

⇒ 原則の補足：関係詞の前に主文が見つからなければ、文の末尾を見る

A: Marie **que** Pierre aime habite à Paris.

14.2.3 関係詞を元の語に戻す

前節の手順で、主文と従属文を分けることができた。次に、従属文中の関係詞を元に語に戻す。

A: [主文] Marie habite à Paris. [従属文] que Pierre aime
 B: [主文] Pierre aime Marie. [従属文] qui habite à Paris

原則 1：関係詞が指示するのは先行詞（文中太字）である。通常、先行詞は元の文中（主文と従属文にわたる前の文中）で、関係詞の直前に見つかる。

原則 2：関係詞の形により、先行詞が従属文中で果たす役割が決定できる。A の qui は主格形なので、qui が指しているのは、単なる Marie ではなく、主語の Marie である。B の que は直接目的格形なので、que が指しているのは、単なる Marie ではなく、直接目的語の Marie である。

つまり、関係詞を元の語に戻すには、先行詞を見つけるだけでは不十分で、必ず、関係詞の形（格形態）も考慮しなければならない。

14.2.4 従属文を復元する

A: [従属文] Pierre aime Marie.
 B: [従属文] Marie habite à Paris.

関係詞が指していた語を従属文中の正しい位置に戻す。通常、主語は動詞の前に来るので、B の「主語の Marie」は動詞 habite の前に置く。一方、主語以外の要素は動詞の後に来るので、A の「直接目的格補語の Marie」は動詞 aime の後に置く。

14.2.5 文全体を理解する

A: [主文] Marie habite à Paris. [従属文] Pierre aime Marie.
 B: [主文] Pierre aime Marie. [従属文] Marie habite à Paris.

以上の通り、関係詞を含む文から、元の二文を復元できたら、文意を得るのは比較的容易である。

A: マリはパリに住んでいる。ピエールはマリが好きだ。
 B: ピエールはマリが好きだ。マリはパリに住んでいる。

関係詞は多かれ少なかれ接続詞の意味合いを持っている。元の二文を復元して、意味が理解できたら、その二文を一文になるようつなげてみる。たとえば、

A: マリはパリに住んでいるのに、ピエールはマリが好きなんだ。
 B: ピエールはマリが好きだが、マリはパリに住んでいる。

といった具合である。二文のつなげ方は、文脈によって変わってくるし、時には、無理につなげる必要がない場合もある。したがって、最終的にどのような訳になるかは、ケースバイケースである。だが、たとえば、「ピエールはパリに住んでいるが、マリのことを好きだ」という訳は絶対に間違いである。Marie habite à Paris. となっている以上、パリに住んでいるのは、マリであってピエールではない。同様に、「マリはピエールのことが好きだが、マリはパリに住んでいる」も間違いである。Pierre aime Marie. となっている以上、「ピエールはマリのことを好きだ」と訳さねばならない。復元した二文の訳に沿わない全体訳は間違いである。

14.2.6 様々な関係代名詞

	共通する要素	共通する要素の従属文中での役割
qui	ひと・もの	主語
que (qu')	ひと・もの	直接目的格補語
dont	ひと・もの	前置詞 de+ 名詞
前置詞 +qui	ひと	前置詞 + ひとを表す名詞
前置詞 +lequel	もの	前置詞 + ものを表す名詞

qui, que

すでに説明したとおり、qui は主格形、que は直接目的格形である。共通する要素が、従属文中で、主語の場合には、qui、直接目的格補語の場合には、que を用いる。

音声：14-1

ピエール エム マリ キ アビタ パリ

① Pierre aime Marie **qui** habite à Paris.

ピエールはマリのことが好きだが、彼女はパリに住んでいる

【主文】 Pierre aime Marie. 【従属文】 Marie habite à Paris.

ピエール アベル マリ キ ジュ オ テニス

② Pierre appelle Marie **qui** joue au tennis.

ピエールはマリのことを呼ぶが、彼女はテニスをしているところだ

【主文】 Pierre appelle Marie. 【従属文】 Marie joue au tennis.

マリ ク ピエール エム アビタ パリ

③ Marie **que** Pierre aime habite à Paris.

ピエールの愛するマリはパリに住んでいる

【主文】 Marie habite à Paris. 【従属文】 Pierre aime Marie.

マリ ク ピエール アベル ジュ オ テニス

④ Marie **que** Pierre appelle joue au tennis.

ピエールが呼んでいるマリはテニスをしているところだ

【主文】 Marie joue au tennis. 【従属文】 Pierre appelle Marie.

dont

dont は共通する要素が、従属文中で、前置詞 de の目的語になっている場合に用いる。dont に置き換わるのは、「de + 共通する要素」の全体で、共通する要素だけではないことに注意すること。

音声：14-2

ピエール ア トゥールヴェル リヴル ドン マリ パルル スヴォン

⑤ Pierre a trouvé le livre **dont** Marie parle souvent.

ピエールはよくマリが話している本を見つけた。

【主文】 Pierre a trouvé le livre. 【従属文】 Marie parle du livre souvent.

セ マリ ドン ラ スル エ トゥル ベル

⑥ C'est Marie **dont** la sœur est très belle.

あれはマリだが、彼女の姉（妹）はとてもきれいだ。

【主文】 C'est Marie. 【従属文】 La sœur de Marie est très belle.

前置詞 + qui

従属文中で、共通する要素が「前置詞 + ひとを表す名詞」の場合に用いる。ひとを表す名詞の直前の前置詞と qui をワンセットにして、従属文の冒頭に置くことに注意すること。なお、qui はたまたま主格形と同じ形だが、語源が異なる、全く別の語である。なお、de qui よりも dont を用いるのが普通である (de qui の使用が必須の場合もあるが、初級の段階で気にする必要はない)。

音声：14-3

ピエール 見る ガル ドゥ マリ アヴェク キ ジャヌ ショーントゥ

⑦ Pierre regarde Marie **avec qui** Jeanne chante.

ピエールはジャンヌと歌っているマリを見つめる

【主文】 Pierre regarde Marie. 【従属文】 Jeanne chante avec Marie.

セ マリ ア キ ジャヌ テレフォヌ トゥジュール

⑧ C'est Marie **à qui** Jeanne téléphone toujours.

あれがジャンヌがいつも電話しているマリだ

【主文】 C'est Marie. 【従属文】 Jeanne téléphone à Marie toujours.

前置詞 + lequel

従属文中で、共通する要素が「前置詞 + もの(やひと)を表す名詞」の場合に用いる。lequel は関係代名詞の中で唯一、性数変化をもち、共通する要素の性と数に応じて、変化する。また、前置詞 à, de とは縮約(42頁参照)し、特別な形になるので注意すること。

音声：14-4

		男性	女性
可算	単数	ルケル lequel	ラケル laquelle
	複数	レケル lesquels	レケル lesquelles
不可算		ルケル lequel	ラケル laquelle

		男性	女性			男性	女性
可算	単数	オケル auquel	ア ラケル à laquelle	可算	単数	デュケル duquel	ドゥ ラケル de laquelle
	複数	オケル auxquels	オケル auxquelles			デュケル desquels	デュケル desquelles
不可算		オケル auquel	ア ラケル à laquelle	不可算		デュケル duquel	ドゥ ラケル de laquelle

音声：14-5

ジャヌ エム セテグリズ ア ラケル エル ボンス スヴォン

⑨ Jeanne aime cette église **à laquelle** elle pense souvent.

ジャヌはその教会のことが好きで、よくその教会のことを考える

【主文】 Jeanne aime cette église. 【従属文】 Elle pense à cette église souvent.

NB: 共通する要素、l'église は女性単数名詞なので、lequel は laquelle に変化する。

ピエール シェルシュ ロテル ドゥヴォン ルケル マリ ラトン

⑩ Pierre cherche l'hôtel **devant lequel** Marie l'attend.

ピエールはホテルを探している。マリがそのホテルの前で彼を待っているのだ

【主文】 Pierre cherche l'hôtel. 【従属文】 Marie l'attend devant l'hôtel.

NB: 共通する要素、l'hôtel は男性単数名詞なので、lequel を用いる。

なお、「de+ 名詞」に対しては、通常は dont を用いる。duquel, ... を用いる必要がある代表的なケースは、「de+ 名詞」が前置詞句の一部となっている場合である(例: autour de 「～の周囲に」, à propos de 「～について」)。

Je cherche l'église autour de laquelle il y a beaucoup de fleurs.

私は周囲にたくさんの花が咲いている教会を探している

【主文】 Je cherche l'église. 【従属文】 Autour de l'église il y a beaucoup de fleurs.

14.3 補足：複合過去における先行詞と過去分詞の性数一致

すでに述べた通り、助動詞を avoir に用いた複合過去では、過去分詞は性数一致しないのが原則である。しかし、二つだけ例外がある。

- 直接目的格語を人称代名詞を用いて表した場合（142 頁を参照）。
- 直接目的格語を関係詞を用いて表した場合。

音声：14-6

マリ シェルシュ ラ ろーブ ク ビエル ア カシェ

Marie cherche la robe que Pierre a cachée.

マリーはピエールが隠したドレスを探している。

【主文】 Marie cherche la robe. 【従属文】 Pierre a caché la robe.

ジュ リ レレトク ジャヌ ア ミズ スユル ラ ターブル

Je lis les lettres que Jeanne a mises sur la table.

ジャンヌがテーブルの上においた手紙を私は読む

【主文】 Je lis les lettres. 【従属文】 Jeanne a mis les lettres sur la table.

なお、助動詞に être を用いた複合過去では、過去分詞が主語に性数一致するのが原則である。主語が主格関係代名詞によって表されたとしても、この原則にかわりはない。

マリ キ エ タリヴェ イエル バー オジュルデュイ

Marie qui est arrivée hier part aujourd'hui.

昨日到着したマリーは、今日出発する。

【主文】 Marie part aujourd'hui. 【従属文】 Marie est arrivée hier.

14.4 新出単語

音声：14-7

スヴォン
① souvent
【副詞】しばしば

トゥージュール
② toujours
【副詞】いつも

ドゥヴォン
③ devant
【前置詞】～の前で

14.5 補足：関係詞を含む文を読もう

下記はアントワヌ・サンテグジュペリの『星の王子 (Le Petit prince)』の一部です。知らない単語は辞書を引きましょう。次回、第十五課を終えないと読めないものもあるので、注意してください (5 以降)。

1. Ça, c'est la caisse. Le mouton *que* tu veux est dedans.

ça 「それ」が c'est で受け直されていることに注意。ça, c'est で「それは、～だ」

2. Quand tu trouves un diamant qui n'est à personne, il est à toi. Quand tu trouves une île qui n'est à personne, elle est à toi.

à : ここでは所有を表している「誰々の」; personne : ne と呼応して、「誰も～ない」

3. Mon dessin ... représentait un serpent boa qui digérait un éléphant.

représentait: représenter の直説法半過去「表していた」; digérait: digérer の直説法半過去「消化している最中である」

4. Lorsque j'avais six ans j'ai vu, une fois, une magnifique image, dans un livre qui s'appelait « Histoires Vécues » .

avais: avoir の直説法半過去「～才だった」; s'appelait 「～という名前だった」: appeler の直説法半過去 (214 頁): « Histoires Vécues » 『本当の話』

5. Un mouton mange tout ce qu'il rencontre. — Même les fleurs qui ont des épines ? — Oui. Même les fleurs qui ont des épines. — Alors les épines, à quoi servent-elles ?

servir à 「～の役に立つ」; les épines が elles で受け直されて倒置されていることに注意 (複合倒置 58 頁)

6. ... je connais, moi, une fleur unique au monde, qui n'existe nulle part, sauf dans ma planète, et qu'un petit mouton peut anéantir d'un seul coup, comme ça, un matin sans se rendre compte de ce qu'il fait, ...

ne ... nulle part 「どこにも～ない」; d'un seul coup 「一撃で」; comme ça 「こんなふう」に sans se rendre compte de 「～に気づかずに、理解せずに」

7. Millions de quoi ? — ... Millions de ces petites choses que l'on voit quelquefois dans le ciel. — Des mouches ? — Mais non, des petites choses qui brillent. — Des abeilles ? — Mais non. Des petites choses dorées qui font rêvasser les fainéants. Mais je suis sérieux, moi ! Je n'ai pas le temps de rêvasser. — Ah ! des étoiles ? — C'est bien ça. Des étoiles.

font rêvasser : 使役表現「夢想させる」

8. Ce qui est important, ça ne se voit pas ...

se voit: voir の代名動詞 (受動的用法) 「見られる」

訳例

- それは箱だよ。君が欲しがっている羊は、その中にある。
- 誰のものでもないダイヤを見つければ、それは君のものだ。誰のものでもない島を見つければ、それは君のものだ。
- représentait: représenter の直説法半過去「表していた」; digérait: digérer の直説法半過去「消化している最中である」 僕の絵は、象を消化している最中のボア蛇を表していたのだ。
- 六歳のころ、一度、すごい絵をみたことがある。『本当の話』という題名の本の中でだった。
- 羊は出くわしたものをなんでも食べるんだ。— とげの生えた花でも？ — とげの生えた花でもだ。— だったら、トゲは、一体何の役に立つの？
- 僕はといえば、この世にたった一つの、僕の惑星以外のどこにも存在しない、そして、ある朝小さな羊が自分が出くわしていること (何をしているか) を理解せずに、一撃で台無しにしてしまうかも知れない、一輪の花のことを知って

いる

7. 何百万もの何？ 何百万ものあの小さな、時折空に見えるやつだよ。 ハエかい？ 違うよ。輝いている小さなやつだよ。 蜜蜂かい？ 違うよ。暇な人に夢を引き起こす、金色の小さなやつだよ。 でも僕は真面目なんだ、だから夢想している暇なんかないけどね。 ああ、星かい。 ああ、それだよ。星だよ。
8. 大事なもの、それは目には見えないんだ。

14.6 第 14 章練習問題

14.6.1 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- ① souvent ② toujours ③ devant

14.6.2 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- ① [副詞] しばしば ② [副詞] いつも ③ [前置詞] ~の前で

14.6.3 次の文章の空欄を補え。

- ① Pierre aime Marie habite à Paris.
ピエールはマリのことが好きだが、彼女はパリに住んでいる
- ② Pierre appelle Marie joue au tennis.
ピエールはマリのことを呼ぶが、彼女はテニスをしているところだ
- ③ Marie Pierre aime habite à Paris.
ピエールの愛するマリはパリに住んでいる
- ④ Marie Pierre appelle joue au tennis.
ピエールが呼んでいるマリはテニスをしているところだ
- ⑤ Pierre a trouvé le livre Marie parle souvent.
ピエールはよくマリが話している本を見つけた。
- ⑥ C'est Marie la sœur est très belle.
あれはマリだが、彼女の姉(妹)はとてもきれいだ。
- ⑦ Pierre regarde Marie Jeanne chante.
ピエールはジャンヌと歌っているマリを見つめる
- ⑧ C'est Marie Jeanne téléphone toujours.
あれがジャンヌがいつも電話しているマリだ
- ⑨ Jeanne aime cette église elle pense souvent.
ジャンヌはその教会のことが好きで、よくその教会のことを考える
- ⑩ Pierre cherche l'hôtel Marie l'attend.
ピエールはホテルを探している。マリがそのホテルの前で彼を待っているのだ

14.6.4 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Pierre aime Marie qui habite à Paris.
② Pierre appelle Marie qui joue au tennis.

- ③ Marie que Pierre aime habite à Paris.
- ④ Marie que Pierre appelle joue au tennis.
- ⑤ Pierre a trouvé le livre dont Marie parle souvent.
- ⑥ C'est Marie dont la sœur est très belle.
- ⑦ Pierre regarde Marie avec qui Jeanne chante.
- ⑧ C'est Marie à qui Jeanne téléphone toujours.
- ⑨ Jeanne aime cette église à laquelle elle pense souvent.
- ⑩ Pierre cherche l'hôtel devant lequel Marie l'attend.

14.6.5 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① ピエールはマリのことが好きだが、彼女はパリに住んでいる
- ② ピエールはマリのことを呼ぶが、彼女はテニスをしているところだ
- ③ ピエールの愛するマリはパリに住んでいる
- ④ ピエールが呼んでいるマリはテニスをしているところだ
- ⑤ ピエールはよくマリが話している本を見つけた。
- ⑥ あれはマリだが、彼女の姉（妹）はとてもきれいだ。
- ⑦ ピエールはジャンヌと歌っているマリを見つめる
- ⑧ あれがジャンヌがいつも電話しているマリだ
- ⑨ ジャンヌはその教会のことが好きで、よくその教会のことを考える
- ⑩ ピエールはホテルを探している。マリがそのホテルの前で彼を待っているのだ

14.6.6 次の文を発音し、従属節を [] でくくって、意味を考えよ。

- ① Marie **que** Pierre aime habite à Paris.
マリ ク ビエール エム アビタ パリ
- ② Jacques **que** Suzanne cherche va l'aider.
ジャク ク スュザヌ シェルシュ ヴァ レデ
- ③ Louise **que** Pierre appelle travaille bien.
ルイズ ク ビエール アペール トゥラヴァーユ ビアン
- ④ Louise marche avec Luc **que** Jeanne n'aime pas.
ルイズ マルシュ アヴェク リュク クジャンヌ ネム パ
- ⑤ Suzanne montre à Pierre l'église **qu'** elle aime.
スュザヌ モントゥラ ビエール レグリズ ケレーム
- ⑥ Jean aime Pauline **qui** chante devant l'église.
ジャン エム ポリス キ ショントゥ ドゥヴォン レグリズ
- ⑦ Jacques écoute Marie **qui** parle très bien.
ジャク エクトゥ マリ キ パルル トゥれ ビアン
- ⑧ Suzanne regarde Marie **qui** ferme les fenêtres.
スュザヌ るがるドゥ マリ キ フェルム レ ぶネートゥる
- ⑨ Louise parle à Marie **qui** écoute de la musique.
ルイズ パルラ マリ キ エクトゥ ドゥ ラ ミュズィーク
- ⑩ Luc me présente Louise **dont** il parle toujours.
リュク ム プレゼントゥ ルイズ ドンティル パルル トゥージュール
- ⑪ Jean préfère Marie **dont** les yeux sont très beaux.
ジャン プレフェール マリ ドン レズユ ソン トゥれ ボ
- ⑫ Paul cherche Jacques **dont** la sœur est son amie.
ポール シェルシュ ジャク ドン ラ スル エ ソンナミ
- ⑬ Jacques choisit Marie **dont** les parents sont très riches.
ジャク シュワズィ マリ ドン レ パロン ソン トゥれ リーシュ

- ⑭ Suzanne aime Marie **avec qui** elle chante.
スズザヌ エム マリ アヴェク キ エル ショーントウ
 ジャン ろんコントゥる マリ ア キ イル モントゥる ル リーヴル
- ⑮ Jean rencontre Marie **à qui** il montre le livre.
スズザヌ アキ ビエる バルル るがるドウ ポール
- ⑯ Suzanne **à qui** Pierre parle regarde Paul.
ポリヌ ドゥヴォン キ ビエる セタレテ エ ソンナミ
- ⑰ Pauline **devant qui** Pierre s'est arrêté est son amie.
ジャン シェるシュ レグリズ デリエる ラケル イリヤ ユネコール
- ⑱ Jean cherche l'église **derrière laquelle** il y a son école.
ポール サれートウ ドゥヴォン ル ジャるダン オン ファス ドュケル イリヤ ユヌ ポーストウ
- ⑲ Paul s'arrête devant le jardin en face **duquel** il y a une poste.
リュク キートゥ ル カフェ ドゥヴォン ルケル ジャヌ ショーントウ
- ⑳ Luc quitte le café **devant lequel** Jeanne chante.
スズザヌ カシュ ラビオン アヴェク ルケル ソン フれーる ジュ トゥージューる
- ㉑ Suzanne cache l'avion **avec lequel** son frère joue toujours.

14.6.7 下線部に関係詞を補え。

- ① Marie Pierre aime habite à Paris.
 ピエールが愛するマリはパリに住んでいる。
 【主文】 Marie habite à Paris. 【従属文】 Pierre aime Marie.
- ② Jacques Suzanne cherche va l'aider.
 スズザヌが探しているジャックは彼女を助けるだろう。
 【主文】 Jacques va l'aider. 【従属文】 Suzanne cherche Jacques.
- ③ Louise Pierre appelle travaille bien.
 ピエールが呼んでいるルイーズは働き者だ。
 【主文】 Louise travaille bien. 【従属文】 Pierre appelle Louise.
- ④ Louise marche avec Luc Jeanne n'aime pas.
 ルイーズはジャヌが嫌っているリュークと歩いている。
 【主文】 Louise marche avec Luc. 【従属文】 Jeanne n'aime pas Luc.
- ⑤ Suzanne montre à Pierre l'église elle aime.
 スズザヌは自分が気に入っている教会をピエールに見せる。
 【主文】 Suzanne montre à Pierre l'église. 【従属文】 Suzanne aime l'église.
- ⑥ Jean aime Pauline chante devant l'église.
 ジャンは教会の前で歌っているポリヌが好きだ。
 【主文】 Jean aime Pauline. 【従属文】 Pauline chante devant l'église.
- ⑦ Jacques écoute Marie parle très bien.
 ジャックは話し上手なマリの言うことを聞いている。
 【主文】 Jacques écoute Marie. 【従属文】 Marie parle très bien.
- ⑧ Suzanne regarde Marie ferme les fenêtres.
 スズザヌは窓を閉めるマリを見つめている。
 【主文】 Suzanne regarde Marie. 【従属文】 Marie ferme les fenêtres.

- ⑨ Louise parle à Marie écoute de la musique.
ルイーズは音楽を聴いているマリに話しかける。
【主文】 Louise parle à Marie. 【従属文】 Marie écoute de la musique.
- ⑩ Luc me présente Louise il parle toujours.
リュークは私にルイーズを紹介するが、彼はいつもルイーズのことを話している。
【主文】 Luc me présente Louise. 【従属文】 Il parle toujours de Louise.
- ⑪ Jean préfère Marie les yeux sont très beaux.
ジャンは目がとてもきれいなマリの方が好きだ。
【主文】 Jean préfère Marie. 【従属文】 Les yeux de Marie sont très beaux.
- ⑫ Paul cherche Jacques la sœur est son amie.
ポールはジャックを探しているが、ジャックの妹は彼の恋人だ。
【主文】 Paul cherche Jacques. 【従属文】 Le sœur de Jacques est son amie.
- ⑬ Jacques choisit Marie les parents sont très riches.
ジャックは両親が金持ちのマリを選ぶ。
【主文】 Jacques choisit Marie. 【従属文】 Les parents de Marie sont très riches.
- ⑭ Suzanne aime Marie elle chante.
スズーヌと一緒に歌っているマリのことが好きだ。
【主文】 Suzanne aime Marie. 【従属文】 Elle chante avec Marie.
- ⑮ Jean rencontre Marie il montre le livre.
ジャンはマリに出会い、その本を見せる。
【主文】 Jean rencontre Marie. 【従属文】 Il montre le livre à Marie.
- ⑯ Suzanne Pierre parle regarde Paul.
ピエールが話しかけているスズーヌはポールのことを見ている。
【主文】 Suzanne regarde Paul. 【従属文】 Pierre parle à Suzanne.
- ⑰ Pauline Pierre s'est arrêté est son amie.
ピエールが前で立ち止まったポリーヌは、彼の恋人だ。
【主文】 Pauline est son amie. 【従属文】 Pierre s'est arrêté devant Pauline.
- ⑱ Jean cherche l'église il y a son école.
ジャンは教会を探しているが、その裏には彼の学校がある。
【主文】 Jean cherche l'église. 【従属文】 Il y a son école derrière l'église.
- ⑲ Paul s'arrête devant le jardin en face il y a une poste.
ポールは公園の前で立ち止まるが、その前に、郵便局がある。
【主文】 Paul s'arrête devant le jardin. 【従属文】 En face du jardin il y a une poste.
- ⑳ Luc quitte le café Jeanne chante.
リュークは喫茶店を後にするが、その喫茶店の前ではジャンヌが歌っている。
【主文】 Luc quitte le café. 【従属文】 Jeanne chante devant le café.

⑭ Suzanne cache l'avion son frère joue toujours.

スーザヌは弟がいつも遊んでいる飛行機を隠す。

【主文】 Suzanne cache l'avion. 【従属文】 Son frère joue avec l'avion.

第 15 章

指示代名詞・関係詞 (2)

◆ 本章の目標 ◆

- 指示代名詞の用法を体系的に理解する。
- 関係副詞 *où* と先行詞付きの関係代名詞の用法を学ぶ。

15.1 指示代名詞

指示代名詞は日本語の「あれ、これ、それ」のように、目の前にある「もの・人」を指し示す働きをもつが、文中で既出の「もの・人」を指し示す働きもあわせて持つ。フランス語は、基本的に指し示す対象の遠近を区別せず、近いものをさす時にも、遠いものをさす時にも同じ指示代名詞を使う。つまり、日本語のような「あれ」と「これ」の区別がない。

15.1.1 *ce* (*c'*)

ce は次節で説明する通り、関係詞の先行詞にもなるが、それ以外では、*être* の主語としてしか用いられない。遠いもの（人）でも、近いもの（人）でも、*ce* が用いられることに注意すること。また、*ce* は複数のもの（人）も単数のもの（人）も指すことができる。

音声：15-1

<small>セテユヌ フルー</small>	<small>ス ソン デザールブ</small>	<small>セ マリ</small>
C'est une fleur.	Ce sont des arbres.	C'est Marie.
これは花です。	これは木です。	マリだ。

なお、*il est, elle est* の後には職業・国籍・身分を表す無冠詞名詞を続けることができるが、冠詞つきの名詞を続けることはできない。*Il est un garçon.* や *Elle est une fille.* とはせずに、*C'est un garçon. C'est une fille.* とする。

15.1.2 *ça, ceci, cela*

ceci, cela, ça は、基本的に、どれも同じ意味で、*être* の主語以外の用途に用いる（口語の使用頻度は *ça* が圧倒的に高い）。

音声：15-2

- être 以外の動詞の主語に ^{サヴァ ヲ サヴァ エ トゥワ} Ça va ? – Ça va. Et toi ? (va < aller)
 元気かい—元気だよ、君の方はどうだい。
- 動詞の直接目的格補語・属詞に ^{リストゥワル ジェム サ} L'histoire, j'aime ça. ^{セ サ} C'est ça.
 歴史は好きだ。 その通りです。
- 前置詞の目的語に ^{ジェ オンヴィ ドゥ サ} J'ai envie de ça.
 それが欲しい (それがしたい)。

ceci と cela は、対比的に用いられた時に限り、遠近の違いを表すことができる。J'aime ceci, mais je déteste cela. 「これは好きだけど、あれは嫌いだ」。

なお、aimer など好き嫌いを表す動詞の後の名詞は、人称代名詞ではなく、指示代名詞で置き換える。Vous aimez la musique ? 「音楽が好きですか」 Vous aimez les chiens ? 「犬が好きですか」に対する返答は、いずれも、Oui, j'aime ça./Non, je n'aime pas ça. である

15.1.3 celui

音声：15-3

		男性	女性
可算	単数	^{スリュイ} celui	^{セル} celle
	複数	^ス ceux	^{セル} celles
不可算		^{スリュイ} celui	^{セル} celle

celui は、次節で見る通り、関係詞の先行詞となるほか、すでに話に出てきた名詞をそのまま繰り返すのを避けるために用いられる。指し示す「もの・人」の性と数によって性数変化し、主語、目的格補語、属詞、前置詞の目的語などの役割を果たすことができるが、単独では用いられず、必ず、何らかの修飾をとまなう (形容詞、過去分詞、de+ 名詞)。

音声：15-4

^{ヴワラ ラ ファミュ ドゥ マリ エ ヴワスイ セル ドゥ ピエー}

Voilà la famille de Marie et voici celle de Pierre. (celle = la famille)

あちらがマリの家族で、こちらはピエールの家族だ。

ただし、遠近を表す小辞を付けた、celui-ci 「これ」、celui-là 「あれ」は単独で用いられる。Tu aimes celui-ci ? Moi, je préfère celui-là. 「君はこれが好きですか。私はあれの方が良いです」。

15.2 関係副詞 où と先行詞を含む関係詞

15.2.1 関係副詞の où

従属文中の共通する要素が、時や場所を表す副詞 (副詞相当語) や前置詞句の場合には、関係副詞の où を用いて、主文と連結することができる。

音声：15-5

ピエール ア トゥルヴエ レコル ウ マリ ヴァ シャク ジュール

① Pierre a trouvé l'école où Marie va chaque jour.

ピエールはマリーが毎日通う学校を見つけた。

[主文] Pierre a trouvé l'école.

[従属文] Marie va à l'école chaque jour.

セル ジュール ウ エレ バルティ

② C'est le jour où elle est partie.

それは彼女が出発した日だ。

[主文] C'est le jour.

[従属文] Elle est partie ce jour-là.

NB: ce jour-là は「その日に」という副詞の意味で用いられている。時を表す副詞は、名詞だけで表されることも多い。Je vais à la bibliothèque lundi. 「月曜に美術館に行く」(le lundi とすると毎週月曜日に)。demain 「明日」や hier 「昨日」は副詞であると同時に名詞でもある（無冠詞で用いる）。Demain, c'est mon anniversaire. 「明日は私の誕生日だ」

15.2.2 先行詞を含む関係詞 (1) — ce + qui, que (qu')

スキ

ce qui は、関係代名詞の主格形 qui が含まれていることから理解できるように、従属文中で共通する要素（漠然としたもの、事柄）は主語の役割を果たす。

スック

一方、ce que は、関係代名詞の直接目的格形 que が含まれており、従属文中で共通する要素（漠然とした事柄、もの）は直接目的格補語の役割を果たす。

音声：15-6

スキ ネ バクレル ネ バ フランセ

③ Ce qui n'est pas clair n'est pas français.

明晰でないものはフランス語的ではない。

[主文] Ce n'est pas français.

[従属文] Ce n'est pas clair. (ce = une chose)

ジェ トゥルヴエ スク ヴ シェルシェ

④ J'ai trouvé ce que vous cherchez.

君が探しているものを私は見つけた。

[主文] × J'ai trouvé ce.

[従属文] × Vous cherchez ce. (ce = une chose)

従属文中の ce は une chose の意味で「漠然とした事柄、もの」を表す。一方、主文中の ce は、従属文中の ce を指示して、「それ、そのこと (cette chose)」を意味する。

なお、前節で説明した通り、通常、ce は「それ、そのこと」の意味しかなく、また、**現在の用法では、ce が動詞の目的語になることは絶対ない**。二番目の例の主文と従属文の文頭に × がついているのは、こうした表現が、現在では使用できないからである（かつては可能であった）。したがって、上の分割された文は、ce qui, ce que がどのようにして生じたかを知り、用法を理解する

ためだけのものである。

15.2.3 先行詞を含む関係詞 (2)—celui + qui, que (qu')

従属文中の共通する要素が、漠然と人を表す場合、先行詞付きの関係詞、^{スリュイ キ スリュイ ク} celui qui, celui que (qu') を用いることができる。

celui qui は、関係代名詞の主格形 qui が含まれていることから理解できるように、従属文中で共通する要素（漠然とした人）は主語の役割を果たす。

一方、celui que (qu') は、関係代名詞の直接目的格形 que が含まれており、従属文中で共通する要素（漠然とした人）は直接目的語の役割を果たす。

なお、celui は関係詞の先行詞となっている場合でも**性数変化する**。漠然とした人が、男性か女性かわからない場合には男性形を、単数か複数かわからない場合には、単数形を使うが、性や数が予測可能な場合には、その性や数にあわせて、celui, celle, ceux, celles を使い分ける。

音声：15-7

スリュイ キ アリヴ ル プルミエ ガニュ ディズろ

⑤ **Celui qui arrive le premier gagne dix euros.**

最初に到着した者が 10 ユーロを稼ぐ。

[主文] Celui gagne dix euros. (celui = cette personne)

[従属文] Celui arrive le premier. (celui = une personne)

従属文中の celui は une personne の意味で漠然と人を表す。一方、主文中の celui は従属文中の celui を指示し、「その人 (cette personne)」を意味する。

音声：15-8

セル キ アリヴ ラ プルミエール ガニュ ディズろ

⑥ **Celle qui arrive la première gagne dix euros.**

最初に到着した女性が 10 ユーロを稼ぐ。

スウ キ アリヴ レ デルニエ ベルドゥ ディズろ

⑦ **Ceux qui arrivent les derniers perdent dix euros.**

最後に到着した者たちが 10 ユーロを失う。

セル キ アリヴ レ デルニエール ベルドゥ ディズろ

⑧ **Celles qui arrivent les dernières perdent dix euros.**

最後に到着した女性たちが 10 ユーロを失う。

15.2.4 補足—同格

主語を修飾する形容詞が、主語と切り離された位置にある場合、その形容詞を「主語と同格にある」と言う。形容詞の中には、動詞の後で主語の同格語として、特によく用いられるものがある。前節の dernier, premier は、そうした形容詞の一つである（定冠詞がつくのは、一種の最上級だからである。最上級については、後に学ぶ）。このように動詞の後で、主語と同格になり得る形容詞には、^{スール} seul(e) 「一人の」 や ^{トゥス} tous (toutes) 「皆」 などがある。

こうした同格形容詞は、「一人で」、「最後に」などと、副詞のように訳されるため、副詞と取り違えやすい。しかし、実際には、形容詞なので、**主語と性数一致する**。すなわち、男性形・女性形、単数形・複数形を使い分けなければならない。

音声：15-9

ヌゼモン トゥス マリ

Nous aimons tous Marie.

私たちはみなマリが好きだ。

エラビトゥク スラ トキョ

Elle habite seule à Tokyo.

彼女は東京で一人で暮らしている。

15.3 新出単語

音声：15-10

シャク

① chaque

[形容詞] それぞれの、各自の

デルニエ

④ dernier

[形容詞] 最後の

イストゥワーる

⑦ histoire

[名詞・女性] 歴史・物語

ヴィラージュ

⑩ village

[名詞・男性] 村

セゾン

⑬ saison

[名詞・女性] 季節

クレール

② clair

[形容詞] 明晰な・明るい

フルール

⑤ fleur

[名詞・女性] 花

アヴワる オンヴィ ドゥ

⑧ avoir envie de

[熟語] ～したい

ゲール

⑪ guerre

[名詞・女性] 戦争

ショーズ

⑭ chose

[名詞・女性] もの・こと

ブルミエ

③ premier

[形容詞] 最初の

アーブル

⑥ arbre

[名詞・男性] 木

ファミーユ

⑨ famille

[名詞・女性] 家族

ショーンブル

⑫ chambre

[名詞・女性] 寝室

15.4 第15章練習問題

15.4.1 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

① chaque

④ dernier

⑦ histoire

⑩ village

⑬ saison

② clair

⑤ fleur

⑧ avoir envie de

⑪ guerre

⑭ chose

③ premier

⑥ arbre

⑨ famille

⑫ chambre

15.4.2 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

① [形容詞] それぞれの、各自の

④ [形容詞] 最後の

⑦ [名詞・女性] 歴史・物語

⑩ [名詞・男性] 村

⑬ [名詞・女性] 季節

② [形容詞] 明晰な・明るい

⑤ [名詞・女性] 花

⑧ [熟語] ～したい

⑪ [名詞・女性] 戦争

⑭ [名詞・女性] もの・こと

③ [形容詞] 最初の

⑥ [名詞・男性] 木

⑨ [名詞・女性] 家族

⑫ [名詞・女性] 寝室

15.4.3 次の文章の空欄を補え。

- ① Pierre a trouvé l'école [] Marie va chaque jour.
ピエールはマリーが毎日通う学校を見つけた。
- ② C'est le jour [] elle est partie.
それは彼女が出発した日だ。
- ③ [] n'est pas clair n'est pas français.
明晰でないものはフランス語的ではない。
- ④ J'ai trouvé [] vous cherchez.
君が探しているものを私は見つけた。
- ⑤ [] arrive le premier gagne dix euros.
最初に到着した者が 10 ユーロを稼ぐ。
- ⑥ [] arrive la première gagne dix euros.
最初に到着した女性が 10 ユーロを稼ぐ。
- ⑦ [] arrivent les derniers perdent dix euros.
最後に到着した者たちが 10 ユーロを失う。
- ⑧ [] arrivent les dernières perdent dix euros.
最後に到着した女性たちが 10 ユーロを失う。

15.4.4 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Pierre a trouvé l'école où Marie va chaque jour.
- ② C'est le jour où elle est partie.
- ③ Ce qui n'est pas clair n'est pas français.
- ④ J'ai trouvé ce que vous cherchez.
- ⑤ Celui qui arrive le premier gagne dix euros.
- ⑥ Celle qui arrive la première gagne dix euros.
- ⑦ Ceux qui arrivent les derniers perdent dix euros.
- ⑧ Celles qui arrivent les dernières perdent dix euros.

15.4.5 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① ピエールはマリーが毎日通う学校を見つけた。
- ② それは彼女が出発した日だ。
- ③ 明晰でないものはフランス語的ではない。
- ④ 君が探しているものを私は見つけた。
- ⑤ 最初に到着した者が 10 ユーロを稼ぐ。
- ⑥ 最初に到着した女性が 10 ユーロを稼ぐ。
- ⑦ 最後に到着した者たちが 10 ユーロを失う。
- ⑧ 最後に到着した女性たちが 10 ユーロを失う。

15.4.6 次の文章を、主節と従属節にわけよ

- ① ピエール ボンソ ヴィラジュ ウ マリ エ ネ
Pierre pense au village où Marie est née.
ピエールはマリが生まれた村のことを考える
- ② アヌ バルル ドゥ ラ ゲーウ ソン ベル エ モー
Anne parle de la guerre où son père est mort.
アヌは自分の父親が死んだ戦争のことを話す
- ③ セ ラ ションブール ウ ジャヌ ドー
C'est la chambre où Jeanne dort.
これはジャヌが寝ている部屋だ
- ④ セ ラ セゾン ウ イル プル ボク
C'est la saison où il pleut beaucoup.
それは、雨がたくさん降る季節だ
- ⑤ ジュヌ コンブロン パ スキ エタリヴェ
Je ne comprends pas ce qui est arrivé.
起こった事柄が私には理解できない
- ⑥ スキ エ ネセセル エ ダトードゥ
Ce qui est nécessaire est d'attendre.
必要なことは、待つことだ。
- ⑦ イル フォ シュルシェ スク ヴ ヴレ フェー
Il faut chercher ce que vous voulez faire.
あなたがやりたいことを探す必要がある
- ⑧ ヴヌ プヴェ パ トゥニル スク ヴァヴェ ベルデュ
Vous ne pouvez pas tenir ce que vous avez perdu.
失ってしまったものを、持つことはできない。

15.4.7 次の二文を関係詞を用いてつなげよ

- ① [主文] Pierre pense au village.
[従属文] Marie est née dans le village.
- ② [主文] Anne parle de la guerre.
[従属文] Son père est mort dans la guerre.
- ③ [主文] C'est la chambre.
[従属文] Jeanne dort dans la chambre.
- ④ [主文] C'est la saison.
[従属文] Il pleut beaucoup pendant la saison.
- ⑤ [主文] Je ne comprends pas cette chose (ce).
[従属文] Une chose (ce) est arrivée.
- ⑥ [主文] Cette chose (ce) est d'attendre.
[従属文] Une chose (ce) est nécessaire.
- ⑦ [主文] Il faut chercher cette chose (ce).
[従属文] Vous voulez faire une chose (ce).
- ⑧ [主文] Vous ne pouvez pas tenir cette chose (ce).
[従属文] Vous avez perdu une chose (ce).

15.4.8 次の文章を訳しなさい

- ① C'est le livre que nous avons trouvé.
- ② C'est la revue que nous avons trouvée.
- ③ Ce sont les livres que nous avons trouvés.
- ④ Ce sont les revues que nous avons trouvées.
- ⑤ C'est le crayon qu'ils ont perdu.
- ⑥ C'est la gomme qu'ils ont perdue.
- ⑦ Ce sont les crayons qu'ils ont perdus.
- ⑧ Ce sont les gommes qu'ils ont perdues.
- ⑨ C'est l'hôtel qu'elle a vendu.
- ⑩ C'est la maison qu'elle a vendue.
- ⑪ Ce sont les hôtels qu'elle a vendus.
- ⑫ Ce sont les maisons qu'elle a vendues.
- ⑬ C'est l'avion que vous avez acheté.
- ⑭ C'est la voiture que vous avez achetée.
- ⑮ Ce sont les avions que vous avez achetés.
- ⑯ Ce sont les voitures que vous avez achetées.
- ⑰ C'est l'arbre que tu as choisi.
- ⑱ C'est la fleur que tu as choisie.
- ⑲ Ce sont les arbres que tu as choisis.
- ⑳ Ce sont les fleurs que tu as choisies.
- ㉑ C'est le garçon que j'ai rencontré.
- ㉒ C'est la fille que j'ai rencontrée.
- ㉓ Ce sont les garçons que j'ai rencontrés.
- ㉔ Ce sont les filles que j'ai rencontrées.

15.4.9 括弧内に正しい過去分詞を入れよ。

- ① C'est le livre que nous avons .
それは私たちが見つけた本だ。
- ② C'est la revue que nous avons .
それは私たちが見つけた雑誌だ。
- ③ Ce sont les livres que nous avons .
それらは私たちが見つけた本だ。
- ④ Ce sont les revues que nous avons .
それらは私たちが見つけた雑誌だ。
- ⑤ C'est le crayon qu'ils ont .
それは彼らがなくした鉛筆だ。
- ⑥ C'est la gomme qu'ils ont .
それは彼らがなくした消しゴムだ。
- ⑦ Ce sont les crayons qu'ils ont .
それらは彼らがなくした鉛筆だ。
- ⑧ Ce sont les gommes qu'ils ont .
それらは彼らがなくした消しゴムだ。
- ⑨ C'est l'hôtel qu'elle a .
それは彼女が売ったホテルだ。
- ⑩ C'est la maison qu'elle a .
それは彼女が売った家だ。
- ⑪ Ce sont les hôtels qu'elle a .
それらは彼女が売ったホテルだ。
- ⑫ Ce sont les maisons qu'elle a .
それらは彼女が売った家だ。
- ⑬ C'est l'avion que vous avez .
それは君たちが買った飛行機だ。
- ⑭ C'est la voiture que vous avez .
それは君たちが買った自動車だ。
- ⑮ Ce sont les avions que vous avez .
それらは君たちが買った飛行機だ。
- ⑯ Ce sont les voitures que vous avez .
それらは君たちが買った自動車だ。
- ⑰ C'est l'arbre que tu as .
それは君が選んだ木だ。
- ⑱ C'est la fleur que tu as .
それは君が選んだ花だ。

⑱ Ce sont les arbres que tu as .
それらは君が選んだ木だ。

⑲ Ce sont les fleurs que tu as .
それらは君が選んだ花だ。

⑳ C'est le garçon que j'ai .
それは私が出会った少年だ。

㉑ C'est la fille que j'ai .
それは私が出会った少女だ。

㉒ Ce sont les garçons que j'ai .
それらは私が出会った少年だ。

㉓ Ce sont les filles que j'ai .
それらは私が出会った少女だ。

第 16 章

直説法半過去・大過去・現在分詞

◆ 本章の目標 ◆

- 直説法半過去・大過去の変化表を覚える
- 直説法半過去・大過去の用法を理解する
- 現在分詞の作り方と基本的な用法を理解する

16.1 CONDUIRE・LIRE

音声：16-1

直説法現在	
コンデュイール	
CONDUIRE (導く・運転する)	
コンデュイゾン conduisant	コンデュイ conduit
ジュ コンデュイ je conduis	ヌ コンデュイゾン nous conduisons
チュ コンデュイ tu conduis	ヴ コンデュイゼ vous conduisez
イル コンデュイ il conduit	イル コンデュイーズ ils conduisent
エル コンデュイ elle conduit	エル コンデュイーズ elles conduisent

音声：16-2

直説法現在	
リール	
LIRE (読む)	
リゾン lisant	リュ lu
ジュ リ je lis	ヌ リゾン nous lisons
チュ リ tu lis	ヴ リゼ vous lisez
イル リ il lit	イル リーズ ils lisent
エル リ elle lit	エル リーズ elles lisent

NB: conduire と lire の過去分詞の作り方が異なることに注意。

音声：16-3

- エル コンデュイ トゥレ ビヤン
- ① Elle **conduit** très bien.
彼女は運転がうまい。
- ヌ リゾン ス リーズ
- ② Nous **lisons** ce livre.
私たちはその本を読んでいる。

16.2 直説法半過去の作り方

◆ 直説法半過去は、ほぼ完全に規則変化する。変化の規則を完璧に習得すること。

16.2.1 変化の規則

語幹

直説法半過去の語幹は、直説法現在の一人称複数形から、語尾-*ons* を取り除いて作る。厳密な意味での例外は、*être* だけである。

chercher	→	nous cherchons	→	cherch-
finir	→	nous finissons	→	finiss-
attendre	→	nous attendons	→	attend-
avoir	→	nous avons	→	av-

[例外] : *être* → *ét-*, *falloir* → *fall-*, *pleuvoir* → *pleuv-*

◆ 直説法現在の一人称複数形がわからない場合は？ — 不定法から不定法語尾 (-*er*, -*ir*, -*re*, -*oir* の四つしかない) を取り除くことでも、正しい結果を得られる可能性がある。ただし、*finir* のようにうまくいかない場合も少なくないので、これはあくまで次善策である。

語尾

	単数	複数	
一人称	-ais	-ions	単数人称形と三人称複数形のアクセントは、-ai の上にある。一人称複数形と二人称複数形は-ions, -iez にアクセントがある。
二人称	-ais	-iez	
三人称	-ait	-aient	

-s, -s, -t, -ons, -ez, -ent は、多くの直説法現在変化に見られる語尾変化である (例 : *partir*, *je pars*, *tu pars*, *il part*, *nous partons*, *vous partez*, *ils partent*)。これらの語尾 (人称語尾) に、-ai-, -i- (テーマ母音) が加わることで、直説法半過去は、直説法現在から区別されるのである (例 : *partir*, *je partais*, *tu partais*, *il partait*, *nous partions*, *vous partiez*, *ils partaient*)。こうした事実は、フランス語の文章の中で、動詞の時制を見分ける際の大きな手がかりとなる。

変化の例

音声：16-4

直説法半過去	
アヴワール AVOIR (持っている)	
ジャヴェ j'avais	ヌザヴィオン nous avions
テュ アヴェ tu avais	ヴザヴィエ vous aviez
イラヴェ il avait	イルザヴェ ils avaient
エラヴェ elle avait	エルザヴェ elles avaient

音声：16-5

直説法半過去	
エートル ÊTRE (いる)	
ジュテ j'étais	ヌゼティオン nous étions
テュ エテ tu étais	ヴゼティエ vous étiez
イレテ il était	イルゼテ ils étaient
エレテ elle était	エルゼテ elles étaient

音声：16-6

直説法半過去	
シェルシェ CHERCHER (探す)	
ジュ シェルシェ je cherchais	ヌ シェルシオン nous cherchions
テュ シェルシェ tu cherchais	ヴ シェルシェ vous cherchiez
イル シェルシェ il cherchait	イル シェルシェ ils cherchaient
エル シェルシェ elle cherchait	エル シェルシェ elles cherchaient

音声：16-7

直説法半過去	
エメ AIMER (愛する)	
ジュメ j'aimais	ヌゼミオン nous aimions
テュ エメ tu aimais	ヴゼミエ vous aimiez
イレメ il aimait	イルゼメ ils aimaient
エレメ elle aimait	エルゼメ elles aimaient

音声：16-8

直説法半過去	
フィニール FINIR (終わる)	
ジュ フィニセ je finissais	ヌ フィニスシオン nous finissions
テュ フィニセ tu finissais	ヴ フィニスシエ vous finissiez
イル フィニセ il finissait	イル フィニセ ils finissaient
エル フィニセ elle finissait	エル フィニセ elles finissaient

音声：16-9

直説法半過去	
アトンドル ATTENDRE (待つ)	
ジャトンド j'attendais	ヌザトンディオン nous attendions
テュ アトンド tu attendais	ヴザトンディエ vous attendiez
イラトンド il attendait	イルザトンド ils attendaient
エラトンド elle attendait	エルザトンド elles attendaient

音声：16-10

直説法半過去	
ファルワール FALLOIR (必要である)	
イル ファレ il fallait	

音声：16-11

直説法半過去	
ブルヅワール PLEUVOIR (雨が降る)	
イル ブルヴェ il pleuvait	

NB: falloir と pleuvoir は非人称動詞なので、三人称単数形しかないことに注意 (181 頁)。

16.3 直説法大過去の作り方

16.3.1 複合時称

直説法現在は、人称にあわせて様々に形を変える。このように、**独自の人称変化形をもつ時称を、単純時称と呼ぶ**。一方、複合過去は avoir と être の直説法現在を助動詞とし、それを過去分詞と組み合わせて作った。複合過去のように、**独自の人称変化をもたず、「助動詞 + 過去分詞」で作ることのできる時称を、複合時称と言う**。

フランス語では、各単純時称には、必ず、対応する複合時称がある。これらの複合時称は同じ発想のもとに発達してきたものであるから、非常に似通った性質をもつ。したがって、全ての複合時称は、以下の事項に関して、直説法複合過去の規則に従う。

1. 助動詞 être と avoir の使い分け (130 頁)
2. 過去分詞の性数一致 (131 頁、131 頁)
3. 語順：否定文・倒置疑問文の作り方；人称代名詞の目的格形の位置 (141 頁)

◆ **忘れることを恐れるな！** — 上のリストを見て、複合過去の規則が思い出せない場合は、必ず、該当ページを読み直し、再度覚えること。忘れても、忘れても、覚え直すことが、語学上達の近道である。

16.3.2 直説法大過去

直説法大過去=avoir, être の直説法半過去 + 過去分詞

音声：16-12

直説法大過去	
PARTIR (出発する)	
ジェテ バルティ j'étais parti(e) テュ エテ バルティ tu étais parti(e) イレテ バルティ il était parti エレテ バルティ elle était partie	ヌゼティオン バルティ nous étions parti(e)s ヴゼティエ バルティ vous étiez parti(e)s イルゼテ バルティ ils étaient partis エルゼテ バルティ elles étaient parties
直説法大過去 (否定)	
ジュ ネテ バ バルティ je n'étais pas parti(e) テュ ネテ バ バルティ tu n'étais pas parti(e) イル ネテ バ バルティ il n'était pas parti エル ネテ バ バルティ elle n'était pas partie	ヌ ネティオン バ バルティ nous n'étions pas parti(e)s ヴ ネティエ バ バルティ vous n'étiez pas parti(e)s イル ネテ バ バルティ ils n'étaient pas partis エル ネテ バ バルティ elles n'étaient pas parties

直説法大過去（倒置）	
エテジュ バるティ étais-je parti(e)	エティオンヌ バるティ étions-nous parti(e)s
エテテュ バるティ étais-tu parti(e)	エティエ ヴ バるティ étiez-vous parti(e)(s)
エテティル バるティ était-il parti	エテティル バるティ étaient-ils partis
エテテル バるティ était-elle partie	エテテル バるティ étaient-elles parties

音声：16-13

直説法大過去	
シエるシエ CHERCHER （探す）	
ジャヴェ シエるシエ j'avais cherché	ヌザヴィオン シエるシエ nous avions cherché
テュ アヴェ シエるシエ tu avais cherché	ヴザヴィエ シエるシエ vous aviez cherché
イラヴェ シエるシエ il avait cherché	イルザヴェ シエるシエ ils avaient cherché
エラヴェ シエるシエ elle avait cherché	エルザヴェ シエるシエ elles avaient cherché

直説法大過去（否定）	
ジュ ナヴェ バ シエるシエ je n'avais pas cherché	ヌ ナヴィオン バ シエるシエ nous n'avions pas cherché
テュ ナヴェ バ シエるシエ tu n'avais pas cherché	ヴ ナヴィエ バ シエるシエ vous n'aviez pas cherché
イル ナヴェ バ シエるシエ il n'avait pas cherché	イル ナヴェ バ シエるシエ ils n'avaient pas cherché
エル ナヴェ バ シエるシエ elle n'avait pas cherché	エル ナヴェ バ シエるシエ elles n'avaient pas cherché

直説法大過去（倒置）	
アヴェジュ シエるシエ avais-je cherché	アヴィオンヌ シエるシエ avions-nous cherché
アヴェテュ シエるシエ avais-tu cherché	アヴィエヴ シエるシエ aviez-vous cherché
アヴェティル シエるシエ avait-il cherché	アヴェティル シエるシエ avaient-ils cherché
アヴェテル シエるシエ avait-elle cherché	アヴェテル シエるシエ avaient-elles cherché

16.4 直説法半過去の用法

16.4.1 基本的用法

直説法半過去は、基本的に、ある行為を未完了の観点から叙述する時称である。行為の完了よりも持続（行為の進行・繰り返し）の部分に強調して語る際に、直説法半過去が用いられる。また、過去の状態を表す場合にも、その状態の持続を強調するために、直説法半過去が用いられる。

過去の状態を表す

過去の一時点に、「～している状態だった」ことを表す。

音声：16-14

- アロル スザビティオン ア パリ
- ③ **Alors nous habitions à Paris.**
当時私たちはパリに住んでいた。
- イリアヴェ ユネグリズ イスイ コン ジェテ ジュース
- ④ **Il y avait une église ici, quand j'étais jeune.**
私が若かった時には、ここに教会があった。

過去に進行中の動作を表す

過去の一時点に、「～している最中だった」ことを表す。

音声：16-15

- ジュ コンデュイゼ コン ジェ アブリ セトウ スヴェール
- ⑤ **Je conduisais quand j'ai appris cette nouvelle.**
そのニュースを知った時、私は運転中だった。
- エル リゼ アン ジュユルナル コンティレ ヴニユ シェゼル
- ⑥ **Elle lisait un journal quand il est venu chez elle.**
彼が彼女の家に来た時、彼女は新聞を読んでいた。

過去に繰り返された動作や習慣を表す

過去に「いつも、～していた」ことや「～する習慣があった」ということを表す。

音声：16-16

- マ メル ム ドゥモンデ スヴォン ラ メム ショーズ
- ⑦ **Ma mère me demandait souvent la même chose.**
母はしばしば同じことを私に尋ねたものだった。
- エル ポルテ トゥージュール ラ メム ローブ
- ⑧ **Elle portait toujours la même robe.**
彼女はいつも同じドレスを着ていたものだった。

16.4.2 複合過去との違い

複合過去には、過去の行為を完了の観点から叙述する時称である。行為の持続ではなく、行為の全体を、一回限りの終わってしまったものとして表現する際に、複合過去が用いられる。

音声：16-17

- Nous avons habité à Paris.**
私たちはパリに住んでいたことがある（今は住んでいない）
- J'ai conduit la voiture.**
私は車を運転した。（すでに運転し終えている）
- Elle a lu un journal.**
彼女は新聞を読んだ。（すでに読み終わっている）
- Ma mère m'a demandé la même chose.**
母が同じことを私に尋ねた。（そういうことが何度もあったかどうかはわからない）

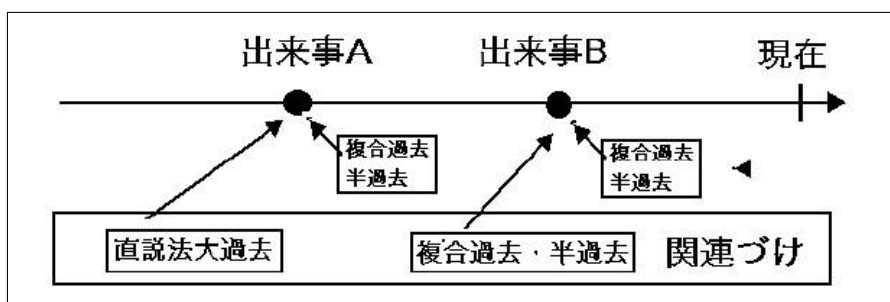
まず、真っ先に知るべきなのは、同じ、過去のことがらを表すのに、二通りの方法があるということである。複合過去と直説法半過去は、ことがらの性質によって使い分けられるのではなく、話し手がそのことがらをどういう観点から表したいかによって使い分けられる。

直感的にわかりやすいのは、半過去はスナップ写真のようなものだと考えることである。写真には、ことがらの始まりや終わりは示されず、途中の一瞬だけがとらえられる（そうしたスナップ写真が日時を変えて何枚もある場合、過去の習慣となる）。*Nous habitons à Paris.* は、たとえば、パリの下宿の前でとった写真のようなものである。下宿を始めた時も、終えた時も、その写真には含まれない。

それに対し、複合過去は、ことがらの始まりや終わりを含めたことがらの経過の全体を一括りにとらえるものである。大事なのは一括りになっていて分解できない状態だということである。なので、映像やスナップ写真の束ではない。むしろ、それを圧縮したもので、個々の場面を取り出すことはできず、一つの塊ととらえるしかないのである。*Nous avons habité à Paris.* は、パリでの生活した時期の全体を表していて、その個々の場面は問題とならないのである。

なお、複合過去と直説法半過去の使い分けは、フランス語を数年学んだ後でも、難しく感じられる。初心者の段階で、漠然としかイメージがないのは仕方のないことである。

16.5 直説法大過去の用法



出来事 A も出来事 B も、過去の出来事なので、それぞれを独立して考えた場合、どちらも、直説法複合過去や直説法半過去で表すことができる。しかし、両者を関連づけて考えた場合、出来事 A は出来事 B よりも、さらに過去の出来事ということになる。このような場合、出来事 A は出来事 B に対して、大過去になり、直説法大過去で表現される。

◆ 大過去は、絶対的に古い事柄を表すのではなく、とある過去の一時点を基準に、それより古い過去を相対的に表すものである。

音声：16-18

- ⑨ コン ピエール エタリヴェ ア ラ ガール ル トゥラン エテ デジャ パルティ
Quand Pierre est arrivé à la gare, le train était déjà parti.

ピエールが駅に到着した時、列車はすでに出てしまっていた。

【出来事 A】 Le train est déjà parti.

【出来事 B】 Pierre est arrivé à la gare.

- ⑩ ピエール ア トゥルヴェ ラ ヴァリス ク マリ アヴェ ベルデュ
Pierre a trouvé la valise que Marie avait perdue.

ピエールはマリがなくなった旅行鞆を見つけた。

【出来事 A】 Marie a perdu la valise.

【出来事 B】 Pierre a trouvé la valise.

NB: perdu に-e がつくのは、先行詞の la valise に性数一致したためである (196 ページを参照)。

- ⑪ マリ アトンデ ピエール エ ポール キ エテ デジャ モー
Marie attendait Pierre et Paul qui étaient déjà morts.

マリはピエールとポールを待っていたが、彼らはすでに亡くなっていた。

【出来事 A】 Pierre et Paul sont morts.

【出来事 B】 Marie attendait Pierre et Paul.

NB: morts に-s がつくのは、主語の qui が表す Pierre et Paul に性数一致したためである。

16.6 現在分詞

16.6.1 作り方

単純形

直説法半過去の語幹に、語尾-ant をつけて作る。例外は、avoir > ayant, savoir > sachant のみ。

音声：16-19

例外: avoir → <u>ayant</u>	例外: savoir → <u>sachant</u>	être → étant
chercher → cherchant	finir → finissant	attendre → attendant

複合形

現在分詞複合形=avoir, être の現在分詞 + 過去分詞

avoir, être の使い分け、過去分詞の性数一致は複合過去の規則に準じる (本章の大過去を参照)。

音声：16-20

chercher → ayant cherché	attendre → ayant attendu
aller → étant allé(e)(s)	

単純形と複合形

単純形が述語動詞と同時か以後のことがらを表すのに対して、複合形は、述語動詞より以前のことがらを表す。

16.6.2 用法

形容詞的：名詞に修飾を加える

形容詞として、名詞に修飾を加える。現在分詞が目的をとらない場合は、純粋な形容詞と同様、性数一致を行う。一方、現在分詞が目的語をとる場合には、動詞的性質が強いので、性数一致を行わない。

音声：16-21

ジェ ゾンコントゥレ ユヌ フィーユ プルゾントゥ

⑫ **J'ai rencontré une fille pleurante.**

私は泣いている娘と出会った。

ジェ ゾンコントゥレ ユヌ フィーユ ショントン ユヌ ションゾン

⑬ **J'ai rencontré une fille chantant une chanson.**

私は歌を歌っている娘と出会った。

副詞的（分詞構文）：接続詞と主語が省略された従属文になる

現在分詞が表す動作の主語は原則として主文の主語と同一人物（同一物）であるが（別 [人] 物になる独立分詞構文も用いられる）、省略されている接続詞は、文脈から判断するほかない。

音声：16-22

エヤン プリ ル プティデジュネ エル ス モンジュ バル ガト

⑭ **Ayant pris le petit-déjeuner, elle ne mange pas le gâteau.**

朝ご飯を食べたので、彼女はそのケーキを食べなかった。

エヤン プリ ル プティデジュネ エル モンジュ ル ガト

⑮ **Ayant pris le petit-déjeuner, elle mange le gâteau !**

朝ご飯を食べたのに、彼女はそのケーキを食べた。

NB: 「朝食をとること」が「ケーキを食べる／食べない」より以前のことなので、現在分詞の複合形が用いられていることに注意。

ジェロンディフ

「en+ 現在分詞」はジェロンディフと呼ばれ、副詞的に用いられる。ただし、ジェロンディフは、常に、主文とほぼ同時の事柄を表す。また、ジェロンディフの主語は必ず主文の主語と同一人物（同一物）である。分詞構文よりも使用頻度が高いので、注意すること。

音声：16-23

マリ るヴィヤン オン プルロン

⑩ Marie revient en pleurant.

マリは泣きながら戻ってくる。

オンナトドン アン モモン ヴ プヴェ アヴワる アン ボン ディネ

⑪ En attendant un moment, vous pouvez avoir un bon dîner.

少し待ったら、おいしい晩ご飯ですよ。

◆まず、分詞の形容詞的用法とジェロンディフをしっかり習得することが重要です。

16.7 新出単語

音声：16-24

① jeune

[形容詞] 若い

④ quand

[接続詞] ~の時に

⑦ toujours

[副詞] いつも

⑩ moment

[名詞・男性] 瞬間

② nouvelle

[名詞・女性] ニュース

⑤ journal

[名詞・男性] 新聞

⑧ petit-déjeuner

[名詞・男性] 朝食

⑪ dîner

[名詞・男性] 夕食

③ chez

[前置詞] ~の家で・に

⑥ souvent

[副詞] しばしば

⑨ gâteau

[名詞・男性] ケーキ

⑫ chanson

[名詞・女性] 歌

16.8 第 16 章練習問題

16.8.1 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

① jeune

④ quand

⑦ toujours

⑩ moment

② nouvelle

⑤ journal

⑧ petit-déjeuner

⑪ dîner

③ chez

⑥ souvent

⑨ gâteau

⑫ chanson

16.8.2 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

① [形容詞] 若い

④ [接続詞] ~の時に

⑦ [副詞] いつも

⑩ [名詞・男性] 瞬間

② [名詞・女性] ニュース

⑤ [名詞・男性] 新聞

⑧ [名詞・男性] 朝食

⑪ [名詞・男性] 夕食

③ [前置詞] ~の家で・に

⑥ [副詞] しばしば

⑨ [名詞・男性] ケーキ

⑫ [名詞・女性] 歌

16.8.3 次の文章の空欄を補え。

- ① Elle très bien.
彼女は運転がうまい。
- ② Nous ce livre.
私たちはその本を読んでいる。
- ③ Alors nous à Paris.
当時私たちはパリに住んでいた。
- ④ Il y une église ici, quand j' jeune.
私が若かった時には、ここに教会があった。
- ⑤ Je quand j'ai appris cette nouvelle.
そのニュースを知った時、私は運転中だった。
- ⑥ Elle un journal quand il est venu chez elle.
彼が彼女の家に来た時、彼女は新聞を読んでいた。
- ⑦ Ma mère me souvent la même chose.
母はしばしば同じことを私に尋ねたものだった。
- ⑧ Elle toujours la même robe.
彼女はいつも同じドレスを着ていたものだった。
- ⑨ Quand Pierre à la gare, le train parti.
ピエールが駅に到着した時、列車はすでに出てしまっていた。
- ⑩ Pierre la valise que Marie .
ピエールはマリがなくした旅行鞆を見つけた。
- ⑪ Marie Pierre et Paul qui déjà .
マリはピエールとポールを待っていたが、彼らはすでに亡くなっていた。
- ⑫ J'ai rencontré une fille .
私は泣いている娘と出会った。
- ⑬ J'ai rencontré une fille une chanson.
私は歌を歌っている娘と出会った。
- ⑭ le petit-déjeuner, elle ne mange pas le gâteau.
朝ご飯を食べたので、彼女はそのケーキを食べなかった。
- ⑮ le petit-déjeuner, elle mange le gâteau !
朝ご飯を食べたのに、彼女はそのケーキを食べた。
- ⑯ Marie revient .
マリは泣きながら戻ってくる。
- ⑰ un moment, vous pouvez avoir un bon dîner.
少し待ったら、おいしい晩ご飯ですよ。

16.8.4 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Elle conduit très bien.
② Nous lisons ce livre.
③ Alors nous habitons à Paris.
④ Il y avait une église ici, quand j'étais jeune.
⑤ Je conduisais quand j'ai appris cette nouvelle.
⑥ Elle lisait un journal quand il est venu chez elle.

- ⑦ Ma mère me demandait souvent la même chose.
- ⑧ Elle portait toujours la même robe.
- ⑨ Quand Pierre est arrivé à la gare, le train était déjà parti.
- ⑩ Pierre a trouvé la valise que Marie avait perdue.
- ⑪ Marie attendait Pierre et Paul qui étaient déjà morts.
- ⑫ J'ai rencontré une fille pleurante.
- ⑬ J'ai rencontré une fille chantant une chanson.
- ⑭ Ayant pris le petit-déjeuner, elle ne mange pas le gâteau.
- ⑮ Ayant pris le petit-déjeuner, elle mange le gâteau !
- ⑯ Marie revient en pleurant.
- ⑰ En attendant un moment, vous pouvez avoir un bon dîner.

16.8.5 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 彼女は運転がうまい。
- ② 私たちはその本を読んでいる。
- ③ 当時私たちはパリに住んでいた。
- ④ 私が若かった時には、ここに教会があった。
- ⑤ そのニュースを知った時、私は運転中だった。
- ⑥ 彼が彼女の家に来た時、彼女は新聞を読んでいた。
- ⑦ 母はしばしば同じことを私に尋ねたものだった。
- ⑧ 彼女はいつも同じドレスを着ていたものだった。
- ⑨ ピエールが駅に到着した時、列車はすでに出てしまっていた。
- ⑩ ピエールはマリがなくなった旅行鞆を見つけた。
- ⑪ マリはピエールとポールを待っていたが、彼らはすでに亡くなっていた。
- ⑫ 私は泣いている娘と出会った。
- ⑬ 私は歌を歌っている娘と出会った。
- ⑭ 朝ご飯を食べたので、彼女はそのケーキを食べなかった。
- ⑮ 朝ご飯を食べたのに、彼女はそのケーキを食べた。
- ⑯ マリは泣きながら戻って来る。
- ⑰ 少し待ったら、おいしい晩ご飯ですよ。

16.8.6 次の動詞の直説法現在の活用を三回ずつ書け

conduire lire

16.8.7 次の動詞の半過去の活用と現在分詞を三回ずつ書け

être avoir chercher

aimer finir attendre

16.8.8 次の動詞の大過去の活用を三回ずつ書け

chercher partir

第 17 章

最上級・比較級・受動態・不定代名詞 ON

◆ 本章の目標 ◆

- 副詞と形容詞の最上級・比較級を学ぶ
- 直接目的語を主語に仕立て直す、受動態を学ぶ
- 主語を明示しないための不定代名詞、ON を学ぶ

17.1 BOIRE・ÉCRIRE

音声：17-1

直説法現在	
ブワーる	
BOIRE (飲む)	
ビュヴォン buvant	ビュ bu
ジュ ブワ je bois	ヌ ビュヴォン nous buvons
テュ ブワ tu bois	ヴ ビュヴェ vous buvez
イル ブワ il boit	イル ブワーヴ ils boivent
エル ブワ elle boit	エル ブワーヴ elles boivent

音声：17-2

直説法現在	
エクリーる	
ÉCRIRE (書く)	
エクリヴォン écrivant	エクリ écrit
ジェクリ j'écris	ヌゼクリヴォン nous écrivons
テュ エクリ tu écris	ヴゼクリヴェ vous écrivez
イレクリ il écrit	イルゼクリーヴ ils écrivent
エレクリ elle écrit	エルゼクリーヴ elles écrivent

NB: 直接目的語をとらずに boire は boire du vin 「酒を飲む」の意味に、écrire は écrire une lettre 「手紙を書く」の意味になる。こうした他動詞の使い方を、他動詞の絶対的用法という。

音声：17-3

- ヌ ビュヴォン デュ ヴァン
- ① Nous buvons du vin.
私たちはワインを飲む。
- イル セクリヴ ラン ア ロートゥる
- ② Ils s'écrivent l'un à l'autre.
彼らは互いに手紙を書き合う。

17.2 比較級 (comparatif)

比較級はある事物と他の事物と比較して、その共通の性質が、どちらにより強く（弱く）現れているかを表現する。比較級をもつのは形容詞と副詞だが、両者の比較級は、微妙に性質が異なる。形容詞は名詞を修飾するため、修飾対象となる名詞の性と数にあわせて、形を変える（性数一致）のに対し、副詞は名詞を修飾しないため、性数一致が生じ得ないのである（性数一致と修飾関係は表裏一体だということに注意すること）。

17.2.1 形容詞の比較級

優等比較	フリユ plus	} 形容詞（性数一致） + que (qu') + 比較対象 {	より多く～だ
同等比較	オスイ aussi		同じくらい～だ
劣等比較	ムワン moins		より少なく～だ

形容詞は比較級になっても、**必ず性数一致**することに注意すること。

音声：17-4

ヌザヴォン プリ ユヌ るートゥ プリュ ラーるジュ

- ③ Nous avons pris une route plus large.

私たちはもっと広い道路を使った。

セトゥ ヴィル エトスイ リシュ カン ペイ

- ④ Cette ville est aussi riche qu'un pays.

この町は一つの国くらいと同じくらい裕福だ。

エル マ モントゥレ ユヌ ヴワテューる ムワン シェーる

- ⑤ Elle m'a montré une voiture moins chère.

彼女はもっと安い自動車を私に見せた。

ラ テる ネ バ オスイ グランドゥ クル ソレーユ

- ⑥ La Terre n'est pas aussi grande que le Soleil.

地球は太陽ほど大きくない。

NB: chère と grande は cher, grand の女性単数形である。riche, large は男性単数形が-e で終わっているために、見た目では男性・女性で区別ができないが、ここではいずれも女性名詞を修飾している女性形である。

なお、形容詞の比較級は、通常（原級）の場合と同様、名詞を直接修飾したり（制限用法：上の③, ⑤）、être を介して、主語名詞を修飾すること（非制限用法：上の④, ⑥）がある（32頁参照）。また、直接名詞を修飾する場合、形容詞により、名詞の前についたり、後についたりするのも、通常の形容詞の場合と同じである（grand は通常名詞の前に、intéressant は通常名詞の後に置かれ

る; 30 頁参照)。

音声：17-5

une grande maison → une plus grande maison
 un livre intéressant → un livre plus intéressant
 de grandes maisons → de plus grandes maisons
 des livres intéressants → des livres plus intéressants

NB: 形容詞が名詞の前に置かれると、不定冠詞の des は de (d') になる。

17.2.2 副詞の比較級

優等比較	plus	} 副詞 (性数一致なし) + que (qu') + 比較対象 {	より多く〜だ
同等比較	aussi		同じくらい〜だ
劣等比較	moins		より少なく〜だ

副詞は名詞を修飾しない、**性数一致は起こらない**ことに注意。

音声：17-6

ピエール マルシュ ブリュ ヴィットゥ ク ポール

⑦ Pierre marche plus vite que Paul.

ピエールはポールより速く歩く。

マリ エタリヴェ オスイ ター ク ピエール

⑧ Marie est arrivée aussi tard que Pierre.

マリはピエールと同じくらい遅くやってきた。

ジャンヌ セ ルヴェ ムワント ク ダビテュードゥ

⑨ Jeanne s'est levée moins tôt que d'habitude.

ジャンヌはいつもより遅く起きた。

NB: vite の-e は性数一致の-e ではないことに注意。vite は tard, tôt と同じく、性数変化をもたない。

17.2.3 que についての注意事項

que は接続詞である

que の後には語句だけが続くことが多いが、実際には、それらの語句は、重複部分を省略した文である。逆から言えば、重複部分以外のものを省略することはできない。

音声：17-7

ピエール マルシュ ブリュ ヴィットゥ ク ポール

Pierre marche plus vite que Paul. [que Paul marche]

ピエールはポールより速く歩く。[ポールが歩くよりも]

ジャンヌ セ ルヴェ ムワン ト ク ダビテュード

Jeanne s'est levée moins tôt **que d'habitude.** [= *qu'elle se lève d'habitude*]

ジャンヌは普段よりも遅く起きる。[普段起きるよりも]

マリ ヴァ オ テアトル プリュ スヴオン ク ビエール ヴァ オ シネマ

Marie va au théâtre plus souvent que Pierre (va) au cinéma.

マリはピエールが映画を見に行くよりも頻繁に観劇に行く (va は省略可能)。

que と人称代名詞強勢形

que の後の重複部分を省略し、人称代名詞（主格形・直接目的格形）のみが残った場合、人称代名詞は強勢形になる。

音声：17-8

テュ アリヴ プリュ ト ク ムワ

Tu arrives plus tôt **que moi.** [= *que j'arrive.*]

私より君が先に着く。

エレドゥ ビエール プリュ スヴオン ク トゥワ

Elle aide Pierre plus souvent **que toi.** [= *qu'elle t'aide / que tu aides Pierre*]

彼女は君よりピエールを頻繁に手助けする。

17.3 最上級

17.3.1 形容詞の最上級

優等	[le, la, les] plus	} 形容詞 (性数一致) + de (d') + グループ {	一番多く〜だ
劣等	[le, la, les] moins		一番少なく〜だ

形容詞の性数一致に加え、定冠詞 (le, la, les) が性数一致することを忘れてはならない。最上級の「de+グループ」と比較級の「que+比較対象」の違いにも注意すること。

音声：17-9

マリ エ ラ プリュ ジョンティユ ドゥ ラ クラス

⑩ Marie est la plus gentille de la classe.

マリはクラスの中で一番親切だ。

ビエール エ ル ムワン ジョンティ ドゥ サ ファミーユ

⑪ Pierre est le moins gentil de sa famille.

ピエールは家族の中で一番不親切だ。

セ ラ ケスティオン ラ プリュ セリウズ ドュ モーンドゥ

⑫ C'est la question la plus sérieuse du monde.

これは世界で最も重大な問題である。

セ ラ パルティ ラ ムワン プロフオンデュ

⑬ C'est la partie la moins profonde.

これが一番浅い部分です。

最上級形容詞も、通常の形容詞と同じく、制限用法 (⑫, ⑬) と非制限用法 (⑩, ⑪) があり、制限用法の場合、名詞の前に置かれる場合と、後ろに置かれる場合がある。後ろに最上級形容詞をつける場合、名詞の前と最上級形容詞の前、両方に定冠詞が必要である (⑫, ⑬)。前につける場合は、定冠詞は一つで良い (C'est le plus grand hôtel de la ville. 「これは町で一番大きなホテルだ」)

17.3.2 副詞の最上級

優等 劣等	le plus le moins	} 副詞 (性数一致なし) + de (d') + グループ {	一番多く〜だ
			一番少なく〜だ

副詞が性数一致せず、定冠詞も常に le のままであることにも注意すること。

音声：17-10

ピエール マルシュ ル ムワン ヴイトゥ ドゥ ラ クラス

⑭ Pierre marche le moins vite de la classe.

ピエールはクラスで一番遅く歩く。

ル プリュ スヴォン ス フワ エ トゥランネル

⑮ Le plus souvent, ce bois est tranquille.

たいていの場合、この森は静かだ。

NB: le plus souvent=「最もしばしば、最も頻繁に」→「多くの場合、たいていの場合」

17.4 特殊な最上級と比較級

次の形容詞と副詞は、特殊な最上級や比較級をもつ。いずれも日常頻繁に用いられるので、初級の段階で覚えてしまう必要がある。

17.4.1 bon (良い)

音声：17-11

原級	優等比較級	優等最上級
ボン bon	メイユル meilleur(e)(s)	メイユル le (la, les) meilleur(e)(s)

劣等比較や劣等最上級には、moins bon, le moins bon を用いる。

セル メイユル オテル

⑯ C'est le meilleur hôtel.

それは一番良いホテルだ。

17.4.2 bien (良く)

音声：17-12

原級	優等比較級	優等最上級
ビヤン bien	ミュ mieux	ミュ le mieux

劣等比較や劣等最上級には、moins bien, le moins bien を用いる。

マリ ショントゥ ル ミュ ドゥ ラ クラス

⑰ Marie chante le mieux de la classe.

マリはクラスで歌が一番うまい (一番うまく歌う)。

17.5 受動態と ON

17.5.1 受動態

通常の文章では、ある動作を行う主体が主語となり、その動作の相手（対象）は目的格補語となる。こういう表現法を能動態という。一方、動作の相手（直接目的格補語になるものに限る）を主語にした文が受動態である。受動態は次のようにして作る。

être+ 直接目的格補語をとる動詞の過去分詞（主語に**性数一致**）（+par/de+ 動作主）

過去分詞が主語に性数一致することを忘れてはならない。動作主を導くには通常 par を用いるが、aimer など、ごく限られた動詞の受動態では、de (d') で動作主を示す。ただし、動作主は明示されないことも多い。

音声：17-13

リヴェル エ スエイヴィ バル ル/デュ プラントン
 ⑱ L'hiver est suivi par le/du printemps.

冬の後には春が来る。

セテコール ア エテ クレエ バラン フランセ
 ⑲ Cette école a été créée par un Français.

この学校はフランス人によって開校された。

ソン ベル エテメ ドゥ トゥ ル モーンドゥ
 ⑳ Son père est aimé de tout le monde.

彼（女）の父親は、皆から愛されている。

NB: 動作主が de で導かれる場合、受動態は動作よりも状態を表している。La montagne est couverte de neige. 「山は雪に覆われている」。迷った場合は、par を使う方が無難である。

17.5.2 不定代名詞の ON

on は漠然と「人々」を表す代名詞で、フランス語では受動態よりも、on を使った構文の方が好まれることが多い。日本語に訳す時には、on を「人々」と訳さず、受動態風に訳す方が文脈にあうことが多い。なお、この on を「私たち」など特定の人物を示すのに用いられる傾向が、最近、特に強まっている。本書ではその事実を示すにとどめる。

音声：17-14

オン バルル フランセ ドン ボク ドゥ ベイ
 ㉑ On parle français dans beaucoup de pays.

フランス語は多くの国で話される。

オン フランス オン パス レ ヴァコンス ア ラ コンバーニュ
 ㉒ En France on passe les vacances à la campagne.

フランスではバカンスは田舎で過ごされる。

17.6 新出単語

音声：17-15

- | | | |
|-------------------------|------------------------------|----------------------------|
| ① route
[名詞・女性] 道 | ② large
[形容詞] 幅の広い | ③ ville
[名詞・女性] 都市・都会 |
| ④ pays
[名詞・男性] 国 | ⑤ cher
[形容詞] 高価な | ⑥ terre
[名詞・女性] 地球 |
| ⑦ soleil
[名詞・男性] 太陽 | ⑧ vite
[副詞] 速く | ⑨ tard
[副詞] 遅れて・遅い時刻に |
| ⑩ tôt
[副詞] 早く・早い時刻に | ⑪ gentil
[形容詞] 親切な | ⑫ classe
[名詞・女性] クラス・授業 |
| ⑬ sérieux
[形容詞] まじめな | ⑭ monde
[名詞・男性] 世界 | ⑮ partie
[名詞・女性] 部分 |
| ⑯ profond
[形容詞] 深い | ⑰ bois
[名詞・男性] 森・木材 | ⑱ printemps
[名詞・男性] 春 |
| ⑲ hiver
[名詞・男性] 冬 | ⑳ vacances
[名詞・女性複数] 長期休暇 | ㉑ écrire
[動詞] 書く・手紙を書く |
| ㉒ boire
[動詞] 飲む | | |

17.7 第 17 章練習問題

17.7.1 次の動詞の直説法現在の活用を三回ずつ書け

écrire boire

17.7.2 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| ① route | ② large | ③ ville |
| ④ pays | ⑤ cher | ⑥ terre |
| ⑦ soleil | ⑧ vite | ⑨ tard |
| ⑩ tôt | ⑪ gentil | ⑫ classe |
| ⑬ sérieux | ⑭ monde | ⑮ partie |
| ⑯ profond | ⑰ bois | ⑱ printemps |
| ⑲ hiver | ⑳ vacances | ㉑ écrire |
| ㉒ boire | | |

17.7.3 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| ① [名詞・女性] 道 | ② [形容詞] 幅の広い | ③ [名詞・女性] 都市・都会 |
| ④ [名詞・男性] 国 | ⑤ [形容詞] 高価な | ⑥ [名詞・女性] 地球 |
| ⑦ [名詞・男性] 太陽 | ⑧ [副詞] 速く | ⑨ [副詞] 遅れて・遅い時刻に |
| ⑩ [副詞] 早く・早い時刻に | ⑪ [形容詞] 親切な | ⑫ [名詞・女性] クラス・授業 |
| ⑬ [形容詞] まじめな | ⑭ [名詞・男性] 世界 | ⑮ [名詞・女性] 部分 |
| ⑯ [形容詞] 深い | ⑰ [名詞・男性] 森・木材 | ⑱ [名詞・男性] 春 |
| ⑲ [名詞・男性] 冬 | ⑳ [名詞・女性複数] 長期休暇 | ㉑ [動詞] 書く・手紙を書く |
| ㉒ [動詞] 飲む | | |

17.7.4 次の文章の空欄を補え。

- ① Nous du vin.
私たちはワインを飲む。
- ② Ils s' l'un à l'autre.
彼らは互いに手紙を書き合う。
- ③ Nous avons pris une route .
私たちはもっと広い道路を使った。
- ④ Cette ville est qu'un pays.
この町は一つの国くらいと同じくらい裕福だ。
- ⑤ Elle m'a montré une voiture .
彼女はもっと安い自動車を私に見せた。
- ⑥ La Terre n'est pas que le Soleil.
地球は太陽ほど大きくない。
- ⑦ Pierre marche que Paul.
ピエールはポールより速く歩く。
- ⑧ Marie est arrivée que Pierre.
マリはピエールと同じくらい遅くやってきた。
- ⑨ Jeanne s'est levée que d'habitude.
ジャンヌはいつもより遅く起きた。
- ⑩ Marie est de la classe.
マリはクラスの中で一番親切だ。
- ⑪ Pierre est de sa famille.
ピエールは家族の中で一番不親切だ。
- ⑫ C'est la question du monde.
これは世界で最も重大な問題である。
- ⑬ C'est la partie .
これが一番浅い部分です。
- ⑭ Pierre marche de la classe.
ピエールはクラスで一番遅く歩く。
- ⑮ ce bois est tranquille.
たいていの場合、この森は静かだ。

- ⑩ C'est le hôtel.
それは一番良いホテルだ。
- ⑪ Marie chante le de la classe.
マリはクラスで歌が一番うまい（一番うまく歌う）。
- ⑫ L'hiver par le/du printemps.
冬の後には春が来る。
- ⑬ Cette école par un Français.
この学校はフランス人によって開校された。
- ⑭ Son père de tout le monde.
彼（女）の父親は、皆から愛されている。
- ⑮ parle français dans beaucoup de pays.
フランス語は多くの国で話される。
- ⑯ En France passe les vacances à la campagne.
フランスではバカンスは田舎で過ごされる。

17.7.5 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Nous buvons du vin.
- ② Ils s'écrivent l'un à l'autre.
- ③ Nous avons pris une route plus large.
- ④ Cette ville est aussi riche qu'un pays.
- ⑤ Elle m'a montré une voiture moins chère.
- ⑥ La Terre n'est pas aussi grande que le Soleil.
- ⑦ Pierre marche plus vite que Paul.
- ⑧ Marie est arrivée aussi tard que Pierre.
- ⑨ Jeanne s'est levée moins tôt que d'habitude.
- ⑩ Marie est la plus gentille de la classe.
- ⑪ Pierre est le moins gentil de sa famille.
- ⑫ C'est la question la plus sérieuse du monde.
- ⑬ C'est la partie la moins profonde.
- ⑭ Pierre marche le moins vite de la classe.
- ⑮ Le plus souvent, ce bois est tranquille.
- ⑯ C'est le meilleur hôtel.
- ⑰ Marie chante le mieux de la classe.
- ⑱ L'hiver est suivi par le/du printemps.
- ⑲ Cette école a été créée par un Français.
- ⑳ Son père est aimé de tout le monde.
- ㉑ On parle français dans beaucoup de pays.
- ㉒ En France on passe les vacances à la campagne.

17.7.6 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私たちはワインを飲む。
- ② 彼らは互いに手紙を書き合う。
- ③ 私たちはもっと広い道路を使った。
- ④ この町は一つの国くらいと同じくらい裕福だ。

- ⑤ 彼女はもっと安い自動車を私に見せた。
- ⑥ 地球は太陽ほど大きくない。
- ⑦ ピエールはポールより速く歩く。
- ⑧ マリはピエールと同じくらい遅くやってきた。
- ⑨ ジャンヌはいつもより遅く起きた。
- ⑩ マリはクラスの中で一番親切だ。
- ⑪ ピエールは家族の中で一番不親切だ。
- ⑫ これは世界で最も重大な問題である。
- ⑬ これが一番浅い部分です。
- ⑭ ピエールはクラスで一番遅く歩く。
- ⑮ たいていの場合、この森は静かだ。
- ⑯ それは一番良いホテルだ。
- ⑰ マリはクラスで歌が一番うまい（一番うまく歌う）。
- ⑱ 冬の後には春が来る。
- ⑲ この学校はフランス人によって開校された。
- ⑳ 彼（女）の父親は、皆から愛されている。
- ㉑ フランス語は多くの国で話される。
- ㉒ フランスではバカンスは田舎で過ごされる。

第 18 章

直説法単純未来と前未来・否定表現

◆ 本章の目標 ◆

- 直説法単純未来・前未来の変化を覚える
- 直説法単純未来・前未来の用法を理解する
- 否定表現のヴァリエーションを知る。

18.1 RIRE・RECEVOIR・VOIR の直説法現在

音声：18-1

直説法現在	
りる	
RIRE (笑う)	
りオン	り
riant	ri
ジュ リ	ヌ リオン
je ris	nous rions
テュ リ	ヴ リエ
tu ris	vous riez
イル リ	イル リ
il rit	ils rient
エル リ	エル リ
elle rit	elles rient

音声：18-2

直説法現在	
るスヴワーる	
RECEVOIR (受け取る)	
るスヴォン	るス
recevant	reçu
ジュ るスワ	ヌ るスヴォン
je reçois	nous recevons
テュ るスワ	ヴ るスヴェ
tu reçois	vous recevez
イル るスワ	イル るスワヴ
il reçoit	ils reçoivent
エル るスワ	エル るスワヴ
elle reçoit	elles reçoivent

音声：18-3

直説法現在	
ヴワーる	
VOIR (見る)	
ヴワイオン	ヴ
voyant	vu
ジュ ヴワ	ヌ ヴワヨン
je vois	nous voyons
テュ ヴワ	ヴ ヴワイエ
tu vois	vous voyez
イル ヴワ	イル ヴワ
il voit	ils voient
エル ヴワ	エル ヴワ
elle voit	elles voient

音声：18-4

- ジュ リ ボク
- ① **J'ai ri** beaucoup.
私は大いに笑った。
- テュ るスワ ユヌ レートゥる
- ② **Tu reçois** une lettre.
君は一通の手紙を受けとる
- イル ヴワ ユヌ モンターニュ
- ③ **Il voit** une montagne.
彼は山を見る。

ヌ ジュオン エ ヴ リエ
④ **Nous jouons et vous riez.**

私たちは遊び、君たちは笑う。

ヴザヴェ るスユ レ パビエ
⑤ **Vous avez reçu les papiers.**

あなたは、その書類を受け取った。

マリ ヴワ ビエる ドン ラ リュ
⑥ **Marie voit Pierre dans la rue.**

マリは街でピエールを見かける。

18.2 単純未来の活用

多くの動詞の単純未来は規則変化だが、よく使われる動詞には、不規則な単純未来形をもつものも多い。しかし、不規則なのは、語幹の作り方だけで、語尾変化は全ての動詞に共通である。

18.2.1 語幹

第一群規則動詞の大部分

第一群規則動詞の大部分は、不定法形がそのまま単純未来の語幹となる。ただし、発音は不定法とは異なる。

シェるシェ chercher	⇒	ジュ シェるシェれ je chercherai	シヨンテ chanter	⇒	ジュシヨントウケれ je chanterai
エメ aimer	⇒	ジェムれ j'aimerai			

第二群規則動詞と-ir で終わる動詞の大部分

第二群規則動詞のすべてを含む、多くの-ir 動詞は、不定法と単純未来の語幹が完全に一致する。ただし、アクセントだけは、語尾に移動する。

フィニール finir	⇒	ジュ フィニれ je finirai	シュワズイール choisir	⇒	ジュ シュワズイれ je choisirai
れユスイール réussir	⇒	ジュ れユスイれ je réussirai			
ドるミール dormir	⇒	ジュ ドるミれ je dormirai	オフリール offrir	⇒	ジョフりれ j'offrirai
ウヴリール ouvrir	⇒	ジュヴりれ j'ouvrirai	バるティール partir	⇒	ジュ バるティれ je partirai
ソんティール sentir	⇒	ジュ ソんティれ je sentirai	せるヴィール servir	⇒	ジュ せるヴィれ je servirai
ソるティール sortir	⇒	ジュ ソるティれ je sortirai			

*二重線より上は第二群規則動詞。

-re 動詞の大部分

-re 動詞の大部分の単純未来形では、不定法の-re から-e を取り除いて語幹を作る。アクセントは語尾に移動する。

アトードゥる attendre ⇒	ジャトンドゥれ j'attendrai	デソードゥる descendre ⇒	ジュ デソンドゥれ je descendrai
オントードゥる entendre ⇒	ジョントンドゥれ j'entendrai	ペーるドゥる perdre ⇒	ジュ ペーるドゥれ je perdrai
ろードゥる rendre ⇒	ジュ ろンドゥれ je rendrai	れポードゥる répondre ⇒	ジュ れポンドゥれ je répondrai
ヴォードゥる vendre ⇒	ジュ ヴォンドゥれ je vendrai	プロードゥる prendre ⇒	ジュ プロンドゥれ je prendrai
アプロードゥる apprendre ⇒	ジャプろンドゥれ j'apprendrai	コンプろードゥる comprendre ⇒	ジュ コンプろンドゥれ je comprendrai
メードゥる mettre ⇒	ジュ メトレ je mettrai	ススイーヴる suivre ⇒	ジュ ススイヴれ je suivrai
コンデュイーる conduire ⇒	ジュ コンデュイれ je conduirai	リーる lire ⇒	ジュ リれ je lirai
プワーる boire ⇒	ジュ プワれ je boirai	エクリーる écrire ⇒	ジュ コネトゥれ j'écrirai
リーる rire ⇒	ジュ リれ je rirai	コネートゥる connaître ⇒	ジュ コネトゥれ je connaîtrai
パレートゥる paraître ⇒	ジュ パレトゥれ je paraîtra	プレーる plaître ⇒	ジュ プレれ je plairai
クワる croire ⇒	ジュ クワれ je croirai	ディーる dire ⇒	ジュ ディれ je dirai

◆ 以上の規則は完全に覚えること。以下では、avoir と être を優先的かつ完全に覚えること。これが初級段階の必要最小限の知識です。

不規則動詞

アヴワーる avoir ⇒	ジョれ j'aurai	エートゥる être ⇒	ジュ スれ je serai
アレ aller ⇒	ジれ j'irai	ヴニーる venir ⇒	ジュ ヴィヤンドゥれ je viendrai
ドゥヴニーる devenir ⇒	ジュ ドゥヴィヤンドゥれ je deviendrai	るヴニーる revenir ⇒	ジュ るヴィヤンドゥれ je reviendrai
トゥニーる tenir ⇒	ジュ ティヤンドゥれ je tiendrai	フェーる faire ⇒	ジュ フれ je ferai
ドゥヴワーる devoir ⇒	ジュ ドゥヴれ je devrai	プヴワーる pouvoir ⇒	ジュ プれ je pourrai
サヴワーる savoir ⇒	ジュ ソれ je saurai	ヴルワーる vouloir ⇒	ジュ ヴドれ je voudrai
るスヴワーる recevoir ⇒	ジュ るスヴれ je recevrai	ヴワーる voir ⇒	ジュ ヴェれ je verrai

イル フォドラ falloir ⇒ il faudra、イル プルヴら pleuvoir ⇒ il pleuvra

この二つは、非人称動詞で三人称単数形しかないので別扱いとした。

参考：不規則な未来形をもつ-er 動詞

アシュテ acheter ⇒	ジャシュトゥれ j'achèterai	アプレ appeler ⇒	ジャペルれ j'appellerai
オンヴワイエ envoyer ⇒	ジョンヴえれ j'enverrai		

acheter, appeler の未来形は、脱落性母音の/a/が連続するのを防ぐために (acheterai だと [aʃətəre] という発音になる) 例外的な扱いを受ける。envoyer の不規則な扱いは不規則動詞 voir の未来形の影響によるもの。

18.2.2 語尾変化

	単数	複数	
一人称	-ai	-ons	単純未来形の語尾変化は、全動詞に共通で、例外は一切ない。一人称複数と二人称複数の語尾以外は、avoir の活用と全く同じである。また、アクセントは常に語尾にある
二人称	-as	-ez	
三人称	-a	-ont	

18.2.3 単純未来活用例

規則変化するもの

音声：18-5

直説法単純未来	
シェるシェ CHERCHER (探す)	
ジュ シェるシュれ je chercherai	ヌ シェるシュろん nous chercherons
テュ シェるシュら tu chercheras	ヴ シェるシュれ vous chercherez
イル シェるシュら il cherchera	イル シェるシュろん ils chercheront
エル シェるシュら elle cherchera	エル シェるシュろん elles chercheront

音声：18-6

直説法単純未来	
ジョンテ CHANTER (歌う)	
ジュ ショントゥれ je chanterai	ヌ ショントろん nous chanterons
テュ ショントら tu chanteras	ヴ ショントゥれ vous chanterez
イル ショントら il chantera	イル ショントろん ils chanteront
エル ショントら elle chantera	エル ショントろん elles chanteront

音声：18-7

直説法単純未来	
エマ AIMER (愛する)	
ジュ ズムれ j'aimerai	ヌ ズムろん nous aimerons
テュ エムら tu aimeras	ヴ ズムれ vous aimerez
イル ズムら il aimera	イル ズムろん ils aimeront
エル ズムら elle aimera	エル ズムろん elles aimeront

音声：18-8

直説法単純未来	
フィニール FINIR (終える)	
ジュ フィニれ je finirai	ヌ フィニろん nous finirons
テュ フィニら tu finiras	ヴ フィニれ vous finirez
イル フィニら il finira	イル フィニろん ils finiront
エル フィニら elle finira	エル フィニろん elles finiront

音声：18-9

直説法単純未来	
パるティール PARTIR (出発する)	
ジュ パるティれ je partirai	ヌ パるティろん nous partirons
テュ パるティら tu partiras	ヴ パるティれ vous partirez
イル パるティら il partira	イル パるティろん ils partiront
エル パるティら elle partira	エル パるティろん elles partiront

音声：18-10

直説法単純未来	
アトンドる ATTENDRE (待つ)	
ジャトンドゥれ j'attendrai	ヌザトンドろん nous attendrons
テュ アトンドゥら tu attendras	ヴザトンドれ vous attendrez
イラトンドゥら il attendra	イルザトンドゥろん ils attendront
エラトンドゥら elle attendra	エルザトンドゥろん elles attendront

不規則変化するもの

音声：18-11

直説法単純未来	
アヴワーる	
AVOIR (持っている)	
ジョレ	ヌゾロン
j'aurai	nous aurons
チュ オラ	ヴゾレ
tu auras	vous aurez
イロラ	イルゾロン
il aura	ils auront
エロラ	エルゾロン
elle aura	elles auront

音声：18-13

直説法単純未来	
アレ	
ALLER (行く)	
ジレ	ヌズイロン
j'irai	nous irons
チュ イラ	ヴズイレ
tu iras	vous irez
イリラ	イルズイロン
il ira	ils iront
エリラ	エルズイロン
elle ira	elles iront

音声：18-15

直説法単純未来	
ドゥヴニール	
DEVENIR (なる)	
ジュ ドゥヴィヤンドゥレ	ヌ ドゥヴィヤンドゥロン
je deviendrai	nous deviendrons
チュ ドゥヴィヤンドゥラ	ヴ ドゥヴィヤンドゥレ
tu deviendras	vous deviendrez
イル ドゥヴィヤンドゥラ	イル ドゥヴィヤンドゥロン
il deviendra	ils deviendront
エル ドゥヴィヤンドゥラ	エル ドゥヴィヤンドゥロン
elle deviendra	elles deviendront

音声：18-17

直説法単純未来	
トゥニール	
TENIR (手に持っている)	
ジュ ティヤンドゥレ	ヌ ティヤンドゥロン
je tiendrai	nous tiendrons
チュ ティヤンドゥラ	ヴ ティヤンドゥレ
tu tiendras	vous tiendrez
イル ティヤンドゥラ	イル ティヤンドゥロン
il tiendra	ils tiendront
エル ティヤンドゥラ	エル ティヤンドゥロン
elle tiendra	elles tiendront

音声：18-12

直説法単純未来	
エートル	
ÊTRE (いる)	
ジュ スレ	ヌ スロン
je serai	nous serons
チュ スラ	ヴ スレ
tu seras	vous serez
イル スラ	イル スロン
il sera	ils seront
エル スラ	エル スロン
elle sera	elles seront

音声：18-14

直説法単純未来	
ヴニール	
VENIR (来る)	
ジュ ヴィヤンドゥレ	ヌ ヴィヤンドゥロン
je viendrai	nous viendrons
チュ ヴィヤンドゥラ	ヴ ヴィヤンドゥレ
tu viendras	vous viendrez
イル ヴィヤンドゥラ	イル ヴィヤンドゥロン
il viendra	ils viendront
エル ヴィヤンドゥラ	エル ヴィヤンドゥロン
elle viendra	elles viendront

音声：18-16

直説法単純未来	
ルヴニール	
REVENIR (戻ってくる)	
ジュ ルヴィヤンドゥレ	ヌ ルヴィヤンドゥロン
je reviendrai	nous reviendrons
チュ ルヴィヤンドゥラ	ヴ ルヴィヤンドゥレ
tu reviendras	vous reviendrez
イル ルヴィヤンドゥラ	イル ルヴィヤンドゥロン
il reviendra	ils reviendront
エル ルヴィヤンドゥラ	エル ルヴィヤンドゥロン
elle reviendra	elles reviendront

音声：18-18

直説法単純未来	
フェール	
FAIRE (する、作る)	
ジュ フレ	ヌ フロン
je ferai	nous ferons
チュ フラ	ヴ フレ
tu feras	vous ferez
イル フラ	イル フロン
il fera	ils feront
エル フラ	エル フロン
elle fera	elles feront

音声：18-19

直説法単純未来	
ドゥヴワーる	
DEVOIR (しなければならない)	
ジュ ドゥヴれ	ヌ ドゥヴろん
je devrai	nous devrons
テュ ドゥヴら	ヴ ドゥヴれ
tu devras	vous devrez
イル ドゥヴら	イル ドゥヴろん
il devra	ils devront
エル ドゥヴら	エル ドゥヴろん
elle devra	elles devront

音声：18-20

直説法単純未来	
プヴワーる	
POUVOIR (可能である)	
ジュ プれ	ヌ プろん
je pourrai	nous pourrons
テュ プら	ヴ プれ
tu pourras	vous pourrez
イル プら	イル プろん
il pourra	ils pourront
エル プら	エル プろん
elle pourra	elles pourront

音声：18-21

直説法単純未来	
サヴワーる	
SAVOIR (できる、知っている)	
ジュ ソれ	ヌ ソろん
je saurai	nous saurons
テュ ソら	ヴ ソれ
tu sauras	vous saurez
イル ソら	イル ソろん
il saura	ils sauront
エル ソら	エル ソろん
elle saura	elles sauront

音声：18-22

直説法単純未来	
ヴルワーる	
VOULOIR (欲する)	
ジュ ヴドれ	ヌ ヴドろん
je voudrai	nous voudrons
テュ ヴドラ	ヴ ヴドれ
tu voudras	vous voudrez
イル ヴドラ	イル ヴドろん
il voudra	ils voudront
エル ヴドラ	エル ヴドろん
elle voudra	elles voudront

音声：18-23

直説法単純未来	
るスヴワーる	
RECEVOIR (受け取る)	
ジュ るスヴれ	ヌ るスヴろん
je recevrai	nous recevrons
テュ るスヴら	ヴ るスヴれ
tu recevras	vous recevrez
イル るスヴら	イル るスヴろん
il recevra	ils recevront
エル るスヴら	エル るスヴろん
elle recevra	elles recevront

音声：18-24

直説法単純未来	
ヴワール	
VOIR (見る)	
ジュ ヴェれ	ヌ ヴェろん
je verrai	nous verrons
テュ ヴェら	ヴ ヴェれ
tu verras	vous verrez
イル ヴェら	イル ヴェろん
il verra	ils verront
エル ヴェら	エル ヴェろん
elle verra	elles verront

18.2.4 前未来の活用

助動詞 (avoir, être) の直説法単純未来 + 過去分詞

下記は複合過去の規則に従う。

1. 助動詞 être と avoir の使い分け (130 頁)
2. 過去分詞の性数一致 (131 頁、131 頁)
3. 語順：否定文・倒置疑問文の作り方；人称代名詞の目的格形的位置 (141 頁)

◆ 忘れることを恐れるな！ — 上のリストを見て、複合過去の規則が思い出せない場合は、必ず、該当ページを読み直し、再度覚えること。忘れても、忘れても、覚え直すことが、語学上達の近道である。

音声：18-25

直説法前未来	
PARTIR (出発する)	
ジュ スレ バるティ je serai parti(e)	ヌ スロン バるティ nous serons parti(e)s
テュ スラ バるティ tu seras parti(e)	ヴ スレ バるティ vous serez parti(e)(s)
イル スラ バるティ il sera parti	イル スロン バるティ ils seront partis
エル スラ バるティ elle sera partie	エル スロン バるティ elles seront parties

音声：18-26

直説法前未来 (否定)	
ジュ ヌ スレ バ バるティ je ne serai pas parti(e)	ヌ ヌ スロン バ バるティ nous ne serons pas parti(e)s
テュ ヌ スラ バ バるティ tu ne seras pas parti(e)	ヴ ヌ スレ バ バるティ vous ne serez pas parti(e)(s)
イル ヌ スラ バ バるティ il ne sera pas parti	イル ヌ スロン バ バるティ ils ne seront pas partis
エル ヌ スラ バ バるティ elle ne sera pas partie	エル ヌ スロン バ バるティ elles ne seront pas parties

音声：18-27

直説法前未来 (倒置)	
スレ ジュ バるティ serai-je parti(e)	スロン ヌ バるティ serons-nous parti(e)s
スラ テュ バるティ seras-tu parti(e)	スレ ヴ バるティ serez-vous parti(e)(s)
スラティル バるティ sera-t-il parti	スロンティル バるティ seront-ils partis
スラテル バるティ sera-t-elle partie	スロンテル バるティ seront-elles parties

音声：18-28

直説法前未来	
CHERCHER (探す)	
ジョレ シェるシェ j'aurai cherché	ヌゾロン シェるシェ nous aurons cherché
テュ オラ シェるシェ tu auras cherché	ヴゾレ シェるシェ vous aurez cherché
イロラ シェるシェ il aura cherché	イルゾロン シェるシェ ils auront cherché
エロラ シェるシェ elle aura cherché	エルゾロン シェるシェ elles auront cherché

音声：18-29

直説法前未来 (否定)	
ジュ ノレ バ シェるシェ je n'aurai pas cherché	ヌ ノロン バ シェるシェ nous n'aurons pas cherché
テュ ノラ バ シェるシェ tu n'auras pas cherché	ヴ ノレ バ シェるシェ vous n'aurez pas cherché
イル ノラ バ シェるシェ il n'aura pas cherché	イル ノロン バ シェるシェ ils n'auront pas cherché
エル ノラ バ シェるシェ elle n'aura pas cherché	エル ノロン バ シェるシェ elles n'auront pas cherché

音声：18-30

直説法前未来（倒置）	
オレジュ シェるシェ aurai-je cherché	オロンヌ シェるシェ aurons-nous cherché
オラテュ シェるシェ auras-tu cherché	オレ ヴ シェるシェ aurez-vous cherché
オラティル シェるシェ aura-t-il cherché	オロンティル シェるシェ auront-ils cherché
オラテル シェるシェ aura-t-elle cherché	オロンテル シェるシェ auront-elles cherché

18.2.5 直説法単純未来の用法

直説法単純未来は基本的に、未来の出来事や状態を表す。つまり、表現されるのは、いまだ実現していない事柄である。したがって、直説法単純未来は、基本的に、推量（～だろう）や話し手の意志（～するつもりだ）を表していることになる。そこから、次の二つの用法が生じる。すなわち、第一に、直説法単純未来が現在の出来事を示している場合には、表現されているのは事実ではなく、話し手の推測や意志である。第二に、二人称の場合、時に、話し手の意志が前面に出て、「あなたが～するのが私の意志だ」⇒「～しろ」という命令の意味になる。

未来の出来事（話し手の推測）・主語の意志を表す

音声：18-31

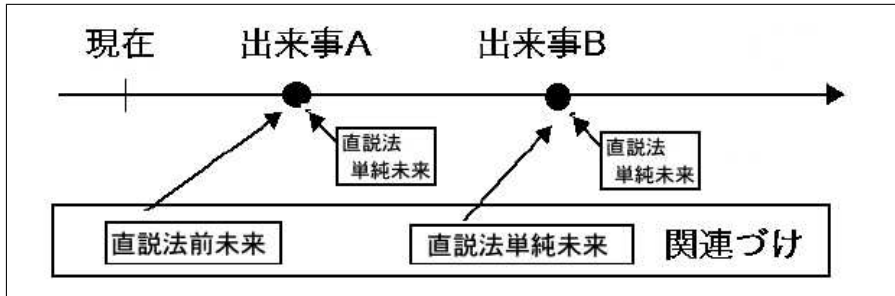
- ロトヌ フルシャン マリ スラ エテュディオントゥ
- ⑦ L'automne prochain, Marie **sera** étudiante.
今度の秋でマリは学生になる
- セテテ ヌ バスロン ノ ヴァコンヌ オ ボーる ドゥ ラ メーる
- ⑧ Cet été nous **passerons** nos vacances au bord de la mer.
今年の夏、私たちは海辺でバカンスを過ごすつもりだ。
- ジュ ヌ るがるドゥレ ジャメ ラ テレヴィズィオン
- ⑨ Je ne **regarderai** jamais la télévision.
テレビは絶対見ないぞ

二人称形で命令を表す（話し手の意志）

音声：18-32

- テュ スラ トゥランキール
- ⑩ Tu **seras** tranquille.
静かにしなさい

18.2.6 前未来の用法



出来事 A も出来事 B も、未来の出来事なので、それぞれを独立させて考えた場合、どちらも、単純未来で表すことができる。しかし、両者を関連づけて考えた場合には、出来事 A は出来事 B よりも前に起こった出来事なので、二つの出来事の間には、時間的な前後関係が生じることになる。このような場合に、出来事 A を出来事 B に対する前未来である、とすることができる。直説法前未来は、このように、ある出来事に対し、それより前に起こった事柄を表現するために用いる。

音声：18-33

コン ピエール アリヴラ ア ラ ガーる ル トゥラン スラ デジャ パルティ

⑪ Quand Pierre **arrivera** à la gare, le train **sera déjà parti**.

ピエールが駅に着いた時には、列車はもう出てしまっているだろう。

【出来事 A】 Le train partira.

【出来事 B】 Pierre arrivera à la gare.

音声：18-34

ジュ ヴ ドヌレ ル リーヴる ク マリ モラ ドネ

⑫ Je vous **donnerai** le livre que Marie m'**aura donné**.

マリがくれる本をあなたにあげよう。

【出来事 A】 Marie me donnera le livre.

【出来事 B】 Je vous donnerai le livre.

音声：18-35

アヴォン ル ディネ ジョレ フィニ ス トゥラヴァーユ

⑬ Avant le dîner, j'**aurai fini** ce travail.

晩ご飯までには、この仕事を終えてるよ。

【出来事 A】 Je finirai ce travail.

【出来事 B】 Le dîner.

18.3 否定表現

18.3.1 jamais

副詞、**jamais は否定の pas のかわり**に用いられ、ne (n') + 動詞 + jamais で、「決して～ない。一度も～ない。」と言った場合に、未来もしくは過去のある事柄が決して実現しないことを意味する。

音声：18-36

ジュ ネ ジャメ エテ オン フランス
 ⑭ Je n'ai **jamais** été en France.
 フランスに一度も行ったことがない。

ジュ ス ブワレ ジャメ ドゥ ヴァン
 ⑮ Je ne boirai **jamais** de vin.
 ワインを決して飲まないぞ。

18.3.2 plus

副詞、**plus は否定の pas のかわり**に用いられ、ne (n') + 動詞 + plus で、「もう～ない・もはや～ない。」と言った場合に、ある事柄が、ある時点で事実でなくなってしまうことを意味する。

音声：18-37

エル ネ ブリュ エテュディオントク
 ⑯ Elle n'est **plus** étudiante.
 彼女はもはや学生ではない。

ジュ ス ブワレ ブリュ ドゥ ヴァン
 ⑰ Je ne boirai **plus** de vin.
 もうワインは飲まないぞ。

18.3.3 que (qu')

接続詞、que (qu') は、否定文中で用いられて、「～しか」を意味する。que は～に相当する語句の直前に置かれる。この際、否定文の pas は省略されるが、**que が pas のかわりに用いられているわけではない**ということに注意しなければならない。

音声：18-38

ジュ ス フィニレ ス トゥラヴァーユ カ ドゥズー
 ⑱ Je ne finirai ce travail **qu'**à 2 heures.
 二時にしか、この仕事は終わられないよ。

18.3.4 rien, personne

不定代名詞 rien, personne は、否定文中で用いられて、「何も (～ない)」、「誰も (～ない)」を意味する。この際、否定文の pas は省略されるが、**rien や personne は、決して、pas の代用と**

なっているわけではない。rien, personne は名詞の一種なので、動詞の主語や目的語、前置詞の目的語となり、それにあわせて、動詞の前後、前置詞の後ろなどに置かれる。

音声：18-39

ペルソヌ ス ヴィヤンドラ イスイ

⑱ **Personne ne viendra ici.**

誰もここには来ないだろう。

エル ス ヴワ リヤン

⑳ **Elle ne voit rien.**

彼女は何も見ない（何も目に入らない）。

18.4 新出単語

音声：18-40

モンターニュ

① **montagne**

[名詞・女性] 山

オートス

④ **automne**

[名詞・男性] 秋

オ ボーレ ドゥ

⑦ **au bord de**

[熟語] ～のほとりで・のそばに

トランキル

⑩ **tranquille**

[形容詞] 静かな

ヴワール

⑬ **voir**

[動詞] 見る

パピエ

② **papier**

[名詞・男性] 紙・書類

プロシャン

⑤ **prochain**

[形容詞] 次の

メー

⑧ **mer**

[名詞・女性] 海

リール

⑪ **rire**

[動詞] 笑う

リュ

③ **rue**

[名詞・女性] 通り・街

エテ

⑥ **été**

[名詞・男性] 夏

マントゥノン

⑨ **maintenant**

[副詞] 今・現在

ルスヴワール

⑫ **recevoir**

[動詞] 受け取る

NB: papier は「書類」の意味の時は可算名詞で、通常複数形で用いるが、「紙」の意味の時には不可算名詞である。

18.5 第 18 章練習問題

18.5.1 次の動詞の直説法現在の活用を三回ずつ書け

RIRE RECEVOIR VOIR

18.5.2 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

① montagne

④ automne

⑦ au bord de

⑩ tranquille

② papier

⑤ prochain

⑧ mer

⑪ rire

③ rue

⑥ été

⑨ maintenant

⑫ recevoir

⑬ voir

18.5.3 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- | | | |
|--------------------|----------------|----------------|
| ① [名詞・女性] 山 | ② [名詞・男性] 紙・書類 | ③ [名詞・女性] 通り・街 |
| ④ [名詞・男性] 秋 | ⑤ [形容詞] 次の | ⑥ [名詞・男性] 夏 |
| ⑦ [熟語] ~のほとりで・のそばに | ⑧ [名詞・女性] 海 | ⑨ [副詞] 今・現在 |
| ⑩ [形容詞] 静かな | ⑪ [動詞] 笑う | ⑫ [動詞] 受け取る |
| ⑬ [動詞] 見る | | |

18.5.4 次の文章の空欄を補え。

- ① J' beaucoup.
私は大いに笑った。
- ② Tu une lettre.
君は一通の手紙を受けとる
- ③ Il une montagne.
彼は山を見る。
- ④ Nous jouons et vous .
私たちは遊び、君たちは笑う。
- ⑤ Vous les papiers.
あなたは、その書類を受け取った。
- ⑥ Marie Pierre dans la rue.
マリは街でピエールを見かける。
- ⑦ L'automne prochain, Marie étudiante.
今年度の秋でマリは学生になる
- ⑧ Cet été nous nos vacances au bord de la mer.
今年の夏、私たちは海辺でバカンスを過ごすつもりだ。
- ⑨ Je ne jamais la télévision.
テレビは絶対見ないぞ
- ⑩ Tu tranquille.
静かにしなさい
- ⑪ Quand Pierre à la gare, le train .
ピエールが駅に着いた時には、列車はもう出てしまっているだろう。
- ⑫ Je vous le livre que Marie m' .
マリがくれる本をあなたにあげよう。
- ⑬ Avant le dîner, j' ce travail.
晩ご飯までには、この仕事を終えるよ。
- ⑭ Je n'ai été en France.
フランスに一度も行ったことがない。
- ⑮ Je ne boirai de vin.
ワインを決して飲まないぞ。
- ⑯ Elle n'est étudiante.
彼女はもはや学生ではない。

- ⑰ Je ne boirai de vin.
もうワインは飲まないぞ。
- ⑱ Je ne finirai ce travail à 2 heures.
二時にしか、この仕事は終わられないよ。
- ⑲ ne viendra ici.
誰もここには来ないだろう。
- ⑳ Elle ne voit .
彼女は何も見ない（何も目に入らない）。

18.5.5 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① J'ai ri beaucoup.
- ② Tu reçois une lettre.
- ③ Il voit une montagne.
- ④ Nous jouons et vous riez.
- ⑤ Vous avez reçu les papiers.
- ⑥ Marie voit Pierre dans la rue.
- ⑦ L'automne prochain, Marie sera étudiante.
- ⑧ Cet été nous passerons nos vacances au bord de la mer.
- ⑨ Je ne regarderai jamais la télévision.
- ⑩ Tu seras tranquille.
- ⑪ Quand Pierre arrivera à la gare, le train sera déjà parti.
- ⑫ Je vous donnerai le livre que Marie m'aura donné.
- ⑬ Avant le dîner, j'aurai fini ce travail.
- ⑭ Je n'ai jamais été en France.
- ⑮ Je ne boirai jamais de vin.
- ⑯ Elle n'est plus étudiante.
- ⑰ Je ne boirai plus de vin.
- ⑱ Je ne finirai ce travail qu'à 2 heures.
- ⑲ Personne ne viendra ici.
- ⑳ Elle ne voit rien.

18.5.6 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私は大いに笑った。
- ② 君は一通の手紙を受けとる
- ③ 彼は山を見る。
- ④ 私たちは遊び、君たちは笑う。
- ⑤ あなたは、その書類を受け取った。
- ⑥ マリは街でピエールを見かける。
- ⑦ 今度の秋でマリは学生になる
- ⑧ 今年の夏、私たちは海辺でバカンスを過ごすつもりだ。
- ⑨ テレビは絶対見ないぞ
- ⑩ 静かにしなさい
- ⑪ ピエールが駅に着いた時には、列車はもう出てしまっているだろう。
- ⑫ マリがくれる本をあなたにあげよう。

- ⑬ 晩ご飯までには、この仕事を終えてるよ。
- ⑭ フランスに一度も行ったことがない。
- ⑮ ワインを決して飲まないぞ。
- ⑯ 彼女はもはや学生ではない。
- ⑰ もうワインは飲まないぞ。
- ⑱ 二時にしか、この仕事は終えられないよ。
- ⑲ 誰もここには来ないだろう。
- ⑳ 彼女は何も見ない（何も目に入らない）。

18.5.7 次の動詞の直説法単純未来の活用を三回ずつ書け（avoir, être 以外は規則変化）

chercher chanter aimer finir réussir partir
attendre vendre rendre **avoir être**

18.5.8 次の動詞の直説法前未来の活用を三回ずつ書け

助動詞 avoir	助動詞 être
chercher manger	partir venir

第 19 章

疑問詞 (1) ・ 命令法

◆ 本章の目標 ◆

- 疑問詞を含む疑問文の一般的な規則を学ぶ
- 疑問詞のヴァリエーションを覚える
- 命令法について最小限の知識を得る

19.1 CONNAÎTRE ・ PARAÎTRE ・ PLAIRE の直説法現在

音声：19-1

直説法現在	
コネートゥル	
CONNAÎTRE (知っている)	
コネゾン connaissant	コニュ connu
ジュ コネ je connais	ヌ コネゾン nous connaissons
テュ コネ tu connais	ヴ コネセ vous connaissez
イル コネ il connaît	イル コネース ils connaissent
エル コネ elle connaît	エル コネース elles connaissent

音声：19-2

直説法現在	
パレートゥル	
PARAÎTRE (～のように見える)	
パレゾン paraissant	バリユ paru
ジュ バレ je parais	ヌ バレゾン nous paraissions
テュ バレ tu parais	ヴ バレセ vous paraissez
イル バレ il paraît	イル バレース ils paraissent
エル バレ elle paraît	エル バレース elles paraissent

音声：19-3

直説法現在	
プレール	
PLAIRE (気に入る)	
プレゾン plaisant	プリユ plu
ジュ プレ je plais	ヌ プレゾン nous plaisons
テュ プレ tu plais	ヴ プレゼ vous plaisez
イル プレ il plaît	イル プレーズ ils plaisent
エル プレ elle plaît	エル プレーズ elles plaisent

connaître と paraître は、同じタイプの変化をする。どの動詞についても、î は-tの前でのみ現

れる（[^]をつけなくても間違いではない）。

音声：19-4

ジュ コネ ビヤン レ パロン ドゥ マリ
① Je **connais** bien les parents de Marie.

私はマリの両親のことをよく知っている。

デュ バレ マラードゥ
② Tu **parais** malade.

君は病気のように見える。

アポルテ ムワ デュ ヴァン スィル ヴ プレ
③ **Apportez-moi** du vin, s'il vous **plaît**.

私にワインを持ってきて下さい。お願いします。

paraître は être や devenir と同様、属詞をしたがえる動詞である（45 ページを参照）。plaire は、人や物（主語）が、誰か（間接目的格）の気に入るという意味なので注意が必要である。Marie plaît à Jeanne. 「マリはジャンヌの気に入る」は、Jeanne aime Marie. と同じ関係になる。

19.2 命令法

命令法は文字通り、命令を表すための、動詞形態である。命令法は相手を不快にさせることも多いので、使用の際には、十分に注意しなければならない。

19.2.1 活用

ほとんどの動詞では、命令法は直説法現在の二人称単数形・一人称複数形・二人称複数形と同じ形である。ただし、-er 動詞と ouvrir 型動詞の二人称単数形には、-s をつけない（初級の段階で気にしすぎる必要はない）。

CHERCHER (探す)	
直説法現在	命令法
tu cherches	cherche 探せ
nous cherchons	cherchons 探そう
vous cherchez	cherchez 探しなさい

ALLER (行く)	
直説法現在	命令法
tu vas	va 行け
nous allons	allons 行こう
vous allez	allez 行きなさい

OUVRIR (開く)	
直説法現在	命令法
tu ouvres	ouvre 開け
nous ouvrons	ouvrons 開こう
vous ouvrez	ouvrez 開きなさい

FINIR (終える)	
直説法現在	命令法
tu finis	finis 終えろ
nous finissons	finissons 終えよう
vous finissez	finissez 終えなさい

ATTENDRE (待つ)	
直説法現在	命令法
tu attends	attends 待て
nous attendons	attendons 待とう
vous attendez	attendez 待ちなさい

例外的な活用

命令法	
アヴワール AVOIR (持っている)	
エ aie	エヨン ayons エイエ ayez

命令法	
エートル ÊTRE (いる)	
スワ sois	スワヨン soyons スワイエ soyez

命令法	
ヴルワール VOULOIR (欲する)	
ヴ (ヴューユ) veux (veille)	ヴロン (ヴゥヨン) voulons (veuilions) ヴレ (ヴワイエ) voulez (veuillez)

命令法	
サヴワール SAVOIR (できる、知っている)	
サーシュ sache	サション sachons サシエ sachez

◆ 命令法の変化表を覚える前に、命令法は直説法現在形とほぼ同じ変化形を主語なしで用いることを覚える。次に覚えるべきは、être と avoir の変化形である。

19.2.2 命令法の用例

音声：19-5

- エ デュ クラージュ
④ **Aie** du courage!
勇気をもて。
- スワヨン トゥランキール
⑤ **Soyons** tranquilles.
静かにしよう。
- アポルテ ムワ ドゥ ロ
⑥ **Apportez-moi** de l'eau.
私に水を持ってきて下さい。

19.2.3 命令法の語順

通常人称代名詞の目的格形は、動詞の直前に置く。それは、否定命令の場合も同様である。しかし、肯定命令の場合には、例外的に、動詞の直後にハイフンをつけて、目的格形を置く。その際、me は moi に、te は toi になる。なお、以上のことは、再帰代名詞についてもあてはまる。

Cherchez Pierre. ⇒ ⑦ **Cherchez-le.**
シエるシエル
彼を探しなさい。

Ne cherchez pas Pierre. ⇒ ⑧ ^{ヌ ル シェルシュ パ} Ne le cherchez pas.
彼を探すな。

^{テュ ム シェルシュ} Tu me cherches. ⇒ ^{シェルシュ ムワ} Cherche-moi. ^{テュ トゥ クーシュ} Tu te couches ⇒ ^{クシュ トゥワ} Couche-toi.
君は私を探す 私を探せ。 君は寝る 寝ろ。

◆ 初級の段階でこの複雑な規則を覚える必要はない。むしろ、次の節であげる丁寧な命令を覚えるほうがずっと大切である。

19.2.4 命令口調の緩和

命令法が相手を不快にさせがちだということは、すでに述べた。命令法の語気を和らげる、手取り早い方法は、s'il vous plaît や s'il te plaît をつけることである。

Apportez-moi de l'eau, s'il vous plaît.

Apporte-moi de l'eau, s'il te plaît.

ただし、s'il vous plaît をつけたとしても、命令法が命令口調であることに違いはない。喫茶店での注文や、親しい間柄以外では用いない方がよい。

音声：19-6

^{プヴェ ヴ マボルテ デュ ヴァン スィル ヴ プレ}
Pouvez-vous m'apporter du vin, s'il vous plaît ?
ワインを持ってきていただけますか

^{ヴレ ヴ マボルテ デュ ヴァン スィル ヴ プレ}
Voulez-vous m'apporter du vin, s'il vous plaît ?
ワインを持ってきていただけますか

上記のような、pouvoir, vouloir の疑問文は、實際上、命令法の代用としてよく用いられる（不定法の目的語は不定法の直前に置かれることにも注意）。さらに、丁寧な依頼を表すには、後で習う条件法を用いる (281 頁を参照)。

19.3 疑問代名詞・名詞を従える疑問詞

疑問代名詞や「疑問詞 + 名詞」は、それ自体、名詞として扱われ、動詞の主語や目的語として用いられる。疑問詞を含む疑問文には、複数のヴァリエーションがあるが、本書では、倒置を用いた疑問文を中心に説明する。

19.3.1 疑問詞を含む疑問文の体系

疑問詞を含む疑問文では、疑問詞（もしくは疑問詞 + 名詞）は、必ず文頭に置く。そのため、位置によって、疑問詞の働きを見分けることができない。そのため、疑問詞を含む疑問文には、通常

の文とは異なった仕組みがある。それを、まず、代表的な疑問詞 *qui* 「誰」で説明し、その後で、同じ仕組みを持つ他の疑問詞を紹介する。

19.3.2 QUI (誰)

疑問詞（「疑問詞 + 名詞」）は常に文頭に置かれるため、通常の文章のように、述語動詞の前にあるか、後ろにあるかで、主語かどうかを見分けることができない。そこで、倒置の有無で、主語かそれ以外かをみわける。すなわち疑問詞（「疑問詞 + 名詞」）が主語以外の場合には、倒置が用いられるが、**疑問詞が主語の場合には、倒置が用いられない**のである。

次の例文では、倒置がないことにより、*qui*が、「誰が」という主語の意味で用いられていることがわかる。

音声：19-7

- ⑨ *Qui cherche Paul?* [qui = 主語] ← 倒置なし
キ シェルシュ ポル
 誰がポールを探しているのか。

疑問詞が主語以外の場合、直接目的語、属詞、前置詞の目的語のいずれかである。間接目的語は「前置詞 *à* + 名詞」で前置詞の目的語と同じ扱いである。いずれの場合も、倒置が行われることには変わりはないが、**疑問詞が前置詞の目的語の場合には、「前置詞 + 疑問詞」の全体を文頭に置く**。

次の例文では、*qui*の前に前置詞がついていることにより、*qui*が前置詞の目的語だということがわかる。

音声：19-8

- ⑩ *Avec qui chantez-vous?* [qui = 前置詞の目的語] ← 倒置・前置詞あり
アヴェク キ ションテ ヴ
 誰とあなたは歌いますか。

一方、疑問詞が属詞の場合も、直接目的格補語の場合にも、疑問詞は裸で文頭に置かれる。そして、もちろん、いずれも、倒置が行われている。したがって、見た目では、属詞なのか直接目的格補語なのかを区別する方法はない。しかし、述語動詞の性質から判断が可能である。実際、属詞をとる動詞は数が非常に限られており、本書で、紹介した動詞では、*être*, *devenir*, *paraître*, *se sentir*などが、それにあたる。述語動詞がそれ以外なら、疑問詞は直接目的格補語として用いられていることになる。

下記の例では、文頭に置かれた *qui* は、前置詞をとまっておらず、倒置が行われているので、直接目的格補語か属詞ということになる。しかし、述語動詞が属詞をとる動詞でなければ、疑問詞は直接目的格補語である。

音声：19-9

- ⑩ ^{キ エス} **Qui est-ce?** [qui = 属詞] ← 倒置あり・前置詞なし・**属詞をとる動詞**
あれは誰ですか。

- ⑩ ^{キ シェルシュ ティール} **Qui cherche-t-il?** [qui = 直接目的格補語] ← 倒置あり・前置詞なし
誰を彼は探しているのか。

19.3.3 COMBIEN DE (いくつの～・どれくらいの～)

「combien de + 名詞」は、可算名詞複数形を従えて「いくつの～」、不可算名詞を従えて「どれくらいの～」を意味する。「combien de + 名詞」の全体が疑問詞として文頭に出ること（前置詞を伴う場合には、「前置詞 + combien de + 名詞」）に注意する。「combien de + 名詞」が、主語・直接目的格補語・前置詞の目的語・属詞（下記の例文の並び順に一致）を見分ける方法は、QUI の場合と全く同じである。

音声：19-10

- ⑬ ^{コンビヤン デテュディオソ ヴィヤンドゥロン イスイ} **Combien d'étudiants viendront ici?**
何人の学生たちがここに来るのですか。
- ⑭ ^{コンビヤン ドゥ フレール アヴェ ヴ} **Combien de frères avez-vous?**
何人の兄弟があなたにはありますか。
- ⑮ ^{アヴェク コンビヤン ドゥ ガルソン ヴネ ヴ} **Avec combien de garçons venez-vous?**
何人の少年たちとあなたは来るのですか。
- ⑯ ^{コンビヤン ド ベルソヌ ソンティル} **Combien de personnes sont-ils ?**
彼らは何名ですか。

NB: Personnes なしで、Vous êtes combien ? — Nous sommes quatre. 「何名様ですか」「四名です」もよく用いられる。

19.3.4 QUEL (どんな～)

		男性	女性
可算	単数	^{ケル} quel	^{ケル} quelle
	複数	^{ケル} quels	^{ケル} quelles
不可算		^{ケル} quel	^{ケル} quelle

「quel+ 名詞」は「どんな～」、「どの～」を意味する。quel は形容詞の一種なので、後に続く名詞の性と数にあわせて性数変化することに注意しなければならない。「quel+ 名詞」の全体が疑問詞として文頭に出ること（前置詞を伴う場合は、「前置詞 + quel+ 名詞」）に注意が必要である。そして、QUI と全く同じ方法で、「quel + 名詞」が、主語・直接目的格補語・前置詞の目的語・属詞

(下記の例文の並び順に一致)を見分けることができる。

音声：19-11

- ケル ろブ ヴ プレ
①⑦ **Quelle robe vous plaît?**
どのドレスがあなたの気に入っていますか。
- ケル リヴル シェルシユ ヴ
①⑧ **Quels livres cherchez-vous?**
どの本をあなたは探しているのですか。
- アヴェク ケル フィユ ショント ティール
①⑨ **Avec quelle fille chante-t-il?**
どの少女と彼は歌うのですか。
- ケルール エティル
①⑩ **Quelle heure est-il?**
何時ですか

19.3.5 QUE (何)

QUEは「何」を意味するが、これまでの疑問詞とは、相当に異なった扱いを受ける。まず、単独で主語となることができないため、主格では「Qu'est-ce qui」という長い疑問詞に形を変えねばならない。また、前置詞の後では「quoi」という強勢形を用いなければならない。さらに、属詞となる場合には、「Qu'est-ce que」という長い疑問詞に形を変える。

音声：19-12

- ケスキ エタリヴェ
①⑪ **Qu'est-ce qui est arrivé?**
何が起こったのですか。
- ク シェルシユ ティール
①⑫ **Que cherche-t-il?**
何を彼は探しているのですか。
- アヴェク クワ エクリヴェ ヴ
①⑬ **Avec quoi écrivez-vous?**
何を用いて、あなたは書きますか。
- ケス ク セ
①⑭ **Qu'est-ce que c'est?**
それは何ですか。

19.3.6 qu'est-ce qui, qu'est-ce que, qui est-ce qui, qui est-ce que

すでに述べた通り、queは単独では主語になれないので、次のように、qu'est-ce quiという特殊な形を用いた。

音声：19-13

- ケスキ エタリヴェ
①⑮ **Qu'est-ce qui est arrivé?**
何が起こったのですか。

実は、こうした特殊形は他にもある。この場合、est-ce の前にあるのが疑問詞であり、est-ce の後にある que や qui は、それらの疑問詞が、主語か直接目的格補語かの違いを示している。なお、これらの特殊形を用いた場合、倒置は不要である。

que が直接目的格の場合

音声：19-14

- ケスク ビエール シェルシュ
 ㉔ **Qu'est-ce que Pierre cherche?**
 何をピエールは探しているのですか。

音声：19-15

qui が主語の場合

- キ エス キ シェルシュ ポール
 ㉕ **Qui est-ce qui cherche Paul?**
 誰がポールを探しているのですか。

qui が直接目的格の場合

音声：19-16

- キ エス ク ビエール シェルシュ
 ㉖ **Qui est-ce que Pierre cherche?**
 誰をピエールは探しているのですか。

19.3.7 補足：疑問詞を用いた疑問文—会話の場合

会話では、倒置はめったに用いられない。そのため、疑問詞（「疑問詞＋名詞」）が、主語以外の場合でも倒置せず、また、疑問詞も文頭に移動しない（この場合、que は quoi になる）。

音声：19-17

Paul cherche qui?	ポールは誰を探しているの。
Vous chantez avec qui?	あなたは誰と歌いますか。
Vous avez combien de frères?	兄弟が何人ありますか。
Vous cherchez quels livres?	どの本を探していますか。
Pierre cherche quoi?	ピエールは何を探していますか。

19.4 新出単語

音声：19-18

① connaître
コネートゥる
【動詞】知っている

② paraître
パレートゥる
【動詞】～のように見える [属詞をとる]

③ plaire
プレーる
【動詞】～の気に入る

19.5 第19章練習問題

19.5.1 次の動詞の直説法現在の活用を三回ずつ書け

connaître paraître plaire

19.5.2 次の文章の空欄を補え。

- ① Je bien les parents de Marie.
私はマリの両親のことをよく知っている。
- ② Tu malade.
君は病気のように見える。
- ③ Apportez-moi du vin, s'il vous .
私にワインを持ってきて下さい。お願いします。
- ④ du courage!
勇気をもて。
- ⑤ tranquilles.
静かにしよう。
- ⑥ -moi de l'eau.
私に水を持ってきて下さい。
- ⑦ .
彼を探さない。
- ⑧ Ne pas.
彼を探すな。
- ⑨ cherche Paul?
誰がポールを探しているのか。
- ⑩ cherche-t-il?
誰を彼は探しているのか。
- ⑪ chantez-vous?
誰とあなたは歌いますか。
- ⑫ est-ce?
あれは誰ですか。
- ⑬ étudiants viendront ici?
何人の学生たちがここに来るのですか。

- ⑭ frères avez-vous?
何人の兄弟があなたにはありますか。
- ⑮ garçons venez-vous?
何人の少年たちとあなたは来るのですか。
- ⑯ sont-ils ?
彼らは何名ですか。
- ⑰ robe vous plaît?
どのドレスがあなたの気に入っていますか。
- ⑱ livres cherchez-vous?
どの本をあなたは探しているのですか。
- ⑲ fille chante-t-il?
どの少女と彼は歌うのですか。
- ⑳ heure est-il?
何時ですか
- ㉑ est arrivé?
何が起こったのですか。
- ㉒ cherche-t-il?
何を彼は探しているのですか。
- ㉓ écrivez-vous?
何を用いて、あなたは書きますか。
- ㉔ c'est?
それは何ですか。
- ㉕ Pierre cherche?
何をピエールは探しているのですか。
- ㉖ cherche Paul?
誰がポールを探しているのですか。
- ㉗ Pierre cherche?
誰をピエールは探しているのですか。

19.5.3 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Je connais bien les parents de Marie.
- ② Tu parais malade.
- ③ Apportez-moi du vin, s'il vous plaît.
- ④ Aie du courage!
- ⑤ Soyons tranquilles.
- ⑥ Apportez-moi de l'eau.
- ⑦ Cherchez-le.
- ⑧ Ne le cherchez pas.
- ⑨ Qui cherche Paul?
- ⑩ Qui cherche-t-il?
- ⑪ Avec qui chantez-vous?
- ⑫ Qui est-ce?
- ⑬ Combien d'étudiants viendront ici?
- ⑭ Combien de frères avez-vous?

- ⑮ Avec combien de garçons venez-vous?
- ⑯ Combien de personnes sont-ils ?

- ⑰ Quelle robe vous plaît?
- ⑱ Quels livres cherchez-vous?
- ⑲ Avec quelle fille chante-t-il?
- ⑳ Quelle heure est-il?

- ㉑ Qu'est-ce qui est arrivé?
- ㉒ Que cherche-t-il?
- ㉓ Avec quoi écrivez-vous?
- ㉔ Qu'est-ce que c'est?
- ㉕ Qu'est-ce que Pierre cherche?
- ㉖ Qui est-ce qui cherche Paul?
- ㉗ Qui est-ce que Pierre cherche?

19.5.4 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私はマリの両親のことをよく知っている。
- ② 君は病気のように見える。
- ③ 私にワインを持ってきて下さい。お願いします。
- ④ 勇気をもて。
- ⑤ 静かにしよう。
- ⑥ 私に水を持ってきて下さい。
- ⑦ 彼を探しなさい。
- ⑧ 彼を探すな。
- ⑨ 誰がポールを探しているのか。
- ⑩ 誰を彼は探しているのか。
- ⑪ 誰とあなたは歌いますか。
- ⑫ あれは誰ですか。
- ⑬ 何人の学生たちがここに来るのですか。
- ⑭ 何人の兄弟があなたにはありますか。
- ⑮ 何人の少年たちとあなたは来るのですか。
- ⑯ 彼らは何名ですか。

- ⑰ どのドレスがあなたの気に入っていますか。
- ⑱ どの本をあなたは探しているのですか。
- ⑲ どの少女と彼は歌うのですか。
- ⑳ 何時ですか

- ㉑ 何が起こったのですか。
- ㉒ 何を彼は探しているのですか。
- ㉓ 何を用いて、あなたは書きますか。
- ㉔ それは何ですか。

-
- ⑳ 何をピエールは探しているのですか。
 - ㉑ 誰がポールを探しているのですか。
 - ㉒ 誰をピエールは探しているのですか。

第 20 章

疑問詞 (2) ・ 中性代名詞

◆ 本章の目標 ◆

- 疑問副詞、疑問形容詞の用法を学ぶ。
- 中性代名詞の用法と語順を理解する。

20.1 疑問詞

20.1.1 疑問副詞

疑問副詞は「どこ」(^ウoù)、「どこから」(^{ドゥ}d'où)、「いつ」(^{コン}quand)、「いつから」(^{ドゥ}depuis quand)、「どんなふうに」(^{コモン}comment)、「なぜ」(^プpourquoi)、「どれくらい」(^{コン}combien)などを表す。

疑問副詞は主語となり得ないので、通常、常に倒置疑問文とともに用いられ、他の疑問詞と同様、文章の冒頭に置かれる。

疑問副詞を含む疑問文に対しては副詞・前置詞句などで返答するのが原則である (pourquoi「なぜ〜」の疑問文に対しては、必ず、^パparce que/qu'で始まる文で返答する)。

音声：20-1

- ^ウアレ ヴー ア ラ ポーストゥ
- ① **Où** allez-vous? — À la poste.
どこへ行くのですか。 — 郵便局です。
- ^{ドゥ} ヴネ ヴー ドゥ フランス
- ② **D'où** venez-vous? — De France.
どこの出身ですか。 — フランスです。
- ^{コン} アリヴティル - ドゥマン
- ③ **Quand** arrive-t-il? — Demain.
いつ彼は着きますか。 — 明日です。
- ^{ドゥ} ビュイ コン アビテ ヴー ア パリ — ^{ドゥ} ビュイ トゥールワゾン
- ④ **Depuis quand** habitez-vous à Paris? — Depuis trois ans.
いつからパリに住んでいますか。 — 三年前からです。
- ^{コモン} トゥールヴァーユ テル — ^{トゥ}レ ビヤン
- ⑤ **Comment** travaille-t-elle? — Très bien.
彼女の仕事ぶりはどうですか。 — とても、良いです。

プルクワ フェルメ ヴ ラ フェネートル — バスク ジェ フルワ

⑥ **Pourquoi fermez-vous la fenêtre? — Parce que j'ai froid.**

なぜ窓を閉めるのですか。 — 寒いからです。

コンビヤン アヴェ ヴ ベイエ セトゥ ヴワテュール — ユイミル—ル

⑦ **Combien avez-vous payé cette voiture? — Huit mille euros.**

この車にいくら払いましたか。 — 8000 ユーロです。

NB: 会話では、疑問詞を文末に置いた、*Vous allez où ? Vous venez d'où ? Il arrive quand ?*などが通常用いられる。また、*est-ce que*を用いることも可能である。その場合、*Où est-ce que vous allez ? D'où est-ce que vous venez ? Quand est-ce qu'il arrive ?*のように、疑問詞は文頭に来るが、倒置は行わない。

◆ 疑問副詞では疑問代名詞のような場合わけがなく、常に倒置が起こる。したがって、ここで大切なのは、それぞれの疑問副詞とその意味をしっかりと覚えることである。

20.1.2 QUEL+ÊTRE+ 主語

前章で学んだ「quel + 名詞」(どんな～、どの～)とは、異なって、quel が名詞を伴わずに être とともに、用いられる場合がある。この場合、quel は属詞の扱いとなり、「どの、何」の意味となる。quel が性数変化を持ち、être の後に来る名詞に性数一致することに注意しなければならない(制限用法についての、254 頁も参照)。

		男性	女性
可算	単数	quel <small>ケル</small>	quelle <small>ケル</small>
	複数	quels <small>ケル</small>	quelles <small>ケル</small>
不可算		quel <small>ケル</small>	quelle <small>ケル</small>

quel = 「何」

下記の例に関しては、とくに、日本語との類推が働きにくい点に注意すること。日本語ならば、「いつ、何番」などと尋ねる部分が quel (「何」)になる。わかりにくい場合、quel の後ろに名詞が省略されていると考えると良い。すなわち、「あなたの電話番号はどんな番号ですか」、「あなたの生年月日は、どんな日付ですか」などといった具合である。

音声：20-2

ケレ ヴォトル ニュメロ ドゥ テレフォニス — zeroアン ヴァントットゥルワ カラントゥサンク スワソントゥセトゥ

⑧ **Quel est votre numéro de téléphone? — 01-23-45-67.**

電話番号は何番ですか。 — 01-23-45-67 です。

ケレ ヴォトル ダトゥ ドゥ ネソーンス — ル ユイットゥ ジョソヴィエ ミル スフソン カトル ヴァン

⑨ **Quelle est votre date de naissance? — Le 8 janvier 1980.**

生年月日はいつですか。 — 1980 年の 1 月 8 日です。

quel = 「どれ」

下記の例で注意しないといけないのは、「ピエールの本はどんなですか」や「マリのドレスはどうですか」などの意味に誤解してはならない、ということである。以下の例では、quel は、「どんな」という、特徴を尋ねるような意味合いは全くない。特徴を尋ねたい場合には、三番目の例のよ

うに、「Comment + être + 主語」を用いなければならない。

音声：20-3

ケル ソン レ リヴル ドゥ ピエーる — スウスィ
⑩ **Quels** sont les livres de Pierre? — Ceux-ci.

ピエールの本はどれですか。 — これらです。

ケル ソン レ ろーブ ドゥ マリ — セル ラ
⑪ **Quelles** sont les robes de Marie? — Celles-là.

マリのドレスはどれですか。 — あれらです。

[比較]

音声：20-4

コモン エ サ ヴワチュール — トゥれ コンフォーるターブル
⑫ **Comment** est sa voiture? — Très confortable.

彼(彼女)の車はどうですか。 — とても快適です。

20.1.3 補足：LEQUEL, LESQUELS, LAQUELLE, LESQUELLES

◆ Lequel, ... は他の疑問詞に比べて、使用頻度が低いので、初級の段階では存在を知っている程度で構わない。

Lequel は「どれ・どの人」を表し、限定された選択肢の中で、人や物を選ばせる疑問代名詞である。代名詞なので、動詞の主語、直接目的語、前置詞の目的語になり得る (qui と同様、主語の時には、疑問文は倒置しない。また、前置詞の目的語の場合には、前置詞ごと文頭におく)。ただし、属詞になる場合には、前述の「quel + être + 主語」を使う。

lequel の性数一致は返答となる名詞に対して行う。つまり、返答内容をあらかじめ予想あるいは規定し、可能な範囲内で性数一致を行うのである。性が予想(規定)できない時には男性形を、数が予想(規定)できない場合には、単数形を用いる。

たとえば、下記の一冊目の例では、選択肢は全て家(女性名詞)なので、laquelle という女性単数形が用いられている。二冊目の例では、選択肢は全て色の名前(男性名詞)なので、男性単数形が用いられている。いずれの場合にも、lesquelles, lesquels と複数形を用いることも、可能である。この場合、返答する側は複数の色や家を選択できることになる。

音声：20-5

ラケル ドゥ セ メゾン ヴ プレ — セル スィ
⑬ **Laquelle** de ces maisons vous plaît? — Celle-ci.

それらの家のうちどれが気に入っていますか。 — これです。

ルケル エメ ヴ ブロン ブル スワる るジュ ウ ヴェーる
⑭ **Lequel** aimez-vous, blanc, bleu, noir, rouge ou vert?

白、青、黒、赤、緑のなかで、どれが好きですか。

オケル ドゥ セゼテュディオソ ドネ ヴ ル プリ
⑮ **Auquel** de ces étudiants donnez-vous le prix?

これらの学生のうちの誰に賞をあげますか。

NB: le quel の性数変化および、前置詞 à, de との縮約は関係代名詞の le quel の場合と全く同じである (Lequel の変化表 ⇒195 頁)。plaire の用法に注意 (250 頁)。

20.2 中性代名詞

中性代名詞は人称代名詞の目的格形や再帰代名詞と同様に、述語動詞の前に置かれ、述語動詞と一体化する。したがって、否定文や倒置文を作る際にも、「中性代名詞 + 述語動詞」の全体を **ne** (n') と **pas** で挟んだり、主語と入れ替えたりしなければならない。また、複合時制の場合は、一体化する相手が助動詞のみとなる (113 頁、158 頁)。以上が、中性代名詞、**le, y, en** に共通する特徴である。しかし、これら三つの代名詞は、それ以外には、目立った共通点がない。それぞれが独自の性質を持つので、意識して、用法を区別しなければならない。

20.2.1 LE (L')

人称代名詞の直接目的格形 **le** (彼を、それを) と全く同じ性質を持つ。ただし、指示するのは、文、節、不定法など、性を持たない事柄である。

音声：20-6

プヴェ ヴ ヴニル シェ ムワ ヲ ウイ ジュ ル プ
 ⑩ Pouvez-vous venir chez moi? — Oui, je **le** peux.

我が家に来れますか。— はい、行けます。

サヴェ ヴ スイ エレ リブル オジュルドゥエイ ノン ジュヌルセバ
 ⑪ Savez-vous si elle est libre aujourd'hui? — Non, je **ne le** sais pas.

彼女が今日暇かどうかを知ってますか。— いいえ、知りません。

マリ エトットランジェーラ ヴヴェ ヴ ウプリエ
 ⑫ Marie est étrangère. L'avez-vous oublié?

マリは外国人だ。あなたはそれを忘れたのですか。

上記例文で「中性代名詞 + 述語動詞」が一体化している否定文と倒置疑問文の語順にも注意すること。

参考—属詞形容詞や属詞名詞を指示する le

être の後に来る名詞や形容詞の代用としても、**le** が用いられる。**le** は中性代名詞なので、たとえ、指示される名詞や形容詞が女性であっても、**la** や **les** にはならないことに注意すること。下記の例で、**le** が指しているのは、女性名詞 (étudiante) や女性複数形の形容詞 (heureuses) である。

音声：20-7

エテュ エテュディオントゥ ウイ ジュ ル スエイ

Es-tu *étudiante*? — Oui, je **le** suis.

君は女子学生ですか。はい、私は女子学生です。

エトヴウ ウルーズノン スヌル ソム バ

Êtes-vous *heureuses*. — Non, nous ne **le** sommes pas.

君たちは幸せですか。いいえ、私たちは幸せではありません。

20.2.2 Y

場所を表す用法「そこに、そこで」

y は「そこに、そこで」などを表し、場所を表す前置詞句に相当する。したがって、y は副詞であるが、通常の副詞とは異なり、位置が厳密に決まっており、必ず、動詞の直前に置かれるのである(これこそが、y が代名詞とされる理由である)。

音声：20-8

ヴォンテル アラ フェートゥ ウイ エルズィ ヴォン

①9 Vont-elles à la fête? — Oui, elles **y** vont.

彼女たちは祝賀会に行きますか。— ええ、彼女たちは行きます。

「à+ 物を表す名詞」の代用

フランス語では場所を表す前置詞句には、à が用いられることが多い。もともと、場所を表す副詞だった y は、時間を経るうちに、場所を表さない、「à+ 名詞」の代用にも用いられるようになった。

音声：20-9

ボンステュ ア レグザマン ウイ ジ ボンス

②0 Penses-tu à l'examen? — Oui, j'**y** pense.

試験のことを考えているのかい。— うん。考えている。

ナヴェ ヴ バ トゥジエ ア セットゥ モントゥル — ノンヌ ニ アヴォン パ トゥジエ

②1 N'avez-vous pas touché à cette montre? — Non, nous n'**y** avons pas touché.

その時計に手を触れなかったか。— いいえ、私たちは触れませんでした。

20.2.3 EN

「de+ 物を表す名詞」の代用

y が「à+ 名詞」の代用になるのに対して、en は「de+ 物を表す名詞」の代用となる。

音声：20-10

エテル コントントゥ ドゥ セトゥ フアン

②6 Est-elle contente de cette fin? — Mais non, elle n'**en** est pas contente.

彼女はこの結末に満足しているのか。— とんでもない。彼女は満足していません。

アヴェ ヴ プズワン ドゥ ス ビエ — メ ウイ ジョネ プズワン

②7 Avez-vous besoin de ce billet? — Mais oui, j'**en** ai besoin.

このチケットは必要ですか。もちろん、必要です。

en はもともと「～から」という出発点を表していたのだが (Elle est arrivée de Lyon. 「彼女はリヨンから到着した」→ Elle en est arrivée.)、やがて、「de+ 名詞」を一般的に表すようになったのである。この点においては、y と非常に似た歴史的経緯を辿ったといえる。しかし、次の en の用法に対応するものは、y にはない。

非限定名詞の代用

次の最初の例では、en は、deux の後に来るべき frères の代用である。第二の例では、en は de sœurs (de = 否定の冠詞) の代用、第三の例では、du vin (du = 部分冠詞) の代用、第四の例では、des lettres (des = 不定冠詞) である。こうした、en は、通常、日本語では翻訳のしようがない。

音声：20-11

- アヴェ ヴ デ フレーる — ウイ ジョネ ドゥ
- ② Avez-vous des frères? — Oui, j'en ai deux.
兄弟がありますか。 — はい、二人います。
- アテュ デ スーる — ノン ジュ ノネ パ
- ③ As-tu des sœurs? — Non, je n'en ai pas.
姉妹がありますか。 — いいえ、ありません。
- オンティル アシュテ デュ ヴァン — ウイ イルゾンノン アシュテ
- ④ Ont-ils acheté du vin? — Oui, ils en ont acheté.
彼らはワインを買ったか。 — はい、買いました。
- アヴェ ヴ るスュ デ レートゥる — ウイ ジョネ るスュ
- ⑤ Avez-vous reçu des lettres? — Oui, j'en ai reçu.
手紙を受け取ったか。 — はい、何通か受け取りました。

通常、代名詞は、特定のものや事柄を指示する。すなわち、ce, ça にしても、人称代名詞にしても、不定冠詞付きの名詞の代用となることはできない。たとえば、J'ai un livre. 「私は本を持っている」を、J'ai ça. とか、Je l'ai. として、「私はそれを持っている」とは言い換えることはできないのである。これは日本語でも十分に理解できる。「昨日買ったペンを持っていますか」に対して、「それを持っています」と答えることはできるが、「ペンを持ってませんか」に対して、「それを持っていません」という返答は不気味である。前者では、ペンの正体が特定されているのに対し、後者では「どのペン」かが、まだ特定(限定)されていないからである。そのため、上の用法の en を日本語に翻訳することが困難なのである。

すでに、述べた通り、中性代名詞の用法は多様である。しかし、共通点がないわけではない。フランス語では英語と異なり、Oui, Si, Non の後に文を続ける場合、「主語 + 動詞」だけで終わることは基本的できない。つまり、Do you have a pen? — Yes, I have./No, I don't have. のように、Avez-vous un stylo? に対して、×Oui, j'ai./×Non, je n'ai pas. とはいえない。stylo という語を繰り返したくなければ(フランス人はこの繰り返しを嫌う)、Oui, j'en ai un./Non, je n'en ai pas. と言わなくてはならない。以下も同様であるが、現在では、×のついた表現を耳にすることも少なくない。

- Allez-vous à l'église ? — Oui, j'y vais./Non, je n'y vais pas.
×Oui, je vais/×Non, je ne vais pas.
- Vient-elle de Lyon ? — Oui, elle en vient./Non, elle n'en vient pas.
×Oui, elle vient./×Non, elle ne vient pas.
- Avez-vous dit qu'elle est malade ? — Oui, je l'avais dit./Non, je ne l'avais pas dit. ×Oui, j'ai dit./×Non, je n'ai pas dit.

中性代名詞は、本来、このように返答の際に、動詞の後の要素を受け直すことで、英語式の「主語＋述語動詞」による省略を避けるのである。

20.2.4 補足：中性代名詞の語順

y en

音声：20-12

ヤティル デゾテール ドン ス ヴィラージュ — ユイ イリヨシナ アン

㊸ Y a-t-il des hôtels dans ce village? — Oui, il y en a un.

この村にホテルはありますか。 — はい、一件あります。

参考：人称代名詞の間接目的格形と中性代名詞の le の混在

中性代名詞の le は人称代名詞と同じ規則に従って、間接目的格形の前後に位置する。

音声：20-13

エル ム ラ ラコンテ

Elle me l'a raconté.

彼女は私に話を話した。(間接目的：1-2 人称)

エル ル ルア ラコンテ

Elle le leur a raconté.

彼女は話を彼らに話した。(間接目的：3 人称)

20.3 新出単語

音声：20-14

ニユメロ

① numéro

[名詞・男性] 番号

ダートゥ

④ date

[名詞・女性] 日付

フェートゥ

⑦ fête

[名詞・女性] 祭り・祭日

アザワル ブズワン ドゥ

⑩ avoir besoin de

[熟語] ～が必要だ

ニユメロ ドゥ テレフォヌ

② numéro de téléphone

[名詞・男性] 電話番号

リーブル

⑤ libre

[形容詞] 自由な・暇な

トゥシェ ア

⑧ toucher à

[熟語] ～に触る

ビエ

⑪ billet

[名詞・男性] 紙幣・切符

ダトゥ ドゥ ネソーンヌ

③ date de naissance

[名詞・女性] 誕生日

エトゥランジェ

⑥ étranger

[形容詞] 外国人の・外国の

ファン

⑨ fin

[名詞・女性] 終わり

ラコンテ

⑫ raconter

[動詞] 物語る

⑬ où
[疑問副詞] どこに・どこで

⑭ comment
[疑問副詞] どのように

⑮ combien
[疑問副詞] どのくらい

⑯ blanc
[形容詞] 白い

⑰ rouge
[形容詞] 赤い

⑭ d'où
[疑問副詞] どこから

⑰ pourquoi
[疑問副詞] なぜ

⑳ depuis quand
[疑問副詞] いつから

㉑ bleu
[形容詞] 青い

㉒ vert
[形容詞] 緑色の

⑮ quand
[疑問副詞] いつ

⑱ parce que
[接続詞] なぜなら～だから

㉑ couleur
[名詞・女性] 色

㉒ noir
[形容詞] 黒い

20.4 第20章練習問題

20.4.1 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

- ① numéro
④ date
⑦ fête
⑩ avoir besoin de
⑬ où
⑭ comment
⑮ combien
⑯ blanc
⑰ rouge

- ② numéro de téléphone
⑤ libre
⑧ toucher à
⑩ billet
⑬ d'où
⑰ pourquoi
⑳ depuis quand
㉑ bleu
㉒ vert

- ③ date de naissance
⑥ étranger
⑨ fin
⑫ raconter
⑮ quand
⑱ parce que
㉑ couleur
㉒ noir

20.4.2 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- ① [名詞・男性] 番号
④ [名詞・女性] 日付
⑦ [名詞・女性] 祭り・祭日
⑩ [熟語] ～が必要だ
⑬ [疑問副詞] どこに・どこで
⑭ [疑問副詞] どのように
⑮ [疑問副詞] どのくらい
⑯ [形容詞] 白い
⑰ [形容詞] 赤い

- ② [名詞・男性] 電話番号
⑤ [形容詞] 自由な・暇な
⑧ [熟語] ～に触る
⑩ [名詞・男性] 紙幣・切符
⑬ [疑問副詞] どこから
⑰ [疑問副詞] なぜ
⑳ [疑問副詞] いつから
㉑ [形容詞] 青い
㉒ [形容詞] 緑色の

- ③ [名詞・女性] 誕生日
⑥ [形容詞] 外国人の・外国の
⑨ [名詞・女性] 終わり
⑫ [動詞] 物語る
⑮ [疑問副詞] いつ
⑱ [接続詞] なぜなら～だから
㉑ [名詞・女性] 色
㉒ [形容詞] 黒い

20.4.3 次の文章の空欄を補え。

- ① allez-vous? — À la poste.
どこへ行くのですか。 — 郵便局です。

- ② venez-vous? — De France.
どこの出身ですか。— フランスです。
- ③ arrive-t-il? — Demain.
いつ彼は着きますか。— 明日です。
- ④ habitez-vous à Paris? — Depuis trois ans.
いつからパリに住んでいますか。— 三年前からです。
- ⑤ travaille-t-elle? — Très bien.
彼女の仕事ぶりはどうですか。— とても、良いです。
- ⑥ fermez-vous la fenêtre? — j'ai froid.
なぜ窓を閉めるのですか。— 寒いからです。
- ⑦ avez-vous payé cette voiture? — Huit mille euros.
この車にいくら払いましたか。— 8000 ユーロです。
- ⑧ est votre numéro de téléphone? — 01-23-45-67.
電話番号は何番ですか。— 01-23-45-67 です。
- ⑨ est votre date de naissance? — Le 8 janvier 1980.
生年月日はいつですか。— 1980 年の 1 月 8 日です。
- ⑩ sont les livres de Pierre? — Ceux-ci.
ピエールの本はどれですか。— これらです。
- ⑪ sont les robes de Marie? — Celles-là.
マリのドレスはどれですか。— あれらです。
- ⑫ est sa voiture? — Très confortable.
彼(彼女)の車はどうですか。— とても快適です。
- ⑬ de ces maisons vous plaît? — Celle-ci.
それらの家のうちどれが気に入っていますか。— これです。
- ⑭ aimez-vous, blanc, bleu, noir, rouge ou vert?
白、青、黒、赤、緑のなかで、どれが好きですか。
- ⑮ de ces étudiants donnez-vous le prix?
これらの学生のうちの誰に賞をあげますか。
- ⑯ Pouvez-vous venir chez moi? — Oui, je peux.
我が家に来れますか。— はい、行けます。
- ⑰ Savez-vous si elle est libre aujourd'hui? — Non, je ne sais pas.
彼女が今日暇かどうかを知っていますか。— いいえ、知りません。
- ⑱ Marie est étrangère. avez-vous oublié?
マリは外国人だ。あなたはそのことを忘れたのですか。
- ⑲ Vont-elles à la fête? — Oui, elles vont.
彼女たちは祝賀会に行きますか。— ええ、彼女たちは行きます。
- ⑳ Penses-tu à l'examen? — Oui, j' pense.
試験のことを考えているのかい。— うん。考えている。
- ㉑ N'avez-vous pas touché à cette montre? — Non, nous n' avons pas touché.
その時計に手を触れなかったか。— いいえ、私たちは触れませんでした。
- ㉒ Avez-vous des frères? — Oui, j' ai deux.
兄弟がありますか。— はい、二人います。
- ㉓ As-tu des sœurs? — Non, je n' ai pas.
姉妹がありますか。— いいえ、ありません。

- ⑳ Ont-ils acheté du vin? — Oui, ils ont acheté.
 彼らはワインを買ったか。— はい、買いました。
- ㉑ Avez-vous reçu des lettres? — Oui, j' ai reçu.
 手紙を受け取ったか。— はい、何通か受け取りました。
- ㉒ Est-elle contente de cette fin? — Mais non, elle n' est pas contente.
 彼女はこの結末に満足しているのか。— とんでもない。彼女は満足していません。
- ㉓ Avez-vous besoin de ce billet? — Mais oui, j' ai besoin.
 このチケットは必要ですか。もちろん、必要です。
- ㉔ Y a-t-il des hôtels dans ce village? — Oui, il y a un.
 この村にホテルはありますか。— はい、一件あります。

20.4.4 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Où allez-vous? — À la poste.
- ② D'où venez-vous? — De France.
- ③ Quand arrive-t-il? — Demain.
- ④ Depuis quand habitez-vous à Paris? — Depuis trois ans.
- ⑤ Comment travaille-t-elle? — Très bien.
- ⑥ Pourquoi fermez-vous la fenêtre? — Parce que j'ai froid.
- ⑦ Combien avez-vous payé cette voiture? — Huit mille euros.
- ⑧ Quel est votre numéro de téléphone? — 01-23-45-67.
- ⑨ Quelle est votre date de naissance? — Le 8 janvier 1980.
- ⑩ Quels sont les livres de Pierre? — Ceux-ci.
- ⑪ Quelles sont les robes de Marie? — Celles-là.
- ⑫ Comment est sa voiture? — Très confortable.
- ⑬ Laquelle de ces maisons vous plaît? — Celle-ci.
- ⑭ Lequel aimez-vous, blanc, bleu, noir, rouge ou vert?
- ⑮ Auquel de ces étudiants donnez-vous le prix?
- ⑯ Pouvez-vous venir chez moi? — Oui, je le peux.
- ⑰ Savez-vous si elle est libre aujourd'hui? — Non, je ne le sais pas.
- ⑱ Marie est étrangère. L'avez-vous oublié?
- ⑲ Vont-elles à la fête? — Oui, elles y vont.
- ⑳ Penses-tu à l'examen? — Oui, j'y pense.
- ㉑ N'avez-vous pas touché à cette montre? — Non, nous n'y avons pas touché.
- ㉒ Avez-vous des frères? — Oui, j'en ai deux.
- ㉓ As-tu des sœurs? — Non, je n'en ai pas.
- ㉔ Ont-ils acheté du vin? — Oui, ils en ont acheté.
- ㉕ Avez-vous reçu des lettres? — Oui, j'en ai reçu.
- ㉖ Est-elle contente de cette fin? — Mais non, elle n'en est pas contente.
- ㉗ Avez-vous besoin de ce billet? — Mais oui, j'en ai besoin.
- ㉘ Y a-t-il des hôtels dans ce village? — Oui, il y en a un.

20.4.5 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① どこへ行くのですか。— 郵便局です。
- ② どこの出身ですか。— フランスです。

- ③ いつ彼は着きますか。— 明日です。
- ④ いつからパリに住んでいますか。— 三年前からです。
- ⑤ 彼女の仕事ぶりはどうですか。— とても、良いです。
- ⑥ なぜ窓を閉めるのですか。— 寒いからです。
- ⑦ この車にいくら払いましたか。— 8000 ユーロです。
- ⑧ 電話番号は何番ですか。— 01-23-45-67 です。
- ⑨ 生年月日はいつですか。— 1980 年の 1 月 8 日です。
- ⑩ ピエールの本はどれですか。— これらです。
- ⑪ マリのドレスはどれですか。— あれらです。
- ⑫ 彼(彼女)の車はどうですか。— とても快適です。
- ⑬ それらの家のうちどれが気に入っていますか。— これです。
- ⑭ 白、青、黒、赤、緑のなかで、どれが好きですか。
- ⑮ これらの学生のうちの誰に賞をあげますか。
- ⑯ 我が家に来れますか。— はい、行けます。
- ⑰ 彼女が今日暇かどうかを知っていますか。— いいえ、知りません。
- ⑱ マリは外国人だ。あなたはそのことを忘れたのですか。
- ⑲ 彼女たちは祝賀会に行きますか。— ええ、彼女たちは行きます。
- ⑳ 試験のことを考えているのかい。— うん。考えている。
- ㉑ その時計に手を触れなかったか。— いいえ、私たちは触れませんでした。
- ㉒ 兄弟がありますか。— はい、二人います。
- ㉓ 姉妹がありますか。— いいえ、ありません。
- ㉔ 彼らはワインを買ったか。— はい、買いました。
- ㉕ 手紙を受け取ったか。— はい、何通か受け取りました。
- ㉖ 彼女はこの結末に満足しているのか。— とんでもない。彼女は満足していません。
- ㉗ このチケットは必要ですか。もちろん、必要です。
- ㉘ この村にホテルはありますか。— はい、一件あります。

第 21 章

条件法・話法

◆ 本章の目標 ◆

- 条件法現在形と過去形の変化を覚える。
- 条件文の作り方を学ぶ。
- 話法の概念を理解する。

21.1 DIRE の直説法現在

音声：21-1

直説法現在	
DIRE (言う)	
ディゾン disant	ディ dit
ジュ ディ je dis	ヌ ディゾン nous disons
テュ ディ tu dis	ヴ ディートゥ vous dites
イル ディ il dit	イル ディーズ ils disent
エル ディ elle dit	エル ディーズ elles disent

vous dites に注意。他の部分は LIRE 「読む」(213 頁) と同タイプの変化である(例文は、本章後半の話法の部分を見ること)。

NB: dire に接頭辞のついた、コントルディール contredire 「反論する」、アンテルディール interdire 「禁止する」、メディール médire 「悪口を言う」は lire と完全に同じ変化をするので注意が必要である (vous contredisez, vous interdisez, vous médisez)。maudire 「呪う」は複数人称では -ss- が現れる (nous maudissons, vous maudissez, ils maudissent)。もちろん、初級の段階では、これらの動詞の変化を覚える必要はないが、派生した動詞が元の動詞と同じ変化をするとは限らないという事実は知っておいて損はない。

21.2 条件法の活用

21.2.1 条件法現在の規則

語尾変化

	単数	複数
一人称	-ais	-ions
二人称	-ais	-iez
三人称	-ait	-aient

条件法現在の語尾変化は全動詞に共通で、変化そのものは**直説法半過去の場合と全く同じ** (214 頁)。また、アクセントは常に語尾に置かれる。

語幹

◆ 直説法単純未来と全く同じ規則に従うことに注意 (236 頁)。まずは、単純未来の場合を思い出してノートに書き出してみよう。その後で、条件法の場合を見ながら確認すると良い。

第一群規則動詞の大部分

第一群規則動詞の大部分は、不定法形がそのまま条件法現在の語幹となる。ただし、発音は不定法とは異なる。

シユルシユ chercher	⇒	ジュ シユルシユレ je chercherais	chanter	⇒	ジュ ショントウレ je chanterais
エメ aimer	⇒	ジュ ヂェムレ j'aimerais			

第二群規則動詞と-ir で終わる動詞の大部分

第二群規則動詞のすべてを含む、多くの-ir 動詞は、不定法と条件法現在の語幹が完全に一致する。ただし、アクセントだけは、語尾に移動する。

フィニール finir	⇒	ジュ フィニレ je finirais	シュワズィール choisir	⇒	ジュ シュワズィレ je choisirais
レユスィール réussir	⇒	ジュ レユスィレ je réussirais			
ドゥルミール dormir	⇒	ジュ ドルミレ je dormirais	オフリール offrir	⇒	ジュ オフリレ j'offrirais
ウヴリール ouvrir	⇒	ジュ ヴリレ j'ouvrirais	パルティール partir	⇒	ジュ パルティレ je partirais
ソンティール sentir	⇒	ジュ ソンティレ je sentirais	セルヴィール servir	⇒	ジュ セルヴィレ je servirais
ソルティール sortir	⇒	ジュ ソルティレ je sortirais			

*二重線より上は第二群規則動詞。

-re 動詞の大部分

-re 動詞の大部分の条件法現在では、不定法の-re から-e を取り除いて語幹を作る。アクセントは語尾に移動する。

アトードゥる attendre	⇒	ジャトンドゥれ j'attendrais	デソードゥる descendre	⇒	ジュ デソンドゥれ je descendrais
オトードゥる entendre	⇒	ジョントンドゥれ j'entendrais	ペードゥる perdre	⇒	ジュ ペンドゥれ je perdrais
ロンドゥる rendre	⇒	ジュ ロンドゥれ je rendrais	れポードゥる répondre	⇒	ジュ れポンドゥれ je répondrais
ヴォードゥる vendre	⇒	ジュ ヴォンドゥれ je vendrais	ブラードゥる prendre	⇒	ジュ ブランドゥれ je prendrais
アブラードゥる apprendre	⇒	ジャブラードゥれ j'apprendrais	コンブラードゥる comprendre	⇒	ジュ コンブランドゥれ je comprendrais
メードゥる mettre	⇒	ジュ メトれ je mettrais	ススイーヴる suivre	⇒	ジュ ススイヴれ je suivrais
コンデュイーる conduire	⇒	ジュ コンデュイれ je conduirais	リーる lire	⇒	ジュ リれ je lirais
ブワーる boire	⇒	ジュ ブワれ je boirais	エクリーる écrire	⇒	ジュ エククリれ j'écrirais
リーる rire	⇒	ジュ リれ je rirais	コネートゥる connaître	⇒	ジュ コネトゥれ je connaîtrais
バレートゥる paraître	⇒	ジュ バレトゥれ je paraîtrais	プレーる plaire	⇒	ジュ プレれ je plairais
クワる croire	⇒	ジュ クワれ je croirais	ディーる dire	⇒	ジュ ディれ je dirais

◆ 以上の規則は完全に覚えること。以下では、avoir と être を優先的かつ完全に覚えること。これはすでに単純未来について要求された事柄です。

不規則動詞

アヴワーる avoir	⇒	ジョれ j'aurais	エートゥる être	⇒	ジュ スれ je serais
アレ aller	⇒	ジュれ j'irais	ヴニーる venir	⇒	ジュ ヴイヤンドゥれ je viendrais
ドゥヴニーる devenir	⇒	ジュ ドゥヴィヤンドゥれ je deviendrais	るヴニーる revenir	⇒	ジュ るヴィヤンドゥれ je reviendrais
トゥニーる tenir	⇒	ジュ テイヤンドゥれ je tiendrais	フェーる faire	⇒	ジュ フェれ je ferais
ドゥヴワーる devoir	⇒	ジュ ドゥヴれ je devrais	ブヴワーる pouvoir	⇒	ジュ ブレ je pourrais
サヴワーる savoir	⇒	ジュ ソれ je saurais	ヴルワーる vouloir	⇒	ジュ ヴドれ je voudrais
るスヴワーる recevoir	⇒	ジュ るスヴれ je recevrais	ヴワーる voir	⇒	ジュ ヴエれ je verrais

falloir ⇒ il faudrait, pleuvoir ⇒ il pleuvrait

この二つは、非人称動詞で三人称単数形しかないので別扱いとした。

参考：不規則な条件法現在形をもつ-er 動詞

アシュテ acheter	⇒	ジャシュトゥれ j'achèterais	アプレ appeler	⇒	ジャペルれ j'appellerais
オンヴワイエ envoyer	⇒	ジョンヴェれ j'enverrais			

acheter, appeler の条件法現在形は、脱落性母音の/a/が連続するのを防ぐために (acheterais だと [aʃətəʁɛ] という発音になる) 例外的な扱いを受ける。envoyer の不規則な扱いは不規則動詞 voir の条件法現在形の影響によるもの。

◆ 条件法現在形が、例外なく「単純未来の語幹+直説法半過去の語尾」で作られることを改めて確認すること。逆に言えば、単純未来と条件法現在は、語尾変化の違いでのみ区別されるので、それぞれの語尾変化を正しく覚えることも非常に重要である。

21.2.2 条件法現在の活用の例

規則的な語幹をもつもの

音声：21-2

条件法現在	
シェるシェ CHERCHER (探す)	
ジュ シェるシュれ je chercherais	ヌ シェるシュリオン nous chercherions
チュ シェるシュれ tu chercherais	ヴ シェるシュリエ vous cherchiez
イル シェるシュれ il chercherait	イル シェるシュれ ils chercheraient
エル シェるシュれ elle chercherait	エル シェるシュれ elles chercheraient

音声：21-3

条件法現在	
シヨント CHANTER (歌う)	
ジュ シヨントウれ je chanterais	ヌ シヨントウリオン nous chanterions
チュ シヨントウれ tu chanterais	ヴ シヨントウリエ vous chanteriez
イル シヨントウれ il chanterait	イル シヨントウれ ils chanteraient
エル シヨントウれ elle chanterait	エル シヨントウれ elles chanteraient

音声：21-4

条件法現在	
エム AIMER (愛する)	
ジュ エムれ j'aimerais	ヌゼムリオン nous aimerions
チュ エムれ tu aimerais	ヴゼムリエ vous aimeriez
イル エムれ il aimerait	イルゼムれ ils aimeraient
エル エムれ elle aimerait	エルゼムれ elles aimeraient

音声：21-5

条件法現在	
フィニール FINIR (終える)	
ジュ フィニれ je finirais	ヌ フィニリオン nous finirions
チュ フィニれ tu finirais	ヴ フィニリエ vous finiriez
イル フィニれ il finirait	イル フィニれ ils finiraient
エル フィニれ elle finirait	エル フィニれ elles finiraient

音声：21-6

条件法現在	
パルティール PARTIR (出発する)	
ジュ パルティれ je partirais	ヌ パルティリオン nous partirions
チュ パルティれ tu partirais	ヴ パルティリエ vous partiriez
イル パルティれ il partirait	イル パルティれ ils partiraient
エル パルティれ elle partirait	エル パルティれ elles partiraient

音声：21-7

条件法現在	
アトンドル ATTENDRE (待つ)	
ジャトンドウれ j'attendrais	ヌザトンドウリオン nous attendrions
チュ アトンドウれ tu attendrais	ヴザトンドウリエ vous attendriez
イラトンドウれ il attendrait	イルザトンドウれ ils attendraient
エラトンドウれ elle attendrait	エルザトンドウれ elles attendraient

不規則な語幹をもつもの

音声：21-8

条件法現在	
アヴローる	
AVOIR (持っている)	
ジョレ j'aurais	ヌゾリオン nous aurions
テュ オレ tu aurais	ヴゾリエ vous auriez
イロレ il aurait	イルゾレ ils auraient
エロレ elle aurait	エルゾレ elles auraient

音声：21-10

条件法現在	
アレ	
ALLER (行く)	
ジレ j'irais	ヌズイリオン nous irions
テュ イレ tu irais	ヴズイリエ vous iriez
イリレ il irait	イルズイレ ils iraient
エリレ elle irait	エルズイレ elles iraient

音声：21-12

条件法現在	
ドゥヴニール	
DEVENIR (なる)	
ジュ ドゥヴィヤンドゥレ je deviendrais	ヌ ドゥヴィヤンドリオン nous deviendrions
テュ ドゥヴィヤンドゥレ tu deviendrais	ヴ ドゥヴィヤンドリエ vous deviendriez
イル ドゥヴィヤンドゥレ il deviendrait	イル ドゥヴィヤンドゥレ ils deviendraient
エル ドゥヴィヤンドゥレ elle deviendrait	エル ドゥヴィヤンドゥレ elles deviendraient

音声：21-14

条件法現在	
トゥニール	
TENIR (手に持っている)	
ジュ ティヤンドゥレ je tiendrais	ヌ ティヤンドリオン nous tiendrions
テュ ティヤンドゥレ tu tiendrais	ヴ ティヤンドリエ vous tiendriez
イル ティヤンドゥレ il tiendrait	イル ティヤンドゥレ ils tiendraient
エル ティヤンドゥレ elle tiendrait	エル ティヤンドゥレ elles tiendraient

音声：21-9

条件法現在	
エートる	
ÊTRE (いる)	
ジュ スレ je serais	ヌ スリオン nous serions
テュ スレ tu serais	ヴ スリエ vous seriez
イル スレ il serait	イル スレ ils seraient
エル スレ elle serait	エル スレ elles seraient

音声：21-11

条件法現在	
ヴニール	
VENIR (来る)	
ジュ ヴィヤンドゥレ je viendrais	ヌ ヴィヤンドリオン nous viendrions
テュ ヴィヤンドゥレ tu viendrais	ヴ ヴィヤンドリエ vous viendriez
イル ヴィヤンドゥレ il viendrait	イル ヴィヤンドゥレ ils viendraient
エル ヴィヤンドゥレ elle viendrait	エル ヴィヤンドゥレ elles viendraient

音声：21-13

条件法現在	
るヴニール	
REVENIR (戻ってくる)	
ジュ るヴィヤンドゥレ je reviendrais	ヌ るヴィヤンドリオン nous reviendrions
テュ るヴィヤンドゥレ tu reviendrais	ヴ るヴィヤンドリエ vous reviendriez
イル るヴィヤンドゥレ il reviendrait	イル るヴィヤンドゥレ ils reviendraient
エル るヴィヤンドゥレ elle reviendrait	エル るヴィヤンドゥレ elles reviendraient

音声：21-15

条件法現在	
フェール	
FAIRE (する、作る)	
ジュ フレ je ferais	ヌ フリオン nous ferions
テュ フレ tu ferais	ヴ フリエ vous feriez
イル フレ il ferait	イル フレ ils feraient
エル フレ elle ferait	エル フレ elles feraient

音声：21-16

条件法現在	
ドゥヴワー-る	
DEVOIR (しなければならない)	
ジュ ドゥヴれ	ヌ ドゥヴリオン
je devrais	nous devrions
テュ ドゥヴれ	ヴ ドゥヴリエ
tu devrais	vous devriez
イル ドゥヴれ	イル ドゥヴれ
il devrait	ils devraient
エル ドゥヴれ	エル ドゥヴれ
elle devrait	elles devraient

音声：21-18

条件法現在	
サヴワー-る	
SAVOIR (できる、知っている)	
ジュ ソれ	ヌ ソリオン
je saurais	nous saurions
テュ ソれ	ヴ ソリエ
tu saurais	vous sauriez
イル ソれ	イル ソれ
il saurait	ils sauraient
エル ソれ	エル ソれ
elle saurait	elles sauraient

音声：21-20

条件法現在	
るスヴワー-る	
RECEVOIR (受け取る)	
ジュ るスヴれ	ヌ るスヴリオン
je recevrais	nous recevriions
テュ るスヴれ	ヴ るスヴリエ
tu recevrais	vous recevriez
イル るスヴれ	イル るスヴれ
il recevrait	ils recevraient
エル るスヴれ	エル るスヴれ
elle recevrait	elles recevraient

音声：21-17

条件法現在	
プヴワー-る	
POUVOIR (可能である)	
ジュ プれ	ヌ プリオン
je pourrais	nous pourrions
テュ プれ	ヴ プリエ
tu pourrais	vous pourriez
イル プれ	イル プれ
il pourrait	ils pourraient
エル プれ	エル プれ
elle pourrait	elles pourraient

音声：21-19

条件法現在	
ヴルワー-る	
VOULOIR (欲する)	
ジュ ヴドれ	ヌ ヴドリオン
je voudrais	nous voudrions
テュ ヴドれ	ヴ ヴドリエ
tu voudrais	vous voudriez
イル ヴドれ	イル ヴドれ
il voudrait	ils voudraient
エル ヴドれ	エル ヴドれ
elle voudrait	elles voudraient

音声：21-21

条件法現在	
ヴワー-る	
VOIR (見る)	
ジュ ヴェれ	ヌ ヴェリオン
je verrais	nous verrions
テュ ヴェれ	ヴ ヴェリエ
tu verrais	vous verriez
イル ヴェれ	イル ヴェれ
il verrait	ils verraient
エル ヴェれ	エル ヴェれ
elle verrait	elles verraient

21.2.3 条件法過去

21.2.4 条件法過去の作り方

AVOIR, ÊTRE の条件法現在 + 過去分詞

助動詞の使い分け、過去分詞の性数一致、語順については、他の複合時称と同じく、直説法複合過去に準じる。

1. 助動詞 être と avoir の使い分け (130 頁)
2. 過去分詞の性数一致 (131 頁、131 頁)
3. 語順：否定文・倒置疑問文の作り方；人称代名詞の目的格形的位置 (141 頁)

◆上のリストを見て、複合過去の規則が思い出せない場合は、必ず、該当ページを読み直し、再度覚えること。

21.2.5 条件法過去の活用の例

音声：21-22

条件法過去	
PARTIR (出発する)	
ジュ スレ バるティ je serais parti(e)	ヌ スリオン バるティ nous serions parti(e)s
テュ スレ バるティ tu serais parti(e)	ヴ スリエ バるティ vous seriez parti(e)(s)
イル スレ バるティ il serait parti	イル スレ バるティ ils seraient partis
エル スレ バるティ elle serait partie	エル スレ バるティ elles seraient parties
条件法過去 (否定)	
ジュ ヌ スレ バ バるティ je ne serais pas parti(e)	ヌ ヌ スリオン バ バるティ nous ne serions pas parti(e)s
テュ ヌ スレ バ バるティ tu ne serais pas parti(e)	ヴ ヌ スリエ バ バるティ vous ne seriez pas parti(e)(s)
イル ヌ スレ バ バるティ il ne serait pas parti	イル ヌ スレ バ バるティ ils ne seraient pas partis
エル ヌ スレ バ バるティ elle ne serait pas partie	エル ヌ スレ バ バるティ elles ne seraient pas parties
条件法過去 (倒置)	
スレ ジュ バるティ serais-je parti(e)	スリオン ヌ バるティ serions-nous parti(e)s
スレ テュ バるティ serais-tu parti(e)	スリエ ヴ バるティ seriez-vous parti(e)(s)
スレティル バるティ serait-il parti	スレティル バるティ seraient-ils partis
スレテル バるティ serait-elle partie	スレテル バるティ seraient-elles parties
条件法過去	
CHERCHER (探す)	
ジョレ シェるシェ j'aurais cherché	ヌゾリオン シェるシェ nous aurions cherché
テュ オレ シェるシェ tu aurais cherché	ヴゾリエ シェるシェ vous auriez cherché
イロレ シェるシェ il aurait cherché	イルゾレ シェるシェ ils auraient cherché
エロレ シェるシェ elle aurait cherché	エルゾレ シェるシェ elles auraient cherché
条件法過去 (否定)	
ジュ ノレ バ シェるシェ je n'aurais pas cherché	ヌ ノリオン バ シェるシェ nous n'aurions pas cherché
テュ ノレ バ シェるシェ tu n'aurais pas cherché	ヴ ノリエ バ シェるシェ vous n'auriez pas cherché
イル ノレ バ シェるシェ il n'aurait pas cherché	イル ノレ バ シェるシェ ils n'auraient pas cherché
エル ノレ バ シェるシェ elle n'aurait pas cherché	エル ノレ バ シェるシェ elles n'auraient pas cherché

音声：21-23

条件法過去（倒置）	
オレジュ シェるシェ aurais-je cherché	オリオンヌ シェるシェ aurions-nous cherché
オレ テュ シェるシェ aurais-tu cherché	オリエ ヴ シェるシェ auriez-vous cherché
オレティル シェるシェ aurait-il cherché	オレティル シェるシェ auraient-ils cherché
オレテル シェるシェ aurait-elle cherché	オレテル シェるシェ auraient-elles cherché

21.3 条件法の用法

条件法は基本的に、事実とは反した事柄を述べる法 (mode) である。ただし、事実^{スイ}に反した条件^{スィ}を si 節の中で述べるには直説法の半過去か大過去が用いられ、**条件法が用いられるのは帰結文においてだけ**ということに注意しなければならない。

なお、条件節を導く接続詞の si 「もし」がエリズィオンするのは、il と ils の前だけで、elle と elles の前ではエリズィオンしない。つまり、s'il, s'ils に対して、si elle, si elles となる。

21.3.1 条件法現在の用法

現在の事実に反する条件文の帰結文で用いる

現在の事実に反する条件文 = si 直説法半過去, 条件法現在
もし、～なら（直説法半過去）、... だろうに（条件法現在）

現在の事実に反する事柄を仮定して、それが事実なら、どうなるのかを述べる際に、条件法現在が用いられる。

音声：21-24

- スイ ジャヴェ セタるジョン ジャシェトゥレ アナヴィオン
- ① Si j'**avais** cet argent, j'**achèterais** un avion.
もし、その金を持っていたら、飛行機を買うだろうに。
- スイレテ マラドゥ イル ブランドゥれ ス メディカモン
- ② S'il **était** malade, il **prendrait** ce médicament.
もし、彼が病気なら、彼はその薬を飲むだろうに。
- スイ ル ネ ドゥ クレオパトル エテ プリュ クーる トットゥ ラ ファス ドゥ ラ テーる シャンジュレ
- ③ Si le nez de Cléopâtre **était** plus court, toute la face de la terre **changerait**.
もし、クレオパトラの鼻がもっと低かったら、世界の様子はすっかり違っているだろう。

以上の文では、仮定された事柄は事実^{スイ}に反している^{スィ}ので、その結果として述べられたことも、実際には生じないということに注意すること。①を例に言えば、実際には金持ちではないので、飛行機は買えないのである。

ていねいな命令文で用いる

自分の意志を、事実を表す直説法ではなく、条件法を使って表すことで、遠慮がちな印象を与えることができる。

音声：21-25

ジュ ヴドゥレ アレ アラ ガー

④ Je voudrais aller à la gare.

駅に行きたいのですが（道を教えてください・（タクシーなどで）連れて行ってください）。

プリレ ヴ フェルメ ラ ポー トゥ スィル ヴ プレ

⑤ Pourriez-vous fermer la porte, s'il vous plaît ?

ドアを閉めていただけますか。

21.3.2 条件法過去の用法

過去の事実に対する条件文の帰結文で用いる

過去の事実に対する条件文 = si 直説法大過去, 条件法過去

もし、～だったら（直説法大過去）、... だったらろうに（条件法過去）

過去の事実に対する事柄を仮定して、それが事実なら、どうなるのかを述べる際に、条件法過去が用いられる。

音声：21-26

スイ ジャヴェ ユ セタールジョン ジョレ アシュテ アナヴィオン

⑥ Si j'avais eu cet argent, j'aurais acheté un avion.

もし、その金を持っていたのだったら、飛行機を買っていたらろうに。

スイラヴェテテ マラドゥ イルレ プリ ス メディカモン

⑦ S'il avait été malade, il aurait pris ce médicament.

もし、彼が病気だったのなら、彼はその薬を飲んだらろうに。

スイ ル ネ ドゥ クレオパトル アヴェテテ プリュ クーラ トットゥ ラ ファス ドゥ ラ テーラ オレ シャンジェ

⑧ Si le nez de Cléopâtre avait été plus court, toute la face de la terre aurait changé.

もし、クレオパトラの鼻がもっと低かったら、世界の様子はすっかり違っていただらうに。

NB: ⑧はパスカルの有名な言葉を改変したものである。正確な引用は、312 頁。

21.3.3 その他の条件文

事実に反しない条件文

事実に反しない条件文 = si 直説法現在, 直説法単純未来

もし、～なら（直説法現在）、... だらう（直説法単純未来）

音声：21-27

⑨ *S'il fait beau demain, nous partirons.*

スィル フェ ボ ドゥマンヌ バルティロン

明日天気良ければ、私たちは出発します。

明日の天気問題なのにもかかわらず、**si 節では単純未来形でなく直説法現在が用いられる**ことに注意。なお、帰結文では、結果の確かさを表すために直説法現在を用いる場合もある。

参考：si 節や帰結節を伴わない条件文

一文からなる条件文は、si 節か帰結節かが欠けている。si 節だけからなる条件文の場合には、接続詞の si が手がかりとなるため、条件文だと見抜くことが比較的容易である。一方、帰結文だけからなる条件文の場合には、動詞が条件法の変化をしていることが、条件文だと見抜くための唯一の手がかりとなるため、こちらはうっかり見落としやすい。条件法は多くの場合、事実を反した事柄を述べているので、条件文だと見抜かないまま訳してしまうと、全く逆の意味になってしまいかねない。十分に注意すること。

音声：21-28

⑩ *Sans son aide, nous n'aurions pas réussi à l'examen.*

ソン ソネドゥヌ ノリオン バルユスイ ア レグザマン

彼（彼女）の助けがなかったら、私たちは試験に合格しなかっただろう。

⑪ *Elle ne ferait pas ça, j'en suis sûr.*

エルヌ フレバサ ジョンスエイ スュー

彼女ならそんなことはしないだろうに。私はそのことに確信がある。

⑫ *Si elle faisait attention à sa fille !*

スイ エル フェ アトンション ア サ フィュー

彼女がその自分の娘に注意を払っていれば（よかったのに）！

21.4 話法

21.4.1 直接話法と間接話法

他人の発言内容や思考内容を伝えようとする場合、二通りの伝え方がある。間接話法と直接話法である。

音声：21-29

A: 直接話法 Pierre dit: "Marie est heureuse". 「マリは幸せだ」とピエールは言っている。

B: 間接話法 Pierre dit que Marie est heureuse. マリは幸せだとピエールは言っている。

A, B はどちらも、ほぼ同じ内容を表す文章である。しかし、異なった話法が用いられている。

直接話法の特徴は、**A** のように、ピエールの発言内容が、引用符 ("...") (guillemets) で挟まれた引用文の形をとるところにある。"と"の間の部分は、ピエール自身の言葉だと、少なくとも文法上

は見なされるのである（現実にはピエールの言葉そのままではないことも多い）。

一方、間接話法では、接続詞の *que* より以下の部分が、ピエールの発言内容である。しかし、こちらは、ピエール自身の言葉ではない。*que* 以下は、**B** の文章全体を述べた人物（全文の話し手）が、ピエールの発言を言い換えて伝えたものなのである。

つまり、直接話法では、二つの立場（全文の話し手とピエールの立場）から発せられた文が共存するのに対して、間接話法では一貫して同じ立場（全文の話し手の立場）が貫かれているのである。

A: 直接話法	全文の話し手の言葉 Pierre dit:	ピエール自身の言葉 “Marie est heureuse.”
B: 間接話法	Pierre dit que 全文の話し手の言葉	Marie est heureuse. 全文の話し手が言い換えたピエールの言葉
	マリは幸せだとピエールは言っている。（両話法で同義）	

ところで、同じ事柄でも、立場が変われば、表現が変わることは少なくない。たとえば、ピエールとマリの会話において、ピエールはマリを *tu* で表すが、マリは自分自身を *je* で表すといった具合である。そのため、直接話法から間接話法へ、あるいはその逆の書き換えの際には、従属文や引用符にはさまれた文が、時に劇的に書き換わることがあり得る。その典型的な例が、本章で扱う人称の書き換えと、次章で扱う時制の書き換えである。

21.4.2 人称の一致

先の例文、**A** と **B** では、引用符の間の文と *que* 以下の文は全く同じであった。しかし、これは、全文の話し手とピエールとで「マリが幸福だ」という事柄を表現する方法が、たまたま同じだったからに過ぎない。たとえば、マリと呼ばれる人物が、ピエールからも、全文の話し手からも、いつも、マリと呼ばれるとは限らない。ピエールと全文の話し手の間で、同一人物の呼び方が異なる場合も、少なくないのである。

音声：21-30

C: 直接話法 Pierre dit: “Je suis malade.” 「私は病気だ」とピエールは言っている

D: 間接話法 Pierre dit qu’il est malade. 自分は病気だとピエールは言っている

C と **D** は、ピエールが病気であり、そのことをピエールが話した、という文章である。どちらの文章でも、病気なのは *Pierre* である。しかし、引用符の間では、“Je suis malade.” と主語が *je* で表されているのに対し、*que* 以下では、*il est malade* となっている。つまり、*Pierre* を表すのに、*je* が使われたり、*il* が使われたりしているのである。これは、ピエールから見れば、ピエール自身は、*je* 「私」だが、全文の話し手から見れば、ピエールは *il* 「彼」だからである。

C: 直接話法	Je = ピエールから見たピエール自身 Pierre dit: “ Je suis malade.”
D: 間接話法	Pierre dit qu’il est malade. il = 全文の話し手から見たピエール
	自分は病気だとピエールは言っている。(両話法で同義)

もし、**D** の文章を、人称を書き換えずに、下記のように **je** のままにした場合には、もはや、**C** とは意味が変わってしまう。**je** が表すのはピエールではなく、全文の話し手だからである。

D’: 間接話法	Pierre dit que je suis malade. 全文の話し手から見た je = 全文の話し手自身
-----------------	---

したがって、**D’** では、病気なのはピエールではなく、全文の話し手ということなり、ピエールは全文の話し手が「病気だ」と述べたということになるのである。

もう一度、例文 **C** と **D** に戻ってみよう。

C: 直接話法	Je = ピエールから見たピエール自身 Pierre dit: “ Je suis malade.”
D: 間接話法	Pierre dit qu’il est malade. il = 全文の話し手から見たピエール

上記では、同一人物（ピエール）を表すために、異なった人称代名詞、**je** と **il** が用いられている。こうしたことが、生じるのは、すでに述べた通り、同一人物であっても、見る人の立場によって、呼び方が異なる場合がある、という事実による。人称の一致とは、話し手の立場にあわせて、人物の表現法—人称を書き換えることなのである。間接話法の場合には、全文の話し手の立場から、直接話法の場合には引用符に挟まれた文の話し手（全文の主語）の立場から、人物の人称を決定しなければならない。むろん、両者の立場がたまたま一致しているために、見かけ上、人称の一致が生じていないように見える場合もある（例文 **A** と **B** のように）。しかし、それは、結果を見ただけの場合の話であって、その結果が出てくるまでに、必ず、人称の一致—つまり、話し手の立場にあわせて人物の表現法を変えるという手順が踏まれているのである。

21.4.3 人称の一致の例

E: 直接話法	leur = 全文の話し手から見たピエールの話し相手 Pierre leur dit:	Vous = ピエールから見た話し相手 “ Vous êtes sérieux.”
F: 間接話法	Pierre leur dit leur = ils = 全文の話し手から見たピエールの話し相手	qu’ils sont sérieux.
音声: 21-31	ピエールは彼らに彼らが真面目だと言っている。(両話法で同義)	

ピエールの話し相手を、全文の話し手は leur 「彼らに、彼女たちに」で表しているの、ピエールが Vous で表す人物は、ils 「彼らが」になる。elles 「彼女たちが」にならないのは、sérieux が男性複数形なので、vous が男性複数だと判断できるからである。もし、sérieux が女性複数形 sérieuses であれば、下記のようになる。

G: 直接話法	leur = 全文の話し手から見たピエールの話し相手 Pierre leur dit:	Vous = ピエールから見た話し相手 “ Vous êtes sérieuses.”
H: 間接話法	Pierre leur dit leur = elles = 全文の話し手から見たピエールの話し相手	qu' elles sont sérieuses.
音声：21-32	ピエールは彼女たちに彼女たちが真面目だと言っている。(両話法で同義)	

もちろん、こうした判断ができない場合も少なくない。形容詞には、tranquille のように男性形と女性形の区別がないものもあるからである。下記の tu が男性か女性か判断する方法はない。

I: 直接話法	lui = 全文の話し手から見たピエールの話し相手 Pierre lui dit:	Tu = ピエールから見た話し相手 “ Tu es tranquille.”
J: 間接話法	Pierre lui dit lui = il/elle = 全文の話し手から見たピエールの話し相手	qu' il est tranquille. qu' elle est tranquille.
音声：21-33	ピエールは彼(女)に彼(女)が物静かだと言っている。(両話法で同義)	

また、そもそも、いつも形容詞が現れるわけでもない。

K: 直接話法	me = 全文の話し手から見たピエールの話し相手 Pierre me dit:	Vous = ピエールから見た話し相手 “ Vous l'avez fait.”
L: 間接話法	Pierre me dit me = je = 全文の話し手から見たピエールの話し相手	que je l'ai fait.
音声：21-34	ピエールは私に私がそれをやったと言う。(両話法で同義)	

21.5 新出単語

音声：21-35

アトション
① attention
[名詞・女性] 注意

クー
④ court
[形容詞] 短い

スュー
⑦ sûr
[形容詞] 確かな・確信した

メディカモン
② médicament
[名詞・男性] 薬

ネ
⑤ nez
[名詞・男性] 鼻

ジョンヴィエ
⑧ janvier
[名詞・男性] 一月

ファス
③ face
[名詞・女性] 顔

エトッる スユる ドゥ
⑥ être sûr de
[熟語] ～を確信した

フェヴリエ
⑨ février
[名詞・男性] 二月

マールス
⑩ mars
[名詞・男性] 三月

ジュワン
⑬ juin
[名詞・男性] 六月

セプトーンブル
⑯ septembre
[名詞・男性] 九月

デソーンブル
⑲ décembre
[名詞・男性] 十二月

アヴリール
⑪ avril
[名詞・男性] 四月

ジュイエ
⑭ juillet
[名詞・男性] 七月

オクトーブル
⑰ octobre
[名詞・男性] 十月

ディーる
⑳ dire
[動詞] 言う

メ
⑫ mai
[名詞・男性] 五月

ウットゥ
⑮ août
[名詞・男性] 八月

ノヴォーンブル
⑱ novembre
[名詞・男性] 十一月

月の名前は本文中には出てこない。「～月に」を表すには、「前置詞 en+ 月の名前」か、「au mois de (d') + 月の名前」を使う。ただし、日付などと並ぶ場合には、前置詞などは不要である。

オ ジャボン イル プル ボク オン ジュワン

Au Japon, il pleut beaucoup en juin.

日本では六月に雨が多く降る。

ナポレオン エ ネル カンズ ウトゥ ミル セトゥ ソン スワソントゥ スフ

Napoléon est né le 15 août 1769.

ナポレオンは 1769 年の 8 月 15 日に生まれた

21.6 第 21 章練習問題

21.6.1 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

① attention
④ court
⑦ sûr
⑩ mars
⑬ juin
⑯ septembre
⑲ décembre

② médicament
⑤ nez
⑧ janvier
⑪ avril
⑭ juillet
⑰ octobre
⑳ dire

③ face
⑥ être sûr de
⑨ février
⑫ mai
⑮ août
⑱ novembre

21.6.2 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

① [名詞・女性] 注意
④ [形容詞] 短い
⑦ [形容詞] 確かな・確信した
⑩ [名詞・男性] 三月
⑬ [名詞・男性] 六月
⑯ [名詞・男性] 九月
⑲ [名詞・男性] 十二月

② [名詞・男性] 葉
⑤ [名詞・男性] 鼻
⑧ [名詞・男性] 一月
⑪ [名詞・男性] 四月
⑭ [名詞・男性] 七月
⑰ [名詞・男性] 十月
⑳ [動詞] 言う

③ [名詞・女性] 顔
⑥ [熟語] ～を確信した
⑨ [名詞・男性] 二月
⑫ [名詞・男性] 五月
⑮ [名詞・男性] 八月
⑱ [名詞・男性] 十一月

21.6.3 DIRE（言う）の直説法現在変化と過去分詞を三回ずつ書け

21.6.4 次の動詞の条件法現在の活用を三回ずつ書け

AVOIR	ÊTRE	ALLER	VENIR	DEVENIR	REVENIR
TENIR	FAIRE	DEVOIR	POUVOIR	SAVOIR	VOULOIR
RECEVOIR	VOIR				

21.6.5 次の動詞の条件法過去の活用を三回ずつ書け

CHERCHER PARTIR

21.6.6 次の文章の空欄を補え。

- ① Si j' cet argent, j' un avion.
もし、その金を持っていたら、飛行機を買うだろうに。
- ② S'il malade, il ce médicament.
もし、彼が病気なら、彼はその薬を飲むだろうに。
- ③ Si le nez de Cléopâtre plus court, toute la face de la terre .
もし、クレオパトラの鼻がもっと低かったら、世界の様子はすっかり違っているだろう。
- ④ Je aller à la gare.
駅に行きたいのですが（道を教えてください・（タクシーなどで）連れて行ってください）。
- ⑤ -vous fermer la porte, s'il vous plaît ?
ドアを閉めていただけますか。
- ⑥ Si j' cet argent, j' un avion.
もし、その金を持っていたのだったら、飛行機を買っていただろうに。
- ⑦ S'il malade, il ce médicament.
もし、彼が病気だったのなら、彼はその薬を飲んだだろうに。
- ⑧ Si le nez de Cléopâtre plus court, toute la face de la terre .
もし、クレオパトラの鼻がもっと低かったら、世界の様子はすっかり違っていただろうに。
- ⑨ S'il beau demain, nous .
明日天気良ければ、私たちは出発します。
- ⑩ Sans son aide, nous à l'examen.
彼（彼女）の助けがなかったら、私たちは試験に合格しなかっただろう。
- ⑪ Elle ne pas ça, j'en suis sûr.
彼女ならそんなことはしないだろうに。私はそのことに確信がある。
- ⑫ Si elle attention à sa fille !
彼女がその自分の娘に注意を払っていれば（よかったのに）！

21.6.7 次の例文を、意味と発音を思い出しながら、三回ずつ書け。

- ① Si j'avais cet argent, j'achèterais un avion.
② S'il était malade, il prendrait ce médicament.
③ Si le nez de Cléopâtre était plus court, toute la face de la terre changerait.
④ Je voudrais aller à la gare.
⑤ Pourriez-vous fermer la porte, s'il vous plaît ?
⑥ Si j'avais eu cet argent, j'aurais acheté un avion.
⑦ S'il avait été malade, il aurait pris ce médicament.
⑧ Si le nez de Cléopâtre avait été plus court, toute la face de la terre aurait changé.

- ⑨ S'il fait beau demain, nous partirons.
- ⑩ Sans son aide, nous n'aurions pas réussi à l'examen.
- ⑪ Elle ne ferait pas ça, j'en suis sûr.
- ⑫ Si elle faisait attention à sa fille !

21.6.8 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① もし、その金を持っていたら、飛行機を買うだろうに。
- ② もし、彼が病気なら、彼はその薬を飲むだろうに。
- ③ もし、クレオパトラの鼻がもっと低かったら、世界の様子はすっかり違っているだろう。
- ④ 駅に行きたいのですが（道を教えてください・（タクシーなどで）連れて行ってください）。
- ⑤ ドアを閉めていただけますか。
- ⑥ もし、その金を持っていたのだったら、飛行機を買っていただろうに。
- ⑦ もし、彼が病気だったのなら、彼はその薬を飲んだだろうに。
- ⑧ もし、クレオパトラの鼻がもっと低かったら、世界の様子はすっかり違っていただろうに。
- ⑨ 明日天気良ければ、私たちは出発します。
- ⑩ 彼（彼女）の助けがなかったら、私たちは試験に合格しなかっただろう。
- ⑪ 彼女ならそんなことはしないだろうに。私はそのことに確信がある。
- ⑫ 彼女がその自分の娘に注意を払っていれば（よかったのに）！

第 22 章

時制の一致・間接疑問文・不定法

22.1 時制の一致

前章で見た人称の一致は、全文の話し手と全文の主語（ピエール）とで、ある人物の呼び方が異なり得ることにより、生じる現象であった。同様に、ある事柄が何時生じたのかの判断が、全文の話し手と主語とでは、異なることがあり得る。全文の話し手と全文の主語の発言には、時間差がある場合も少なくないからである。これが時制の一致が生じる理由である。

22.1.1 主語の発言が過去の場合

22.1.2 主語の発言と発言内容が同時の場合

A: 直接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit :	ピエールの判断 “Marie joue au tennis.”
	ピエールの発言=過去（複合過去）	マリーのテニス=現在（直説法現在）
音声：22-1	マリがテニスをしているとピエールは言った。	

B: 間接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit :	全文の話し手の判断 que Marie jouait au tennis.
	ピエールの発言=過去（複合過去）	マリーのテニス=過去（直説法半過去）
音声：22-2	マリがテニスをしているとピエールは言った。	

例文 A の直接話法では、ピエールの発言で直説法現在が用いられている。これは、ピエールが「マリがテニスをしている」のは現在のことだと判断したということを意味する。しかし、その判断は、全文の話し手の判断とは異なる。なぜなら、全文の話し手は、Pierre a dit という具合に、直説法複合過去を用いることで、ピエールの発言が過去の出来事だとしているからである。したがって、発言時にピエールが現在だと判断した事柄は、全文の話し手にとっては、過去の出来事ということになる。それゆえ、例文 B の間接話法では、次のようになるのである。

22.1.3 主語の発言よりも、発言内容が過去の場合

C : 直接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit :	ピエールの判断 “Marie a fini ce travail.”
	ピエールの発言=過去 (複合過去)	仕事の終了=過去 (複合過去)
音声 : 22-3	マリがその仕事を終えたと言った。	

上記の例文のピエールの発言では、複合過去が用いられている。これは、「マリが仕事を終えた」のは過去の出来事だと、ピエールが判断したことを意味する。しかし、その判断は、全文の話し手の判断とは違う。なぜなら、全文の話し手は、Pierre a dit という具合に、直説法複合過去を用いることで、ピエールの発言が過去の出来事だとしているからである。したがって、発言時にピエールが過去だと判断した出来事は、全文の話し手にとっては、ピエールの発言という過去の出来事より、さらに過去の事柄、すなわち、大過去ということになるのである。したがって、間接話法では、以下のようになる。

D : 間接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit :	全文の話し手の判断 que Marie avait fini ce travail.
	ピエールの発言=過去 (複合過去)	仕事の終了=過去からみた過去 (直説法大過去)
音声 : 22-4	マリがその仕事を終えたと言った。	

22.1.4 主語の発言よりも、発言内容が未来の場合

E : 直接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit :	ピエールの判断 “Marie partira.”
	ピエールの発言=過去 (複合過去)	マリーの出発=未来 (単純未来)
音声 : 22-5	マリが出発するだろうと言った。	

上記の例文のピエールの発言では、単純未来が用いられている。これは、「マリが出発する」のは未来の出来事だと、ピエールが判断したことを意味する。しかし、その判断は、全文の話し手の判断とは異なる場合がある。なぜなら、全文の話し手は、Pierre a dit という具合に、直説法複合過去を用いることで、ピエールの発言が過去の出来事だとしているからである。したがって、発言時にピエールが未来のことだと判断した出来事は、全文の話し手にとっては、もはや、過ぎ去った事柄だということがあり得る。この場合、マリーの出発というできごとは、過去から見る限りにおいてしか、未来であり得ない。こういった出来事は、過去未来にあると言われる。こうした過去未来は、条件法現在で表される。

F : 間接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit : ピエールの発言=過去 (単純過去)	全文の話し手の判断 que Marie partirait . マリーの出発=過去から見た未来 (条件法現在)
	音声 : 22-6 マリが出発するだろうとピエールは言った。	

なお、気をつけないといけないのは、全文の話し手にとっても、マリーの出発が、いぜんとして未来の事柄だということもあるということである。この場合には、全文の話し手とピエールの判断には、違いがないわけなので、条件法現在ではなく、直説法単純未来を用いることが可能である。ただ、現実には、このような場合でも、条件法現在が機械的に用いられる場合が非常に多い。

F' : 間接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit : ピエールの発言=過去 (複合過去)	全文の話し手の判断 que Marie partira . マリーの出発=未来 (単純未来)
	音声 : 22-7 マリが出発するだろうとピエールは言った。	

22.1.5 主節の主語の発言が現在の場合との比較

ピエール ディ マリー エリーブ
Pierre dit: « Marie est libre. » 「マリーは暇だとピエールは言っている」を変形して、全てのパターンを検討してみよう。

音声 : 22-8

Pierre dit: "Marie est libre."	⇒	Pierre dit que Marie est libre.
Pierre dit: "Marie a été libre."	⇒	Pierre dit que Marie a été libre.
Pierre dit: "Marie sera libre."	⇒	Pierre dit que Marie sera libre.
ピエールにとっての現在・過去・未来	=	全文の話し手にとっての現在・過去・未来

音声 : 22-9

Pierre a dit: "Marie est libre."	⇒	Pierre a dit que Marie était libre.
Pierre a dit: "Marie a été libre."	⇒	Pierre a dit que Marie avait été libre.
Pierre a dit: "Marie sera libre."	⇒	Pierre a dit que Marie serait libre.
ピエールにとっての現在・過去・未来	≠	全文の話し手にとっての現在・過去・未来

上記の通り、主語の発言が現在の場合には、全文の話し手と主語との時間の判断は通常同じなので、見かけ上、時制の一致は生じない。一方、主語の発言の時点が過去の場合には、全文の話し手と主語の時間の判断がしばしば異なるため、時制の一致が目に見えて生じることが多い。しかし、重要なのは、目に見えて時制が変化するかどうかは別問題として、**時制の一致は常に行われている**ということである。というのも、時制の一致は、主語の時間判断を全文の話し手の時間判断に置き換えることなのであり、置き換える前と置き換えた結果が同じだからといっても、置き換えそのものが起こらなかったということにはならないからである。この点を十分に理解していないと、主語の発言が過去の出来事であっても、時制の一致が目に見えて現れない場合を、理解できないこと

になる。以下はそうした例である。

音声：22-10

<p><small>ピエール ア ディ ラ テール エ ろンド</small> Pierre a dit: "La Terre est ronde." ⇒ Pierre a dit que la Terre est ronde. ピエールは地球は丸いと言った。</p> <p><small>ピエール ア ディナポレオン ムリエ オン ミルユイソンヴァンテアン</small> Pierre a dit: "Napoléon mourut en 1821." ⇒ Pierre a dit que Napoléon mourut en 1821. ナポレオンは 1821 年に死んだとピエールが言った。</p> <p><small>ピエール ア ディ ロン アビットゥラ スユール ラ リュヌ</small> Pierre a dit: "l'on habitera sur la lune." ⇒ Pierre a dit que l'on habitera sur la lune. 月に人が住むようになるだろうとピエールは言った。</p> <p>ピエールにとっての現在・過去・未来 = 全文の話し手にとっての現在・過去・未来</p>
--

22.1.6 参考（今後の学習のために）

直説法半過去と時制の一致

直説法半過去は時制の一致の対象とならないので、下記の書き換えとなる。

G: 直接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit : ピエールの発言=現在（直説法現在）	ピエールの判断 "Marie était libre." マリーの暇=過去（直説法半過去）
H: 間接話法	全文の話し手の判断 Pierre a dit : ピエールの発言=現在（直説法現在）	全文の話し手の判断 que Marie était libre. マリーの暇=過去（直説法半過去）
音声：22-11	マリは暇だったとピエールは言った。	

Pierre a dit: « Marie *est* libre. »を書き換えても、Hになるので、マリが暇だったのは、ピエールの発言より以前のことなのか、同時のことなのかは、単文では判断ができない。実際には、発話の状況や前後の文脈から区別できる場合が多いが、曖昧さを避ける必要が生じた場合は、主節と従属節に、それぞれ時を表す副詞を入れるなどの工夫が必要となる。Hier Pierre a dit que Marie *était* libre avant-hier. 「一昨日、マリは暇だったと、昨日ピエールが言った。」

場所や時の副詞などの書き換え

話し手の立場が変わると変更が必要になるのは、時制、人称だけではない。場所や時を表す副詞・前置詞句も相対的な表現の場合には書き換えが必要となる。たとえば、ici「ここ」と là-bas「あそこ」で示されるのは話し手から見た遠近の差であるし、hier「昨日」や demain「明日」は話し手にとっての「今日」を基準としている。したがって、立場が変われば、同じ表現が使えなくなる場合も少なくない。しかし、機械的な書き換えはできない。たとえば、Marie m'a dit: « Pierre arrivera demain. » 「マリはピエールが明日到着するだろうと言った」は、マリの発言がいつ行われたかで、demainの書き換えが変わってくる。マリの発言が全文の発言よりも以前の日に行われた場合は、le lendemain「翌日」に書き換える必要があるが、マリの発言が全文の発言と同じ日に

行われたのであれば、*demain* のままである。一見、複雑に見えるが、人称と時制の書き換えのメカニズムをしっかりと理解すれば、副詞の書き換えは、おのずと理解できるようになる。

書き換えの例：aujourd'hui 今日 → ce jour-là その日, hier 昨日 → la veille 前日, demain 明日 → le lendemain 翌日, maintenant 今 → à ce moment-là その時, ce matin 今朝 → ce matin-là その朝, la semaine prochaine 来週 → la semaine suivante 次の週, la semaine dernière 先週 → la semaine précédente 前の週, dans deux jours 二日後（今を起点に） → deux jours après 二日後（今以外を起点に）, il y a trois ans 三年前（今を起点に） → trois ans avant 三年前（今以外を起点に）, ici ここ → là あそこ。

22.2 間接疑問文

22.2.1 原則

間接話法で表される主語の発言内容が疑問文の場合、そうした文章を間接疑問文と呼ぶ。間接疑問文では、次の点に注意しなければならない。

- 発言の内容の疑問文中で倒置は行わない。また疑問符をつけない。
- 発言内容を導く接続詞に、*que* ではなく、疑問詞を用いる。

音声：22-12

直接話法 ピエール ム ドゥマンドゥ ウ ヴァテル
Pierre me demande : "Où va-t-elle?"
ピエールは「彼女はどこに行くのか」と私に尋ねる。

間接話法 ピエール ム ドゥマンドゥ ウ エル ヴァ
Pierre me demande où elle va.
ピエールは彼女がどこに行くのかを私に尋ねる。

直接話法 マリ ム ドゥマンドゥ ドゥ ヴィヤンティル
Marie me demande : "D'où vient-il?"
マリは「彼はどこの出身なの」と私に尋ねる。

間接話法 マリ ム ドゥマンドゥ ドゥ イル ヴィヤン
Marie me demande d'où il vient.
マリは彼がどこの出身なのかを私に尋ねる。

間接疑問文は間接話法の一種なので、人称や時制の一致が必要である。

—— 人称の一致に注意

音声：22-13

直接話法 ピエール リュイ ドゥマンドゥ コモン タベル テュ
Pierre lui demande : "Comment t'appelles-tu?"
ピエールは「君は何という名前なの」と彼（女）に尋ねる。

間接話法 ピエール リュイ ドゥマンドゥ コモン イル(エル) サベール
Pierre lui demande comment il (elle) s'appelle.
ピエールはなんとと言う名前かを彼（女）に尋ねる。

—— 時制の一致に注意

音声：22-14

- 直接話法 ピエーる マ ドゥマンドゥ コン エテル アリヴェ
Pierre m'a demandé : " Quand est-elle arrivée?"
ピエールは「彼女は何時到着したのか」と私に尋ねた。
- 間接話法 ピエーる マ ドゥマンドゥ コン エレタリヴェ
Pierre m'a demandé quand elle était arrivée.
ピエールは彼女が何時到着したのかを私に尋ねた。

22.2.2 例外

疑問詞のない疑問文への対処

疑問詞を用いない疑問文を間接話法に書き換える場合には、que のかわりに、si を用いる。なお、si は il, ils の前でのみエリジョンを行う。そのため、s'il, s'ils に対し、si elle, si elles などとなる。

音声：22-15

- 直接話法 ピエーる ム ドゥマンドゥ エテル リッシュ
Pierre me demande : " Est-elle riche ?"
ピエールは「彼女は金持ちなのか」と私に尋ねる。
- 間接話法 ピエーる ム ドゥマンドゥ スイ エレ リッシュ
Pierre me demande si elle est riche.
ピエールは彼女が金持ちかどうかを私に尋ねる。

que を使った疑問文への対処

que (qu'est-ce que, qu'est-ce qui) を用いた疑問文に対しては、疑問詞 que が接続詞の que と区別できないため、先行詞を含む関係代名詞、ce qui を「何が」(主格)の意味で、ce que を「何を、何」(直接目的格・属詞)の意味で、それぞれ用いる。

音声：22-16

- 直接話法 ピエーる リュイ ドゥマンドゥ ケス キ エタリヴェ
Pierre lui demande : " Qu'est-ce qui est arrivé ?"
ピエールは「何が起こったんだ」と彼(女)に尋ねる。
- 間接話法 ピエーる リュイ ドゥマンドゥ ス キ エタリヴェ
Pierre lui demande ce qui est arrivé.
ピエールは何が起こったのかを彼(女)に尋ねる。
- 直接話法 ピエーる リュイ ドゥマンドゥ ク シェるシュ マリ
Pierre lui demande : " Que cherche Marie ?"
ピエールは「マリは何を探しているのか」と彼(女)に尋ねる。
- 間接話法 ピエーる リュイ ドゥマンドゥ ス ク マリ シェるシュ
Pierre lui demande ce que Marie cherche.
ピエールはマリが何を探しているのかを彼(女)に尋ねる。

NB: 前置詞の目的語の場合は、直接話法と同じく「前置詞 +quoi」を用いる。

直接話法 Il m'a demandé: « De quoi parle-t-elle?»

間接話法 Il m'a demandé de quoi elle parlait.

彼女は何について話しているのかと、彼は私に尋ねた。

22.3 参考：不定法

辞書に記載される動詞の原形のことを不定法と呼ぶことは既に何度か説明した。しかし、不定法は単なる動詞の原形ではなく、独自の用法を持つ変化形の一つである。実際、不定法には、主節より以前の事柄を表す複合形や、受動形も存在する。

複合形=avoir, être の不定法 + 過去分詞

受動形=être+ 過去分詞／受動態複合形= avoir été +過去分詞)

例：avoir chanté「歌ったこと」、être allé(e)(s)「行ったこと」、être aimé(e)(s)「愛されること」、avoir été trouvé(e)(s)「見つけられたこと」(性数一致については 22.3.2 不定法の注意事項 296 頁を参照)

22.3.1 不定法の用法

前置詞句で

不定法は基本的に、「～すること」というふうに動詞を名詞化した意味をもつが、今日では、前置詞なしで用いることはまれである。

音声：22-17

イレ ディフィシル ダブロンドル ヌヌ ラング

① Il est difficile d'apprendre une langue.

言語を習得することは難しい。

イル フォ ドゥズーる プラレ シェゼル

② Il faut deux heures pour aller chez elle.

彼女の家に行くには、二時間が必要だ。

アヴォン ダレ オ スイネマ ジェ オンヴィ ドゥ ディネ

③ Avant d'aller au cinéma, j'ai envie de dîner.

映画に行く前に、夕食を食べたい。

ただし、aller や venir などの移動を表す動詞は、不定法を前置詞なしで従えて、「～しに行く」「～しに来る」を表せることはすでに学んだ (99 頁、100 頁)。

動詞の目的語として (de や à を伴って)

動詞の目的語となる場合、通常は、不定法の前に、前置詞の à か de が必要である。

音声：22-18

エラ コモンセ ア リーる

④ Elle a commencé à rire.

彼女は笑い始めた。

ヌザヴォン セセ ドゥ ジュエ

⑤ Nous avons cessé de jouer.

私たちは遊ぶのをやめた。

NB: 命令文は間接話法では「主節動詞 +de+ 不定法」で表せる。Il m'a ordonné : « Partez tout de suite ! » ⇒ Il m'a ordonné de partir tout de suite. 「彼は私にすぐ出発するように命じた。」

動詞の目的語として（前置詞なしで）

前置詞なしに不定法を目的語として従える動詞も若干存在する。叙法動詞 (pouvoir, vouloir, savoir, devoir) については、すでに学んだ (125 頁)。それ以外では、使役動詞 (laisser 「^レするがままにさせる」, ^{フェー}faire 「させる」)・知覚動詞 (voir 「見える」, ^{オントンド}entendre 「聞こえる」) がその代表的なものである。

音声：22-19

ジュ ヴュ マリ ブルレ

⑥ J'ai vu Marie pleurer.

私はマリが泣いているのを見た。

エロントン ポル ションテ

⑦ Elle entend Paul chanter.

彼女にはポールが歌うのが聞こえる。

イル フェ ヴニル ジャンヌ

⑧ Il fait venir Jeanne.

彼はジャンヌを来させる。

NB: 使役動詞の構文：不定法が目的語をとらない場合は、「使役動詞 + 不定法 + 不定法の主語（前置詞なし）」となる（上の例文）。不定法が直接目的格補語をとる場合には「使役動詞 + 不定法 + 不定法の直接目的格補語 + 不定法の主語（前置詞 à/par）」となる（La mère laisse regarder la télé à/par son enfant. 「母親は子供にテレビを見させておく」）。不定法が間接目的補語をとる場合には、「使役動詞 + 不定法 + 不定法の主語（前置詞なし） + 不定法の間接目的格補語」とする場合が多い（Il a fait téléphoner Marie à sa mère. 「彼はマリに母親に電話をかけさせた」）が、「使役動詞 + 不定法 + 不定法の間接目的格補語 + 不定法の主語（前置詞 à/par）」とすることもある。

22.3.2 不定法の注意事項

不定法の使用に際しては、次の点にも注意すること。

音声：22-20

- 目的格人称代名詞は、不定法の直前に置く。

ジュ スエイ コントン ドゥ ヴ ヴワル

⑨ Je suis content de vous voir.

あなたにお会いできてうれしいです。

- 否定には、ne pas を不定法の直前に置く。

⑩ プる ヌ バ エトッる トッる^{ヴェ} イル ス カシユ
 Pour *ne pas* être trouvé, il se cache.

彼は見つからないために、身を隠す。

- être を用いた複合形や受動形の過去分詞は、意味上の主語に性数一致を行う。

⑪ プる ヌ バ エトッる トッる^{ヴェ} エル ス カシユ
 Pour *ne pas* être trouvée, elle se cache.

彼女は見つからないために、身を隠す。

⑫ エル ソン コントントウ デー^トる ヴニユ シェ リユイ
 Elles sont contentes d'être venues chez lui.

彼女たちは彼の家に來れたことに満足だ。

- 再帰代名詞は、不定法の意味上の主語にあわせて形を変える。

⑬ ジュ リ アン リー^ヴる アヴ^オン ドウ ム クシユ
 Je lis un livre avant de me coucher.

私は寝る前に本を一冊読む。

⑭ アブレ ヌゼー^トッる ラベ レ マン ヌザ^ヴオン マン^{ジュ} レ サンド^ウッチ
 Après nous être lavé les mains, nous avons mangé les sandwiches.

手を洗った後で、私たちはサンドウィッチを食べた。

22.4 第 22 章練習問題

22.4.1 次の文章を間接話法に書き換えよ。ただし、人称も時称も一致に考慮する必要はない

- ① Pierre dit: " Marie cherche Paul."

ピエールは「マリーがポールを探している」と言う
- ② Marie dit: " Jeanne aime Paul."

マリーは「ジャンヌがポールを愛している」と言う
- ③ Vous dites: " Marie a mangé le pain."

あなたは「マリーがそのパンを食べた」と言う
- ④ Ils disent: " Pierre a oublié son livre."

彼らは「ピエールが自分の本を忘れた」と言う
- ⑤ Je dis: " Je suis malade."

私は「私は病気だ」と言う。
- ⑥ Tu dis: " Paul partira demain."

君は「ポールが明日出発するだろう」と言う。
- ⑦ Il dit: " Marie perdra sa maison."

彼は「マリーが自分の家を失うだろう」と言う
- ⑧ Nous disons: " Nous connaissons les parents de Paul."

「私たちはポールの両親を知っている」と私たちは言う。
- ⑨ Vous me demandez: " Quand arrive-t-elle ?"

あなたは「彼女は何時到着するのか」と私に聞く。
- ⑩ Ils te demandent: " Pourquoi pleure-t-elle ?"

彼らは君に「なぜ、彼女は泣いているのか」と聞く。

22.4.2 次の文章を直接話法に書き換えよ。ただし、人称も時称も一致に考慮する必要はない

- ① Pierre dit que Marie cherche Paul.
- ② Marie dit que Jeanne aime Paul.
- ③ Vous dites que Marie a mangé le pain.
- ④ Ils disent que Pierre a oublié son livre.
- ⑤ Je dis que je suis malade.
- ⑥ Tu dis que Paul partira demain.
- ⑦ Il dit que Marie perdra sa maison.
- ⑧ Nous disons que nous connaissons les parents de Paul.
- ⑨ Vous me demandez quand elle arrive.
- ⑩ Ils te demandent pourquoi elle pleure.

22.4.3 次の文章を間接話法に書き換えよ。ただし、人称の一致を考慮せよ

- ① Il me dit: “ Tu es malade.”
彼は私に「君は病気だ」と言う。
- ② Elle me dit: “ Je suis riche.”
彼女は私に「私は金持ちだ」と言う。
- ③ Pierre lui dit: “ Vous êtes belle.” (lui = à elle)
ピエールは彼女に「あなたは美しい」と言う。
- ④ Marie leur dit: “ Vous êtes tranquilles.” (leur = à elles)
マリーは彼女たちに「君たちは静かだ」と言う。
- ⑤ Pierre me dit: “ Je suis sérieux.”
ピエールは私に「私は真面目だ」と言う。
- ⑥ Je lui dis: “ Tu bois beaucoup de vin.” (lui = à lui)
私は彼に「君はワインをいっぱい飲む」と言う。
- ⑦ Tu leur dis: “ Vous marchez vite.” (lui = à eux)
君は彼らに「君たちは歩くのが速い」と言う。
- ⑧ Elle demande à Paul: “ Combien avez-vous payé ?”
彼女はポールに「あなたはいくら払ったのですか」と尋ねる。
- ⑨ Il demande à Marie: “ Où vas-tu ?”
彼はマリーに「君はどこに行くんだい」と尋ねる。
- ⑩ Pierre me demande: “ Comment travaillez-vous ?”

ピエールは私に「どんなふうに働いていますか」と尋ねる。

22.4.4 次の文章を直接話法に書き換えよ。ただし、人称の一致を考慮すること

- ① Il me dit que je suis malade.
- ② Elle me dit qu'elle est riche.
- ③ Pierre lui dit qu'elle est belle.
- ④ Marie leur dit qu'elles sont tranquilles.
- ⑤ Pierre me dit qu'il est sérieux.
- ⑥ Je lui dis qu'il boit beaucoup de vin.
- ⑦ Tu leur dis qu'ils marchent vite.
- ⑧ Elle demande à Paul combien il a payé.
- ⑨ Il demande à Marie où elle va.
- ⑩ Pierre me demande comment je travaille.

22.4.5 次の文章を間接話法に書き換えよ。ただし、時称の一致を考慮せよ

- ① Pierre a dit: " Marie cherche une robe."
ピエールは「マリーがドレスを探している」と言った。
- ② Marie a dit: " Pierre a chanté une chanson."
マリーは「ピエールが歌を歌った」と言った。
- ③ Jeanne a dit: " Paul se couchera tôt."
ジャンヌは「ポールは早く寝るだろう」と言った。
- ④ Paul a dit: " Marie est malade."
ポールは「マリは病気だ」と言った。
- ⑤ Vous avez dit: " Pierre a été tranquille."
君たちは「ピエールが静かだった」と言った。
- ⑥ Tu as dit: " Jeanne sera riche."
君は「ジャンヌが金持ちになるだろう」と言った。
- ⑦ Pierre m'a demandé: " Où Marie chante-t-elle ?"
ピエールは私に「マリはどこで歌うの」と尋ねた。
- ⑧ Jeanne nous a demandé: " Quand Pierre est-il arrivé ?"
ジャンヌは私たちに「ピエールはいつ到着したの」と尋ねた。
- ⑨ Marie a demandé : " Pourquoi Jeanne partira-t-elle ?"
マリーは「なぜ、ジャンヌは行ってしまうの」と尋ねた。

22.4.6 次の文章を直接話法に書き換えよ。ただし、時称の一致を考慮すること

- ① Pierre a dit que Marie cherchait une robe.
- ② Marie a dit que Pierre avait chanté une chanson.
- ③ Jeanne a dit que Paul se coucherait tôt.
- ④ Paul a dit que Marie était malade.
- ⑤ Vous avez dit que Pierre avait été tranquille.
- ⑥ Tu as dit que Jeanne serait riche.
- ⑦ Pierre m'a demandé où Marie chantait.
- ⑧ Jeanne nous a demandé quand Pierre était arrivé.
- ⑨ Marie a demandé pourquoi Jeanne partirait.

22.4.7 次の文章を間接話法に書き換えよ。ただし、人称と時称の一致に考慮すること

- ① Pierre a dit: " Je suis à la maison."
ピエールは「私は在宅中だ」と言った。
- ② Marie m'a dit: " Tu as marché trop vite."
マリーは私に「君は歩くのが速すぎた」と言った。
- ③ Jeanne m'a dit: " J'habiterai à Paris."
ジャンヌは私に「私はパリに住むつもりです」と言った。
- ④ Pierre lui a dit: " Tu es heureuse." (lui = à elle)
ピエールは彼女に「君は幸せだ」と言った。
- ⑤ Marie leur a dit: " Vous avez été contents." (leur = à eux)
マリーは彼らに「君たちは満足していた」と言った。
- ⑥ Pierre m'a dit: " Vous serez pauvre."
ピエールは私に「あなたは貧乏になるだろう」と言った。
- ⑦ J'ai demandé à Pierre: " Pourquoi restez-vous à la maison ?"
私はピエールに「なぜ、家にとどまるのですか」と聞いた。
- ⑧ Il a demandé à Marie: " Combien avez-vous payé cette voiture ?"
彼はマリーに「その自動車にいくら払ったのですか」と聞いた。
- ⑨ Pierre m'a demandé: " Quand reviendrez-vous ?"
ピエールは私に「いつあなたは戻ってくるのですか」と聞いた。

22.4.8 次の文章を直接話法に書き換えよ。ただし、人称と時称の一致に考慮すること

- ① Pierre a dit qu'il était à la maison.
- ② Marie m'a dit que j'avais marché trop vite.
- ③ Jeanne m'a dit qu'elle habiterait (habitera) à Paris.
- ④ Pierre lui a dit qu'elle était heureuse.
- ⑤ Marie leur a dit qu'ils avaient été contents.
- ⑥ Pierre m'a dit que je serais (serai) pauvre.
- ⑦ J'ai demandé à Pierre pourquoi il restait à la maison.
- ⑧ Il a demandé à Marie combien elle (= Marie) avait payé cette voiture.
- ⑨ Pierre m'a demandé quand je reviendrais (reviendrai).

22.4.9 次の文章を間接話法に書き換えよ。ただし、人称と時称の一致に考慮する必要はない

- ① Je vous demande: " Marie est-elle étudiante ?"
私はあなたに「マリは学生ですか」と尋ねる。
- ② Il me demande: " Que Pierre mange-t-il ?"
彼は私に「ピエールは何を食べているのか」と尋ねる。
- ③ Vous me demandez: " Qu'est-ce qui se passe ?"
君たちは私に「何が起きているのか」と聞く。
- ④ Marie lui demande: " Qu'est-ce que vous demandez ?" (lui = à lui)
マリは彼に「あなたは何を尋ねているのか」と聞く。

22.4.10 次の文章を直接話法に書き換えよ。ただし、人称と時称の一致に考慮する必要はない

- ① Je vous demande si Marie est étudiante.
- ② Il me demande ce que Pierre mange.
- ③ Vous me demandez ce qui se passe.
- ④ Marie lui demande ce qu'il demande.

22.4.11 次の文章を間接話法に書き換えよ。ただし、人称と時称の一致を考慮すること

- ① Pierre m'a demandé: " Êtes-vous heureuse ?"
ピエールは私に「あなたは幸せですか」と尋ねた。
- ② Jeanne a demandé à Marie: " Que cherchez-vous ?"
ジャンヌはマリーに「何を探しているのですか」と尋ねた。
- ③ Marie m'a demandé: " Qu'est-ce qui est arrivé ?"
マリーは私に「何が起こったのですか」と聞いた。
- ④ Paul a demandé à Jeanne: " Qu'est-ce que vous me montrerez ?"
ポールはジャンヌに「何を私に見せるつもりですか」と聞いた。

22.4.12 次の文章を直接話法に書き換えよ。ただし、人称と時称の一致を考慮すること

- ① Pierre m'a demandé si j'étais heureuse.
- ② Jeanne a demandé à Marie ce qu'elle cherchait.
- ③ Marie m'a demandé ce qui était arrivé.
- ④ Paul a demandé à Jeanne ce qu'elle lui montrerait.

第 23 章

接続法・単純過去・前過去

◆ 本章の目標 ◆

- 接続法現在（規則変化 +avoir, être）と過去の変化を学ぶ
- 接続法の概念と用法を学ぶ

23.1 CROIRE の直説法現在

直説法現在	
クワール CROIRE (思う・信じる)	
クワヨ croyant	クリュ cru
ジュ クワ je crois	ヌ クワヨ nous croyons
テュ クワ tu crois	ヴ クワイエ vous croyez
イル クワ il croit	イル クワ ils croient
エル クワ elle croit	エル クワ elles croient

音声：23-1

語尾にアクセントがある一人称複数形と二人称複数形だけで-y-を用いる。同じタイプの変化をする動詞としては、voir「見る」がある。例文は、接続法の節で学ぶ。

23.2 接続法現在と過去の変化

23.2.1 接続法現在の変化規則

接続法現在は直説法現在に次いで、不規則変化をする動詞が多い。とはいえ、それは主に語幹に関してであって、語尾変化については、極めて例外が少ない。

語尾変化

	単数	複数	語尾変化は avoir, être を除く、すべての動詞に共通である。
一人称	-e	-ions	
二人称	-es	-iez	
三人称	-e	-ent	

語幹

通常、直説法現在三人称複数形から、語尾-entを取り除くと、接続法現在の語幹を得ることができる（次節で見る通り、直説法現在で不規則変化をする多くの動詞が、接続法では規則変化する）。

chercher ⇒ ils cherchent ⇒ cherch-
finir ⇒ ils finissent ⇒ finiss-
attendre ⇒ ils attendent ⇒ attend-

23.2.2 規則的な接続法現在をもつ動詞

DESCENDRE → je descende ...; ENTENDRE → j'entende ...; PERDRE → je perde ...; RENDRE → je rende ...; RÉPONDRE → je réponde; VENDRE → je vende ...
OUVRIIR → j'ouvve ...; OFFRIIR → j'offre ...
PARTIR → je parte ...; SENTIR → je sente ...; SORTIR → je sorte ...; SERVIR → je serve ...; DORMIR → je dorme ...; SUIVRE → je suive ...
CONDUIRE → je conduise ...; LIRE → je lise ...; ÉCRIRE → j'écrive ...; BOIRE → je boive ...; RIRE → je rie ... (nous riions, vous riiez).
CONNAÎTRE → je conaïsse ...; PARAÎTRE → je paraïsse ...; PLAIRE → je plaïsse ...; DIRE → je dise ...
METTRE → je mette ...

接続法現在	
シエるシエ CHERCHER (探す)	
ジュ シエるシュ je cherche	ヌ シエるシオン nous cherchions
テュ シエるシュ tu cherches	ヴ シエるシエ vous cherchiez
イル シエるシュ il cherche	イル シエるシュ ils cherchent
エル シエるシュ elle cherche	エル シエるシュ elles cherchent

接続法現在	
アトンドる ATTENDRE (待つ)	
ジャトードッ j'attende	ヌザトండిオン nous attendions
テュ アトードッ tu attendes	ヴザトండిエ vous attendiez
イラトードッ il attende	イルザトードッ ils attendent
エラトードッ elle attende	エルザトードッ elles attendent

23.2.3 不規則な接続法現在をもつ動詞

A. 規則的な語幹を持つが、一・二人称複数形は直説法半過去と同形になる

VENIR → je vienne ... nous venions, vous veniez ...; DEVENIR → je devienne ... nous devenions, vous deveniez ...; REVENIR → je revienne ... nous revenions, vous reveniez ...; TENIR → je tiens ... nous tenions, vous teniez ...
DEVOIR → je doive ... nous devions, vous deviez ...; RECEVOIR → je reçoive ... nous recevions, vous receviez ...
PRENDRE → je prenne ... nous prenions, vous preniez ...; APPRENDRE → j'apprenne ... nous apprenions, vous appreniez ...; COMPRENDRE → je comprenne ... nous comprenions, vous compreniez ...
VOIR → je voie ... nous voyions, vous voyiez ...; CROIRE → je croie ... nous croyions, vous croyiez ...

B. 接続法現在に固有の語幹を持つもの

— 覚えるべき例外 —

音声：23-2

接続法現在

アヴワーる

AVOIR (持っている)

ジェ	ヌゼヨン
j'aie	nous ayons
テュ エ	ヴゼイエ
tu aies	vous ayez
イレ	イルゼ
il ait	ils aient
エレ	エルゼ
elle ait	elles aient

音声：23-3

接続法現在

エートる

ÊTRE (いる)

ジュ スワ	ヌ スワヨン
je sois	nous soyons
テュ スワ	ヴ スワイエ
tu sois	vous soyez
イル スワ	イル スワ
il soit	ils soient
エル スワ	エル スワ
elle soit	elles soient

音声：23-4

接続法現在	
アレ	
ALLER (行く)	
ジャールユ j'aille	ヌザリオ nous allions
テュ アールユ tu ailles	ヴザリエ vous alliez
イラールユ il aille	イルザールユ ils aillent
エラールユ elle aille	エルザールユ elles aillent

*注意：一・二人称複数形は直説法半過去形と同形

接続法現在	
フェール	
FAIRE (する、作る)	
ジュ ファールス je fasse	ヌ ファスィオン nous fassions
テュ ファールス tu fasses	ヴ ファスィエ vous fassiez
イル ファールス il fasse	イル ファールス ils fassent
エル ファールス elle fasse	エル ファールス elles fassent

接続法現在	
サヴワール	
SAVOIR (できる、知っている)	
ジュ サールシェ je sache	ヌ サシオン nous sachions
テュ サールシェ tu saches	ヴ サシエ vous sachiez
イル サールシェ il sache	イル サールシェ ils sachent
エル サールシェ elle sache	エル サールシェ elles sachent

接続法現在	
プヴワール	
POUVOIR (可能である)	
ジュ ビュイス je puisse	ヌ ビュイスィオン nous puissions
テュ ビュイス tu puisses	ヴ ビュイスィエ vous puissiez
イル ビュイス il puisse	イル ビュイス ils puissent
エル ビュイス elle puisse	エル ビュイス elles puissent

接続法現在	
ヴルワール	
VOULOIR (欲する)	
ジュ ヴゥールユ je veuille	ヌ ヴリオン nous voulions
テュ ヴゥールユ tu veuilles	ヴ ヴリエ vous vouliez
イル ヴゥールユ il veuille	イル ヴゥールユ ils veuillent
エル ヴゥールユ elle veuille	エル ヴゥールユ elles veuillent

23.2.4 接続法過去の活用

接続法過去は次のようにして、作られる。

avoir, être の接続法現在 + 過去分詞

接続法過去は複合時制なので、助動詞の使い分け、語順、過去分詞の性数一致については、直説法複合過去の規則に従う。

1. 助動詞 être と avoir の使い分け (130 頁)
2. 過去分詞の性数一致 (131 頁)
3. 語順：否定文・倒置疑問文の作り方；人称代名詞の目的格形の位置 (141 頁)

接続法過去	
出るティー PARTIR (出発する)	
ジュ スワ 出るティ je sois parti(e) テュ スワ 出るティ tu sois parti(e) イル スワ 出るティ il soit parti エル スワ 出るティ elle soit partie	ヌ スワヨン 出るティ nous soyons parti(e)s ヴ スワイエ 出るティ vous soyez parti(e)s イル スワ 出るティ ils soient partis エル スワ 出るティ elles soient parties
接続法過去 (否定)	
ジュ ヌ スワ パ 出るティ je ne sois pas parti(e) テュ ヌ スワ パ 出るティ tu ne sois pas parti(e) イル ヌ スワ パ 出るティ il ne soit pas parti エル ヌ スワ パ 出るティ elle ne soit pas partie	ヌ ヌ スワヨン パ 出るティ nous ne soyons pas parti(e)s ヴ ヌ スワイエ パ 出るティ vous ne soyez pas parti(e)s イル ヌ スワ パ 出るティ ils ne soient pas partis エル ヌ スワ パ 出るティ elles ne soient pas parties
接続法過去 (倒置)	
スワ ジュ 出るティ sois-je parti(e) スワ テュ 出るティ sois-tu parti(e) スワティル 出るティ soit-il parti スワテル 出るティ soit-elle partie	スワヨン ヌ 出るティ soyons-nous parti(e)s スワイエ ヴ 出るティ soyez-vous parti(e)s スワティル 出るティ soient-ils partis スワテル 出るティ soient-elles parties
音声：23-6	
接続法過去	
シェるシェ CHERCHER (探す)	
ジェ シェるシェ j'ai cherché テュ エ シェるシェ tu aies cherché イレ シェるシェ il ait cherché エレ シェるシェ elle ait cherché	ヌゼヨン シェるシェ nous ayons cherché ヴゼイエ シェるシェ vous ayez cherché イルゼ シェるシェ ils aient cherché エルゼ シェるシェ elles aient cherché
接続法過去 (否定)	
ジュ ネ パ シェるシェ je n'ai pas cherché テュ ネ パ シェるシェ tu n'aies pas cherché イル ネ パ シェるシェ il n'ait pas cherché エル ネ パ シェるシェ elle n'ait pas cherché	ヌ ネヨン パ シェるシェ nous n'ayons pas cherché ヴ ネイエ パ シェるシェ vous n'ayez pas cherché イル ネ パ シェるシェ ils n'aient pas cherché エル ネ パ シェるシェ elles n'aient pas cherché
接続法過去 (倒置)	
エジュ シェるシェ aie-je cherché エテュ シェるシェ aies-tu cherché エティル シェるシェ ait-il cherché エテル シェるシェ ait-elle cherché	エイヨンヌ シェるシェ ayons-nous cherché エイエヴ シェるシェ ayez-vous cherché エティル シェるシェ aient-ils cherché エテル シェるシェ aient-elles cherché

23.3 接続法の用法

接続法は通常従属文中で用いられ、従属文が、願望・恐れ・疑念などの感情の対象や、現実かどうか未確定な事柄を表すことが多い。直説法が、基本的には、事実をありのままに語るという客観性を含意するのに対し、接続法は、「事実であって欲しい、事実であって欲しくない、事実かどうかわからない」といった話し手の主観性を含意する。

とはいえ、実際問題としては、接続法の用法は非常に複雑であり、理屈だけで割り切れるものではない。接続法が用いられる個々の事例を少しずつ覚えて行くのが習得の早道である。**以下では、まず太字のものから覚えると良い。**なお、接続法現在と接続法半過去の使いわけについては、次節で学ぶ。

特定の動詞（動詞相当語句）が従える、間接話法の従属文中で

不確かさ・恐れ・願望・感情などを表す動詞（動詞相当語句）の多くが、その従属文（que 節）の中で、接続法の使用を要求する

ne pas croire que 「～とは思わない」；**vouloir que** 「～を欲する」；**avoir peur que** 「～するのではないかと恐れる」；**ne pas penser que** 「～とは思わない」；**demander que** 「～することを求める」；**être content que** 「～のことで満足である」；**être heureux que** 「～のことで幸せである」

音声：23-7

ジュヌ クるワ バク ルイズ エ フェ ヌヌ エるーる

① Je ne crois pas que Louise **ait** fait une erreur.

私はルイズがミスをしたとは思わない。

ジャンヌ ヴレク サ フィーユ ガーニユル プルミエ プリ

② Jeanne voulait que sa fille **gagne** le premier prix.

ジャンヌは娘が一位になることを望んでいた。

ヌザヴォン プル ク マリヌ ヴィエヌ

③ Nous avons peur que Marie **ne vienne**.

私たちはマリが来るのではないかと恐れている。

エレ コントントゥク ソン フィス ス スワ ルヴェト

④ Elle est contente que son fils **soit** levé tôt.

彼女は息子が早起きして満足だ。

NB: 例文3の従属文中の ne は**虚字の ne** と呼ばれるもので、否定の意味はないことに注意すること。日本語では「彼女が来ることを恐れる」という意味で、「来るのではないかと恐れる」と言うが、同様のことが、フランス語でも生じているのである。なお、「来ないことを恐れる」場合には、ne だけではなく pas が必要である。

Nous avons peur que Marie **ne vienne pas**.

「私たちはマリが来ないのではないかと恐れている。」

必要性、不確かさ、判断などを表す非人称表現が従える que 節の中で

il faut que 「～が必要である」； **il est impossible que** 「～なんてありえない」； **il est naturel que** 「～というのは当然だ」； **il est nécessaire que** 「～は必然（必要）だ」

音声：23-8

イル フォ ク ヴザンディエ ロントン

- ⑤ Il faut que vous
- attendiez**
- longtemps.

あなたは長く待つ必要があります。

イレタンボスィーブル ク ピエール エ レユスィ ア レグザマン

- ⑥ Il est impossible que Pierre
- ait réussi**
- à l'examen.

ピエールが試験に合格したなんてありえない。

未実現の事柄、譲歩を表す接続詞が従える従属節の中で

bien que 「～にもかかわらず」 **avant que** 「～する前に」 ; **pour que** 「～するために」

音声：23-9

ジャンヌ ナシェトゥッ パ ス リヴル ビヤン ケル スワ リーシュ

- ⑦ Jeanne n'achète pas ce livre
- bien qu'elle soit**
- riche.

ジャンヌは金持ちなのに、その本を買わない。

イラ カシェ ス カド プル ク ソン ベル ヌ ル トゥルヴ バ

- ⑧ Il a caché ce cadeau
- pour que son père ne le trouve**
- pas.

彼は父親が見つけないように、そのプレゼントを隠した。

参考：存在するかどうか不明のものを先行詞とする関係詞節で

以下の例文では、家をまだ探している段階なので、条件を満たすような部屋があるかどうかは、わからない。そのため、従属文中で接続法が使われているのである。

ヌ シェルシヨン ユヌ メゾン キ エ ユヌ ベル ヴュ スュール ラ メー

Nous cherchons une maison qui ait une belle vue sur la mer.

私たちは海の眺めが良い家を探している。

23.4 接続法の時制の一致

現在では接続法は現在形と過去形しかないため、時制の一致を行うのは不可能である。**接続法現在**は主節と同時に未来の出来事を表し、**過去**は主節より過去の事柄を表す。以下では、直説法の場合と比較しつつ、接続法に時制の一致がないことを確認する。

23.4.1 主節が現在の場合

従属節が直説法の場合（時制の一致は顕在化しない）

Je crois: " Marie est malade." Je crois que Marie est malade.

Je crois: " Marie a été malade." Je crois que Marie a été malade.

Je crois: " Marie sera malade." Je crois que Marie sera malade.

従属節が接続法の場合（時制の一致は起こらない）

Je ne crois pas: “ Marie est malade.”

Je ne crois pas que Marie *soit* malade.

Je ne crois pas: “ Marie a été malade.”

Je ne crois pas que Marie *ait été* malade.

Je ne crois pas: “ Marie sera malade.”

Je ne crois pas que Marie *soit* malade.

23.4.2 主節が過去の場合

従属節が直説法の場合（時制の一致が顕在化）

Je croyais: “ Marie est malade.” Je croyais que Marie *était* malade.

Je croyais: “ Marie a été malade.” Je croyais que Marie *avait été* malade.

Je croyais: “ Marie sera malade.” Je croyais que Marie *serait* (sera) malade.

従属節が接続法の場合（時制の一致は起こらない）

Je ne croyais pas: “ Marie est malade.”

Je ne croyais pas que Marie *soit* malade.

Je ne croyais pas: “ Marie a été malade.”

Je ne croyais pas que Marie *ait été* malade.

Je ne croyais pas: “ Marie sera malade.”

Je ne croyais pas que Marie *soit* malade.

23.4.3 まとめ

結局のところ、接続法現在は正確には「接続法、主節と同時に主節より未来」と呼ぶべきであるし、接続法過去は「接続法、主節より過去」と呼ぶべきものであって、名前通りの現在や過去を表すものではない。図式化すれば次の通りである。

主節	従属節	時間関係
⑨ 現在	接続法現在	従属節は主節と同時に主節より未来
⑩ 現在	接続法過去	従属節は主節より過去
⑪ 過去	接続法現在	従属節は主節と同時に主節より未来
⑫ 過去	接続法過去	従属節は主節より過去

*上の丸付き数字は、下記の例文との対応関係を表している。

音声：23-10

ジュ ス クるワ バク マリ スワ マラード

⑨ Je ne crois pas que Marie **soit** malade.

マリが病気だとは思わない。

ジュ ス クるワ バク マリ エテテ マラード

⑩ Je ne crois pas que Marie **ait été** malade.

マリが病気だったとは思わない。

ジュヌ クるワエ バク マリ スワ マラード
 ⑪ Je ne croyais pas que Marie **soit** malade.

マリが病気だとは思わなかった。

ジュヌ クるワエ バク マリ エテテ マラード
 ⑫ Je ne croyais pas que Marie **ait été** malade.

マリが病気だったとは思わなかった。

23.5 補足：接続法半過去と大過去

23.5.1 接続法半過去と大過去の用法

接続法の時制の一致

すでに確認した通り、現在では、接続法は時制の一致を行わない。しかし、これは、口語では、18世紀頃から、徐々に生じてきた習慣で、現在でも、文章語では、接続法が時制の一致を行うこともある。

Je ne croyais pas que Marie **fût** malade.

マリが病気だとは思わなかった。(主節と同時：前の節の⑩に相当)

Je ne croyais pas que Marie **eût été** malade.

マリが病気だったとは思わなかった。(主節より過去：前の節の⑩に相当)

上記で用いられている、**fût** と **eût été** は、それぞれ、**être** の接続法半過去形と接続法大過去形である。接続法大過去は、「avoir, être の接続法半過去 + 過去分詞」で作られる複合時制である。

条件法過去第二形

現在でも、過去の事実と反する条件文の中では、帰結節の条件法過去や前提節の直説法大過去のかわりに、接続法大過去が用いられることがある。たとえば、条件法であげた「クレオパトラの鼻」の例文(281頁)は、パスカル自身の表現では次の通りであった。

音声：23-11

Le nez de Cléopâtre, s'il **eût été** plus court, toute la face de la terre aurait changé. (Blaise Pascal, Fragment n° 31/35.)

こうした条件法過去第二形は、ほぼ三人称単数形でしか用いられないので、「**fût**+ 過去分詞」、「**eût**+ 過去分詞」が有用な目印になる。**fût** と **eût** は次に見る通り、**être** と **avoir** の接続法半過去形である。

23.5.2 接続法半過去と大過去の変化

◆ 次節の直説法単純過去以上に、初級・中級者が目にする可能性は低い時制なので、必要に迫られるまで、変化表を覚える必要はまったくない。

接続法半過去の活用は、-a 型、-i 型、-u 型のいずれかに属し、規則的に語尾変化する (-sse, -sses, -t, -ssions, -ssiez, -ssent)。どの動詞がどの型に属するかは、次節の直説法単純過去を参照)。

語幹は次節の直説法単純過去と共通で、接続法半過去二人称単数形から-sses を取り除けば直説法単純過去の語幹になり、逆に、直説法単純過去二人称単数形から-s を取り除けば、接続法半過去の語幹になる。

-a-型

接続法半過去	
ションテ	
CHANTER (歌う)	
ジュ ショントース je chantasse	ヌ ショントースイオン nous chantassions
テュ ショントース tu chantasses	ヴ ショントースイエ vous chantassiez
イル ションタ il chantât	イル ショントース ils chantassent
エル ションタ elle chantât	エル ショントース elles chantassent

-i-型

接続法半過去	
フィニール	
FINIR (終える)	
ジュ フィニール je finisse	ヴ フィニールイオン nous finissions
テュ フィニール tu finisses	ヴ フィニールイエ vous finissiez
イル フィニール il finît	イル フィニール ils finissent
エル フィニール elle finît	エル フィニール elles finissent

-u-型

接続法半過去	
アヴワール	
AVOIR (持っている)	
ジュース j'eusse	ヌズユスィオン nous eussions
テュ ユース tu eusses	ヴズユスィエ vous eussiez
イリュ il eût	イルズユース ils eussent
エリュ elle eût	エルズユース elles eussent

接続法半過去	
エートル	
ÊTRE (いる)	
ジュ フュース je fusse	ヌ フュスィオン nous fussions
テュ フュース tu fusses	ヴ フュスィエ vous fussiez
イル フュ il fût	イル フュース ils fussent
エル フュ elle fût	エル フュース elles fussent

23.6 補足：直説法単純過去・前過去

◆ 小説や歴史書などを読みたい人、仏文科の学生は、語尾変化を覚えて、単純過去だと見分けられるようになる必要がある。

直説法単純過去・前過去は、小説や歴史記述など過去のできごとを語る文章の中で、非常に頻繁に用いられる時制である。ただし、フランス語の初級者・中級者が、この時制を使って、文章を書くことはまずない。したがって、活用を書けるようになる必要は、当面、全くない。語尾変化や語幹の特徴を押さえて、ある動詞の活用が直説法単純過去だと見分けることができれば、十分である。用法についても、最初はごく基本的なことを知っていればこと足りる。

23.6.1 直説法単純過去の活用

全ての動詞が下記三ついずれかの型に属する。ただし、-a 型に属さない動詞が、-i 型・-u 型
いずれに属するかを見分ける簡単な方法はない。

-a-型

直説法単純過去		直説法単純過去	
シエるシェ CHERCHER (探す)		アレ ALLER (行く)	
ジュ シエるシェ je cherchai	ヌ シエるシャーム nous cherchâmes	ジャレ j'allai	ヌアザラム nous allâmes
テュ シエるシャ tu cherchas	ヴ シエるシャートゥ vous cherchâtes	テュ アラ tu allas	ヴザラートゥ vous allâtes
イル シエるシャ il chercha	イル シエるシェー ils cherchèrent	イララ il alla	イルザレー ils allèrent
エル シエるシャ elle chercha	エル シエるシェー elles cherchèrent	エララ elle alla	エルザレー elles allèrent

全ての第一群規則動詞と aller

-i-型

直説法単純過去		直説法単純過去	
フィニール FINIR (終える)		ヴニール VENIR (来る)	
ジュ フィニ je finis	ヌ フィニーム nous finîmes	ジュ ヴァン je vins	ヌ ヴァーンム nous vînmes
テュ フィニ tu finis	ヴ フィニートゥ vous finîtes	テュ ヴァン tu vins	ヴ ヴァーントゥ vous vîntes
イル フィニ il finit	イル フィニール ils finirent	イル ヴァン il vint	イル ヴァン ils vinrent
エル フィニ elle finit	エル フィニール elles finirent	エル ヴァン elle vint	エル ヴァン elles vinrent

réussir, choisir; dormir; offrir, ouvrir; partir, sentir, servir, sortir; revenir, devenir, tenir, suivre (> je suivis ...); voir (> je vis ...); mettre (> je mis ...); faire (> je fis ...); conduire (> je conduisis ...), dire (> je dis ...), écrire (> j'écrivis ...), attendre (> j'attendis ...), descendre, entendre, perdre, rendre, répondre, vendre; prendre (> je pris ...), apprendre, comprendre

-u-型

直説法単純過去	
アヴワー AVOIR (持っている)	
ジュウ j'eus	ヌズーム nous eûmes
テュ ヌ tu eus	ヴズュートゥ vous eûtes
イリュ il eut	イルズユール ils eurent
エリュ elle eut	エルズユール elles eurent

直説法単純過去	
エートル	
ÊTRE (いる)	
ジュ フュ je fus	ヌ フューム nous fûmes
テュ フュ tu fus	ヴ フュートゥ vous fûtes
イル フュ il fut	イル フュール ils furent
エル フュ elle fut	エル フュール elles furent

boire (> je bus ...); connaître (> je connus ...); croire (> je crus ...); devoir (> je dus ...); lire (> je lus ...); paraître (> je parus ...); plaire (> je plus ...); recevoir (> je reçus ...); savoir (> je sus ...); vouloir (> je voulus ...); falloir (> il fallut); pleuvoir (> il plut)

以上では、本書で扱った全ての動詞のうち、-a 型に属さないものを網羅的に収録した。

23.6.2 直説法前過去

avoir, être の直説法単純過去 + 過去分詞

直説法前過去は複合時制の一種なので、助動詞の使い分け、語順、過去分詞の性数一致については、直説法複合過去の規則に従う。

接続法大過去	
パルティール	
PARTIR (出発する)	
ジュ フュ パルティ je fus parti(e)	ヌ フューム パルティ nous fûmes parti(e)s
テュ フュ パルティ tu fus parti(e)	ヴ フュートゥ パルティ vous fûtes parti(e)s
イル フュ パルティ il fut parti	イル フュール パルティ ils furent partis
エル フュ パルティ elle fut partie	エル フュール パルティ elles furent parties
接続法大過去 (倒置)	
フュ ジュ パルティ fus-je parti(e)	フューム ヌ パルティ fûmes-nous parti(e)s
フュ テュ パルティ fus-tu parti(e)	フュートゥ ヴ パルティ fûtes-vous parti(e)s
フューイル パルティ fut-il parti	フュール イル パルティ furent-ils partis
フューイル パルティ fut-elle partie	フュール イル パルティ furent-elles parties

接続法大過去（否定）	
ジュヌ フュバ パルティ je ne fus pas parti(e) テュヌ フュバ パルティ tu ne fus pas parti(e) イルヌ フュバ パルティ il ne fut pas parti エルヌ フュバ パルティ elle ne fut pas partie	ヌヌ フュームバ パルティ nous ne fûmes pas parti(e)s ヴヌ フュートゥバ パルティ vous ne fûtes pas parti(e)s イルヌ フュールバ パルティ ils ne furent pas partis エルヌ フュールバ パルティ elles ne furent pas parties
接続法大過去	
シエルシェ CHERCHER（探す）	
ジュウ シエルシェ j'eus cherché テュユ シエルシェ tu eus cherché イリュ シエルシェ il eut cherché エリュ シエルシェ elle eut cherché	ヌズユーム シエルシェ nous eûmes cherché ヴズユートゥ シエルシェ vous eûtes cherché イルズユール シエルシェ ils eurent cherché エルズユール シエルシェ elles eurent cherché
接続法大過去（倒置）	
ユジュ シエルシェ eus-je cherché ユテュ シエルシェ eus-tu cherché ユテイル シエルシェ eut-il cherché ユテル シエルシェ eut-elle cherché	ユムヌ シエルシェ eûmes-nous cherché ユトゥヴ シエルシェ eûtes-vous cherché ユルテイル シエルシェ eurent-ils cherché ユルテル シエルシェ eurent-elles cherché
接続法大過去（否定）	
ジュヌ ヌバ シエルシェ je n'eus pas cherché テュヌ ヌバ シエルシェ tu n'eus pas cherché イルヌ ヌバ シエルシェ il n'eut pas cherché エルヌ ヌバ シエルシェ elle n'eut pas cherché	ヌヌユームバ シエルシェ nous n'eûmes pas cherché ヴヌ ヌユートゥバ シエルシェ vous n'eûtes pas cherché イルヌユールバ シエルシェ ils n'eurent pas cherché エルヌユールバ シエルシェ elles n'eurent pas cherché

23.6.3 直説法単純過去・前過去の用法

直説法単純過去は、小説や歴史記述など、文章の中でのみ用いられる過去形である。今日、単純過去が会話中で用いられることは全くない。また、今日では、文章の中でさえ、単純過去を見ることは、かなり珍しくなってしまった。日常世界では、単純過去は、ほぼ完全に複合過去にとって変わられてしまったのである。とはいえ、フィクションや歴史といった非日常世界の記述では（例㊸）、単純過去はまだ健在で、童話の絵本にさえも、単純過去が用いられる。

他方、前過去の用法は極めて限定的で、ある過去の事柄よりさらに過去の事柄を表す場合は、直説法大過去を用いるのが普通である（例㊹）。前過去は、急速に終了した過去の事柄や、主節とほとんど時間差がないできごとを表す（例㊺）。

したがって、仏文科を目指す学生は別にして、初級段階では、単純過去と前過去を学ぶ必要性はほとんどない。だが、少なくとも20世紀の半ば過ぎまでは、複合過去は会話体の過去形であり、単純過去は文書体の過去形であった。したがって、少し古い書物や新聞記事を読めば、単純過去が

当然のように用いられている。また、これらの時制を知らずして、フランス語で書かれた小説や論文を読むのはほぼ不可能である。初級段階でも存在自体は知っておくべきであるし、中級以降のステップアップにおいては、必須となる時制である。

音声：23-12

ナポレオン ムリ[㊦] オン ミル ユイソン ヴァンテアン
⑬ Napoléon mourut en 1821.

ナポレオンは 1821 年に死んだ。

コン マリ アリヴァ ア ラ ガー[㊦] ル トラン エテ デジャ パルティ
⑭ Quand Marie arriva à la gare, le train était déjà parti.

マリが駅に到着した時、列車は出てしまっていた。

デキル フェ ゾントレ イル コモンサ ア プルレ
⑮ Dès qu'il fut rentré, il commença à pleurer.

帰宅するとすぐに、彼は泣き始めた。

23.7 新出単語

音声：23-13

アヅワル プル ク
① avoir peur que
[熟語] ～を恐れる

ナチュレル
④ naturel
[形容詞] 当然な・自然な

ビヤン ク
⑦ bien que
[接続詞] ～なのに

ロント
② longtemps
[副詞] 長い間

ネセセー[㊦]
⑤ nécessaire
[形容詞] 必要な

プル ク
⑧ pour que
[接続詞] ～するために

アンポスィーブル
③ impossible
[形容詞] ありえない

アヴォン ク
⑥ avant que
[接続詞] ～する前に

カシェ
⑨ cacher
[動詞] 隠す

23.8 第 23 章練習問題

23.8.1 CROIRE (思う・信じる) の直説法現在の活用を三回ずつ書け

23.8.2 次の動詞の接続法現在の活用表を三回ずつ書け

AVOIR, ÊTRE, CHERCHER, FINIR, ATTENDRE

23.8.3 次の単語の意味と発音を考えながら、三回ずつ書け

① avoir peur que
④ naturel
⑦ bien que

② longtemps
⑤ nécessaire
⑧ pour que

③ impossible
⑥ avant que
⑨ cacher

23.8.4 次の単語を発音しながら三回ずつ書け

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| ① [熟語] ～を恐れる | ② [副詞] 長い間 | ③ [形容詞] ありえない |
| ④ [形容詞] 当然な・自然な | ⑤ [形容詞] 必要な | ⑥ [接続詞] ～する前に |
| ⑦ [接続詞] ～なのに | ⑧ [接続詞] ～するために | ⑨ [動詞] 隠す |

23.8.5 次の文章の空欄を補え。

- ① Je ne crois pas que Louise fait une erreur.
私はルイーズがミスを犯したとは思わない。
- ② Jeanne voulait que sa fille le premier prix.
ジャンヌは娘が一位になることを望んでいた。
- ③ Nous avons peur que Marie ne .
- ④ Elle est contente que son fils se levé tôt.
彼女は息子が早起きして満足だ。
- ⑤ Il faut que vous longtemps.
あなたは長く待つ必要があります。
- ⑥ Il est impossible que Pierre à l'examen.
ピエールが試験に合格したなんてありえない。
- ⑦ Jeanne n'achète pas ce livre bien qu'elle riche.
ジャンヌは金持ちなのに、その本を買わない。
- ⑧ Il a caché ce cadeau pour que son père ne le pas.
彼は父親が見つけないように、そのプレゼントを隠した。
- ⑨ Je ne crois pas que Marie malade.
マリが病気だとは思わない。
- ⑩ Je ne crois pas que Marie malade.
マリが病気だったとは思わない。
- ⑪ Je ne croyais pas que Marie malade.
マリが病気だとは思わなかった。
- ⑫ Je ne croyais pas que Marie malade.
マリが病気だったとは思わなかった。
- ⑬ Napoléon mourut en 1821.
ナポレオンは1821年に死んだ。
- ⑭ Quand Marie arriva à la gare, le train était déjà parti.
マリが駅に到着した時、列車は出てしまっていた。
- ⑮ Dès qu'il fut rentré, il commença à pleurer.
帰宅するとすぐに、彼は泣き始めた。

23.8.6 次の例文を、意味と発音を思い出ししながら、三回ずつ書け。

- ① Je ne crois pas que Louise ait fait une erreur.
- ② Jeanne voulait que sa fille gagne le premier prix.
- ③ Nous avons peur que Marie ne vienne.

- ④ Elle est contente que son fils se soit levé tôt.
- ⑤ Il faut que vous attendiez longtemps.
- ⑥ Il est impossible que Pierre ait réussi à l'examen.
- ⑦ Jeanne n'achète pas ce livre bien qu'elle soit riche.
- ⑧ Il a caché ce cadeau pour que son père ne le trouve pas.
- ⑨ Je ne crois pas que Marie soit malade.
- ⑩ Je ne crois pas que Marie ait été malade.
- ⑪ Je ne croyais pas que Marie soit malade.
- ⑫ Je ne croyais pas que Marie ait été malade.
- ⑬ Napoléon mourut en 1821.
- ⑭ Quand Marie arriva à la gare, le train était déjà parti.
- ⑮ Dès qu'il fut rentré, il commença à pleurer.

23.8.7 次の和文をフランス語に書き換えよ。

- ① 私はルイーズがミスを犯したとは思わない。
- ② ジャンヌは娘が一位になることを望んでいた。
- ③ 私たちはマリが来るのではないかと恐れている。
- ④ 彼女は息子が早起きして満足だ。
- ⑤ あなたは長く待つ必要があります。
- ⑥ ピエールが試験に合格したなんてありえない。
- ⑦ ジャンヌは金持ちなのに、その本を買わない。
- ⑧ 彼は父親が見つけないように、そのプレゼントを隠した。
- ⑨ マリが病気だとは思わない。
- ⑩ マリが病気だったとは思わない。
- ⑪ マリが病気だとは思わなかった。
- ⑫ マリが病気だったとは思わなかった。
- ⑬ ナポレオンは 1821 年に死んだ。
- ⑭ マリが駅に到着した時、列車は出てしまっていた。
- ⑮ 帰宅するとすぐに、彼は泣き始めた。

—— 締めくくりとして ——

これで、一年間で学ぶべき初級の文法事項は全て出尽くしました。いえ、本書にはそれ以上の事項が記述されています。少なくとも、大学の四年間は利用できるような文法書を目指して、本書は書かれたからです。もちろん、他の文法書も併用すべきですが、最初に学んだ文法書は全体像がわかっているだけに、使い勝手がよいものです（私は 4 年生になっても、1 年生で使った文法書も利用していました）。

今後フランス語の文章を読み・書き・聞き・話すにあたって、不明な、あるいはあやふやな文法事項に出くわすたびに、本書に立ち返ってください。文法は一年では身に付きません。何度も何度も後ろを振り返って、確認を繰り返すことで、初めて習得できるものなのです。後に続く索引や、本書冒頭の詳細な目次、きめ細かな相互参照は、必ずやあなたの良き道案内となるでしょう。

一つの言葉を習得するには、大変なエネルギーと時間が必要です。本書をたよりに、今後も地道に少しずつ努力を続けていただければ喜ばしい限りです。

小栗栖等

索引

- à, 286
前置詞の, 42
- aller, 97
- apprendre, 140
- attendre, 92
- avoir, 51
- boire, 225
- c', 203
- ça, 203
- ce, 89, 203
- ce qu', 205
- ce que
間接疑問文を導く, 294
- ce qui, 205
- ce qui
間接疑問文を導く, 294
- ceci, 203
- cela, 203
- celui, 204
- celui qu', 206
- celui qui, 206
- ces, 89
- cet, 89
- cette, 89
- combien, 261
- combien de ..., 254
- comment, 261
- comprendre, 140
- conduire, 213
- connaître, 249
- croire, 303
- d'
- 前置詞の, 42
- 動作主を表す前置詞, 230
- 否定冠詞の, 56, 57
- 不定冠詞の, 31
- d'où, 261
- de
- 前置詞の, 42
- 動作主を表す前置詞, 230
- 否定冠詞の, 56, 57
- 不定冠詞の, 31, 227
- de l'
- 前置詞 + 定冠詞の, 43
- 一部分冠詞の, 20
- de la
- 前置詞 + 定冠詞の, 43
- 部分冠詞の, 17
- depuis quand, 261
- dernier, 206
- des
- 前置詞 + 定冠詞の, 43
- 不定冠詞の, 17
- descendre, 92
- devenir, 109
- devoir, 126
- dire, 273
- dont, 194
- dormir, 176
- du
- 前置詞 + 定冠詞の, 43
- 部分冠詞の, 17
- écrire, 225
- en, 286
中性代名詞の, 265
- entendre, 92
- être, 42
- faire, 140
- l', 21
- l'un à l'autre, 157
- l'un l'autre, 157
- la, 18
- le, 18
- le
- 中性代名詞の, 264
- 副詞の最上級の, 229
- lequel
- 関係代名詞の, 195
- 疑問代名詞の, 263
- les, 18
- lire, 213
- meilleur(e)(s), 229
- mettre, 140

mieux, 229

n', 55

ne ... jamais, 244

ne ... plus, 244

non, 57

offrir, 175

on

不定代名詞の, 230

où

関係副詞の, 204

疑問副詞の, 261

oui, 57

ouvrir, 175

par

動作主を表す前置詞, 230

paraître, 249

partir, 176

perdre, 92

personne, 244

plaire, 249

pourquoi, 261

pouvoir, 126

premier, 206

prendre, 140

qu'est-ce que, 255

qu'est-ce qui, 255

quand

疑問副詞の, 261

que

関係代名詞直接目的格形の, 193

疑問代名詞の, 255

「～しか」の, 244

比較対象を導く, 227

quel

制限用法の, 254

非制限用法の, 262

qui

関係代名詞主格形の, 193

疑問代名詞の, 253

前置詞 + 関係代名詞の, 194

qui est-ce que, 255

qui est-ce qui, 255

répondre, 92

recevoir, 235

rendre, 92

revenir, 109

rien, 244

rire, 235

savoir, 126

sentir, 176

servir, 176

seul(e), 206

si, 57

si

エリジョン, 280

間接疑問文を導く接続詞, 294

条件文を導く接続詞, 280

sortir, 176

suivre, 176

-t-

倒置の, 54, 84, 101

tenir, 109

tous (toutes), 206

un, 17

une, 17

vendre, 92

venir, 97, 109

voir, 235

vouloir, 126

vous

尊称の, 42

y, 265

アンシェーヌマン, 19, 42, 51

位置

中性代名詞の, 267

人称代名詞の, 113

人称代名詞目的格形の, 251

引用符 (guillemets), 283

エリジョン, 20, 51, 55

格, 111

格変化

人称代名詞の, 112

過去分詞, 127

冠詞相当語句, 52, 89

間接疑問文, 293

間接目的格, 111

間接目的格形

人称代名詞の, 112

間接目的格補語, 111

間接話法, 282

規則変化, 67

強勢形

人称代名詞の, 112, 228, 251

虚字の ne, 308

近接過去, 100

近接未来, 99

疑問文, 53

形容詞, 27

現在分詞の作り方, 220

限定, 19

語幹, 67

語尾, 67

再帰代名詞, 153

再帰的用法

代名動詞の, 155

指示形容詞, 89

指示代名詞, 203

- 主格, 111
 主格形
 人称代名詞の, 112
 縮約, 42
 lequel の, 195
 主語, 111
 主文
 関係詞文の, 190
 所有形容詞, 177
 所有を表す再帰代名詞, 156
 ジェロンディフ, 221
 時制の一致, 289
 従属文
 関係詞文の, 190
 受動態, 230
 受動的用法
 代名動詞の, 157
 条件文
 si 節のない, 282
 過去の事実に対する, 281
 婦結節のない, 282
 現在の事実に対する, 280
 事実に対ししない, 281
 条件法過去の活用, 278
 条件法過去の用法, 281
 条件法現在の語幹, 274
 条件法現在の語尾, 274
 条件法現在の用法, 280, 290
 助動詞, 130
 叙法動詞, 125
 性, 16
 制限用法, 32
 性数一致
 過去分詞の, 142, 196
 形容詞の, 27, 32
 形容詞の最上級の, 228
 形容詞の比較級の, 226
 現在分詞の, 221
 性数変化
 過去分詞の, 128
 形容詞の, 27
 接続法過去の活用, 306
 接続法現在の語幹, 304
 接続法現在の語尾, 303
 接続法大過去, 312
 接続法の用法, 308
 接続法半過去, 312
 先行詞, 190
 前置詞と国名, 99
 相互的用法
 代名動詞の, 156
 属詞, 32
 属詞形容詞, 45
 属詞名詞, 45
 他動詞の絶対的用法, 225
 単純時称, 216
 第一群規則動詞, 67
 第二群規則動詞, 90
 代名動詞, 153
 男性単数第二形, 32, 90
 中性代名詞, 264
 直説法現在, 42
 直説法現在の用法, 281
 直説法前過去の活用, 315
 直説法前過去の用法, 316
 直説法前未来の活用, 240
 直説法前未来の用法, 243
 直説法単純過去の活用, 314
 直説法単純過去の用法, 316
 直説法単純未来の語幹, 236
 直説法単純未来の語尾, 238
 直説法単純未来の用法, 242, 281, 291
 直説法大過去の作り方, 216
 直説法大過去の用法, 219, 281, 290
 直説法半過去と複合過去, 218
 直説法半過去の語幹, 214
 直説法半過去の語尾, 214
 直説法半過去の用法, 217, 280, 289
 直接目的格, 111
 直接目的格形
 人称代名詞の, 112
 直接目的格補語, 111
 直接話法, 282
 定冠詞, 18
 形容詞最上級の, 228
 定冠詞と曜日, 98
 倒置疑問文, 53
 時を表す副詞, 205
 同格, 206
 人称代名詞, 112
 人称代名詞主格形, 41
 人称の一致, 283
 人称変化, 42, 112
 能動態, 230
 比較級, 226
 非限定, 19
 非制限用法, 32
 非人称動詞, 181
 不可算名詞, 16
 複合過去の用法, 142
 複合時称, 216
 複合倒置疑問文, 58, 102
 複数形, 16
 不定冠詞, 17
 不定法, 67, 295
 aller と目的を表す不定法, 99
 venir と目的を表す不定法, 100
 部分冠詞, 17
 本来的用法
 代名動詞の, 157
 無冠詞, 45, 52, 99, 110
 命令法の活用, 250
 命令法の語順, 251
 目的格補語, 111
 リエゾン, 20, 42, 43, 51

第24章

単語帳

24.1 A

À bientôt ! ア ビヤント 【間投詞】 また近いうちに（別れ際に）

à cause de ア コズ ドゥ 【熟語】 ～が原因で・～のせいで

à côté de ア コテ ドゥ 【熟語】 ～の側に・～の横に

À demain ! ア ドゥマン 【間投詞】 また明日（別れ際に）

à droite ア ドゥッワトゥ 【熟語】 右側に・右へ ⇨ à gauche

à gauche ア ゴーシュ 【熟語】 左側に・左へ ⇨ à droite

à la fin de ア ラ ファン ドゥ 【熟語】 ～の終わりに

À tout à l'heure ! ア トゥタルー 【間投詞】 また後では後ほど（後で合流する際に）

accident アクスイドン 【名詞・男性】 事故

accord アコー 【名詞・男性】 一致・同意 ⇒ d'accord

acheter アシュテ 【動詞】 買う

adresse アドレス 【名詞・女性】 住所

âge アージュ 【名詞・男性】 年齢

aider エテ 【動詞】 助ける

aimer エメ 【動詞】 愛する

ainsi アンスイ 【副詞】 このように・こんな風に

air エー 【名詞・男性】 空気・風 ⇒ avoir l'air de

aller アレ 【動詞】 行く（助動詞：être）

aller au cinéma アレ オ スィネマ 【熟語】 映画を見に行く

allô アロ 【間投詞】 もしもし

alors アロー 【副詞】 その時・すると

ami アミ 【名詞・男性】 男友達

amie アミ 【名詞・女性】 女友達

amour アムー 【名詞・男性】 愛・愛情

an オン 【名詞・男性】 年・年間・～歳

ancien オンスイヤン 【形容詞】 古い・昔の・古代の女性単数形：ancienne; ⇨ nouveau

année アネ 【名詞・女性】 年（年月の）

août ウートゥ 【名詞・男性】 八月 en août（八月に）

appeler アブレ 【動詞】 呼ぶ s'appeler で「名前は～である」

apporter アポルテ 【動詞】 持ってくる

apprendre アプラーンドゥ 【動詞】 学ぶ・教える

après アブレ 【前置詞】 ～の後で [時間の表現とともに] ⇨ avant

après アブレ 【副詞】 後で

après-midi アブレミディ 【名詞・男性】 午後

arbre アーブル 【名詞・男性】 木

argent アールジョーン 【名詞・男性】 お金

arrêter アレテ 【動詞】 止まらせる・止める s'arrêter で「立ち止まる」

arriver アリヴェ 【動詞】 到着する arriver à で「～に到着する」/（助動詞：être

assez de アセ ドゥ 【熟語】 十分な

attendre アトンドゥ 【動詞】 待つ

attention アトション 【名詞・女性】 注意

au bord de オ ボー 【熟語】 ～のほとりで・～のそばに

au bout de オ ブ ドゥ 【熟語】 ～の果てに・～を経て

Au revoir オ ムワール 【間投詞】 さようなら

aucun オカン 【形容詞】 [ne とともに] いかなる～も～ない

aujourd'hui オジュールデュイ 【副詞】 今日

aussi オスイ 【副詞】 同様に・同じくらい

autant オトン 【副詞】 同じくらい・同程度に

automne オトヌ 【名詞・男性】 秋 en automne（秋に）

autour de オトゥー 【熟語】 ～の周りに・～の近くに

autre オート 【形容詞】 他の・ほかの ⇨ même

avant アヴォン 【前置詞】 ～の前に・～までに [時間の表現とともに]

avant que アヴォン ク 【接続詞】 ～ [接続法] する前に ⇨ après que

avec アヴェク 【前置詞】 ～と一緒に・～を用いて

Avec plaisir ! アヴェク プレズィー 【間投詞】 喜んで（誘いや申し出に対して）

avion アヴィオン 【名詞・男性】 飛行機

avril アヴリール 【名詞・男性】 四月 en avril（四月に）

24.2 B

bas バ [形容詞] 低い女性単数形: basse; ⇔ haut

beau ボ [形容詞] 美しい男性複数 beaux (bel), 女性単数 belle; ⇔ laid

beaucoup ボク [副詞] 大いに

beaucoup de ボク ドゥ [熟語] 多くの

besoin ブズワン [名詞・男性] 必要・欲求 ⇒ avoir besoin de

avoir besoin de アヴワン ブズワン ドゥ [熟語] ～が必要だ

beurre ブーレ [名詞・男性] バター

bicyclette ビシクレットゥ [名詞・女性] 自転車= vélo

bien que ビヤン ク [接続詞] ～ [接続法]なのに

bientôt ビヤント [副詞] すぐに

billet ビエ [名詞・男性] 紙幣・切符

blanc ブロン [名詞・男性/形容詞] 白 (い) 女性単数形: blanche

bleu ブル [名詞・男性/形容詞] 青 (い) bleus, bleue, bleues

boire ブワーレ [動詞] 飲む

bois ブワ [名詞・男性] 木材

bois ブワ [名詞・男性] 森

bon ボン [形容詞] 良い女性単数 bonne; ⇔ mauvais

Bon voyage ! ボン ヴワヤージュ [間投詞] 良いご旅行を

Bonjour ! ボンジュール [間投詞] 今日は・おはようございます

Bonsoir ! ボンスワーレ [間投詞] 今晩は

bouche ブーシュ [名詞・女性] 口

bras ブラ [名詞・男性] 腕

bruit ブリュイ [名詞・男性] 音・物音

bureau ビュロ [名詞・男性] 事務所・会社

bureau ビュロ [名詞・男性] 机

bus ビュス [名詞・男性] バス

24.3 C

cache カシェ [動詞] 隠す

café カフェ [名詞・男性] コーリー

café カフェ [名詞・男性] 喫茶店

campagne コンパーニュ [名詞・女性] 田舎

capitale カピタル [名詞・女性] 首都

cause コーズ [名詞・女性] 原因・動機 ⇒ à cause de; ⇔ effet (結果)

ce matin ス マタン [連語] 今朝 (に)

ce mois ス モワ [連語] 今月 (に)

ce soir ス スワーレ [連語] 今晩 (に)

certain セランタン [形容詞] 確実な・確かな [名詞の後で]

cet après-midi セタプレミディ [連語] 今日の午後 (に)

cette année セタネ [連語] 今年 (に)

cette nuit セトゥ ニュイ [連語] 今夜 (に)

cette semaine セトゥ スメース [連語] 今週 (に)

chaise シューズ [名詞・女性] いす

chambre ショーンブル [名詞・女性] 寝室

champs ション [名詞・男性複数] 野原

chance ショーンズ [名詞・女性] 幸運

changer ションジエ [動詞] 変える

chanson ションソン [名詞・女性] 歌

chanter ションテ [動詞] 歌う

chaque シャク [形容詞] それぞれの・各自の

chaque jour シャク ジューレ [連語] 毎日

avoir chaud アヴワン ショ [熟語] 暑い (主観的に感じる際)

chaud ショ [形容詞] 暑い・熱い avoir froid で「寒い」; ⇔ chaud

chemin シュマン [名詞・男性] 道・経路

chemin de fer シュマン ドゥ フェーレ [熟語] 鉄道

cher シューレ [形容詞] 親愛なる (名詞の前で) chère

cher シューレ [形容詞] 高価な (名詞の後で) chère

chercher シューレシエ [動詞] 探す

cheveu シュヴ [名詞・男性] 髪複数形: cheveux

chez シエ [前置詞] ～の家で・～の家に

la Chine ラ シーヌ [名詞・女性] 中国

choisir シュフズィーレ [動詞] 選ぶ

chose ショーズ [名詞・女性] もの・こと

cinéma スィネマ [名詞・男性] 映画・映画館

cinq サンク [数詞] 5

cinquième サンキエーム [序数詞] 5番目の

clair クレーレ [形容詞] 明るい

clair クレーる [形容詞] 明晰な
classe クラス [名詞・女性] クラス・授業
combien コンビヤン [疑問副詞] どのくらい
combien de コンビヤン ドゥ [疑問副詞] いくつの・どのくらいの量の
comme コム [接続詞] ~のように・~なので
commencer コモンセ [動詞] 始める—à+(不定法)
comment コモン [疑問副詞] どのように
comprendre コンブロンドゥ [動詞] 理解する
conduire コンデュイ [動詞] 案内する
conduire コンデュイ [動詞] 自動車(を)運転する
confiture コンフィテューる [名詞・女性] ジャム
connaître コネートゥ [動詞] 知っている
content コント [形容詞] 満足な
continuer コンティニュー [動詞] 続ける・~し続ける—à+(不定法)
la Corée ラ コレ [名詞・女性] 韓国
côté コテ [名詞・男性] 側・脇腹・側面
coucher クシェ [動詞] 寝かせる se coucherで「寝る」
couleur クルーる [名詞・女性] 色
couper クベ [動詞] 切る
cour クーる [名詞・女性] 中庭
cour クーる [名詞・女性] 法廷
courage クラージュ [名詞・男性] 勇気
courir クリーる [動詞] 走る
courses クーラス [名詞・女性複数] (女) 買い物 faire des coursesで「買い物をする」
court クーる [形容詞] 短い⇔long
coûter クテ [動詞] 値段が~である
crayon クレヨン [名詞・男性] 鉛筆
croire クワーる [動詞] 思う・信じる
cuisine キュイズィース [名詞・女性] 料理 faire la cuisineで「料理をする」
curieux キュリュ [形容詞] 奇妙な・興味深い女性単数形: curieuse

24.4 D

d'abord ダボーる [熟語] まず・第一に・最初に
D'accord ダコーる [間投詞] 了解・OK
d'habitude ダビテュードゥ [熟語] 普段は・いつもは

d'où ドゥ [疑問副詞] どこから
dame ダム [名詞・女性] 婦人・レディ
dans ドン [前置詞] ~後に・~の中に
danser ドンセ [動詞] 踊る・ダンスする
date ダートゥ [名詞・女性] 日付
date de naissance ダトゥ ドゥ ネソーンズ [名詞・女性] 誕生日
avoir de la peine アヴワる ドゥラ ペーヌ [熟語] 苦労する・苦心する
debout ドゥブ [副詞] 立って・立ち上がった状態で
décembre デソーンブる [名詞・男性] 十二月 en décembre (十二月に)
décider デスイデ [動詞] 決める
dehors ドゥオーる [副詞] 外で・外に
déjà デジャ [副詞] すでに⇔encore
déjeuner デジュネ [名詞・男性] 昼食
demain ドゥマン [副詞] 明日
demander ドゥモンデ [動詞] 尋ねる・求める
demi ドゥミ [名詞・男性/女性] 半分 (の) une demie
demi-heure ドゥミウーる [名詞・女性] 半時間
depuis ドゥピュイ [前置詞] ~以来
depuis quand ドゥピュイ コン [疑問副詞] いつから
dernier デルニエ [形容詞] 最後の dernière; ⇔ premier
derrière デリエーる [前置詞] ~の背後に
descendre デソーンドゥ [動詞] 降りる (助動詞: être)
deux ドゥ [数詞] 2
deuxième ドゥズィエム [序数詞] 2番目の
devant ドゥヴァン [前置詞] ~の前で
devenir ドゥヴェニ [動詞] なる (助動詞: être)
devoir ドゥヴワーる [動詞] しなければならない
différent ディフェラン [形容詞] 異なった・違う
difficile ディフィスィール [形容詞] 難しい女性単数 difficile; ⇔ facile
dimanche ディモンシュ [名詞・男性] 日曜日
dîner ディネ [名詞・男性] 夕食
dire ディーる [動詞] 言う
dix ディス [数詞] 10
dix-huit ディズユイトゥ [数詞] 18
dix-huitième ディズユיתיエム [序数詞] 18番目の

dix-neuf ディズヌーフ [数詞] 19
dix-neuvième ディズヌヴィエーム [序数詞] 19番目の
dix-sept ディセートゥ [数詞] 17
dix-septième ディセティエーム [序数詞] 17番目の
dixième ディズィエーム [序数詞] 10番目の
doigt ドゥワ [名詞・男性] 指
donner ドネ [動詞] 与える donner ~ à ...で「～を...に与える」
dormir ドルミーア [動詞] 眠る
dos ド [名詞・男性] 背中
douche ドゥッシュ [名詞・女性] シャワー
doux ドゥ [形容詞] 甘い・優しい男性複数形: doux; 女性単数形: douce; ⇔ amère (苦い)
douze ドゥーズ [数詞] 12
douzième ドゥーズィエーム [序数詞] 12番目の
droit ドゥワ [形容詞] 右の・まっすぐな ⇔ gauche
droite ドゥワトゥ [名詞・女性] 右・右側 ⇔ gauche

24.5 E

eau オ [名詞・女性] 水
école エコール [名詞・女性] 学校
écouter エクテ [動詞] 聞く
écrire エクリーア [動詞] 書く・手紙を書く
église エグリーズ [名詞・女性] 教会
en face de オン ファス ドゥ [熟語] ～の向かいに
encore オンコー [副詞] まだ ⇔ déjà
enfant オンフォン [名詞・男性/女性] 子供子供が男でも女でも、綴りは変わらない。
enfin オンファン [副詞] 最後に・ついに
ensemble オンソンプル [副詞] 一緒に
ensuite オンスイイトゥ [副詞] それから・次に
entendre オンテンドゥア [動詞] 聞く
entre オンテ [前置詞] ～の間に [ものとの・人と人]
entrer オントレ [動詞] 入る (助動詞: être)
envie オンヴィ [名詞・女性] 欲求・羨望 ⇒ avoir envie de
avoir envie de アヴワ オンヴィ ドゥ [熟語] ～したい
envoyer オンヴァイエ [動詞] 送る
espérer エスペレ [動詞] 望む

essayer エッセイエ [動詞] 試す
et エ [接続詞] そして・～と～
les États-Unis レゼタズニ [名詞・男性] アメリカ
été エテ [名詞・男性] 夏 en été (夏に)
étoile エトワール [名詞・女性] 星
étranger エトランジェ [形容詞] 外国人の・外国の
étrangère
être sûr de エトゥア スュール ドゥ [熟語] ～について確信がある
étudiant エテュディオ [名詞・男性] 男子学生
étudiante エテュディオントゥ [名詞・女性] 女子学生
étudier エテュディエ [動詞] 学ぶ・勉強する
euro ム [名詞・男性] ユーロ
examen エグザマン [名詞・男性] 試験
Excusez-moi. エクスキュゼムワ [間投詞] すみません・失礼ですが (人に声をかける時に)
expliquer エクスプリケ [動詞] 説明する

24.6 F

facile ファスイール [形容詞] 易しい・簡単な女性単数 facile; ⇔ difficile
avoir faim アヴワ ファン [熟語] 空腹である
faim ファン [名詞・男性] 空腹 ⇒ avoir faim
faire フェア [動詞] する・作る・させる [使役表現]
faire le tour de フェア ル トゥア ドゥ [熟語] ～を一回りする
famille ファミーユ [名詞・女性] 家族・家庭
fatigué ファティゲ [形容詞] 疲れた
faute フォートゥ [名詞・女性] 間違い・過失
femme ファーム [名詞・女性] 女性
femme ファーム [名詞・女性] 妻
fenêtre フェネートル [名詞・女性] 窓
fermer フェルメ [動詞] 閉める
fête フェートゥ [名詞・女性] 祭り・祭日
feu フ [名詞・男性] 信号
feu フ [名詞・男性] 火
février フェヴリエ [名詞・男性] 二月 en février (二月に)
fil フィユ [名詞・女性] 娘
fil フィユ [名詞・女性] 少女
fil フィス [名詞・男性] 息子

fin ファン [名詞・女性] 終わり ⇒ à la fin de; ⇔ début

fini フィニ [形容詞] 終わった

finir フィニール [動詞] 終える—de + (不定法)

fleur フルール [名詞・女性] 花

fois フワ [名詞・女性] 回・度

fond フォン [名詞・男性] 底・奥

fort フォール [形容詞] 強い ⇔ faible

frais フレ [形容詞] 冷たい男性単数形: frais; 女性複数形: fraîche

frais フレ [形容詞] 新鮮な男性単数形: frais; 女性複数形: fraîche

franc フラン [名詞・男性] るラン (フランスの旧通貨)

Français フランセ [名詞・男性] フランス人 (男性)

français フランセ [形容詞] フランスの・フランス人の

le français フランセ [名詞・男性] フランス語 国語名には通常定冠詞がつく

Française フランセーズ [名詞・女性] フランス人 (女性)

la France ラ フランス [名詞・女性] フランス

frapper フラベ [動詞] 叩く・ノックする

frère フレール [名詞・男性] 兄弟

avoir froid アヴワル フルワ [熟語] 寒い (主観的に感じる際) ⇔ avoir chaud で「暑い」

froid フルワ [形容詞] 寒い・冷たい ⇔ chaud

fromage フロマージュ [名詞・男性] チーズ

24.7 G

gagner ガニエ [動詞] 稼ぐ

garçon ガルソーン [名詞・男性] 少年

gare ガール [名詞・女性] 駅

gâteau ガト [名詞・男性] ケーキ gâteaux

gauche ゴーシュ [名詞・女性] 左・左側 ⇔ droite

gauche ゴーシュ [形容詞] 左の・不器用な ⇔ droit

gens ジョン [名詞・男性] 人々 [複数]

gentil ジョントイ [形容詞] 親切な女性単数 gentille; ⇔ méchant

grand グラン [形容詞] 大きな ⇔ petit

gros グル [形容詞] 太い男性複数 gros; 女性形 grosse; ⇔ fin

guerre ゲール [名詞・女性] 戦争 ⇔ paix (女性名詞: 平和)

24.8 H

habiter アビテ [動詞] 住む habiter à で「～(地域)に住む」

habitude アビテュードゥ [名詞・女性] 習慣・癖 ⇒ d'habitude

haut オ [形容詞] 高い ⇔ bas

heure ウール [名詞・女性] 時刻・～時

heureux ウル [形容詞] 幸福な男性複数 heureux, 女性単数 heureuse; ⇔ malheureux

hier イエール [副詞] 昨日

histoire イストワール [名詞・女性] 歴史・物語

hiver イヴェール [名詞・男性] 冬 en hiver (冬に)

homme オム [名詞・男性] 男の人

hôtel オテル [名詞・男性] ホテル

huile ユイル [名詞・女性] 油

huit ユイトゥ [数詞] 8

huitième ユイティエーム [序数詞] 8番目の

24.9 I

ici イスイ [副詞] ここに

idée イデ [名詞・女性] アイデア・思想

il arrive イラリール [熟語] ～が起こる [非人称表現] < arriver

Il fait beau. イル フェ ボ [熟語] 天気がよい

Il fait chaud. イル フェ ショ [熟語] 気温が高い・暑い

Il fait froid. イル フェ フルワ [熟語] 気温が低い・寒い

il faut イル フォ [熟語] ～する必要がある [非人称表現] < falloir

Il neige. イル ネージュ [熟語] 雪が降る [非人称表現] < neiger

Il pleut. イル プル [熟語] 雨が降る [非人称表現] < pleuvoir

il reste イル レストゥ [熟語] ～が残っている [非人称表現] < rester

il y a イリヤ [前置詞] ～前に

il y a イリヤ [熟語] ～がある

important アンポルトン [形容詞] 重要な

impossible アンボスィブル [形容詞] ありえない

intéressant アンテレスン [形容詞] おもしろい

24.10 J

- jamais** ジャメ 【副詞】 [neとともに] 決して～ない
- jambe** ジョーンブ 【名詞・女性】 脚
- janvier** ジョンヴィエ 【名詞・男性】 一月 en janvier (一月に)
- le Japon** ル ジャボン 【名詞・男性】 日本
- japonais** ジャボネ 【形容詞】 日本の・日本人の
- Japonais** ジャボネ 【名詞・男性】 日本人 (男性)
- le japonais** ジャボネ 【名詞・男性】 日本語国語名には通常定冠詞がつく
- Japonaise** ジャボネーズ 【名詞・女性】 日本人 (女性)
- jardin** ジャーダン 【名詞・男性】 公園・庭
- jaune** ジョーヌ 【名詞・男性/形容詞】 黄色 (い)
- Je vous en prie.** ジュ ヴゾン プリ 【間投詞】 どういたしまして
- jeter** ジュテ 【動詞】 投げる
- jeudi** ジュディ 【名詞・男性】 木曜日
- jeune** ジュース 【形容詞】 若い ⇔ vieux
- joli** ジョリ 【形容詞】 きれいな ⇔ laid
- jouer** ジュエ 【動詞】 遊ぶ jouer au tennis で「テニスをする」
- jour** ジュール 【名詞・男性】 日
- journal** ジュルナル 【名詞・男性】 新聞・日記
- juillet** ジュイエ 【名詞・男性】 七月 en juillet (七月に)
- juin** ジュワン 【名詞・男性】 六月 en juin (六月に)
- jusqu'à** ジュスカ 【前置詞】 ～まで [場所・時間の表現と] ⇔ à partir de
- juste** ジュストゥ 【副詞】 ちょうど

24.11 L

- avoir l'air** アヴァル レー 【熟語】 ～のように見える (後に形容詞が続く)
- L'Angleterre** ロングルテーる 【名詞・女性】 イングランド
- l'un à l'autre** ランナロートる 【熟語】 一方が他方に l'une à l'autre
- l'un l'autre** ランロートる 【熟語】 一方が他方を l'une l'autre
- là** ラ 【副詞】 そこに・そこで
- laisser** レセ 【動詞】 放置する・するがままにさせておく [放任表現]
- large** ラーるジュ 【形容詞】 幅の広い ⇔ étroit
- laver** ラヴェ 【動詞】 洗う se laver les mains で「手を洗う」

- leçon** ルソン 【名詞・女性】 レッスン・授業
- léger** レジェ 【形容詞】 軽い女性単数形: légère; ⇔ lourd
- lentement** ロントゥモン 【副詞】 遅く ⇔ vite
- lettre** レートゥる 【名詞・女性】 手紙
- libre** リーブる 【形容詞】 暇な
- libre** リーブる 【形容詞】 自由な
- lire** リーる 【動詞】 読む
- lit** リ 【名詞・男性】 ベッド
- livre** リーヴる 【名詞・男性】 本
- loin** ルワン 【副詞】 隔たって・離れて
- loin de** ルワン ドゥ 【熟語】 ～から離れて・～から隔たって
- long** ロン 【形容詞】 長い ⇔ court
- longtemps** ロントン 【副詞】 長い間
- lourd** ルーる 【形容詞】 重い ⇔ léger
- lundi** ランディ 【名詞・男性】 月曜日
- lune** リュヌ 【名詞・女性】 月 (天体の) la Lune (天体として)
- lunettes** リュネトゥク 【名詞・女性複数】 眼鏡

24.12 M

- Madame** マダム 【間投詞】 マダム (既婚女性への呼びかけ)
- Mademoiselle** マドゥムワゼール 【間投詞】 マドモワゼル (未婚女性への呼びかけ)
- mai** マイ 【名詞・男性】 五月 en mai (五月に)
- main** マン 【名詞・女性】 手
- maintenant** マントゥノン 【副詞】 今・現在
- mais** マイ 【接続詞】 しかし・けれども
- maison** メゾン 【名詞・女性】 家
- mal** マル 【副詞】 悪く・ひどく
- mal** マル 【名詞・男性】 痛み・悪・害 ⇒ avoir mal
- avoir mal à** アヴォワる マラ 【熟語】 ～が痛い
- malade** マラード 【形容詞】 病気の女性単数 malade; ⇔ sain
- malheureux** マルゥる 【形容詞】 不幸な男性複数 malheureux, 女性単数 malheureuse; ⇔ heureux
- manger** モンジェ 【動詞】 食べる
- manquer** モンケ 【動詞】 ～ (主語) が欠けている・～ (直接目的) を逃す/しくじる
- marcher** マルシェ 【動詞】 歩く
- mardi** マルディ 【名詞・男性】 火曜日

mari マリ【名詞・男性】夫
mars マース【名詞・男性】三月 en mars (三月に)
matin マタン【名詞・男性】朝
mauvais モヴェ【形容詞】悪い男性複数 mauvais; ⇔ bon
médecin メドゥッサン【名詞・男性】医者
médicament メディカモン【名詞・男性】薬
meilleur メイユール【形容詞】より良い
même メーム【形容詞】同じ [定冠詞をつけて、名詞の前に置く] ⇔ autre
mer メール【名詞・女性】海
merci メルスイ【間投詞】ありがとうございます
mercredi メルクルデイ【名詞・男性】水曜日
mère メール【名詞・女性】母
mettre メートゥル【動詞】置く
mettre メートゥル【動詞】身につける
midi ミディ【名詞・男性】正午 (冠詞はつかないことが多い)
minuit ミニユイ【名詞・男性】午前0時 (冠詞はつかないことが多い)
minute ミニユートゥ【名詞・女性】分 (時間の単位)
mois ムワ【名詞・男性】月 (年月の)
moment モモン【名詞・男性】瞬間
monde モンドゥ【名詞・男性】世界
Monsieur ムスユー【間投詞】ムッシュユー (男性への呼びかけ)
montagne モンターニュ【名詞・女性】山
monter モンテ【動詞】乗る・上る・登る (助動詞: être)
montre モントゥル【名詞・女性】腕時計
montrer モントゥレ【動詞】見せる montrer ~ à...で「〜を...に見せる」
mort モール【動詞・過去分詞】mourir (死ぬ) (助動詞: être)
mot モ【名詞・男性】単語
moto モト【名詞・女性】バイク
mouvement ムヴモン【名詞・男性】動き・運動
moyen ムワイヤン【名詞・男性】方法
mur ミュール【名詞・男性】壁
musique ミュズィーク【名詞・女性】音楽

24.13 N

naturel ナチュレール【形容詞】当然な・自然な
né ネ【動詞・過去分詞】naître (生まれる) (助動詞: être)
nécessaire ネセセール【形容詞】必要な
neuf スーフ【数詞】9
neuvième スヴイエーム【序数詞】9番目の
ni ニ【接続詞】～でもなければ～でもない
noir スワー【名詞・男性/形容詞】黒 (い)
nom ノン【名詞・男性】名前
non ノン【副詞】否定の返答に先立つ副詞
nouveau スヴォ【形容詞】新しい男性複数 nouveaux (nouvel), 女性単数 nouvelle; ⇔ vieux, ancien
nouvelle スヴュール【名詞・女性】ニュース
novembre ノヴォンブール【名詞・男性】十一月 en novembre (十一月に)
nuît ニュイ【名詞・女性】夜
numéro ニュメロ【名詞・男性】番号
numéro de téléphone ニュメロ ドゥ テレフォニス【名詞・男性】電話番号

24.14 O

octobre オクトーブル【名詞・男性】十月 en octobre (十月に)
œil ウー【名詞・男性】片目
offrir オフリール【動詞】贈る・提供する
onze オーンズ【数詞】11
onzième オンズィエーム【序数詞】11番目の
ou ウ【接続詞】あるいは・～か～
où ウ【疑問副詞】どこに・どこで
oublier ウブリエ【動詞】忘れる
oui ウイ【副詞】肯定の返答に先立つ副詞
ouvrir ウヴリール【動詞】開く

24.15 P

pain パン【名詞・男性】パン
papier パピエ【名詞・男性】紙 (不可算)・書類 (多く複数形)

par パーる [前置詞] ～によって・～を通して
paraître パレトウる [動詞] ～のように見える [属詞をとる]
parce que パラスク [接続詞] なぜなら～だから
pardon パardon [間投詞] ごめんなさい・すみません
pareil パレユ [形容詞] 似た・同様の
parents パラン [名詞・男性複数] 両親
parler パルレ [動詞] 話す parler à で「～に話しかける」
 parler de で「～について話す」
partie パルティ [名詞・女性] 部分 ⇔ entier (全体)
partir パルティエール [動詞] 出発する・出かける (助動詞: être)
partout パルトゥ [副詞] どこにでも
pas パ [名詞・男性] 歩 (一歩、二歩の)
passport パスポーる [名詞・男性] パスポート
passer パセ [動詞] 渡す
passer パセ [動詞] 過ごす
pauvre ポーヴる [形容詞] 貧乏な女性単数 pauvre ⇔ riche
payer ペイエ [動詞] 払う
pays ペイ [名詞・男性] 国
peine ペーヌ [名詞・女性] 苦勞・苦痛 ⇒ avoir de la peine
pendant ポンドン [前置詞] ～の間 [時間の表現とともに]
penser ポンセ [動詞] 考える penser à で「～のことを考える」
perdre ペーラドゥる [動詞] 失う
père ペーる [名詞・男性] 父
personne ペルソヌ [名詞・女性] 人物・人
petit プティ [形容詞] 小さな ⇔ grand
petit-déjeuner プティデジュネ [名詞・男性] 朝食
peu プ [副詞] ほとんど～ない
peur プーる [名詞・女性] 恐怖・恐れ ⇒ avoir peur
avoir peur que アヴワる プル ク [熟語] ～ [接続法] を恐れる
peut-être プテトウる [副詞] たぶん・かも知れない
pied ピエ [名詞・男性] 足
place プラース [名詞・女性] 場所・広場
plaire プレーる [動詞] ～ (主語) が～ (間接目的) の気に入る
plaisir プレイズィーる [名詞・男性] 喜び・快樂 ⇒ avec plaisir
plein プラン [形容詞] 満たされた・いっぱい
plein de プラン ドゥ [熟語] ～に満ちた

pleurer プルレ [動詞] 泣く
plutôt プリュト [副詞] むしろ
porte ポーラト [名詞・女性] ドア
porter ポルテ [動詞] 身につけている
porter ポルテ [動詞] 運ぶ
poser ポゼ [動詞] 置く
possible ポスィーブル [形容詞] 可能な・あり得る
poste ポースト [名詞・女性] 郵便局
pour プーる [前置詞] ～のために
pour que プル ク [接続詞] ～ [接続法] するために
pourquoi プルクワ [疑問副詞] なぜ
pousser プセ [動詞] 押す ⇔ tirer
pouvoir プグワーる [動詞] ～できる・可能である
préférer プレフェレ [動詞] ～の方を好む
premier プルミエ [序数詞] 1 番目の première
premier プルミエ [形容詞] 最初の première; ⇔ dernier
prendre プラードゥる [動詞] とる
préparer プレレバレ [動詞] 準備する
près de プレ ドゥ [熟語] ～の近くに
présenter プレゾンテ [動詞] 紹介する・見せる
printemps プラントン [名詞・男性] 春 au printemps (春に)
prix プリ [名詞・男性] 値段
prochain プラシャン [形容詞] 次の
professeur プラフェスーる [名詞・男性] 先生
profond プラフォン [形容詞] 深い
propre プラープる [形容詞] 清潔な ⇔ sale
public ビュブリーク [形容詞] 公共の女性単数形: publique
puis ビュイ [副詞] それから・次に

24.16 Q

quand コン [接続詞] ～の時に
quand コン [疑問副詞] いつ
quatorze カトールズ [数詞] 14
quatorzième カトルズィエム [序数詞] 14 番目の
quatre カートる [数詞] 4

quatrième カトリエーム [序数詞] 4番目の
quelqu'un ケルカン [名詞] 誰か
quelque chose ケルク・シヨーズ [名詞] 何か
quelques ケルク [形容詞] いくつかの
question ケスティオン [名詞・女性] 質問
quinze カンズ [数詞] 15
quinzième カンズィエーム [序数詞] 15番目の
quitter ケテ [動詞] 離れる quitter Parisで「パリを離れる」(他動詞であることに注意)

24.17 R

raconter ラコンテ [動詞] 物語る
avoir raison アヴワル れゾン [熟語] 正しい・言う通りである
raison れゾン [名詞・女性] 理性・理由 ⇒ avoir raison
recevoir レスヴァー [動詞] 受け取る
regarder レガール [動詞] 見る
rencontrer ランコントゥレ [動詞] 出会う
rendre ランドゥル [動詞] 返す
rentrer ラントゥレ [動詞] 帰る (助動詞: être)
répondre レポンドゥル [動詞] 答える
ressembler レソンプレ [動詞] ～(間接目的)に似ている
restaurant レストララン [名詞・男性] レストラン
rester レステ [動詞] 留まる (助動詞: être)
retourner レトゥルネ [動詞] 引き返す・戻る・帰って行く (助動詞: être)
réussir レユスィー [動詞] 成功する—à+(不定法)
revenir レヴェニール [動詞] 帰ってくる (助動詞: être)
revue レビュ [名詞・女性] 雑誌
riche リーシュ [形容詞] 金持ちの女性単数 riche; ⇔ pauvre
rien リャン [形容詞] [neとともに] ～も～ない
rire リー [動詞] 笑う
robe ローブ [名詞・女性] ドレス
rouge ロージュ [名詞・男性/形容詞] 赤 (い)
route ルート [名詞・女性] 道路
rue リュ [名詞・女性] 通り・街

24.18 S

s'il vous plaît シイルヴプレ [間接詞] おねがいします (英語の please)
sac サーク [名詞・男性] 袋・バッグ
saison セゾン [名詞・女性] 季節
salle サル [名詞・女性] 部屋 (用途の決まった)
salle à manger サラ モンジエ [熟語] 食堂
salle de bain サル ドゥ バン [熟語] 浴室
samedi サムデイ [名詞・男性] 土曜日
sans ソン [前置詞] ～なしで
savoir サヴァー [動詞] できる・知っている
sec セーク [形容詞] 乾いた女性単数形: sèche; ⇔ humide
second スゴン [序数詞] 2番目の発音注意
seize セーズ [数詞] 16
seizième セズィエーム [序数詞] 16番目の
semaine スメヌ [名詞・女性] 週
sembler ソンプレ [動詞] ～(属詞)に見える
sentir ソンティール [動詞] 感じる
sept セート [数詞] 7
septembre セプトンブール [名詞・男性] 九月 en septembre (九月に)
septième セティエーム [序数詞] 7番目の
sérieux セリュ [形容詞] まじめな sérieuse
service セルヴィース [名詞・男性] 手助け・奉仕・給仕
servir セルヴィール [動詞] 役立つ・給仕する
seul スール [形容詞] 唯一の・たった一人の・たった一つの
seulement スルモン [副詞] ～だけ・ただ～だけ
si シィ [副詞] 否定疑問文に対する、肯定の返答に先立つ副詞
simple サンプル [形容詞] 単純な・簡単な ⇔ compliqué
six スィース [数詞] 6
sixième シズィエーム [序数詞] 6番目の
sœur スー [名詞・女性] 姉妹
avoir soif アヴワル スワ [熟語] 喉が渇いている
soif スワ [名詞・男性] のどの渇き ⇒ avoir soif
soir スワー [名詞・男性] 夕方・晩
soleil ソレーユ [名詞・男性] 太陽 le Soleil (天体として)

somme ソーム [名詞・女性] 金額
sorte ソーレトゥ [名詞・女性] 種類
sortir ソーティー [動詞] 外出する・出る (助動詞: être)
sous スー [前置詞] ~の下に ⇔ sur
souvent スヴオン [副詞] しばしば
suivre スヴィーヴ [動詞] 後に続く・ついて行く
sur スュー [前置詞] ~の上に ⇔ sous
sûr スュー [形容詞] 確かな・確信のある
surtout スュートゥ [副詞] 何よりも・とりわけ

24.19 T

table ターブル [名詞・女性] テーブル
tant トン [副詞] それほどまでに・非常に
tard ター [副詞] 遅れて・遅い時刻に ⇔ tôt
taxi タクスイ [名詞・男性] タクシー
téléphoner テレフォネ [動詞] 電話する
temps トン [名詞・男性] 時間
tenir トゥニー [動詞] 手に持つ
tennis テニス [名詞・男性] テニス
terre テー [名詞・女性] 大地・地球 la Terre (天体として)
tête テートゥ [名詞・女性] 頭
thé テ [名詞・男性] 茶
timbre タンブル [名詞・男性] 切手
tirer ティレ [動詞] 引く・引っ張る ⇔ pousser
toilettes トワレートゥ [名詞・女性複数] トイレ
tomber トンベ [動詞] 落ちる・倒れる (助動詞: être)
tôt ト [副詞] 早く・早い時刻に
toucher à トゥッシュェ ア [熟語] ~に触る
toujours トゥジュー [副詞] いつも
tour トゥー [名詞・女性] 塔・タワー
tour トゥー [名詞・男性] 一周
tourner トゥーネ [動詞] 回る・道を曲がる
tout トゥー [副詞] 全く・完全に
tout トゥー [形容詞] 全ての・あらゆる
tout le monde トゥル モーンドゥ [熟語] 皆・全員

train トゥラン [名詞・男性] 列車
tranquille トゥランキル [形容詞] 静かな ⇔ bruyant
travail トゥラヴァーユ [名詞・男性] 仕事・勉強
travailler トゥラヴァイエ [動詞] 働く・勉強する
traverser トゥラヴェーセ [動詞] 渡る・横切る
treize トゥれー [数詞] 13
treizième トゥれズィエム [序数詞] 13番目の
très bien トレ ビヤン [副詞] とてもよく
trois トゥーワ [数詞] 3
troisième トゥーワズィエム [序数詞] 3番目の
trop トル [副詞] あまりに
trouver トゥーヴ [動詞] 見つける

24.20 U

un アン [数詞] 1
un certain センタン [形容詞] とある [名詞の前で、不定冠詞をつけて] une certaine
Un moment アン モモン [間投詞] ちよつと待って下さい
un quart カー [名詞・男性] 四分の一
une sorte de ユヌ ソル トゥ [熟語] ある種の～
unième ユニエム [序数詞] ~1番目の vingt et unième (21番目の)

24.21 V

vacances ヴァカンス [名詞・女性] [常に複数形] ヴァカンス
valise ヴァリズ [名詞・女性] 旅行鞆・スーツケース
vendre ヴォーンドル [動詞] 売る
vendredi ヴォンドゥーディ [名詞・男性] 金曜日
venir ヴーニ [動詞] 来る (助動詞: être)
vent ヴォン [名詞・男性] 風
verre ヴェー [名詞・男性] ガラス
verre ヴェー [名詞・男性] グラス
vers ヴェー [前置詞] ~に向かつて [方向]・~頃 [時間]
vert ヴェー [名詞・男性/形容詞] 緑色 (の)
viande ヴィオーンドゥ [名詞・女性] 肉
vie ヴィ [名詞・女性] 人生・生活

vieux ヴュ [形容詞] 古い・年老いた男性複数 vieux (vieux), 女性単数 vieille; ⇔ jeune, nouveau

village ヴィラージュ [名詞・男性] 村 ⇔ ville

ville ヴィル [名詞・女性] 都市・都会 ⇔ village

vin ヴァン [名詞・男性] ワイン

vingt ヴァン [数詞] 20

vingtième ヴァンティエーム [序数詞] 20番目の

visage ヴィザージュ [名詞・男性] 顔

vite ヴィートゥ [副詞] 速く ⇔ lentement

voir ヴワール [動詞] 見る

voisin ヴワザン [名詞・男性] 隣人 (男)

voisine ヴワズィーンヌ [名詞・女性] 隣人 (女)

voiture ヴワテューール [名詞・女性] 自動車= auto

vouloir ヴルワール [動詞] 欲する

voyage ヴワヤージュ [名詞・男性] 旅行

vrai ヴレ [形容詞] 本当の

vraiment ヴレモン [副詞] 本当に

vue ヴュ [名詞・女性] 眺め・視覚

24.22 Y

yeux ユ [名詞・男性・複数] 両目

付録：Le petit chaperon rouge (赤ずきんちゃん)

Charles PERRAULT (1628-1703)

Il était une fois une petite fille de village, la plus jolie qu'on eût su voir; sa mère en était folle, et sa mère-grand plus folle encore. Cette bonne femme lui fit faire un petit chaperon rouge, qui lui seyait si bien, que partout on l'appelait le petit chaperon rouge.

Un jour sa mère, ayant cuit et fait des galettes, lui dit: "Va voir comment se porte ta mère-grand, car on m'a dit qu'elle était malade, porte-lui une galette et ce petit pot de beurre." Le petit chaperon rouge partit aussitôt pour aller chez sa mère-grand, qui demeurait dans un autre village. En passant dans un bois elle rencontra compère le loup, qui eut bien envie de la manger, mais il n'osa, à cause de quelques bûcherons qui étaient dans la forêt. Il lui demanda où elle allait; la pauvre enfant, qui ne savait pas qu'il est dangereux de s'arrêter à écouter un

loup, lui dit: "Je vais voir ma mère-grand, et lui porter une galette avec un petit pot de beurre que ma mère lui envoie. – Demeure-t-elle bien loin? lui dit le loup. – Oh! oui, dit le petit chaperon rouge, c'est par delà le moulin que vous voyez tout là-bas, là-bas, à la première maison du village. – Eh bien!, dit le loup, je veux y aller voir aussi; je m'y en vais par ce chemin-ci, et toi par ce chemin-là, et nous verrons qui plus tôt y sera." Le loup se mit à courir de toute sa force par le chemin qui était le plus court, et la petite fille s'en alla par le chemin le plus long, s'amusant à cueillir des noisettes, à courir après des papillons, et à faire des bouquets des petites fleurs qu'elle rencontrait. Le loup ne fut pas longtemps à arriver à la maison de la mère-grand; il heurte: Toc, toc. "Qui est là? – C'est votre fille le petit

chaperon rouge (dit le loup, en contrefaisant sa voix) qui vous apporte une galette et un petit pot de beurre que ma mère vous envoie." La bonne mère-grand, qui était dans son lit, car elle se trouvait un peu mal, lui cria: "Tire la chevillette, la bobinette cherra." Le loup tira la chevillette, et la porte s'ouvrit. Il se jeta sur la bonne femme, et la dévora en moins de rien; car il y avait plus de trois jours qu'il n'avait mangé. Ensuite il ferma la porte, et s'alla coucher dans le lit de la mère-grand, en attendant le petit chaperon rouge, qui quelque temps après vint heurter à la porte. Toc, toc. "Qui est là?". Le petit chaperon rouge, qui entendit la grosse voix du loup, eut peur d'abord, mais croyant que sa mère-grand était enrhumée, répondit: "C'est votre fille le petit chaperon rouge, qui vous apporte une galette et un petit pot de beurre que ma mère vous envoie." Le loup lui cria, en adoucissant un peu sa voix: "Tire la chevillette, la bobinette cherra." Le petit

chaperon rouge tira la chevillette, et la porte s'ouvrit. Le loup, la voyant entrer, lui dit en se cachant dans le lit sous la couverture: "Mets la galette et le petit pot de beurre sur la huche, et viens te coucher avec moi." Le petit chaperon rouge se déshabille, et va se mettre dans le lit, où elle fut bien étonnée de voir comment sa mère-grand était faite en son déshabillé. Elle lui dit: "Ma mère-grand que vous avez de grands bras! – C'est pour mieux t'embrasser ma fille. – Ma mère-grand que vous avez de grandes jambes! – C'est pour mieux courir mon enfant. – Ma mère-grand que vous avez de grandes oreilles! – C'est pour mieux écouter mon enfant. – Ma mère-grand que vous avez de grands yeux! – C'est pour mieux voir mon enfant. – Ma mère-grand que vous avez de grandes dents! – C'est pour te manger". Et en disant ces mots, le méchant loup se jeta sur le petit chaperon rouge, et la mangea.



Le Petit Chaperon rouge dans la forêt, par Gustave Doré.